Hi-Fi COMPONENT
HDD/BLU-RAY DISC RECORDER

RY-MA1

取扱説明書/保証書

お買い上げありがとうございます。

ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、この「取扱説明書」を必ずお読みください。
お読みになったあとは、大切に保管してください。
特に「安全上のご注意」（4〜6 ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。

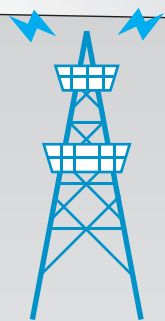
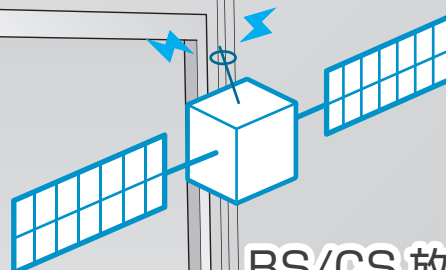
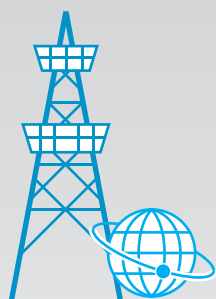
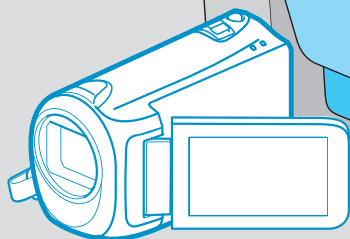
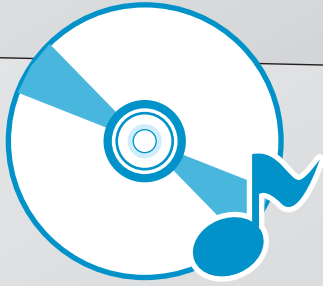
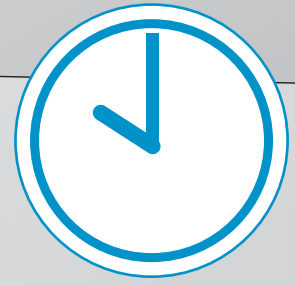
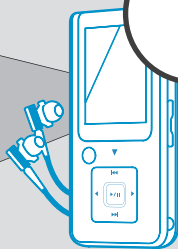
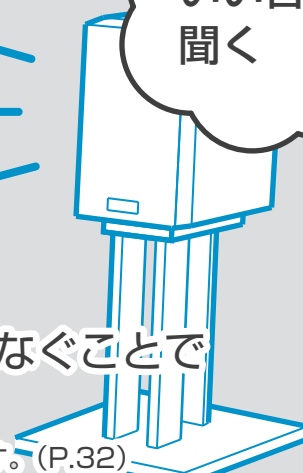
ユーザー登録のおすすめ

お買い上げいただきました製品について「ユーザー登録」をお願いいたします。
ご登録いただきますと製品のサポート情報、ビクターの製品情報やイベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。
また、今後のより良い製品開発のためのアンケートにもご協力をお願いいたします。

●下記アドレスのホームページより、ご登録ください。

http://www.victor.co.jp/reg/

LVT2227-001C

RYOMAX のある生活

曲名付きで録音
CD データベース
音楽 CD
テレビやラジオの
番組を予約
記憶・録音・予約
これ一台で
OK！
USB/SD スロット
データで
取り出す
SD
USB
コンテンツも外に持ち出せる
高音質デジタルアンプ搭載
いい音で
聞く
音楽も
ドラマ、映画も
ラジオも
スピーカーをつなぐことで
高音質再生
・音声出力設定が必要です。（P.32）

安全上のご注意

▼絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。
絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

▼絵表示の説明

注意をうながす記号

一般的注意

感電

手を挟まれないよう注意

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水場での使用禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

水ぬれ禁止

行為を指示する記号

一般的指示

電源プラグを抜く

⚠警告

この表示の注意文を無視して、誤った取り扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる

- 煙が出ていたりへんなにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ってしまったとき
- 落としたり、破損したとき
- 電源コードが傷んだとき(芯線の露出や断線など)
- 電源プラグが異常に熱いとき

すぐに電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

分解や改造をしない。カバーをはずさない。

火災や感電の原因となります。内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

風呂場やシャワー室では使用しない

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

本機の上に火のついたものを置かない

火のついたローソクなどを置くと、火災の原因となります。

本機の中に物を入れない

通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

交流100V(ボルト)以外の電源電圧で使用しない

火災の原因となります。
本機を使用できるのは日本国内のみです。
This set is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具など重い物をのせない

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。
また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

電源プラグは定期的に清掃する

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取ってください。

本機の上に水などの入った容器を置かない

花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない

感電の原因となります。

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない

頭からかぶると窒息の原因となります。

⚠注意 この表示の注意文を無視して、誤った取り扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

電源プラグは、コードの部分を持って抜かない

電源コードを引っ張ると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

電源が切れていても本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。

置き場所に注意する

次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない

バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

お手入れをするときは、電源プラグを抜く

電源が切れていても本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

移動するときは、接続コード類や電源プラグを抜く

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

電源プラグが容易に抜き差しできる空間を設ける

- 電源スイッチを切っただけでは機器は電源から完全に遮断されません。遮断するには、電源プラグを抜いてください。
- 機器はコンセントに容易に手が届く位置に設置し、異常が起きた場合すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。

はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となる事があります。
電源を切る前に接続したテレビやアンプなどの音量（ボリューム）を下げておき、電源が入ってから徐々にあげてください。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないようにする

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響をおよぼすことがあります。

ディスク挿入口に、手を入れない

けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。

可動部の作動中には無理な操作を加えない

一つの動作が終了してから、次の操作に移ってください。誤動作や故障の原因となることがあります。

本機の上に重いものを置かない

テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

電池の取り扱いに注意する

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス（+）とマイナス（−）を間違えない
- 電池のプラス（+）とマイナス（−）をショートさせない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 乾電池は充電しない
- 長時間使わないときは、電池を取り出しておく

もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。使い終わった電池は、自治体の指示に従って破棄してください。

レーザー製品についてのご注意

- この製品は JIS C6802 規格に基づくクラス 1 レーザー製品です。
- 注意 ： 機器内部には、危険なレーザー放射部があります。分解、改造はしないでください。

無線LANについてのご注意

認定機器について

本製品には、電波法及び電機通信事業法に基づく小電力データ通信システムの無線局として、工事設計認証を受けた無線設備を内蔵しております。無線設備名：201WW10215209 したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項をおこなうと法律により罰せられことがあります。

- 本製品を分解/改造すること。

他の無線機器との干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

この機器の使用周波数帯 (2.4GHz) では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、当社お客様ご相談センターにご連絡頂き、混信回避のための処置等(例えば、パーティションの設置など)についてご相談してください。
- その他、この危機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社お客様ご相談センターへお問い合わせください。

- 本機を無線ネットワークに接続するには、市販の無線 LAN(2.4GHz 帯)対応のアクセスポイント(ブロードバンドルーター)が必要になります。
- 本機は日本国内でのみ使用できます。
- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、通信が切断されたり、音声及び映像が途切れる等の不具合が生じることがあります。
  ・2.4GHz の周波数帯域を利用する電子レンジ、デジタルコードレス電話、Bluetooth などの機器の近く。
  ・2.4GHz 全帯域(チャンネル)にて電波の強い無線 LAN 通信が利用されている場合。
- 本機を使用する環境により、通信が切断されたり、音声及び映像が途切れる等の不具合が生じることがあります。
  ・電波を遮る鉄筋コンクリートや金属の壁をはさんで本機とアクセスポイントを設置した場合。
- 本機は電波を使用しているため、第 3 者が故意または偶然に傍受することが考えられます。
  ご使用の無線 LAN 対応アクセスポイント(ブロードバンドルーター)にてセキュリティ(暗号化)設定を有効にすることをおすすめします。(セキュリティは WPA2(AES) を推奨します。※1)
- 利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。

※1：市販アクセスポイント(ブロードバンドルーター)の設定方法については各機器の取扱説明書をご覧ください。

2.4GH z 無線LAN表記の意味について

2.4 DS/OF 4

2.4	：2.4GHz 帯を使用する無線設備を表します。
DS/OF	：変調方式 DS-SS 方式及び OFDM 方式を表します。
4	：想定される干渉距離が 40m 以下を表します。
- - -	：2.4000GHz ～ 2.4835GHz の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを表します

「JIS C 61000－3 ー2 適合品」

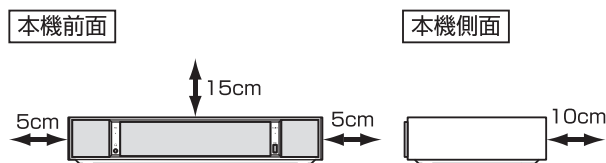
JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性ー第 3－2 部：限度値ー高周波電流発生限度値（1 相当りの入力電流が 20A 以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

本機を設置するときは

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。特に次のことに注意してください。

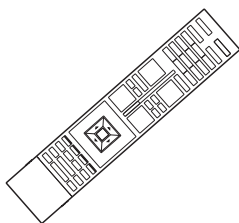
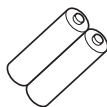
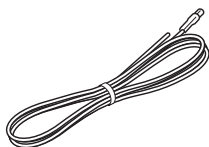
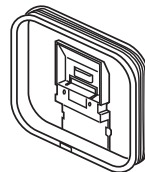
- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロス、新聞、カーテンなどで通風孔をふさがない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない

本機前面　15cm　5cm　5cm

本機側面　10cm

免責事項

お客様、または第三者が本機の使用を誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合、または本機の使用によって受けられた損害については法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

付属品を確かめる

設置する前に、以下の付属品がそろっているかお確かめください。

リモコン

電池

FM簡易型アンテナ

AMループアンテナ

B-CASカード

- リモコン(RM-SRYMA1)　1 台
- マンガン単 4 形乾電池(動作確認用)　2 本
- FM 簡易型アンテナ　1 本
- AM ループアンテナ　1 個
- B-CAS カード　1 枚
- 「ネットサービスを楽しもう！！」(別冊)　1 部
- 本機取扱説明書(本書)

- 付属品が不足している場合や、破損している場合は、お買い上げ販売店またはお近くのサービス窓口にご相談ください。

このマニュアルの見かた

本書について

- 本書の操作説明は、リモコンでの操作を中心に説明しています。
  本体に同じマークのボタンがある場合は、どちらのボタンもお使いいただけます。
- 「本機」とは「お使いのレコーダー」のことを、「他機」とは「本機以外の機器」のことを表します。
- 画面表示の細部や説明文、表現、ガイド、メッセージの表示位置などは、本書と製品で異なることがあります。
- 本書で例として記載している各画面の内容やキーワードなどは説明用です。
- 画面の背景や放送などの映像や絵は、はめ込み画像です。
- 本書では、SD カード、および SDHC カードを「SD カード」と記載しています。

本書で使用しているアイコンについて

：操作上の注意事項を記載しています。

：ワンポイント情報などを記載しています。

：機能や使用上の制限などを記載しています。

：関連項目の参照ページを記載しています。

本書の構成について

■ **はじめに(7〜20 ページ)**

各部の名称や、基本操作が記載されております。

特に"画面上の基本操作" (P.14)では、本機の画面操作が記載されておりますので、本機を操作する前に必ずお読みください。

■ **準備(22〜50 ページ)**

本機の接続方法や、初期設定(かんたん設置設定)の方法が記載されております。

■ **AUDIO(RADIO & MUSIC)(52〜88 ページ)**

ラジオ番組や音楽に関する操作について記載されております。

■ **VISUAL(TV & VIDEO)(90〜128 ページ)**

テレビ番組や録画映像に関する操作について記載されております。

■ **予約(130〜144 ページ)**

ラジオ放送やテレビ放送の予約に関する操作について記載されております。

■ **その他の機能(146〜150 ページ)**

HDMI 機器制御(リンク)機能やスリープタイマーについて記載されております。

■ **設定メニュー(152〜162 ページ)**

本機の設定一覧が記載されております。

■ **こんなときは(164〜172 ページ)**

困ったときの解決方法が記載されております。

■ **知っておいて欲しいこと(174〜210 ページ)**

フォーマットのしかたや用語集など、知っておくと便利なことが記載されております。

やりたいことから探してみよう

◆専門用語の意味を知りたい場合　⇒　用語解説(P.209)
◆言葉から探したい場合　⇒　索引(P.212)

ラジオ

ラジオ番組を聞きたい

- ラジオ放送を聞く（P.54）

ラジオ番組を録音したい

- 聞いているラジオ番組を録音する（P.57）
- 外部機器の音声を録音する（P.58）
- 予約スケジュールから予約を登録する（P.131）
- 予約一覧で予約の確認/変更/削除するには（P.139）

録音したラジオ番組を再生したい

- 録音したラジオ番組を聞く（P.63）

録音したラジオ番組を削除したい

- 録音したラジオ番組を削除する（P.71）

録音したラジオ番組名を変更したい

- 録音したラジオ番組名/まとめ表示名を変更する（P.75）

録音したラジオ番組を転送したい

- 録音したラジオ番組を SD カードや USB 機器に転送する（P.85）

音楽

音楽を HDD に取り込みたい

- 音楽 CD の曲を録音する（P.59）
- SD カードや USB 機器の音楽を HDD に取り込む（P.61）

音楽を再生したい

- 取り込んだ音楽を再生する（P.63）
- 音楽 CD を再生する（P.66）
- SD カードや USB メモリーに記録された音楽を再生する（P.68）

取り込んだ音楽を削除したい

- 曲/アルバム/アーティスト/ジャンルを削除する（P.73）

取り込んだ音楽名やジャンルを変更したい

- 取り込んだ音楽の曲名などを変更する（P.76）

お気に入りの曲をマイリストに登録したい

- 取り込んだ音楽でプレイリストを作成する（P.80）

音楽を転送したい

- 取り込んだ音楽を SD カードや USB 機器に転送する（P.87）

テレビ/Blu-ray Disc™/DVD

テレビ番組を見たい

- テレビ番組を見る(P.92)

テレビ番組を録画したい

- 視聴中のテレビ番組を録画する(P.100)
- 予約スケジュールから予約を登録する(P.131)
- 番組表から予約する(P.135)
- 本機の予約候補検索機能を使って予約する(P.137)
- 予約一覧で予約の確認/変更/削除するには(P.139)

ビデオカメラの映像を取り込みたい

- ビデオカメラの映像を取り込む(P.102)

録画番組/撮影動画やディスクを再生したい

- 録画した番組を再生する(P.103)
- ディスクを再生する(P.105)

録画番組/撮影動画を削除/編集したい

- 録画した番組を削除する(P.112)
- 本機でできる編集について(P.114)

録画番組/撮影動画をディスクにダビングしたい

- 録画した番組をディスクにダビングする(P.125)

ネットサービス

MELINK/アクトビラを使いたい

別冊の「ネットサービスを楽しもう！！」をご覧ください。

全般(接続方法/操作方法)

接続方法を知りたい

- テレビで見るために(P.30)
- スピーカーをつなぐ(P.32)
- 有線ネットワークとつなぐ(P.35)
- 無線ネットワークとつなぐ(P.36)

操作方法を知りたい

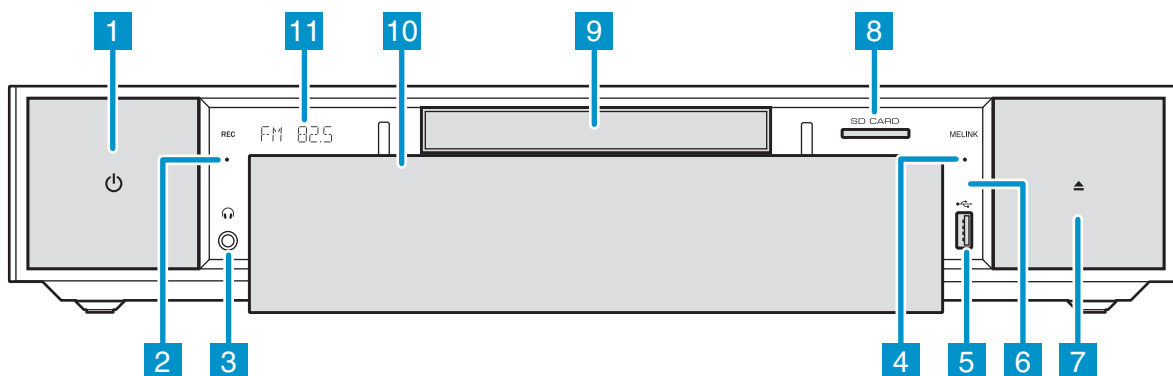
- 画面上の基本操作(P.14)
- 操作ガイドの使いかた(P.14)
- 文字入力の方法(P.16)

設定メニュー

本機の設定を変えたい

- 本機の設定を変更する(P.152)

各部のなまえ

本体前面

1 電源ボタン/ランプ

- 電源を入/切します。
- 電源「入」のときは白く点灯します。
- 電源「切」のときは赤く点灯します。

2 録画ランプ

- 録画中は赤く点灯します。

3 ヘッドホン端子

- ヘッドホン(Φ3.5)を接続します。

4 MELINK ランプ

- MELINK サービスを利用中に点灯します。

5 USB 端子

- USB メモリーや USB 機器(Everio など)を接続します。

6 リモコン受光部

7 トレイ開閉ボタン/ランプ

- ディスクトレイを開閉します。

8 SD カードスロット

- SD カードを挿入します。

9 ディスクトレイ

- ディスクを挿入します。

10 フロントドア

11 パネル表示部

- 本機の動作状況を表示します。

➡ パネル(LCD)表示について(P.189)

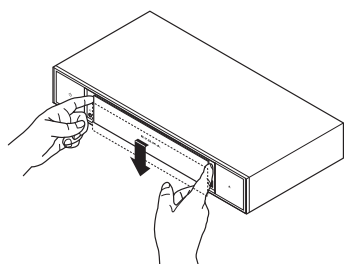
フロントドアをリモコンで開閉するには

1 トレイ開/閉 [⏏] を押す

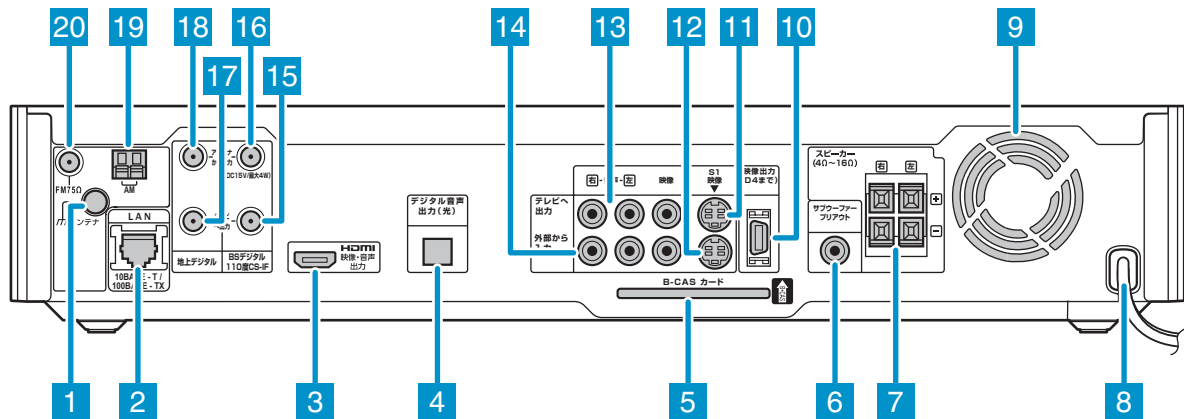
- フロントドアが下に移動し、ディスクトレイが開きます。

2 再度 トレイ開/閉 [⏏] を押す

- ディスクトレイが閉じ、フロントドアが上に移動します。

フロントドアを手動で開閉するには

- フロントドアは手動で上下に移動させることもできます。SD カードを出し入れするときは、フロントドアを手動で下に移動させてから操作してください。
フロントドアを上に移動させると、パネル表示部を隠すことができます。

- フロントドアを手動で下げた場合、トレイ開/閉 [⏏] を押してもフロントドアは連動して移動しません。
フロントドアを手動で下げた場合、フロントドアを閉めるときは手動でフロントドアを上に移動してください。

本体後面

1 アンテナアース端子(付属品用)
- AM ループアンテナ(付属)をつなぐ(P.28)
- FM 簡易型アンテナ(付属)をつなぐ(P.29)

2 LAN 端子
- 有線ネットワークとつなぐ(P.35)

3 HDMI 出力端子
- HDMI ケーブルでつなぐ(P.30)

4 光デジタル音声出力端子
- 光オーディオケーブルで外部アンプにつなぐには(P.34)

5 B-CAS カード挿入口
- B-CAS カードを入れる(P.27)

6 サブウーファープリアウト端子
- サブウーファー(アンプ内蔵型)スピーカーをつなぐ(P.33)

7 スピーカー出力端子
- スピーカーをつなぐ(P.32)

8 電源コード
- すべての接続が終わったことを確認したあとで、電源コードをつないでください。(P.38)

9 ファン吹き出し口

10 D 出力端子
- D 端子ケーブルでつなぐ(P.30)

11 S 映像出力端子
- S 端子ケーブルでつなぐ(P.31)

12 S 映像入力端子
- 外部入力端子に外部機器をつなぐ(P.37)

13 テレビ出力端子(映像/音声)
- AV ケーブルでつなぐ(P.31)

14 外部入力端子(映像/音声)
- 外部入力端子に外部機器をつなぐ(P.37)

15 BS/CS アンテナ出力端子
- テレビアンテナをつなぐ(P.25)

16 BS/CS アンテナ入力端子
- テレビアンテナをつなぐ(P.25)

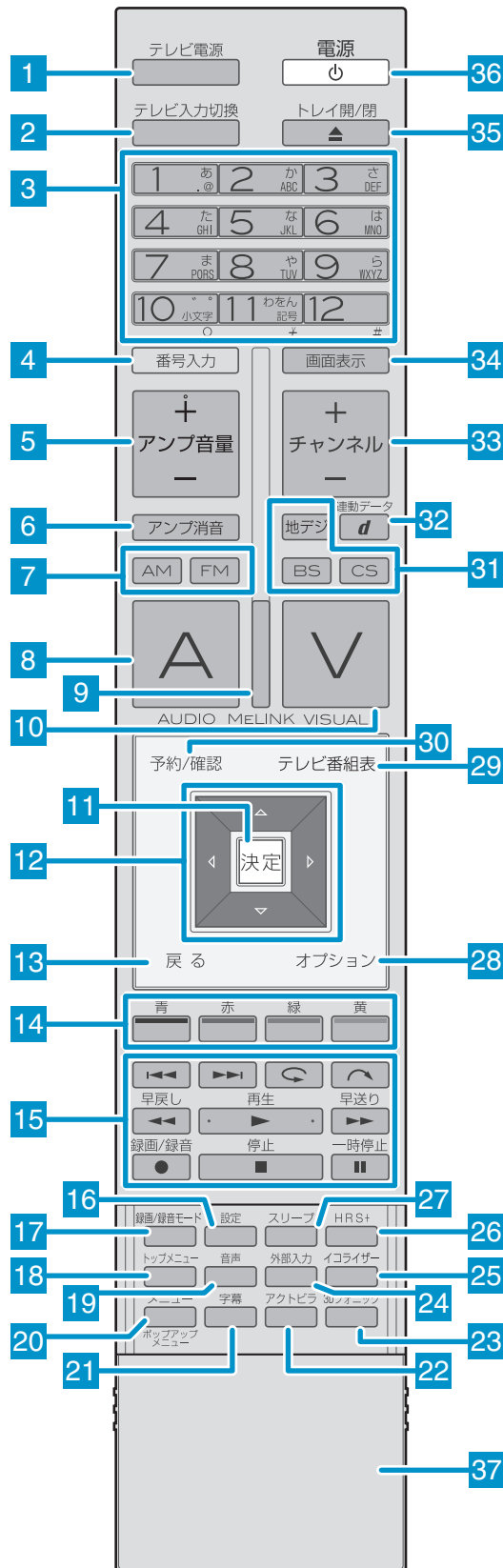
17 地上デジタルアンテナ出力端子
- テレビアンテナをつなぐ(P.25)
- ケーブルテレビを見るには(P.26)

18 地上デジタルアンテナ入力端子
- テレビアンテナをつなぐ(P.25)
- ケーブルテレビを見るには(P.26)

19 AM アンテナ端子
- AM ループアンテナ(付属)をつなぐ(P.28)

20 FM アンテナ端子
- FM 簡易型アンテナ(付属)をつなぐ(P.29)

- ファン吹き出し口の付近に物を置いたりしないでください。吹き出し口をふさぐと本機内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。

リモコン

1 テレビ電源

- テレビの電源を入/切します。

2 テレビ入力切換

- テレビの入力を切り換えます。

3 数字 1-12(英数字/文字)

- 英数字や文字を入力します。
- チャンネル番号やチャプター番号を入力します。

4 番号入力

- チャンネル番号やチャプター番号入力画面が表示されます。

5 アンプ音量(+/-)

- 本機に接続したスピーカーおよびヘッドホンの音量を調節します。

6 アンプ消音

- 本機に接続したスピーカーおよびヘッドホンの音を消します。

7 AM / FM

- AM/FM ラジオ放送に切り換えます。

8 AUDIO ※

- A スタートメニューを表示します。ラジオ番組や音楽などの、Audio に関するメニューが表示されます。
  ➡ A スタートメニューからできること(P.52)

9 MELINK ※

- MELINK のポータル画面が表示されます。MELINK の初期設定がされていない場合は、設定画面が表示されます。
- 別冊の「ネットサービスを楽しもう！！」をご覧ください。

10 VISUAL ※

- V スタートメニューを表示します。テレビ番組や撮影動画などの、Visual に関するメニューが表示されます。
  ➡ V スタートメニューからできること(P.90)

11 決定

- 操作や選択肢を決定します。

12 フォーカス移動(◁ / ▷ / △ / ▽)

- 画面のフォーカスを移動します。

13 戻る

- 1 つ前の画面に戻ります。操作を中止するときに使用する場合もあります。

14 カラー(青 / 赤 / 緑 / 黄)

- 各カラーボタンに割り当てられている操作を実行します。

15 再生操作ボタン

- **前** 前
- **次** 次
- **7 秒戻り** 7秒戻り
- **30 秒送り** 30秒送り
- **早戻し** 早戻し
- **再生** 再生
- **早送り** 早送り
- **停止** 停止
- **一時停止** 一時停止

➡ ラジオ番組や音楽の再生時にできる操作(P.69)
➡ 映像の再生時にできる操作(P.108)

- **録画/録音** 録画/録音
  - 録画/録音を開始します。
    (P.57)、(P.58)、(P.100)、(P.101)

16 設定

- 設定画面を表示します。
  詳しくは、"本機の設定を変更する" (P.152)をご覧ください。

17 録画/録音モード

- 録画/録音モードを選択します。
- 各モードでの録画可能時間が確認できます。

18 トップメニュー

- ディスクのトップメニュー画面を表示します。

19 音声

- 音声出力の設定画面を表示します。

20 メニュー/ポップアップメニュー

- Blu-ray Disc™ のポップアップメニューや、DVD のメニュー画面を表示します。

21 字幕

- Blu-ray Disc™ や DVD の字幕メニュー画面を表示します。

22 アクトビラ

- アクトビラのトップ画面を表示します。
- 別冊の「ネットサービスを楽しもう!!」をご覧ください。

23 3D フォニック

- 3D フォニックの設定画面を表示します。
  ➡ 3D フォニック(P.146)
  ➡ サウンド設定を変更するには(P.147)

24 外部入力

- 外部入力に切り換えます。

25 イコライザー

- イコライザー機能の設定画面を表示します。
  ➡ 音質設定(P.146)
  ➡ サウンド設定を変更するには(P.147)

26 HRS+(HR サウンドプラス)

- HRS+機能の設定画面を表示します。
  ➡ HRS+(P.146)
  ➡ サウンド設定を変更するには(P.147)

27 スリープ

- スリープタイマーの設定画面を表示します。
  ➡ スリープタイマーを使う(P.150)

28 オプション

- オプションメニュー画面を表示します。

29 テレビ番組表 ※

- テレビ番組表の画面を表示します。

30 予約/確認 ※

- 予約スケジュール画面、テレビ予約一覧画面、ラジオ予約一覧画面を切り換えます。
  (P.130)

31 BS / CS / 地デジ

- BS/CS/地上デジタル放送に切り換えます。

32 連動データ

- 連動データ放送に切り換えます。

33 チャンネル(+/-)

- 本機のチャンネルを切り換えます。

34 画面表示

- ディスク残量や、録画中、再生中の映像/音楽情報を表示します。

35 トレイ開/閉 トレイ開/閉 ※

- ディスクトレイを開閉します。フロントドアが閉まっている場合は、フロントドアも連動して開閉します。
- フロントドアを手動で開けた場合(P.10)は、ディスクトレイを閉めるときに連動しません。フロントドアは手動で閉めてください。

36 電源 電源

- 本機の電源を入/切します。

37 カバー

- カバーをスライドして、開いた状態です。カバー下のボタンを使用しないときは、閉じてください。

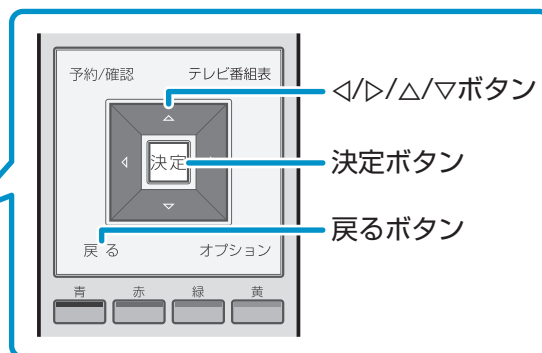
電源が切れているときに※印のボタンを押しても電源が入り、各ボタンに割り振られた機能が働きます。

画面上の基本操作

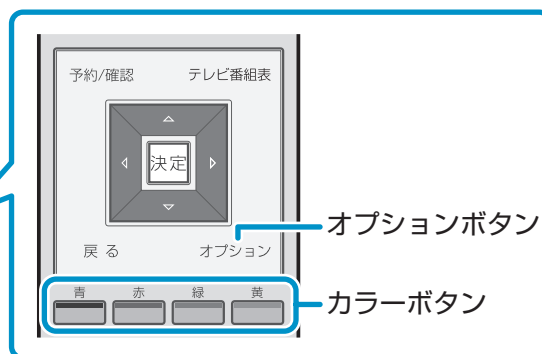
ファイルの一覧画面や設定メニューで項目を選ぶには

リモコンの ◁ / ▷ / △ / ▽ を押してフォーカスを移動させ、項目を選びます。

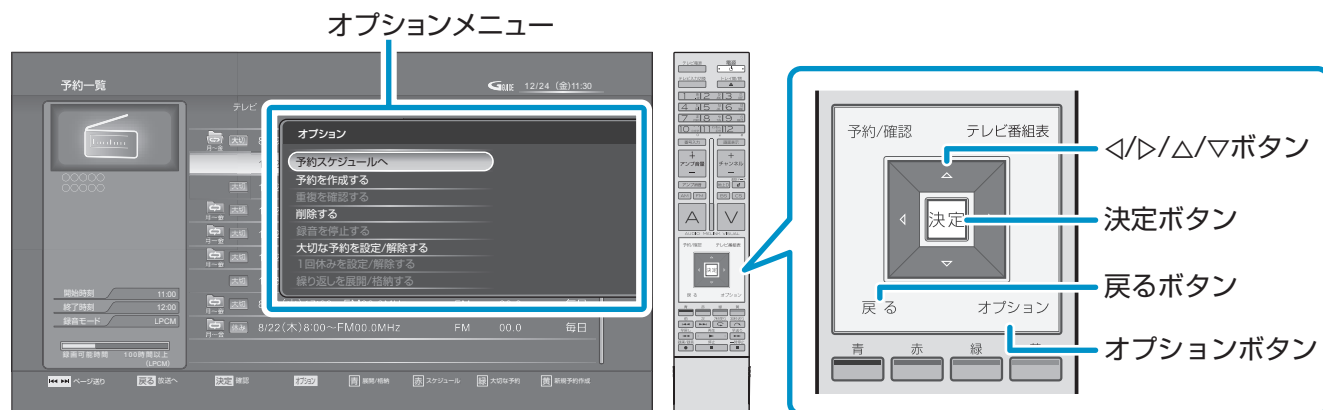
決定 を押すと、フォーカスで選んだ項目が決定されます。

- 画面上で選ばれている箇所を「フォーカス」と呼びます。

- 戻る を押すと、1 つ前の画面に戻ります。

操作ガイドの使いかた

表示する画面によっては、画面の下側に操作ガイドが表示されることがあります。
操作ガイドに表示されたボタン（オプションボタンやカラーボタンなど）を押すと、それぞれのボタンに対応した操作ができます。

- 操作できる内容は、画面によって異なります。

オプションメニューの使いかた

操作ガイドにオプションと書かれたアイコンが表示されている場合は、オプションメニューを使う事ができます。
オプション を押すと、その画面に応じたオプションメニューが表示されます。

- リモコンの ◁ / ▷ / △ / ▽ を押してフォーカスを移動させ、項目を選んでください。
- 設定できない項目は、項目がグレーで表示されて選べません。
- 決定 を押すと、フォーカスで選んだ項目が実行されます。
- 戻る を押すと、オプションメニューを閉じて、元の画面に戻ります。
- オプションメニューの内容は、画面によって異なります。

文字入力の方法

1 [チャンネル+/−]を押して、"文字種"を選ぶ

- "かな／漢字"、"カタカナ"、"英数"、"数字"または "記号"から入力したい文字種を選びます。

2 [1]-[12]を押して、文字を入力する

- 濁点または半濁点は、文字の後に[10]を押すと入力できます。
- [1]-[9]、[11]を押すと、文字を順番に表示します。
- [12]を押すと、一つ前の文字に戻ります。
- [緑]を押すと、スペース(空白)が入力できます。
- [決定]を押すと、入力した文字が無変換で確定します。

入力した文字を変換するには

1 [青](通常変換)または[赤](予測変換)を押す

- 変換候補が変換候補窓に表示されます。詳しくは、"文字変換画面の見かた" (P.17)をご覧ください。
- 通常変換のときは、[前]または[次]を押すと文節の位置を変更できます。

2 フォーカスを変換したい候補に移動し、[決定]を押す

- 入力した文字を変換します。

文字の入力位置を移動するには

1 ◁または▷を押す

- 文字の入力位置が移動し、文字を追加挿入できます。
- 同じ文字を続けて入力したいときは、▷を押して文字の入力位置を 1 つ右に移動してください。

入力した文字を消去するには

1 [画面表示]を押す

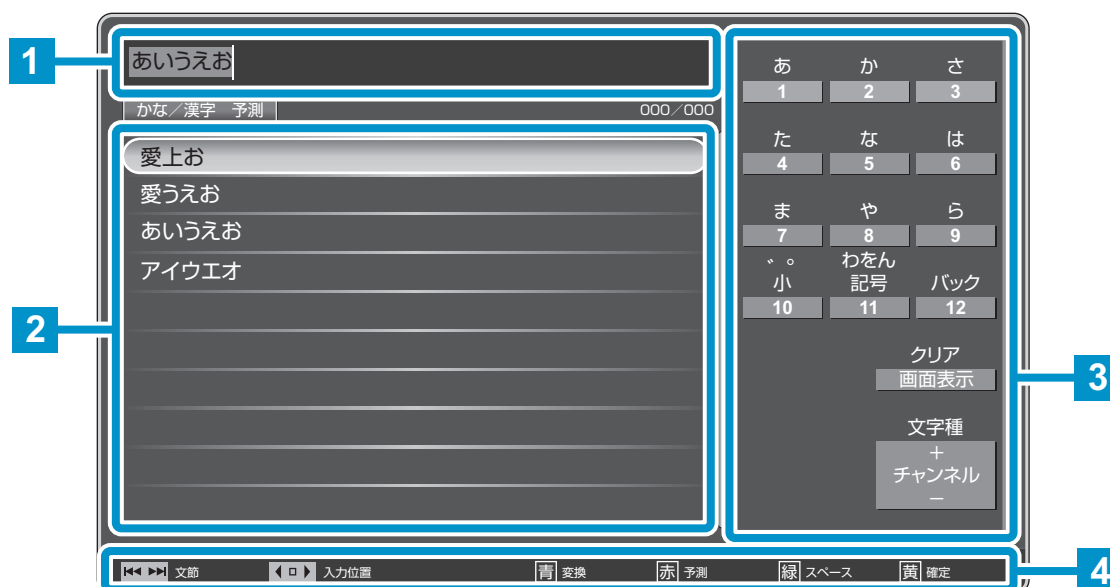
- フォーカスが文字列の中にあるとき、押すたびに右側の文字が 1 文字ずつ消去されます。
- フォーカスが文字列の右端にあるとき、押すたびに左側の文字が 1 文字ずつ消去されます。
- 約 3 秒以上押し続けると、フォーカスの右側の文字がすべて消去され、フォーカスが文字列の右端にあるときは左側の文字がすべて消去されます。

- 入力または表示可能な漢字コードは、JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準のみです。
- 「カタカナ半角入力」、「英数半角入力」、「数字半角入力」および「記号半角入力」のときに[緑]を押すと、半角スペースが挿入されます。それ以外の「全角入力」のときに[緑]を押すと、全角スペースが挿入されます。
- ボタンを押しすぎて選びたい文字が行き過ぎた場合は、[12]を押すたびに逆の順番で文字を戻せます。

- 入力文字変換中は、入力位置の移動ができません。

3 黄 を押し、文字入力を終了する

- 入力した文字がすべて確定します。
- 入力をやめたい場合は、黄 の代わりに 戻る を押してください。

文字変換画面の見かた

1 入力窓

- 入力した文字が表示されます。

2 変換候補窓

- 入力した文字に対する変換候補が表示されます。
- フォーカスを変換したい候補に移動し、決定 を押すと、入力した文字が選んだ変換で確定します。

3 操作ガイド 1

- 1 - 12 / ＋チャンネル－ / 画面表示 の操作が表示されます。

4 操作ガイド 2

- 前 / 次 / ◁ / ▷ / 青 / 赤 / 緑 / 黄 の操作が表示されます。

文字の入力例

「スポーツ」という文字を入力する場合

1 チャンネル＋－を押して、"文字種"を "カタカナ"にする

2 3（さ DEF）を 3 回押す･･･「ス」

3 6（は MNO）を 5 回押し、10（゛゜小文字）を 2 回押す･･･「ポ」

4 11（わをん 記号）を 5 回押す･･･「ー」

5 4（た GHI）を 3 回押す･･･「ツ」

6 黄を押す

「番組」という文字を入力する場合

1 必要に応じてチャンネル＋－を押して、"文字種"を "かな漢字"にする（初期値は "かな漢字"）

2 6（は MNO）を 1 回押し、10（゛゜小文字）を 1 回押す･･･「ば」

3 11（わをん 記号）を 3 回押す･･･「ん」

4 2（か ABC）を 3 回押し、10（゛゜小文字）を 1 回押す･･･「ぐ」

5 7（ま PQRS）を 2 回押す･･･「み」

6 青を押し、変換候補の「番組」にフォーカス移動して、決定を押す

7 黄を押す

入力できる文字数

種類	メディア	半角英数	全角漢字かな
番組名（HDD 録画/録音）※	HDD	200	66
音楽のアルバム名、プレイリスト名、アーティスト名、ジャンル名	HDD	255	85
音楽の曲名	HDD	200	66
DVD メニュー名	DVD（ダビング時）	64	32

※ DVD Video 方式でダビングするときの番組名は、半角英数 44 文字、全角漢字かな 22 文字以降の文字がカットされます。DVD Video 方式でダビングする場合は、半角英数 44 文字、全角漢字かな 22 文字以内になるよう番組名を修正してください。

入力文字一覧表

■ ひらがな

[1]	あ	い	う	え	お	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ		
[2]	か	き	く	け	こ							
[3]	さ	し	す	せ	そ							
[4]	た	ち	つ	て	と	っ						
[5]	な	に	ぬ	ね	の							
[6]	は	ひ	ふ	へ	ほ							
[7]	ま	み	む	め	も							
[8]	や	ゆ	よ	ゃ	ゅ	ょ						
[9]	ら	り	る	れ	ろ							
[10/0]	*1											
[11]	わ	を	ん	ゎ	ー	・	～	！	？	、	。	*3
[12]	*2											

■ 全角カタカナ

[1]	ア	イ	ウ	エ	オ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ		
[2]	カ	キ	ク	ケ	コ							
[3]	サ	シ	ス	セ	ソ							
[4]	タ	チ	ツ	テ	ト	ッ						
[5]	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ							
[6]	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ							
[7]	マ	ミ	ム	メ	モ							
[8]	ヤ	ユ	ヨ	ャ	ュ	ョ						
[9]	ラ	リ	ル	レ	ロ							
[10/0]	*1											
[11]	ワ	ヲ	ン	ヮ	ー	・	～	！	？	、	。	*3
[12]	*2											

■ 全角英数

[1]	．	／	－	（	）	［	］	＠	１			
[2]	Ａ	Ｂ	Ｃ	ａ	ｂ	ｃ	２					
[3]	Ｄ	Ｅ	Ｆ	ｄ	ｅ	ｆ	３					
[4]	Ｇ	Ｈ	Ｉ	ｇ	ｈ	ｉ	４					
[5]	Ｊ	Ｋ	Ｌ	ｊ	ｋ	ｌ	５					
[6]	Ｍ	Ｎ	Ｏ	ｍ	ｎ	ｏ	６					
[7]	Ｐ	Ｑ	Ｒ	Ｓ	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	７			
[8]	Ｔ	Ｕ	Ｖ	ｔ	ｕ	ｖ	８					
[9]	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	ｗ	ｘ	ｙ	ｚ	９			
[10/0]	０	*3										
[11]	、	。	ー	・	～	！	？	*3				
[12]	*2											

■ 半角カタカナ

[1]	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ	ｫ		
[2]	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ							
[3]	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ							
[4]	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	ｯ						
[5]	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ							
[6]	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ							
[7]	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ							
[8]	ﾔ	ﾕ	ﾖ	ｬ	ｭ	ｮ						
[9]	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ							
[10/0]	*1											
[11]	ﾜ	ｦ	ﾝ	ｰ	･	~	!	?	､	｡	*4	
[12]	*2											

■ 半角英数

<table>
<tr><td>[1]</td><td>.</td><td>/</td><td>-</td><td>(</td><td>)</td><td>[</td><td>]</td><td>@</td><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>[2]</td><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>a</td><td>b</td><td>c</td><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>[3]</td><td>D</td><td>E</td><td>F</td><td>d</td><td>e</td><td>f</td><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>[4]</td><td>G</td><td>H</td><td>I</td><td>g</td><td>h</td><td>i</td><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>[5]</td><td>J</td><td>K</td><td>L</td><td>j</td><td>k</td><td>l</td><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>[6]</td><td>M</td><td>N</td><td>O</td><td>m</td><td>n</td><td>o</td><td>6</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>[7]</td><td>P</td><td>Q</td><td>R</td><td>S</td><td>p</td><td>q</td><td>r</td><td>s</td><td>7</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>[8]</td><td>T</td><td>U</td><td>V</td><td>t</td><td>u</td><td>v</td><td>8</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>[9]</td><td>W</td><td>X</td><td>Y</td><td>Z</td><td>w</td><td>x</td><td>y</td><td>z</td><td>9</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>[10/0]</td><td>0</td><td>*4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">[11]</td><td>.</td><td>@</td><td>-</td><td>_</td><td>/</td><td>:</td><td>!</td><td>?</td><td>~</td><td>(</td><td>)</td><td>*</td></tr>
<tr><td>#</td><td>+</td><td>,</td><td>^</td><td>;</td><td><</td><td>=</td><td>></td><td>$</td><td>¥</td><td>%</td><td>&</td></tr>
<tr><td>[</td><td>]</td><td>'</td><td>`</td><td>{</td><td>|</td><td>}</td><td>"</td><td>*4</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>[12]</td><td colspan="12">*2</td></tr>
</table>

■ 全角記号

	、	。	，	．
￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ
～	‖	｜	…	‥
｝	〈	〉	《	》
÷	＝	≠	＜	＞
＄	￠	￡	％	＃
□	■	△	▲	▽
⊇	⊂	⊃	∪	∩
Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ
新	再	終	二	多

・	：	；	？	！
ゞ	〃	仝	々	〆
‘	’	“	”	（
「	」	『	』	【
≦	≧	∞	∴	♂
＆	＊	＠	§	☆
▼	※	〒	→	←
∧	∨	¬	⇒	⇔
Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ
字	正	双	無	料

゛	゜	´	｀	¨	＾
◯	ー	―	‐	／	＼
）	〔	〕	［	］	｛
】	＋	－	±	×	
♀	°	′	″	℃	￥
★	○	●	◎	◇	◆
↑	↓	〓	∈	∋	⊆
∀	∃	∠	⊥	⌒	∂
∇	≡	‰	♯	♭	♪
手	S	SS	PPV		

■ 半角記号

<table>
<tr><td></td><td>!</td><td>"</td><td>#</td><td>$</td></tr>
<tr><td>:</td><td>;</td><td><</td><td>=</td><td>></td></tr>
<tr><td></td><td>¡</td><td>¢</td><td>£</td><td>¤</td></tr>
<tr><td>°</td><td>±</td><td>²</td><td>³</td><td>´</td></tr>
<tr><td>À</td><td>Á</td><td>Â</td><td>Ã</td><td>Ä</td></tr>
<tr><td>Ð</td><td>Ñ</td><td>Ò</td><td>Ó</td><td>Ô</td></tr>
<tr><td>à</td><td>á</td><td>â</td><td>ã</td><td>ä</td></tr>
<tr><td>ð</td><td>ñ</td><td>ò</td><td>ó</td><td>ô</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>%</td><td>&</td><td>'</td><td>(</td><td>)</td></tr>
<tr><td>?</td><td>[</td><td>¥</td><td>]</td><td>^</td></tr>
<tr><td>¥</td><td>¦</td><td>§</td><td>¨</td><td>©</td></tr>
<tr><td>µ</td><td>¶</td><td>·</td><td>¸</td><td>¹</td></tr>
<tr><td>Å</td><td>Æ</td><td>Ç</td><td>È</td><td>É</td></tr>
<tr><td>Õ</td><td>Ö</td><td>×</td><td>Ø</td><td>Ù</td></tr>
<tr><td>å</td><td>æ</td><td>ç</td><td>è</td><td>é</td></tr>
<tr><td>õ</td><td>ö</td><td>÷</td><td>ø</td><td>ù</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>*</td><td>+</td><td>,</td><td>-</td><td>.</td><td>/</td></tr>
<tr><td>_</td><td>`</td><td>{</td><td>|</td><td>}</td><td>~</td></tr>
<tr><td>ª</td><td>«</td><td>¬</td><td>-</td><td>®</td><td>¯</td></tr>
<tr><td>º</td><td>»</td><td>¼</td><td>½</td><td>¾</td><td>¿</td></tr>
<tr><td>Ê</td><td>Ë</td><td>Ì</td><td>Í</td><td>Î</td><td>Ï</td></tr>
<tr><td>Ú</td><td>Û</td><td>Ü</td><td>Ý</td><td>Þ</td><td>ß</td></tr>
<tr><td>ê</td><td>ë</td><td>ì</td><td>í</td><td>î</td><td>ï</td></tr>
<tr><td>ú</td><td>û</td><td>ü</td><td>ý</td><td>þ</td><td>ÿ</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

（淡灰色のマス）：SJIS 変換に対応しないもの
⇒DVD-Video にダビングした際の DVD メニューでは表示されない（詰まる）文字

（濃灰色のマス）：無効なマス

*1：入力位置フォーカスの未確定文字が小文字、濁音、半濁音のある文字の場合、ボタンを押すと「小文字」に、または「濁音→半濁音」と変化します。
上記以外の場合はボタンを押しても変化しません。

*2：ボタンを押すごとに逆の順番でローテーションします。

*3：全角スペース

*4：半角スペース

ディスク/カードの出し入れ

ディスクを入れる

1 本体またはリモコンの トレイ開/閉 ⏏ を押し、ディスクトレイを開く

2 ディスクをトレイの上に置く

3 本体またはリモコンの トレイ開/閉 ⏏ を押し、ディスクトレイを閉める

ディスクを取り出す

1 本体またはリモコンの トレイ開/閉 ⏏ を押し、ディスクトレイを開く

2 ディスクをトレイから取り出す

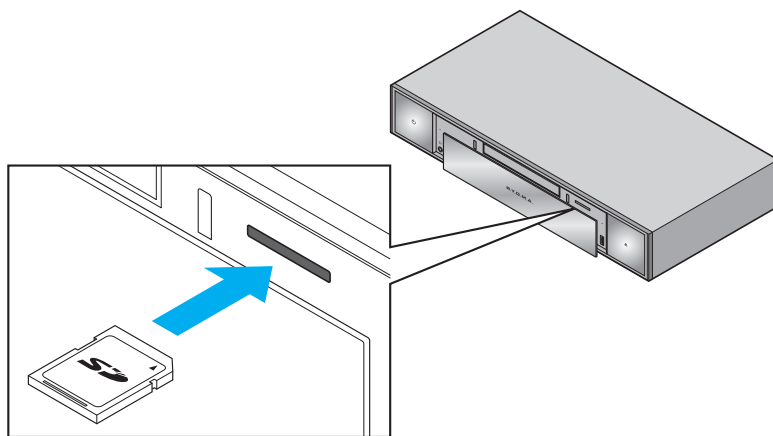
3 本体またはリモコンの トレイ開/閉 ⏏ を押し、ディスクトレイを閉める

SD カードを入れる

SD カードを出し入れするときは、フロントドアを手動で下に移動させてから操作してください。

➡ フロントドアを手動で開閉するには(P.10)

1 SD カードを SD カードスロットに入れる

- 「カチッ」と音がするまで SD カードを押し込んでください。

SD カードを取り出す

1 SD カードを奥に押し込む

- SD カードが押し出され、取り出せるようになります。

2 SD カードを取り出す

- ディスクを入れるときは、ディスクのラベル面を上にして入れてください。ディスクに傷が付いたり、本機が故障する原因となります。

- SD カードを入れるときは、SD カードの向きを確認してください。SD カードの挿入向きを間違えると、本機や SD カードの故障の原因となります。

- MiniSD カード、MicroSD カードを使用するときは、必ず専用のアダプターを装着してください。

準備

■ **お使いになる前に** 22

■ **接続の流れ** 24

Step 1　放送を受信するために 25

Step 2　テレビで見るために 30

Step 3　よい音で聞くために 32

インターネットにつなぐ 35

外部入力端子に外部機器をつなぐ 37

■ **電源コードをつなぐ** 38

■ **かんたん設置設定をする** 39

テレビチャンネルを手動で調整する 45

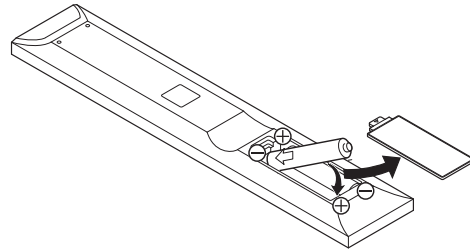
ラジオ放送局を手動で調整する 46

■ **ネットワークの設定をする** 47

お使いになる前に

リモコンを準備する

1 電池を入れる

- 付属の単４形乾電池２本の(＋)(－)を、リモコンの極性表示に合わせて正しく入れてください。

リモコン操作のしかた

リモコンを使うときは、本体正面に向けて操作してください。

リモコンコードがずれてしまったときは

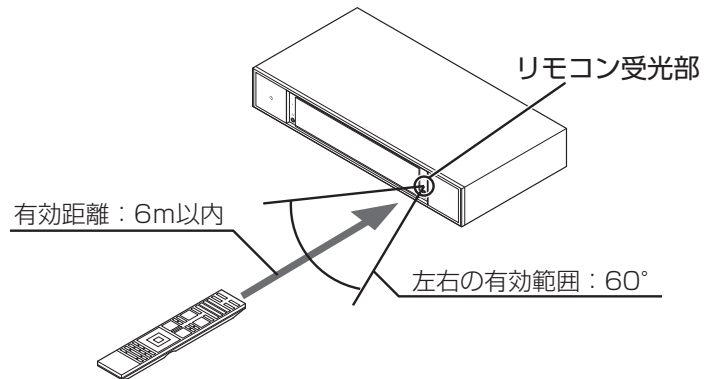
リモコンのいずれかのボタンを押したときに操作ができず、本体表示が以下のようになった場合は、リモコンコードが本体とリモコンとでずれてしまっています。
その場合は、以下の手順でリモコン側のリモコンコードを本体と同じになるよう合わせてください。

リモコン側　本体側

1 [設定]を押し続けながら、本体側のリモコンコードと同じ数字([1])〜[4])を押す

2 [決定]を押してから、[設定]を離す

- 設定画面が表示され、リモコンコードが合ったことが分かります。

3 [戻る]を押して、設定画面を消す

- 電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災･けがや周囲を汚す原因となることがあります。"安全上のご注意" (P.4)をお読みのうえ、正しく取り扱ってください。
- 電池はマンガン、またはアルカリ乾電池をお使いください。
- 不要となった乾電池は、不燃物ごみとして処理するか、地方の条例にしたがって処理してください。
- リモコンを落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。

- 操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、乾電池が消耗しています。乾電池を２本とも新しいものと交換してください。

お使いのテレビをリモコンで操作するには

本機のリモコンで、テレビの電源「入/切」、「入力切換」の操作ができます。他社のテレビを操作するには、設定の変更が必要です。

1 テレビ電源 を押し続ける

- 手順３が終わるまでボタンを押し続けてください。ボタンを離してしまった場合は、手順１からやり直してください。

2 下記表を参考に２桁の数字を順に押す

- 例：シャープ製テレビの場合、8、1 と順に押す

メーカー	押す数字ボタン	左記で動作しなかった場合
ビクター	1 1	
パナソニック	2 1	2 2
三菱	3 1	3 2 〜 3 3
ソニー	4 1	4 2
日立	5 1	5 2 〜 5 5
東芝	6 1	
三洋	7 1	7 2
シャープ	8 1	8 2
パイオニア	9 1	9 2
NEC	10 1	
フナイ	11 1	11 2
アイワ	12 1	12 2

3 決定 を押してから、テレビ電源 を離す

4 テレビが操作できるか確認する

- テレビ電源 を押して、テレビの電源のオンオフができるか確認してください。テレビの電源が入らないときは、もう一度手順１からやり直してください。
- それでもテレビが操作できない場合は、上記表の右側に記載されている番号の組み合わせをお試しください。

- リモコンの電池をはずした状態で長時間放置すると、お買い上げ時の設定（ビクター）に戻ることがあります。電池の交換後、本機が動作しない場合は設定をやり直してください。
- テレビによっては操作できない機種もあります。その場合はテレビのリモコンで操作してください。

✕

- 本機のリモコンで他社のテレビを操作する場合、テレビの電源「入/切」、「入力切換」の操作のみできます。「チャンネル＋/－」ボタン、「数字」ボタン、「音量」ボタンおよび「消音」ボタンの操作は対応しておりません。

接続の流れ

お使いの環境に合わせて設置してください。

Step1 放送を受信するために

- "テレビアンテナをつなぐ" ➡(P.25)
- "ケーブルテレビを見るには" ➡(P.26)
- "B-CAS カードを入れる" ➡(P.27)
- "ラジオアンテナをつなぐ" ➡(P.28)

Step2 テレビで見るために

お使いのテレビに合わせて、接続してください。

- "HDMI ケーブルでつなぐ" ➡(P.30)
- "D 端子ケーブルでつなぐ" ➡(P.30)
- "S 端子ケーブルでつなぐ" ➡(P.31)
- "AV ケーブルでつなぐ" ➡(P.31)

Step3 よい音で聞くために

よい音で聞きたい場合は、スピーカーを接続してください。
(※スピーカーを接続しないときは、テレビから音声を出力します。)

- "スピーカーをつなぐ" ➡(P.32)

- すべての接続が終わったことを確認したあとで、電源コードをつないでください。
➡ 電源コードをつなぐ(P.38)

- 以下の場合は、地上デジタル放送の全部または一部が受信できません。お買上げの販売店、または「総務省 地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター」にご相談ください。
  - 地上デジタル放送を受信する UHF アンテナの向き(放送電波の中継基地)が異なる
  - 電波が弱い
  - デジタル放送対応のアンテナを使っていない
- アンテナの設置や工事、ケーブルの加工には、知識・技術・経験が必要です。お買上げの販売店に依頼されることをおすすめします。
  また、デジタル放送対応の BS・CS/U・V 分波器(市販)や U・V 分配器(市販)が別途必要となることがあります。詳細については、お買上げの販売店にご相談ください。
- ご自分で準備をされる場合は、知識・技術・経験をお持ちの方が行ってください。また、接続の流れを必ずお読みください。

MELINK、アクトビラなどネットサービスを楽しむために

本機をネットワークにつなぐと利用できる機能があります。インターネットにつなぐ場合は、"インターネットにつなぐ" (P.35)をご覧ください。

接続の流れ

Step 1　放送を受信するために

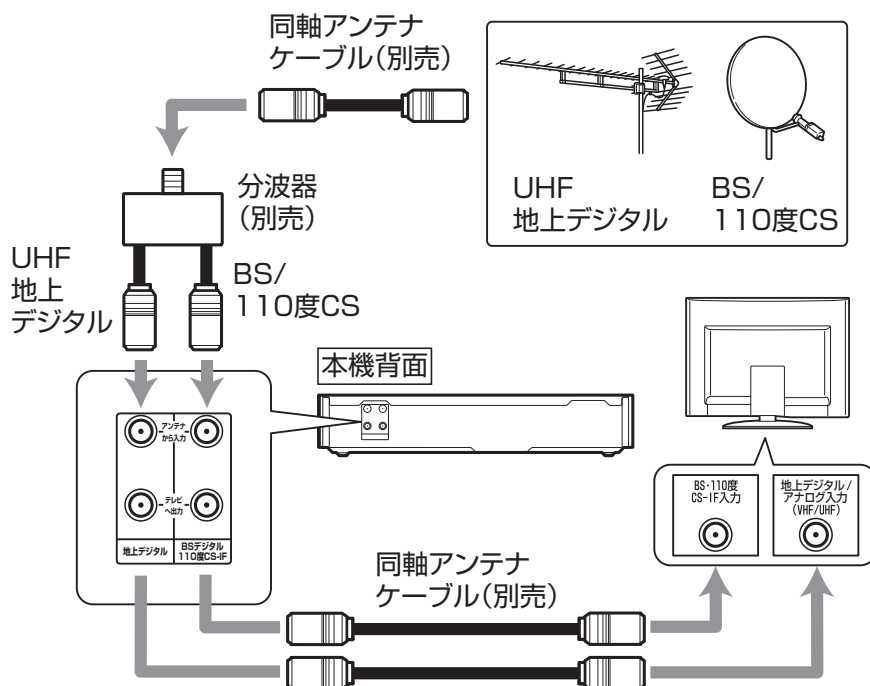
- 本機にはアンテナケーブルが同梱されておりません。お客様の環境に合わせてケーブルを用意してください。
- すべての接続が終わったことを確認したあとで、電源コードをつないでください。

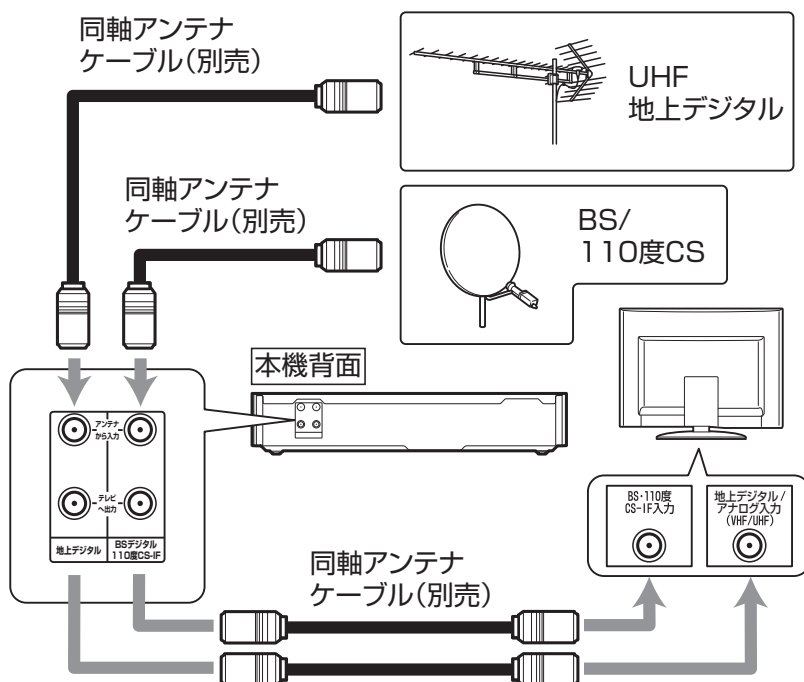
➡ 電源コードをつなぐ（P.38）

テレビアンテナをつなぐ

ご利用になる放送に合わせて、テレビアンテナを本機につないでください。

- ケーブルテレビ（CATV）をご利用の場合は、"ケーブルテレビを見るには" (P.26)をご覧ください。

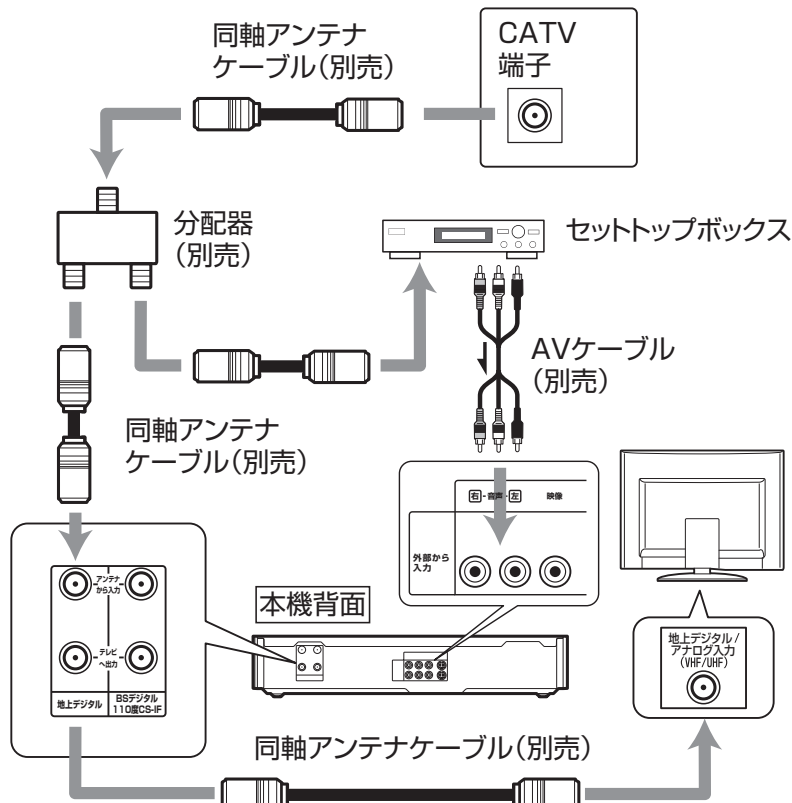
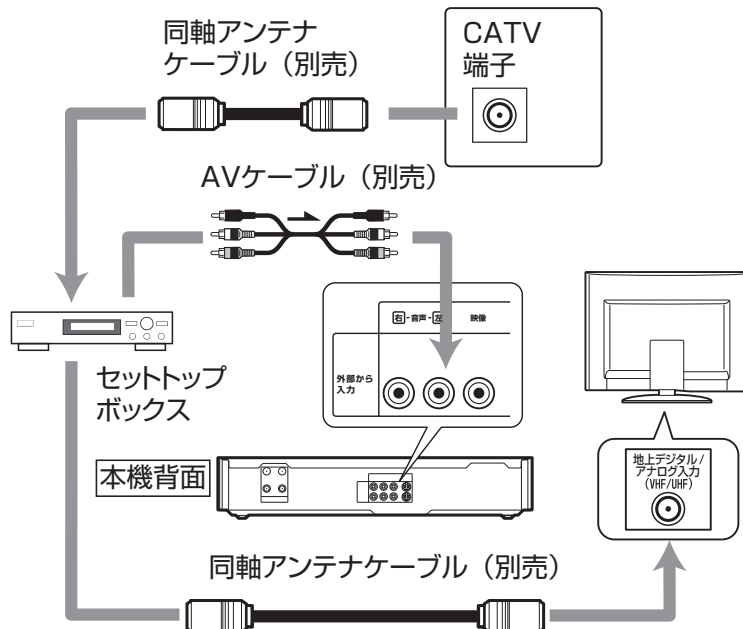
■ **地上デジタル放送と BS/110 度 CS デジタル放送のアンテナ線が一つになっているとき**

■ **地上デジタル放送と BS/110 度 CS デジタル放送のアンテナ線が別々になっているとき**

✕

- 本機の BS アンテナ出力は、本機の電源コードが抜かれている（節電タップで無通電状態も含む）ときに出力されません。
  テレビに本機経由で BS アンテナをつなぐ場合は、本機の電源コードをコンセントから抜かないでください。
- "設置設定"にある "受信設定(衛星)"(P.157)が "オフ"のときは、電源オンの状態でも BS アンテナに出力されません。
  テレビに本機経由で BS アンテナをつなぐ場合は、"受信設定(衛星)"を "オン"に設定してください。
- 本機はアナログテレビチューナーを搭載しておりません。地上デジタル放送に対応してないアンテナでは、テレビ番組を視聴することができません。

- アンテナやケーブル、プラグは、デジタル放送対応のものをお使いください。
  アンテナ線の加工が必要な場合は、お買上げの販売店にご相談ください。
- 受信する放送の種類によっては、分波器（市販品）や分配器（市販品）が必要です。

ケーブルテレビを見るには

ケーブルテレビ(CATV)の放送はサービスの行われている地域でのみ受信でき、使用する機器ごとにケーブルテレビ会社との受信契約が必要です。

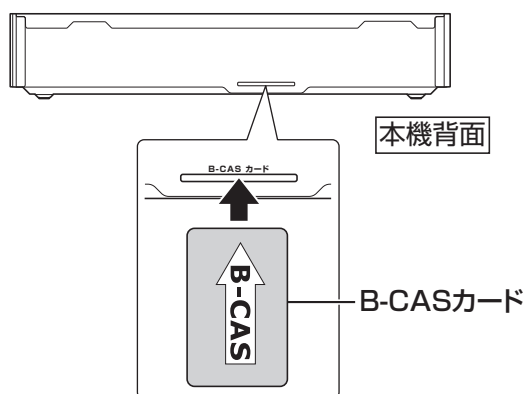
■ **ケーブルテレビ(CATV)の信号方式がパススルー方式のとき**

■ **ケーブルテレビ(CATV)の信号方式がパススルー方式ではないとき**

- 本機の外部入力端子に入力する場合、設定メニュー”外部入力設定”の"外部入力設定" (P.159)を”映像機器”に設定してください。
- ケーブルテレビ会社によって仕様や接続方法、受信できる放送が異なります。詳しくはケーブルテレビ会社にご相談ください。
- コピーガードやスクランブルのかかった有料番組を視聴・録画するためには、ケーブルテレビ会社専用のホームターミナルやセットトップボックスが必要です。接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- パススルー方式は、ケーブルテレビ会社が地上デジタル放送を再送信する伝送方法です。
  ご契約のケーブルテレビ会社がパススルー方式に対応している場合は、ケーブルテレビ会社専用のホームターミナルやセットトップボックスを経由せずに、本機で地上デジタル放送が直接受信できます。

✕

- 地上/BS/110度CSデジタル放送をケーブルテレビのホームターミナルやセットトップボックス経由で録画したときは、HD放送でもハイビジョン画質では録画されません。

B-CAS カードを入れる

デジタル放送を見るためには、付属の B-CAS カードを入れる必要があります。本機に B-CAS カードが入っていないと、デジタル放送の視聴・録画ができません。

1 矢印の面を上にして、奥までまっすぐに止まるまで差し込む

■ B-CAS カードの取り扱いについて

B-CAS カードには IC(集積回路)が組み込まれております。取り扱いには、左記の項目に注意してください。

■ B-CAS カードのユーザー登録をする(登録無料)

付属の B-CAS カードの台紙に記載されている文面をよくお読みのうえ、B-CAS カードをご登録ください。
台紙の一部が登録用ハガキとなっています。必要事項をご記入のうえ、投函してください。
またインターネットでも登録できます。

- B-CAS カードに個人情報が書き込まれることはありません。
  有料放送を視聴するときに、登録が必要になる場合があります。また、デジタル放送の各種サービスのご利用や B-CAS カードの交換などのために、登録されることをおすすめします。
- B-CAS カードについてのお問い合わせ (2010 年 5 月現在)
  (株)ビーエス・コンディショナルアクセス・システムズ　カスタマーセンター
  TEL 0570-000-250　　受付時間 10:00〜20:00 (年中無休)
  http://www.b-cas.co.jp/

- 本機を使用中はカードを抜き差ししないでください。正常に視聴できなくなる場合があります。
  B-CAS カードの抜き差しは、必ず本機の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いて行ってください。
- 挿入口に B-CAS カード以外のものを入れないでください。故障や破損の原因になります。
- B-CAS カードを裏向きや逆方向に入れないでください。間違って入れた場合は、B-CAS カードが機能しません。
- カードを折り曲げたり、変形させたりしないでください。
- カードの上に重いものをのせたり、カードを踏みつけたりしないでください。
- IC 部には、手を触れないでください。
- カードの分解・加工をしないでください。
- 画面に B-CAS カードに関するメッセージが表示されたとき以外は、カードの抜き差しをしないでください。必要以上にカードの抜き差しをすると破損の原因になります。

ラジオアンテナをつなぐ

AM/FM ラジオ放送を聞くには、ラジオアンテナを本機につないでください。

■ AM ループアンテナ(付属)をつなぐ

1 AM ループアンテナを組み立る

2 赤と白の配線を AM アンテナ端子につなぐ

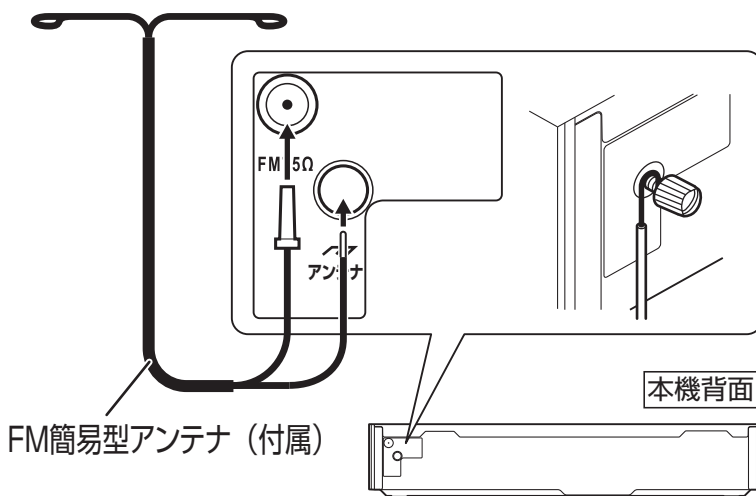
3 黒の配線をアンテナアース端子につなぐ

4 AM ループアンテナを左右に回し、受信状態の良い方向に向ける

アンテナアース端子は、付属の AM ループアンテナおよび FM 簡易型アンテナの専用端子です。
安全アースではないので、壁にあるアース端子につながないでください。火災や他の機器が故障する原因となります。

- アンテナ線が他の端子やケーブルに触れないようにご注意ください。受信の妨げになることがあります。
- AM ループアンテナは、アンテナ線が枠に巻かれた状態のままお使いください。枠からはずすとアンテナの効果がなくなり、感度が悪くなります。
- 雑音の原因となることがあるので、A Mループアンテナは、本体やテレビおよび他のＡＶ機器から離して設置してください。

- アンテナの設置場所は、準備がすべて完了したあとに実際の放送を聞きながら調節してください。通常、窓の近くに設置すると受信状態が良くなります。

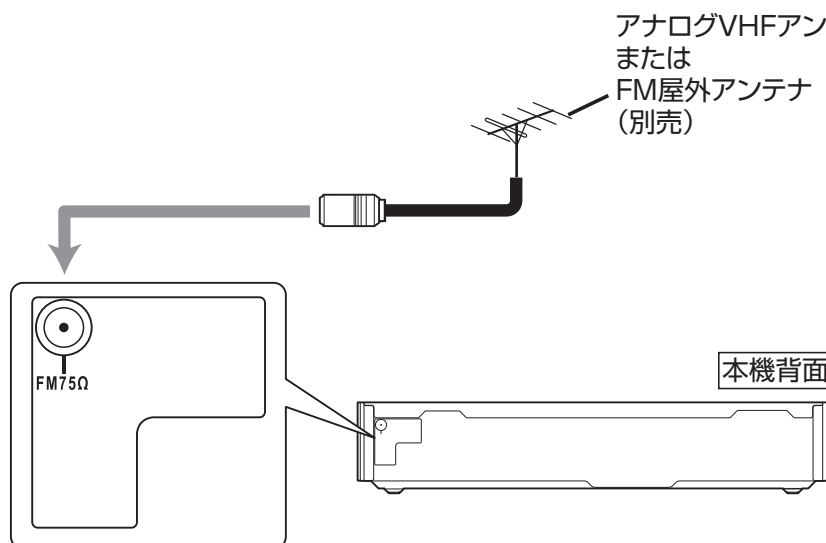
■ FM 簡易型アンテナ(付属)をつなぐ

1 付属の FM 簡易型アンテナのソケットが付いている配線を FM アンテナ端子中央の軸につなぐ

2 ケーブルの先端が露出している黒の配線を、アンテナアース端子につなぐ

3 ＦＭ簡易型アンテナを左右に回し、受信状態の良い位置と方向に固定する。

アンテナアース端子は、付属の AM ループアンテナおよび FM 簡易型アンテナの専用端子です。
安全アースではないので、壁にあるアース端子につながないでください。火災や他の機器が故障する原因となります。

FM 屋外アンテナやマンションなどの壁の共聴アンテナを使う場合

付属の FM 簡易型アンテナでうまく受信できないときは、FM 屋外アンテナやマンションなどの壁の共聴アンテナをお使いください。

- アンテナの設置場所は、準備がすべて完了したあとに実際の放送を聞きながら調節してください。通常、窓の近くに設置すると受信状態が良くなります。
- 付属のアンテナ以外を接続する場合、詳しくはアンテナおよびアンテナコネクターの取扱説明書をご覧ください。
- ケーブルテレビ会社と契約しているマンションにお住まいの場合、共聴アンテナ端子に本機の FM 端子を接続していると、FM 放送局の周波数が通常と異なることがあります。
  詳細は、ご契約のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。
- アナログテレビ(VHF)アンテナをお使いの場合は、FM アンテナの代用として受信できることがあります。

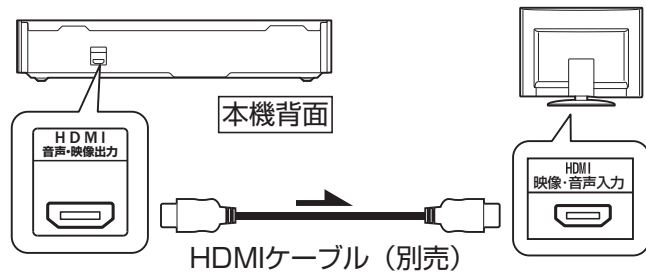
Step 2　テレビで見るために

- HDMI ケーブルは、HDMI ロゴの付いているものをお使いください。
- HDMI ケーブルは、最大で 1080p の HD 信号の伝送試験に合格している「高速対応 HDMI ケーブル」をご使用ください。
- HDMI ケーブルは、コネクタ部の大きさや形状によって接続できないことがあります。
- 本機の HDMI 出力端子は、DVI 入力端子付きディスプレイモニターや DVI-HDMI ケーブルには対応していません。
  HDMI 入力端子付きディスプレイモニターの場合は、HDMI 規格に準拠していれば利用できます。
- HDMI ケーブルでつなぐと、HDMI-CEC 機器制御（リンク）機能が使えます
  詳しくは、"HDMI 機器制御（HDMI-CEC）機能を使うには" (P.148)をご覧ください。

- D 端子ケーブルのみでは音声が伝送されません。一緒にオーディオケーブルもつないでください。
- オーディオケーブルの代わりに AV ケーブルをつないだときは、映像端子用の黄色のプラグはつながないでください。
  黄色のプラグにつなぐと、テレビによっては映像が乱れることがあります。
- コンポーネント端子付きのテレビの場合は、D 端子・コンポーネントケーブルをご使用ください。

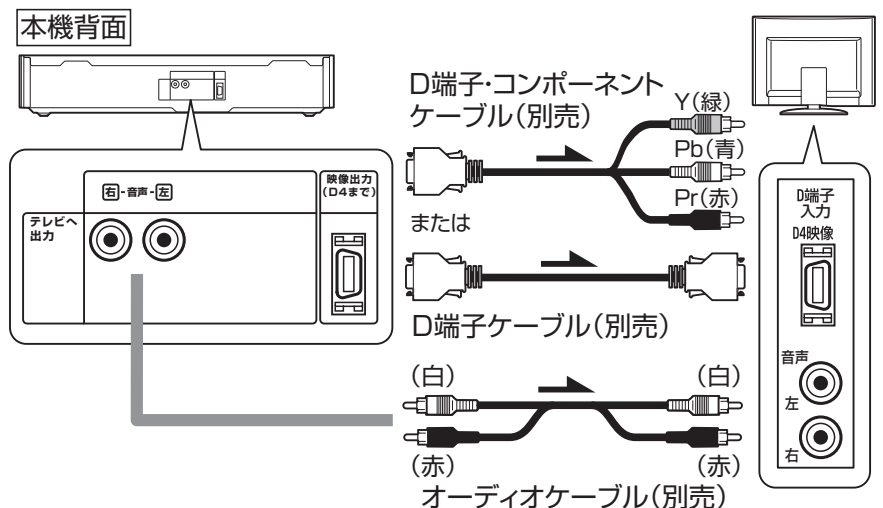
準備　本機には映像および音声ケーブルが同梱されておりません。お客様の環境に合わせてケーブルを用意してください。

HDMI ケーブルでつなぐ

1 本機とテレビを HDMI ケーブル（別売）でつなぐ

音声を HDMI 端子から出力し、映像を D 端子から出力する場合は、"HDMI テレビ出力設定"の "HDMI 映像優先モード"を "オフ"に設定してください。すべての準備が完了したあとに、お使いの環境に合わせて設定してください。

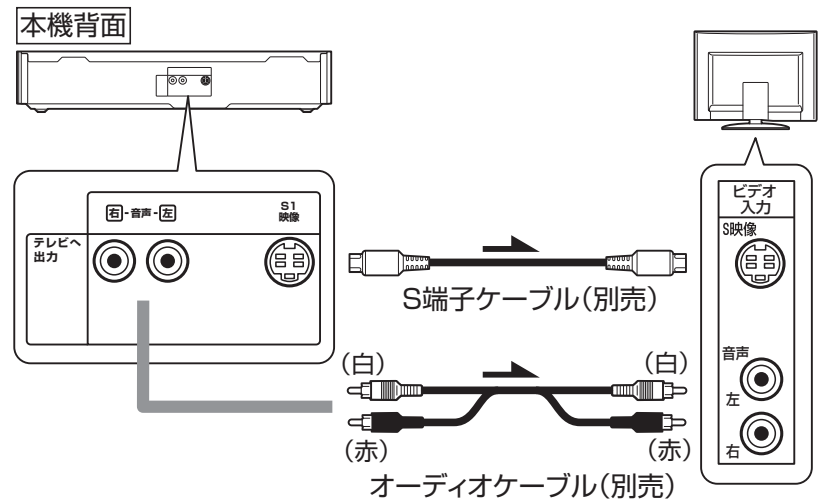
- 外部アンプをつなぐ場合は、(P.34)をご覧ください。
- HDMI 映像優先モードの設定については、(P.159)をご覧ください。

D 端子ケーブルでつなぐ

1 本機とテレビを D 端子ケーブル（別売）/D 端子・コンポーネントケーブル（別売）でつなぐ

本機とテレビを D 端子ケーブルで接続したときは、必要に応じて "D 端子出力解像度"の設定を変更してください。すべての準備が完了したあとに、テレビの D 映像端子に合わせて設定してください。

- D 端子出力解像度の設定については、(P.160)をご覧ください。

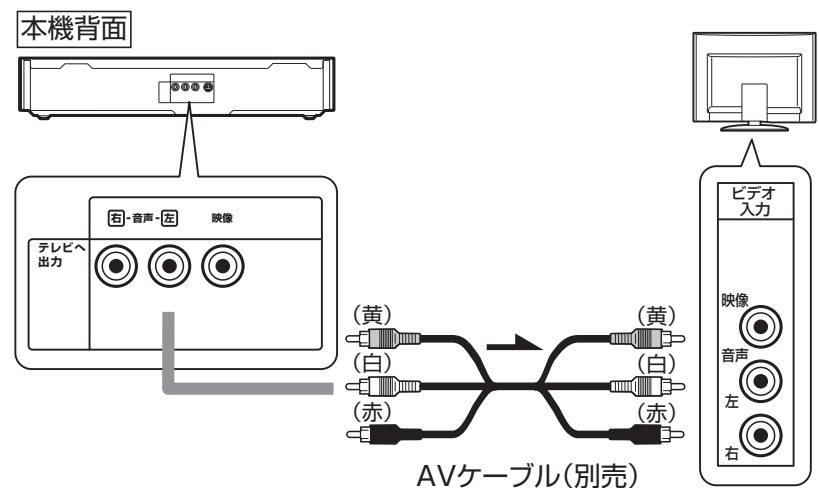
S 端子ケーブルでつなぐ

1 本機とテレビを S 端子ケーブル（別売）でつなぐ

本機とテレビを S 端子ケーブルで接続したときは、必要に応じて "S 端子ワイドモード"の設定を変更してください。すべての準備が完了したあとに、接続したテレビに合わせて設定してください。

- S 端子ワイドモードの設定については、（P.160）をご覧ください。

- D 端子ケーブル、S 端子ケーブルをつないだときは、AV ケーブルの黄色のプラグ（映像端子用）はつながないでください。
  黄色のプラグにつなぐと、テレビによっては映像が乱れることがあります。
- S 端子ケーブル、AV ケーブル接続時はハイビジョン画質になりません。
- 本機とテレビとの接続の際、ビデオデッキなどを間に接続すると画像が乱れる場合がございます。きれいな画像をお楽しみいただくためには、本機とテレビは直接接続することをお勧めいたします。

AV ケーブルでつなぐ

1 本機とテレビを AV ケーブル（別売）でつなぐ

Step 3　よい音で聞くために

本機にはスピーカーケーブルが同梱されておりません。お客様の環境に合わせてケーブルを用意してください。

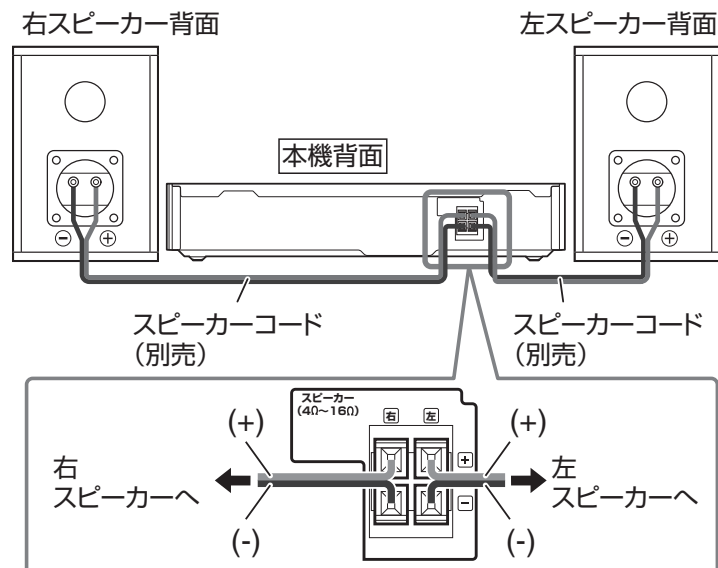
スピーカーをつなぐ

本機はアンプを内蔵していますので、スピーカー(別売)を直接つないで音声を聞くことができます。

- スピーカーから音声を出す場合は、オプションメニューの "音声出力設定"を "本機のスピーカー"に設定してください。

➡ (P.56)
➡ (P.99)

- スピーカーをつないだときは、設定メニュー "入出力設定"の "スピーカー設定"から、スピーカーに合わせて "接続スピーカー"を設定してください。
  スピーカーをつながずにテレビから音を聞くときは、"接続スピーカー"の設定を "接続なし"にしてください。

➡ (P.161)

推奨スピーカー

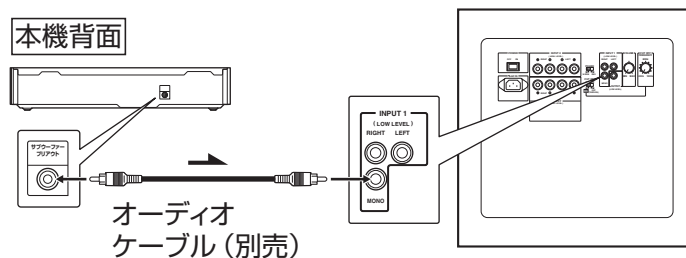
- ビクター製 SX-WD30 シリーズ
- ビクター製 SX-WD50 シリーズ
- ビクター製 SX-L33 シリーズ(SX-L33BK/SX-L33MK2 など)
- ビクター製 SX-LT55 シリーズ(SX-LT55BK/SX-LT55MK2 など)
- ケンウッド製 LS-K711 シリーズ
- ケンウッド製 LS-K1000 シリーズ
- ビクター製 SP-MA1

- 必ず本機の電源を切った状態でつないでください。

- スピーカーコードの接続を間違えると、ステレオ感や音質がそこなわれます。
- 本機に接続できるスピーカーのインピーダンスは4Ω~16Ω になります。

サブウーファー（アンプ内蔵型）スピーカーをつなぐ

アンプ内蔵サブウーファー（別売り）を接続すると、より迫力のある重低音をお楽しみいただけます。必要に応じてサブウーファーを接続してください。詳しくは、サブウーファーの取扱説明書をご覧ください。

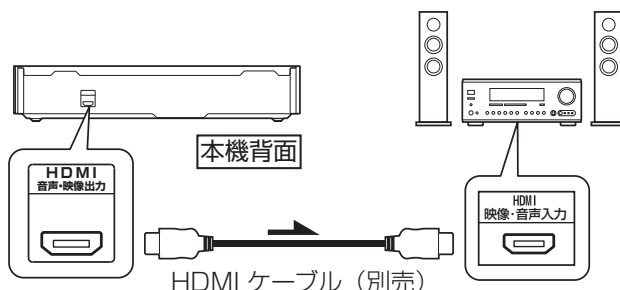
1 サブウーファープリアウト端子にオーディオケーブルをつなぐ

- サブウーファーをつないだときは、設定メニュー "入出力設定"の "スピーカー設定"で、"サブウーファー"を "オン"に設定してください。

➡（P.161）

外部アンプをつなぐ場合は

本機と外部アンプを HDMI ケーブルでつないで、音声を聞くことができます。

1 本機と外部アンプを HDMI ケーブル(別売)でつなぐ

- 外部アンプの HDMI 入力端子に HDMI ケーブルをつないでください。

2 外部アンプとテレビを HDMI ケーブル(別売)でつなぐ

- 外部アンプとテレビの接続方法については、外部アンプの取扱説明書をご覧ください。

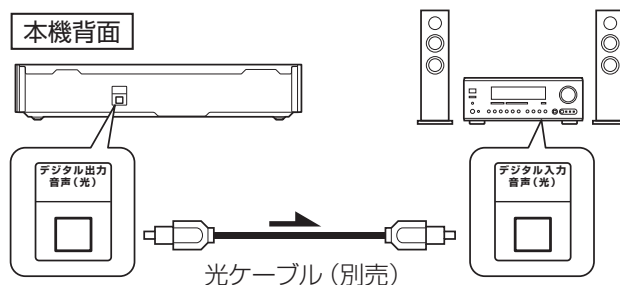
音声を HDMI 端子から出力し、映像を D 端子から出力するには

映像と音声を別々に出力することができます。

1. 本機と外部アンプを HDMI ケーブル(別売)でつなぐ
2. 本機とテレビを D 端子ケーブル(別売)/D 端子・コンポーネントケーブル(別売)でつなぐ
3. "HDMI 映像優先モード" (P.159)および"D 端子出力解像度" (P.160)を設定する
   - すべての準備が完了したあとに、お使いの環境に合わせて設定してください。

光オーディオケーブルで外部アンプにつなぐには

1. 本機と外部アンプを角型の光オーディオケーブル(別売)でつなぐ

- HDMI ケーブルは、最大で 1080p の HD 信号の伝送試験に合格している「高速対応 HDMI ケーブル」をご使用ください。
- HDMI ケーブルは、コネクタ部の大きさや形状によって接続できないことがあります。
- 接続する外部アンプが HDMI CEC(リンク機能)に対応してない場合は、HDMI CEC が正常に働かない場合があります。詳しくは、外部アンプ取扱説明書および"HDMI 機器制御(リンク)機能を使う" (P.148)をご覧ください。

インターネットにつなぐ

本機をネットワークにつなぐことで、以下の機能が利用できます。

- MELINK
- アクトビラ
- デジタル放送の情報サービス
- CD のタイトル情報の取得
- BD-Live で特典映像や追加字幕などをダウンロード

ブロードバンド環境をお持ちの場合

- 回線の種類や回線業者、プロバイダーにより、必要な機器と接続方法が異なります。
  ADSL モデムやブロードバンドルーター、ハブ、スプリッター、ケーブルは、回線業者やプロバイダーが指定する製品をお使いください。
- 本機では、ブロードバンドルーターやブロードバンドルーター機能付き ADSL モデムなどの設定はできません。
  お使いのモデムやブロードバンドルーターの取扱説明書をご覧になり、パソコンなどで設定してください。
- 接続方法などご不明な点につきましては、プロバイダーや回線業者、およびケーブル会社にご相談ください。

ブロードバンド環境をお持ちでない場合

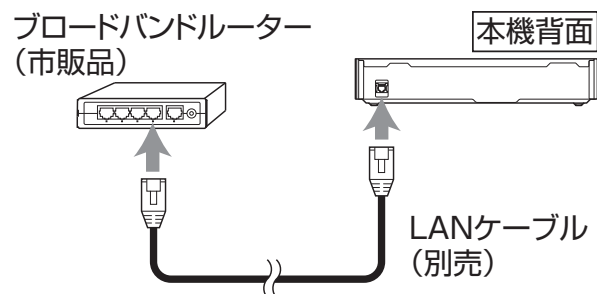
- プロバイダーおよび回線業者と別途ご契約(有料)する必要があります。
  詳しくは、プロバイダーまたは回線業者にご相談ください。

ネットワークとつなぐ前に

- 有線ネットワークと無線ネットワークは同時に使用できません。下記のどちらかを選んで設定してください。

➡ 有線ネットワークとつなぐ(P.35)
➡ 無線ネットワークとつなぐ(P.36)

有線ネットワークとつなぐ

1 LAN 端子に LAN ケーブルをつなぐ

- 電気通信端末機器認定品の市販ルーター等を用いて LAN 接続してください。
- 設置がすべて終了したあとに、かんたん設置設定をし、ネットワークの設定をしてください。

➡ ネットワークの設定をする(P.47)

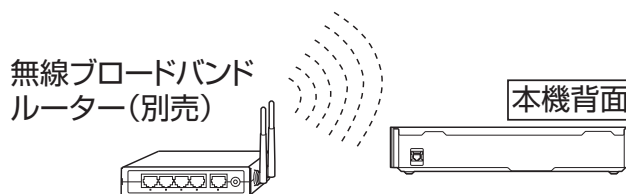
- LAN 端子に電話用のモジュラーケーブルをつながないでください。電話機が使えなくなったり、故障の原因になります。

- LAN ケーブルは、10BASE-T/100BASE-TX タイプをご使用ください。
- LAN ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの 2 種類があり、モデムやルーターなどの種類によって使用するものが異なります。詳しくは、モデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。

無線ネットワークとつなぐ

本機は無線 LAN に対応しており、"IEEE 802.11b/g/n"の無線ネットワーク接続することができます。

設置がすべて終了したあとに、かんたん設置設定をし、ネットワークの設定をしてください。

➡ ネットワークの設定をする（P.47）

市販のアクセスポイントについて

- 本機と無線で接続する場合、無線 LAN 対応のアクセスポイント（ブロードバンドルーター）が必要になります。
- ご使用の無線 LAN 対応アクセスポイント（ブロードバンドルーター）の詳細については、各機器の取扱説明書をごらんください。

対応規格について

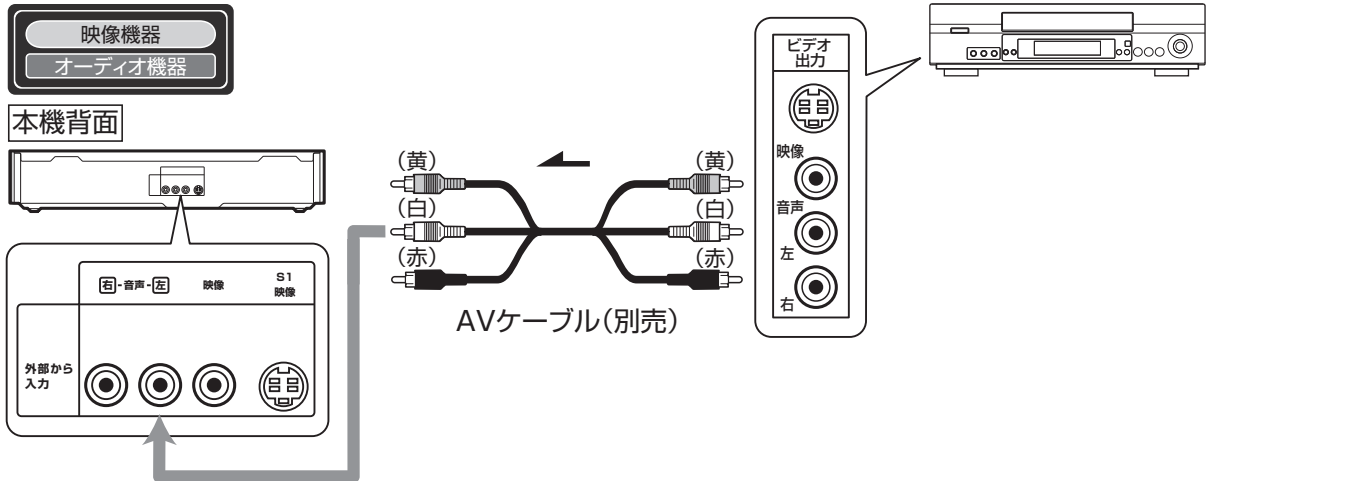
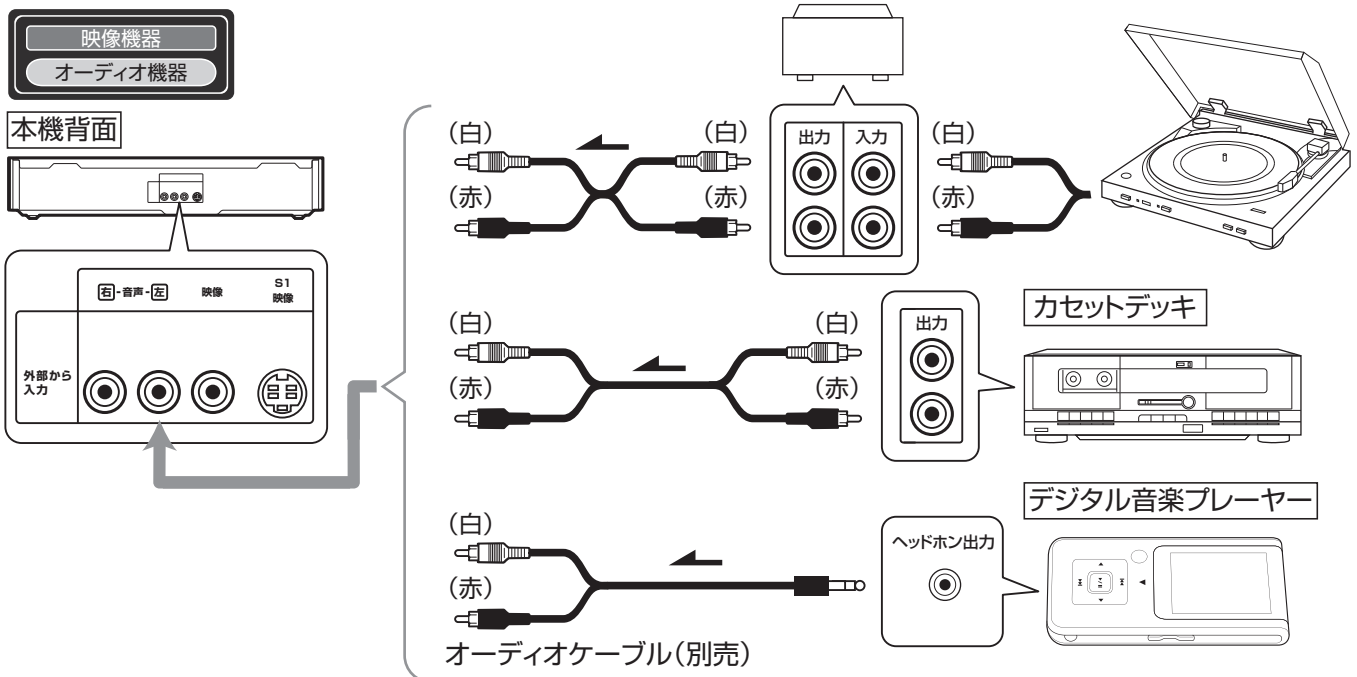
- 本機は 2.4GHz 帯の無線 LAN 規格 IEEE802.11b/g/n（2.4GHz）に対応しております。
  （高速化規格である 11n での接続を推奨します。）
- 5GHz 帯の無線 LAN 規格 IEEE802.11a/11n(5GHz)には対応しておりません。

- 無線 LAN は周囲の電波環境及び住宅環境により伝送速度が下がったり、接続できない場合があります。"安全上のご注意" (P.6)をご確認の上、無線ネットワーク接続してください。
- 本機で対応するセキュリティー方式（暗号方式）は WPA2-PSK（AES/TKIP)/ WPA-PSK（AES/TKIP)/ WEP（Open 方式)になります。
- 本機は公衆のアクセスポイントには対応しておりません。また利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。接続すると不正アクセスとみなされ、法律に触れる場合があります。

外部入力端子に外部機器をつなぐ

外部機器(カセットデッキやビデオデッキなど)を外部入力端子につなぐと、外部機器から録音や録画ができます。

- 接続する機器に合わせて、設定メニュー "入出力設定"の "外部入力設定"(P.159)で、"外部入力"を "映像機器"または "オーディオ機器"に設定してください。

映像機器とつなぐ場合

オーディオ機器とつなぐ場合

- 他の機器からの録音や録画については、下記をご覧ください。

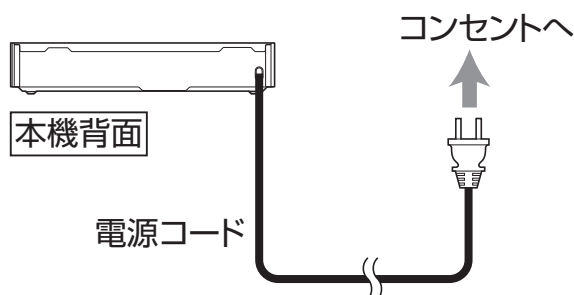
➡ 外部機器の音声を録音する(P.58)
➡ 外部機器の映像を録画する(P.101)

- S端子ケーブルをつないだときは、映像·音声ケーブルの黄色のプラグ(映像端子用)はつながないでください。黄色のプラグにつなぐと、テレビによっては映像が乱れることがあります。

- 本機の外部入力端子は、背面の 1 系統のみです。映像機器或いはオーディオ機器を 1 台のみ接続できます。ケーブルテレビのセットトップボックスを外部入力端子につないでいる場合は、外部機器をつなぐことができません。

電源コードをつなぐ

準備 すべての接続が終わったことを確認したあとで、電源コードをつないでください。

1 電源コードをコンセントにつなぐ

電源を入れるには

1 テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を本機に切り換える

2 電源 ⏻ を押して本機の電源を入れる

- 電源が入るとパネル表示部に "HELLO"と表示され、電源ランプが点滅します。
- 電源ランプが点滅から白く点灯するまでお待ちください。

初めて本機の電源を入れたときに、自動的にかんたん設置設定の画面が表示されます。画面の案内に従って、設定してください。

開始	:	かんたん設置を実行する場合に選んでください。
中止	:	今は設定しない場合に選んでください。 次回、電源入り時、またかんたん設置設定画面が表示されます。
設定しない	:	次回以降、かんたん設置設定画面は自動で表示されません。 かんたん設置設定を行いたい場合は、設定メニューの"かんたん設置設定" (P.157)からやり直してください。

かんたん設置設定については、"かんたん設置設定をする" (P.39)をご覧ください。

- 電源は AC(交流) 100V を使ってください。AC(交流) 100V 以外の電源で使用すると、火災や感電の原因となります。

かんたん設置設定をする

準備

- かんたん設置設定をテレビに表示する

1. テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を本機に切り換える

2. 電源 ⏻ を押して本機の電源を入れる

   - 電源が入るとパネル表示部に "HELLO"と表示され、電源ランプが点滅します。
   - 電源ランプが点滅から白く点灯するまでお待ちください。
   - 初めて本機の電源を入れたときに、自動的にかんたん設置設定の画面が表示されます。画面の案内に従って、設定してください。

3. "開始"を選び、決定 を押す

   中止　：今は設定しない場合に選んでください。
   次に電源を入れたときに、もう一度かんたん設置設定画面が表示されます。

   設定しない　：次回以降、かんたん設置設定画面は自動で表示されません。
   かんたん設置設定を行いたい場合は、設定メニューの"かんたん設置設定" (P.157)からやり直してください。

4. 内容を確認し、決定 を押す

かんたん設置設定の流れ

Step1 地域設定をする

■ ➡(P.40)

Step2 地上デジタル放送のチャンネルを設定する

■ ➡(P.41)

Step3 BS・110度CSアンテナの設定をする

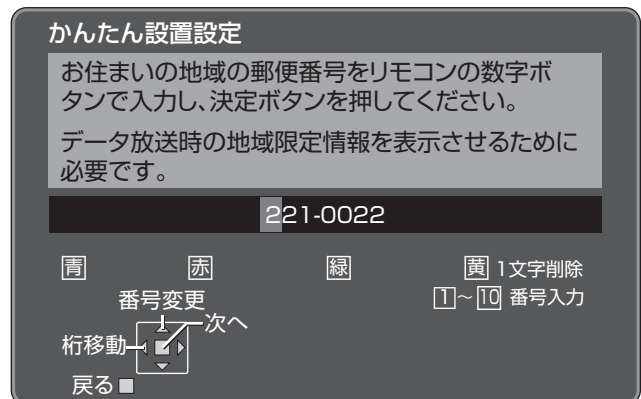
■ ➡(P.42)

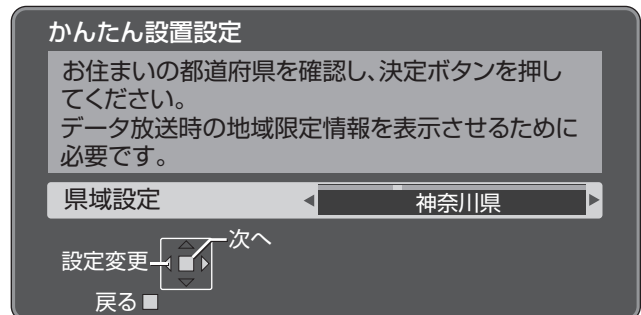
Step4 ラジオ受信の設定をする

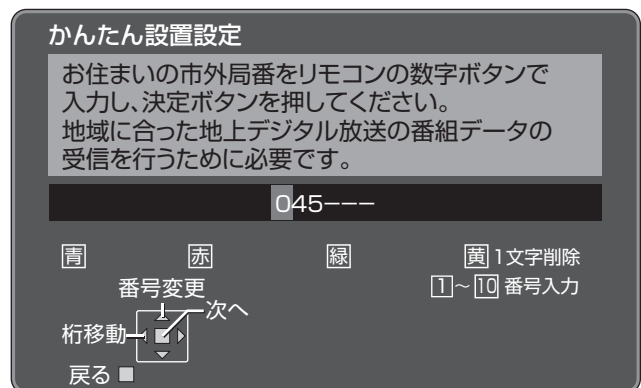
■ ➡(P.44)

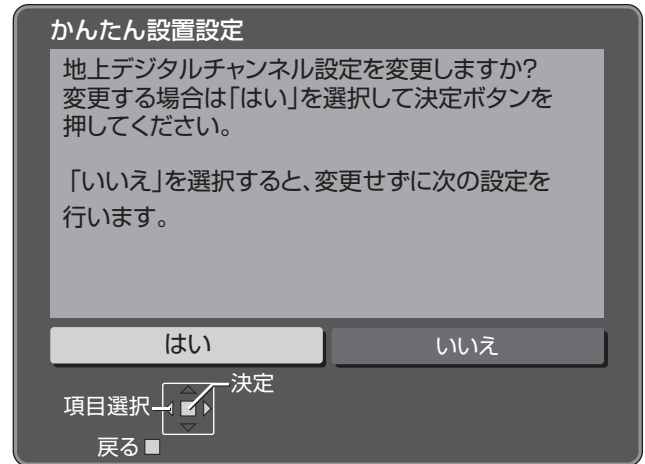
1 地域設定をする

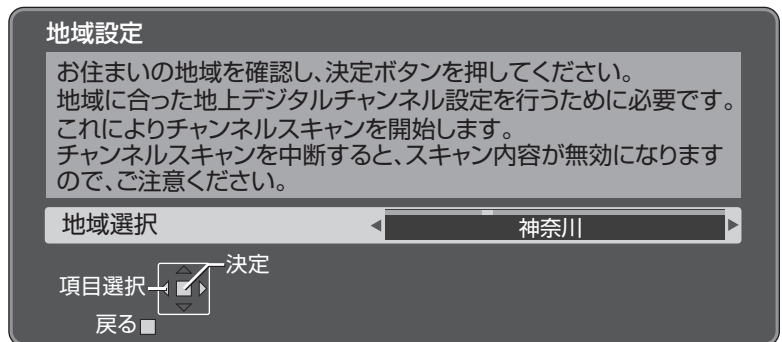
1 お住まいの郵便番号を入力し、決定を押す

- 1～10でお住まいの郵便番号を入力してください。

2 お住まいの都道府県を選び、決定を押す

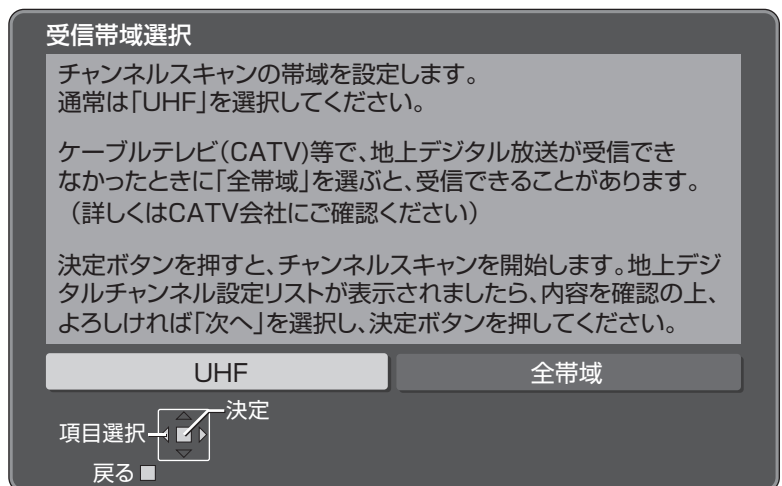
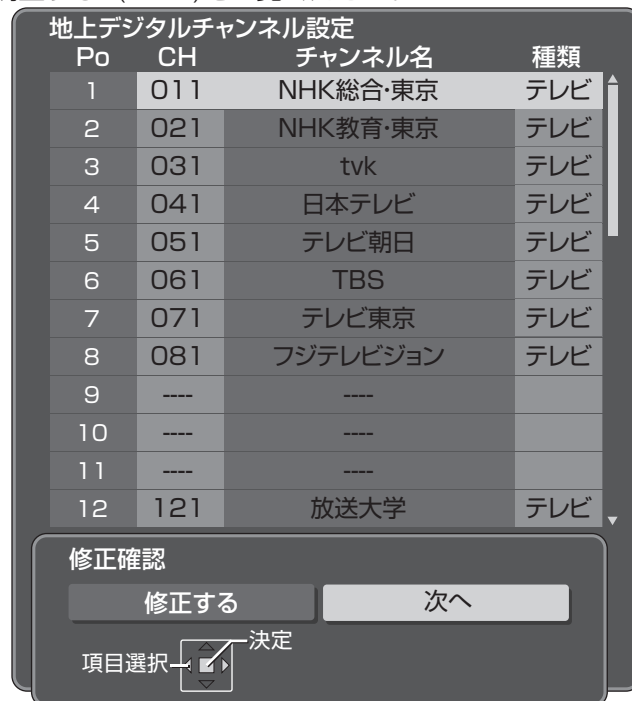
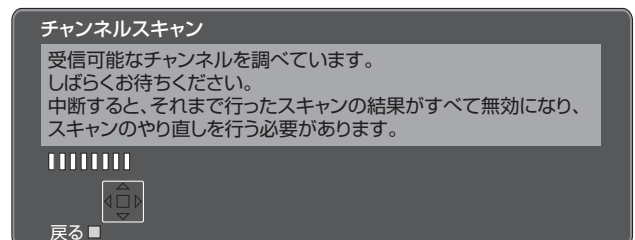
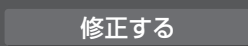
- ◁ / ▷ でお住まいの都道府県を選んでください。

3 お住まいの市外局番を入力し、決定を押す

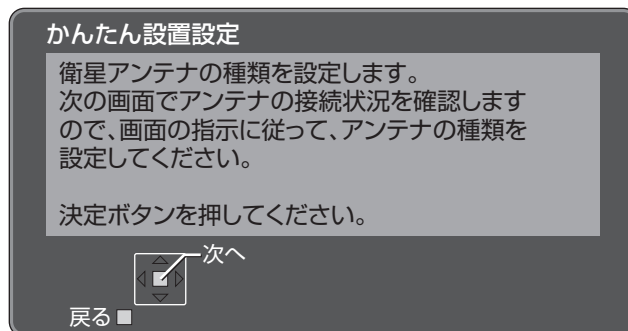
- 1～10でお住まいの市外局番を入力してください。

2 地上デジタル放送のチャンネルを設定する

1 "はい"を選び、決定を押す

2 お住まいの地域を選び、決定を押す

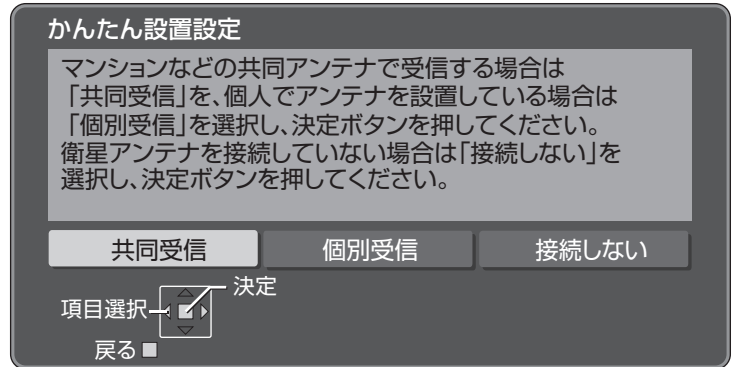
- ◁ / ▷ でお住まいの地域を選んでください。

3 チャンネルスキャンの帯域を選び、決定を押す

UHF　：通常はこちらを選んでください。

全帯域　：ケーブルテレビ(CATV)をお使いの場合で、地上デジタル放送が周波数変換パススルー方式で再送信されているときに選んでください。

- チャンネルスキャンが始まります。
  スキャンが終わると、チャンネル設定画面が表示されます。

4 チャンネル設定の内容を確認し、"次へ"を選び、決定を押す

- 修正する場合は、"修正する"を選び、決定を押して修正してください。
  手動で調整する場合は、"テレビチャンネルを手動で調整する" (P.45)をご覧ください。

3 BS·110度CSアンテナの設定をする

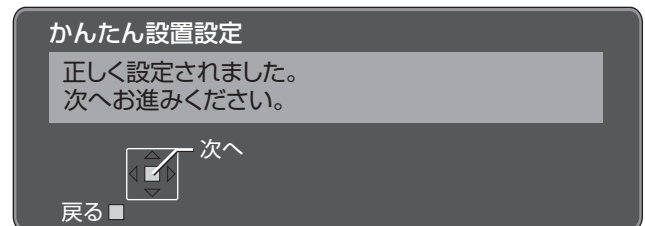
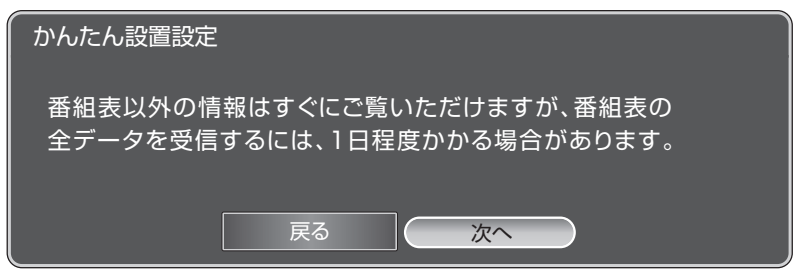
1 決定を押す

2 BS･110 度 CS アンテナの受信方法を選び、決定を押す

共同受信 ："受信設定"画面の "アンテナ電源"が "オフ"に設定され、本機から BS･110 度 CS アンテナに電源を供給しません。
以下の場合に選んでください。

- 他の機器（テレビなど）から BS･110 度 CS アンテナに電源を供給しているとき
- マンションなどで共同受信しているとき
- ケーブルテレビ(CATV)で受信しているとき

個別受信 ："受信設定"画面の "アンテナ電源"が "オン"に設定され、本機から BS･110 度 CS アンテナに電源を供給します。
本機と BS･110 度 CS アンテナを直接つないだとき、または本機からアンテナ電源供給が必要なときに選んでください。

接続しない：衛星アンテナを接続していないときに選んでください。

3 決定を押す

4 "次へ"を選び、決定を押す

4 ラジオ受信の設定をする

1 どちらかを選び、決定 を押す

設定する　：放送局を設定する場合に選んでください。放送局が自動で登録されます。
手動で調整する場合は、"かんたん設置設定で自動登録した放送局の受信設定を手動で調整することができます。チャンネル番号(プリセット番号)の変更や、放送局を追加したいときに、調整してください。" (P.46)をご覧ください。
設定しない：FM/AM ラジオを使わない場合に選んでください。

- "設定する"を選び、決定 を押すと、受信可能な放送局が自動登録されます。自動登録が終わると、確認画面が表示されます。

- "確認する"を選び、決定 を押すとプリセット結果が確認できます。

プリセット番号	周波数	放送局名
1	76.1MHz	InterFM
2	76.5MHz	InterFM
3	77.1MHz	放送大学
4	77.7MHz	77.7MHz
5	78.0MHz	bayfm78
6	78.6MHz	FM FUJI
7	79.1MHz	79.1MHz
8	79.5MHz	Nack5
9	80.0MHz	TOKYO FM
10	81.3MHz	J-WAVE
11	81.9MHz	NHK FM
12	82.5MHz	NHK FM

プリセット番号	周波数	放送局名
1	594KHz	NHK第一
2	693KHz	NHK第二
3	954KHz	TBSラジオ
4	1134KHz	文化放送
5	1242KHz	ニッポン放送
6	---	---
7	---	---
8	---	---
9	---	---
10	---	---
11	---	---
12	---	---

2 "次へ"を選び、決定 を押す

- ラジオ受信の設定が終了します。

5 決定 を押す

かんたん設置設定

かんたん設置設定はこれで終わりです。
MELINK、アクトビラ、BD-Liveを視聴する場合は
設定メニューのネットワーク設定を行ってください。

閉じる

かんたん設置設定をやりなおすには

"設定メニュー"の "かんたん設置設定"を選ぶと、かんたん設置設定をやりなおせます。

1 設定 を押す

- 設定メニュー画面が表示されます。

2 "放送受信設定"の "かんたん設置設定"を選び、決定 を押す

- かんたん設置設定の画面が表示されます。画面の案内に従って、設定してください。

テレビチャンネルを手動で調整する

かんたん設置設定で自動登録したチャンネル設定を手動で割り当てることができます。

1 設定 を押す

2 "放送受信設定"を選び、決定 を押す

3 "設置設定"を選び、決定 を押す

4 "チャンネル設定"を選び、決定 を押す

5 "地上デジタル"、"BS"、"CS 1"または "CS2"を選び、決定 を押す

6 "マニュアル"を選び、決定 を押す

- チャンネル設定画面が表示されます。

7 チャンネルを設定する

- 修正したいリモコン番号(Po)を選び、決定 を押します。
- ◁ /▷ でチャンネルを変更します。

8 設定が終わったら、戻る を押して終了する

Po:リモコンの数字ボタンの番号(変更不可)
CH:画面やパネル表示部に表示される番号

ラジオ放送局を手動で調整する

かんたん設置設定で自動登録した放送局の受信設定を手動で調整することができます。チャンネル番号（プリセット番号）の変更や、放送局を追加したいときに、調整してください。

1 設定 を押す

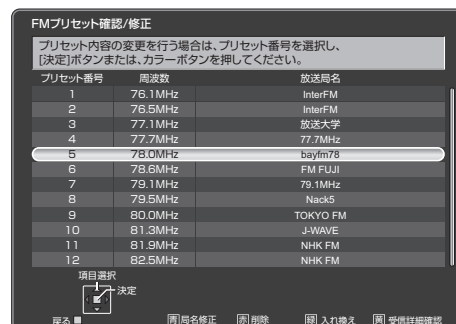
2 "放送受信設定"を選び、決定 を押す

3 "設置設定"を選び、決定 を押す

4 "チャンネル設定"を選び、決定 を押す

5 "FM"または "AM"を選び、決定 を押す

6 "手動プリセット/修正"を選び、決定 を押す

- プリセット番号の選択画面が表示されます。

7 放送局の周波数を手動調整する

- 修正したいプリセット番号を選び、決定 を押します。
- 決定 を押し、△ / ▽ で周波数を変更し、決定 を押します。
- "登録する"を選び、決定 を押します。
- 放送局のプリセット番号は、最大で 32 まで登録できます。

8 放送局名を登録/変更する

- 修正したいプリセット番号を選び、青 を押し、決定 を押します。
  文字の入力については、"文字入力の方法" (P.16)をご覧ください。
- "更新する"を選び、決定 を押します。

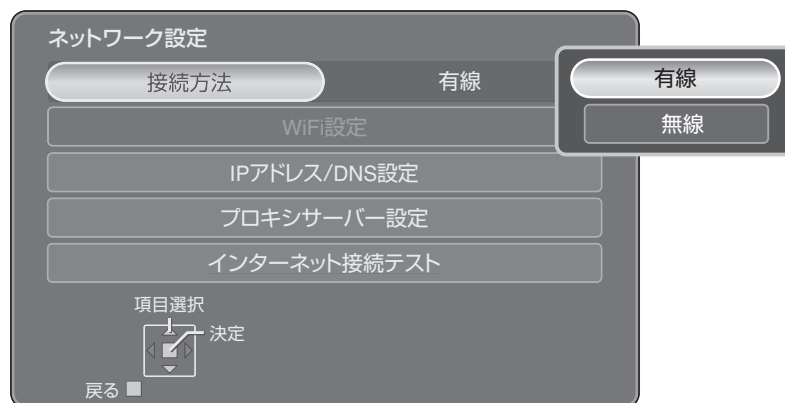
9 設定 を押して終了する

ネットワークの設定をする

準備

- "有線"の場合は、"有線ネットワークとつなぐ" (P.35)を実行してください。
  "無線"の場合は、"無線ネットワークとつなぐ" (P.36)を実行してください。
- かんたん設置設定を実行しないと、ネットワークの設定ができません。先にかんたん設置設定を実行してください。
  ➡ かんたん設置設定をする(P.39)

1 設定メニュー "ネットワーク設定"の "接続方法"を選び、決定を押す

- ネットワーク設定画面が表示されます。

2 "有線"または "無線"を選び、決定を押す

- 選んだ方法で通信接続されます。

"有線"を選んだ場合は、"有線ネットワークの設定をする" (P.48)を実行してください。

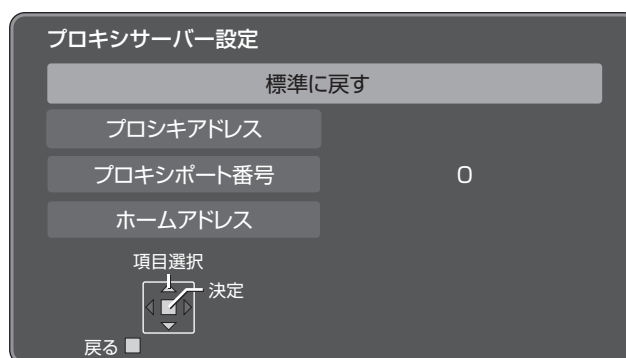
"無線"を選んだ場合は、"無線ネットワークの設定をする" (P.49)を実行してください。

有線ネットワークの設定をする

1 IP アドレス/DNS 設定をする

- "IP アドレス/DNS 設定"を選び、決定を押して設定画面を表示します。
- お使いの環境に合わせて、画面の指示に従って設定してください。

IP アドレスの自動取得	："する"を選ぶと、IP アドレスを自動取得します。ブロードバンド接続などの接続環境で、ルーターなどの DHCP 機能を「入」にしている場合は "する"を選びます。 "しない"を選ぶと "IP アドレス"、"サブネットマスク"および "ゲートウェイアドレス"を手動で設定できます。
DNS-IP 自動取得	："する"を選ぶと、DNS-IP を自動取得します。 "しない"を選ぶと、"プライマリ DNS"および "セカンダリ DNS"を手動で設定できます。 通常は "する"を選んでください。
接続速度自動設定	："オン"にすると自動で設定します。 "オフ"にすると、"10BASE 半二重"、"10BASE 全二重"、"100BASE 半二重"または "100BASE 全二重"から接続速度を選択できます。 通常は "オン"を選んでください。

2 プロキシサーバーの設定をする

- "プロキシサーバー設定"を選び、決定を押して詳細設定画面を表示します。
- 必要に応じてプロキシサーバーの設定をしてください。

3 接続テストをする

- "インターネット接続テスト"を選び、決定を押して接続テストを実行してください。
- 接続テストが正常に終了した場合は、ネットワークの接続が完了となります。
- 接続テストに失敗した場合は、LAN ケーブル接続や設定内容を確認してください。

無線ネットワークの設定をする

本機は以下の WiFi 設定方法に対応しております。

自動設定（WPS）：WPS（WiFi Protect Setup）による自動接続設定。
WPS に対応する無線 LAN アクセスポイントとの接続はこちらをお選びください。
手動設定　：周囲検索または既知の無線 LAN アクセスポイントの SSID 指定による設定。
WPS に対応していない無線 LAN アクセスポイントとの接続はこちらの設定をお選びください。"手動設定による WiFi 設定" (P.50)

"自動設定（WPS）"による WiFi 設定

本機は WPS のプッシュボタン方式と PIN コード入力方式に対応しております。

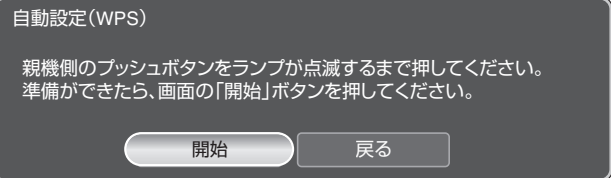
1 "WiFi 設定"→ "自動設定（WPS）"を選び、決定 を押す

2 "プッシュボタンを押して設定"または "PIN コードを入力して設定"を選び、決定 を押す

■ "プッシュボタンを押して設定"のとき

1）画面に従って親機（無線 LAN アクセスポイント）のプッシュボタンをランプが点滅するまで押す

2）所定時間内に "開始"を選び、決定 を押す

- WiFi 接続動作が始まり、接続確認画面が表示されます。
- 本機の WPS 接続時間は約 2 分に設定されています。
- 親機設定後に速やかに "開始"を選択してください。（親機側の待機状態が解除されると接続できません）
- WPS 接続状態を中止する場合は 黄 を押してください。

3）設定終了確認画面が表示されたら、決定 を押す

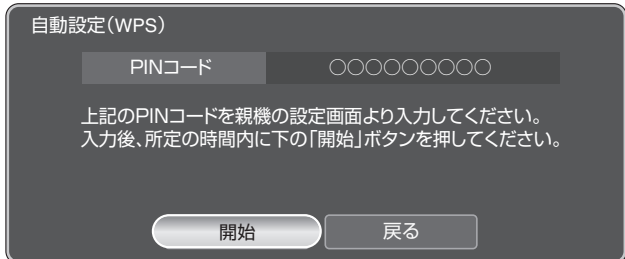
■ "PIN コードを入力して設定"のとき

1）画面上の PIN コード番号を確認し、親機（無線 LAN アクセスポイント）側の設定画面に入力する

2）所定時間内に "開始"を選び、決定 を押す

- WiFi 接続動作が始まり、接続確認画面が表示されます。

3）設定終了確認画面が表示されたら、決定 を押す

- PIN コードを入力して設定する場合は、予め親機側の設定画面を表示させる必要があります。

3 「有線ネットワークの設定をする」の手順 1～3 を実行する

- 接続する親機（無線 LAN アクセスポイント）の設定が終わったあとに、IP アドレスや DNS の設定、プロキシーサーバーの設定を実行してください。また、接続テストを実行して、ネットワークに接続できることを確認してください。
➡（P.48）

- 無線 LAN アクセスポイントによって WPS の設定方法が異なります。お客様お手持ちの機器の WPS 設定方法につきましては各機器の取扱説明書をご覧ください。

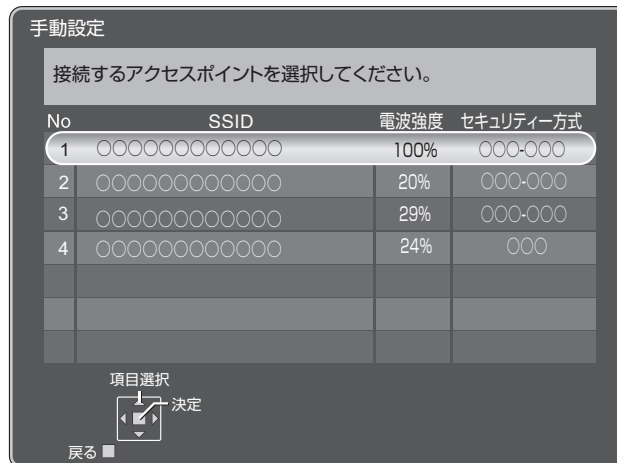
手動設定による WiFi 設定

セキュリティ設定された無線アクセスポイントとの接続ではセキュリティーキー入力が必要になります。
事前にキーをご確認ください。

1 "WiFi 設定"→ "手動設定"を選び、決定を押す

2 "自動検出結果からの設定"または "SSID 入力からの設定"を選び、決定 を押す

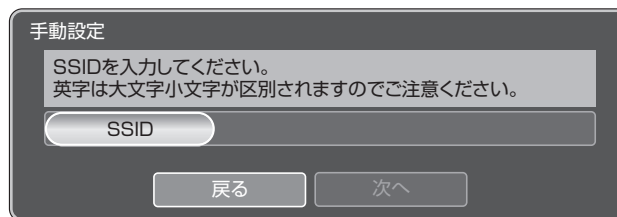
■ "自動検出結果からの設定"のとき

周囲の無線アクセスポイントの検索が開始され、検索結果が表示されます。

1)接続する無線アクセスポイントを選び、決定 を押す

2)画面に従って無線アクセスポイントのセキュリティーキーを入力し、"次へ"を選び、決定 を押す

- WiFi 接続テストが始まり、確認画面が表示されます。

3)設定終了確認画面が表示されたら、決定 を押す

■ "SSID 入力からの設定"のとき

1)画面に従って無線アクセスポイントの SSID を入力し、"次へ"を選び、決定 を押す

2)画面に従って無線アクセスポイントのセキュリティーを入力し、"次へ"を選び、決定 を押す

- WiFi 接続テストが始まり、確認画面が表示されます。

3)設定終了確認画面が表示されたら、決定 を押す

3 「有線ネットワークの設定をする」の手順 1 ～ 3 を実行する

- 接続する親機(無線アクセスポイント)の設定が終わったあとに、IP アドレスや DNS の設定、プロキシーサーバーの設定を実行してください。
  また、接続テストを実行して、ネットワークに接続できることを確認してください。
  ➡ (P.48)

AUDIO（RADIO & MUSIC）

■ **A スタートメニューからできること** **52**

■ **ラジオ放送や外部機器の音声を聞く** **54**
ラジオ放送を聞く 54
聞いているときにできる操作/設定 55

■ **ラジオ放送や外部機器の音声を録音する** **57**
聞いているラジオ番組を録音する 57
外部機器の音声を録音する 58
録音についての補足説明 58

■ **音楽を取り込む** **59**
音楽 CD の曲を録音する 59
SD カードや USB 機器の音楽を HDD に取り込む 61

■ **再生する** **63**
録音したラジオ番組や音楽を聞く 63
音楽 CD を再生する 66
SD カードや USB メモリーに記録された音楽を再生する 68
ラジオ番組や音楽の再生時にできる操作 69
ラジオ番組や音楽の再生についての補足説明 70

■ **削除する** **71**
録音したラジオ番組や音楽を削除する 71

■ **編集する** **75**
本機でできる編集について 75
録音したラジオ番組名/まとめ表示名を変更する 75
取り込んだ音楽の曲名などを変更する 76
録音したラジオ番組を分割する 79
取り込んだ音楽でプレイリストを作成する 80
作成したプレイリストを編集する 82

■ **ラジオ番組や音楽を転送する** **85**
録音したラジオ番組を SD カードや USB 機器に転送する 85
取り込んだ音楽を SD カードや USB 機器に転送する 87

～Aスタートメニューからできること～

ラジオ

ラジオを楽しむ

54 ページ

録音予約

ラジオ番組を時間指定で予約する

131 ページ

予約一覧で録音予約の状況を確認する

139 ページ

音楽再生

HDDに記録したラジオ番組や音楽を再生する

63 ページ

MELINK

MELINKサービスを楽しむ

別冊の「ネットサービスを楽しもう！！」をご覧ください。

CD

CDの音楽を再生する

66ページ

CDの音楽を本機のHDDに取り込む

59ページ

USB

USB機器の音楽を再生する

68ページ

USB機器の音楽を本機のHDDに取り込む

61ページ

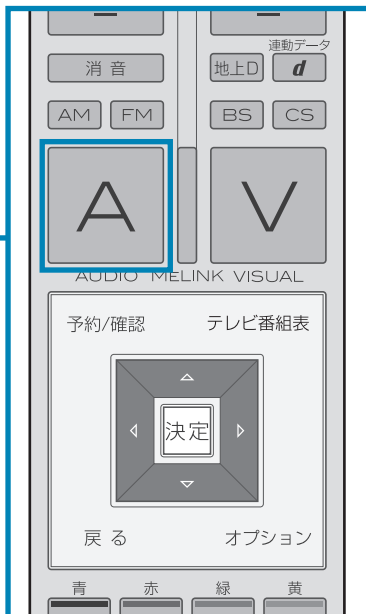
SDカード

SDカードの音楽を再生する

68ページ

SDカードの音楽を本機のHDDに取り込む

61ページ

Aスタートメニュー表示のしかた

ボタンを押すとAスタートメニューが表示されます。

ラジオ放送や外部機器の音声を聞く

ラジオ放送を聞く

準備 • 本機の電源を入れます。

1 聞きたい放送を選ぶ

• AM（AM 放送）または FM（FM 放送）を押す

2 チャンネルを選ぶ

• チャンネル＋－を押すと、順送り／逆送りで放送局のチャンネルが切り換わります。聞きたい番組の放送局を選んでください。
• 1-12を押すと、対応したチャンネル番号（プリセット番号）の放送局に切り換わります。

チャンネル番号（プリセット番号）が 13 以上の場合には

1 番号入力を押し、2桁のチャンネル番号を入力する

• 1～10を押して、チャンネル番号を入力してください。
• 設定されているチャンネル番号の放送局に切り換わります。

A スタートメニューから選ぶときは

1 A（AUDIO）を押す

• A スタートメニューが表示されます。

2 "ラジオ"から "FM"または "AM"を選んで、決定を押す

3 チャンネルを選ぶ

• ラジオ番組を聞く前に、チャンネル設定をしてください。詳しくは、"ラジオ受信の設定をする" (P.44)をご覧ください。
• MELINK 設定の "MELINK 優先"を設定すると、MELINK を優先して受信します。

外部オーディオ機器からの入力音声を聞くには

準備

1 設定 を押し、"入出力設定"の "外部入力設定"を選び、決定 を押す

2 "外部入力"の項目値を "オーディオ機器"に変更する

1 外部入力 を押す

- 外部機器からの入力音声に切り換わります。

聞いているときにできる操作/設定

ラジオ放送を聞いているときに、オプションメニューを使って各種設定ができます。また、リモコンのボタンで、各種情報や各種設定画面を表示することができます。

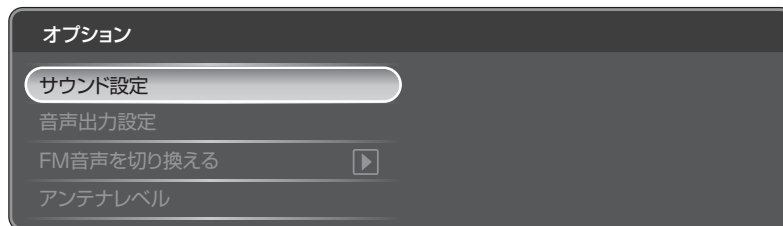
情報画面を表示するには

1 画面表示 を押す

- 現在放送中の放送局名や、周波数などが表示されます。
- 情報画面を消すときは、再度 画面表示 を押してください。

オプションメニューから設定を変更するには

1 オプション を押す

- オプションメニュー画面が表示されます。

2 項目を選び、決定 を押す

3 設定を変更して、決定 を押す

4 戻る を押して終了する

オプションメニューの項目

サウンド設定

お好みの音質に変更したいときに選んでください。
詳しくは、"好みの音質で聞く（サウンド設定）" (P.146)をご覧ください。

音声出力設定

音声出力を変更したいときに選んでください。

■ 音声出力設定 → 音声出力設定

音声の出力を、テレビ出力またはスピーカー出力に切り換えます。

テレビ（初期値）　：音声を HDMI 出力端子およびテレビ出力端子（音声）から出力します。
スピーカー出力端子、およびサブウーファープリアウト端子からは音声出力されません。

本機のスピーカー：音声をスピーカー出力端子から出力します。
HDMI 出力端子およびテレビ出力端子（音声）からは音声出力されません。

■ 音声出力設定 → オーディオディレイ

入力された音声を一定時間遅らせる機能です。
画面の口の動きと音声にズレがあるときにご利用ください。

設定値　：自動、0ms〜200ms

FM 音声を切り換える

FM ステレオ放送が雑音で聞きにくいときに選んでください。

自動（初期値）　：放送に合わせて、ステレオ出力とモノラル出力が自動で切り換わります。

強制モノラル　：ステレオ出力がモノラル出力になります。
（FM ステレオ放送が雑音で聞きにくいときに選ぶと、聞きやすくなることがあります。）

アンテナレベル

アンテナの受信状態を確認したいときに選んでください。
項目を選ぶと、受信状態が表示されます。

- 最大値になるようにアンテナの位置など調整してください。

- 本機にヘッドホンをつないだときは、"音声出力設定"の設定に関わらず、ヘッドホン端子から音声出力され、HDMI 出力端子、テレビ出力端子（音声）およびスピーカー出力端子からは音声が出力されません。
- "音声出力設定"の設定に関わらず、光デジタル音声出力端子からは常に音声出力されます。

ラジオ放送や外部機器の音声を録音する

聞いているラジオ番組を録音する

1 番組を選局する

- 番組の選局方法については、"ラジオ放送を聞く" (P.54)をご覧ください。

2 録画/録音 ● を押し、録音を開始する

- 一時停止 ❚❚ を押すと、録音を一時停止します。
- 再度 一時停止 ❚❚ を押すと、録音を再開します。

3 停止 ■ を押す

- 録音を終了します。

録音の終了時刻を指定するには(ワンタッチタイマー録音)

録音中に 録画/録音 ● を押すと「録音状態表示」が表示されます。「録音状態表示」の表示中に 録画/録音 ● をもう一度押すと、ワンタッチタイマー録音に切り換わります。ワンタッチタイマー録音では録音終了時刻を指定できます。

1 番組を選局し、録画/録音 ● を押して録音を開始する

- 「録音状態表示」が表示されます。

FM 76.5 MP3 XP 0:00:10

2 「録音状態表示」が表示されているときに、録画/録音 ● を押す

- 録画/録音 ● を押した回数に応じて、録音終了時刻が 30 分ずつ増えます。

例)現在 13:40 として、録画状態表示が表示中

録画/録音 ● を押すごとに 14:00⇒14:30⇒15:00⇒･･･⇒18:30⇒19:00⇒19:30⇒オフ(非表示)⇒14:00⇒14:30････

録音モードを指定するには

録音を開始する前に、録音モードの設定値を変更することができます。

1 録画/録音モード を押す

2 変更したい録音モードを選ぶ

- 録画/録音モード を押すたびに、録音モードが変更されます。選びたい録音モードにフォーカスを合わせてください。録音モードについては、"録画/録音モードと記録時間の目安、多重音声について" (P.177)をご覧ください。

3 戻る を押して終了する

- 1 つの番組の録音時間は、最大で 6 時間です。
- 手動録音中に[電源]を押して電源を切ると、録音が停止します。

✕

- テレビ番組を録画モード DR 以外で録画しているときは、ラジオ番組を録音できません。
- ラジオ番組を 2 番組同時に録音できません。テレビ番組を 2 番組同時に録画している場合も、ラジオ番組を録音することができません。
- 外部入力から録画している場合は、ラジオ番組を録音できません。

外部機器の音声を録音する

録音テープやレコードなどの外部機器の音声を、本機の HDD に録音することができます。

準備

- 本機と外部機器をつなぎます。詳しくは、"外部入力端子に外部機器をつなぐ" (P.37)をご覧ください。
- 設定メニューの "外部入力設定"を "オーディオ機器"に設定します。詳しくは、"外部入力設定" (P.159)をご覧ください。

1 外部入力 を押し、入力を切り換える

- 外部機器からの入力音声に出力が切り換わります。

2 録画/録音 ● を押す

- 外部機器からの録音を開始します。
- 再度 録画/録音 ● を押すと、ワンタッチタイマー録音(P.57)になります。
- 音声の取り込み中は他の画面に移動できません。

3 停止 ■ を押し、録音を終了する

- 外部機器からの録音を終了します。
- 再生する場合は、ラジオ番組一覧から再生します。(P.63)

録音についての補足説明

録音について

- 録音中に HDD の空き容量がなくなったときは、録音が自動的に停止します。
- ラジオ番組録音後しばらくの間は、その番組名の変更や、分割、転送などができない場合があります。
- ラジオ番組録音後しばらくの間は、その番組の早送り/早戻し中に音がでない場合があります。(早送り/早戻しの動作は実行されます)

ラジカセやレコードプレーヤーなどのヘッドホン端子から録音するときは

ヘッドホン端子と接続して録音するときは、音量が小さくて正常に録音できないことがあります。
その場合は、"入出力設定"の "外部入力音声レベル"(P.159)を "大"に設定します。また、ラジカセやレコードプレーヤーなどの音量を十分に大きくして録音してください。

- 本機では「LPCM」、「MP3 XP(320 kbps)」、「MP3 SP(128 kbps)」の 3 つの録音モードが選べます。事前にお好みの録音モードを設定してから録音してください。詳しくは、"HDD の録音モードとおよその録音時間(目安)" (P.178)をご覧ください。

音楽を取り込む

音楽CDの曲を録音する

音楽 CD の曲を本機の HDD に録音することができます。曲を選んで録音したり、聞いている曲を録音したりすることもできます。

すべての曲を録音する

1 録音したい音楽 CD を入れる

- 音楽 CD の入れ方については、"ディスクを入れる" (P.20)をご覧ください。
- ディスクを認識すると、メディア検出画面が表示されます。

2 "C D を録音する"を選び、決定 を押す

- 本機のロヴィ・データベース(ロヴィ社の保有する音楽関連データのデータベース)に登録されている CD 情報が表示されます。

3 オプション を押し、"録音する"を選び、決定 を押す

4 "全曲"を選び、決定 を押す

- 録音を開始します。
- 手順 3 で オプション の代わりに、黄 を押しても全曲録音できます。
- 録音が完了すると、画面にメッセージが表示されます。

5 "閉じる"を選び、決定 を押す

- 本機では「LPCM」、「MP3 (320 kbps)」、「MP3 (128 kbps)」の 3 つの録音モードが選べます。
  事前にお好みの録音モードを設定してから録音してください。詳しくは、"HDD の録音モードとおよその録音時間(目安)" (P.178)をご覧ください。
- 本機では CD-DA 形式の音楽が録音できます。
  CD-R や CD-RW に記録された WAV 形式や MP3 形式の音楽を録音することはできません。
  また、コピー制限された CD も録音できません。
- 音声の録音中は他の画面に移動できません。
- 本機内蔵のデータベースに登録されていない CD の場合は、インターネット経由で Rovi 社のデータベースから曲情報を取得します。ただし、インターネットの接続状況、或いはディスクによっては曲情報を取得できない場合があります。
- [青]を押すと曲情報の再取得ができます。
- ディスクによっては複数の候補が出る場合がありますので、お好みのものを選択してください。

曲を選んで録音するには

チェックボックス付きリストを表示して、選んだ曲を録音することができます。

1 録音したい音楽 CD を入れ、メディア検出画面を表示する

2 "CDを録音する"を選び、決定 を押す

3 オプション を押し、"録音する"を選び、決定 を押す

4 "複数選ぶ"を選び、決定 を押す

- チェックボックス付きリストが表示されます。

5 録音したい曲を選び、決定 を押す

- 選んだ曲にチェックマークが表示されます。

6 手順 5 を繰り返して、録音したい曲を選ぶ

- チェックマークを解除したい場合は、解除したい曲を選び、決定 を押してください。
- 赤 を押すとすべてにチェックマークがつきます。緑 を押すとすべてのチェックマークが解除されます。

7 オプション を押し "録音を実行する"を選び、決定 を押す

- 録音を開始します。
- 録音が完了すると、画面にメッセージが表示されます。
- オプション の代わりに、黄 を押しても録音を開始します。

8 決定 を押す

聞いている曲を録音するには

再生中にオプションメニュー画面を表示して、聞いている曲を録音することができます。

1 録音したい曲の再生中に オプション を押し、オプションメニュー画面を表示する

2 "録音する"を選び、決定 を押す

3 "この曲"を選び、決定 を押す

- 録音を開始します。
- 録音が完了すると、画面にメッセージが表示されます。

4 決定 を押す

SD カードや USB 機器の音楽を HDD に取り込む

SD カードや USB 機器に記録されている曲を、本機の HDD に取り込むことができます。(全曲一括/選択/再生中)

すべての曲を取り込む

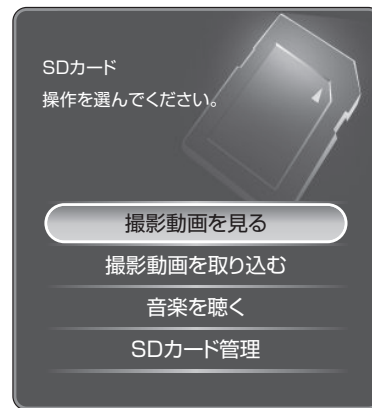
1 取り込みたい音楽が記録されている SD カードもしくは USB 機器をセットする

- SD カードの入れ方については、"SD カードを入れる" (P.20)をご覧ください。
- メディアを認識すると、メディア検出画面が表示されます。

<SDカード のとき>

<USB機器 のとき>

2 "音楽を聴く"を選び、決定 を押す

3 ジャンルを選び、決定 を押す

4 オプション を押し、オプションメニュー画面を表示する

5 "取り込む"を選び、決定 を押す

6 "SD カードの全曲"または "USB 機器の全曲"を選び、決定 を押す

- 取り込みを開始します。
- 取り込みが完了すると、画面にメッセージが表示されます。

7 決定 を押す

- 本機では、SD カードもしくは USB 機器に記録されている WAV 形式と MP3 形式の音楽が取り込めます。

曲を選んで取り込むには

再生リストを表示して、選んだ曲を取り込むことができます。

1 取り込みたい音楽が記録されている SD カードもしくは USB 機器をセットし、"音楽を聴く"を選び、決定 を押す

2 ジャンルを選び、決定 を押す

3 オプション を押し、オプションメニュー画面を表示する

4 "取り込む"を選び、決定 を押す

5 "複数選ぶ"を選び、決定 を押す

- チェックボックス付きリストが表示されます。

6 取り込みたい曲を選び、決定 を押す

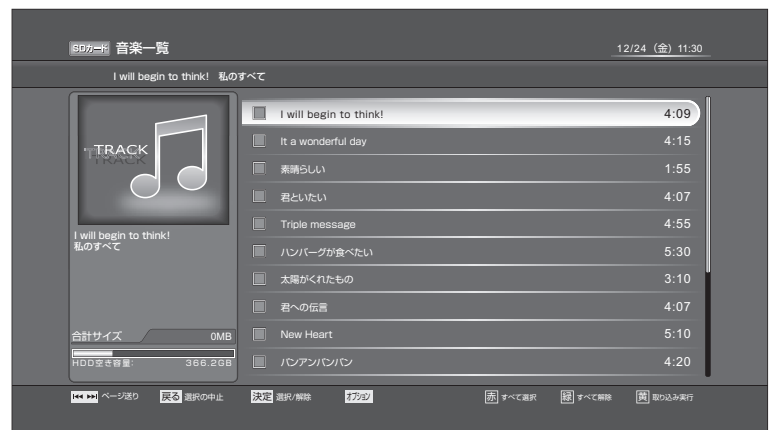
- 選んだ曲にチェックマークが表示されます。

7 手順 7 を繰り返して、登録したい曲を選ぶ

- チェックマークを解除したい場合は、解除したい曲を選び、決定 を押してください。
- 赤 を押すとすべてにチェックマークがつきます。緑 を押すとすべてのチェックマークが解除されます。

8 オプション を押し、"取り込みを実行する"を選び 決定 を押す

- 取り込みを開始します。
- 取り込みが完了すると、画面にメッセージが表示されます。
- オプション の代わりに、黄 を押しても録音を開始します。

9 決定 を押す

再生する

録音したラジオ番組や音楽を聞く

録音したラジオ番組を聞く

1 A(AUDIO)を押す

- A スタートメニューが表示されます。

2 "音楽再生"の "ラジオ録音"を選び、決定を押す

- ラジオ番組の再生リスト(P.64)が表示されます。
- 外部機器から録音した音声(P.58)もラジオ番組の再生リストに表示されます。

3 再生したいラジオ番組を選び、再生►を押す

- 録音したラジオ番組が再生されます。
- 停止する場合は、停止■を押してください。停止位置(リジューム・ポイント)が記憶され、他のソースの視聴後、次に再生するときに停止した位置から再生が始まります。(つづき再生)
- 再生が終了および停止すると、再生リスト画面に戻ります。

取り込んだ音楽を再生する

1 A(AUDIO)を押す

- A スタートメニューが表示されます。

2 "音楽再生"の "音楽"を選び、決定を押す

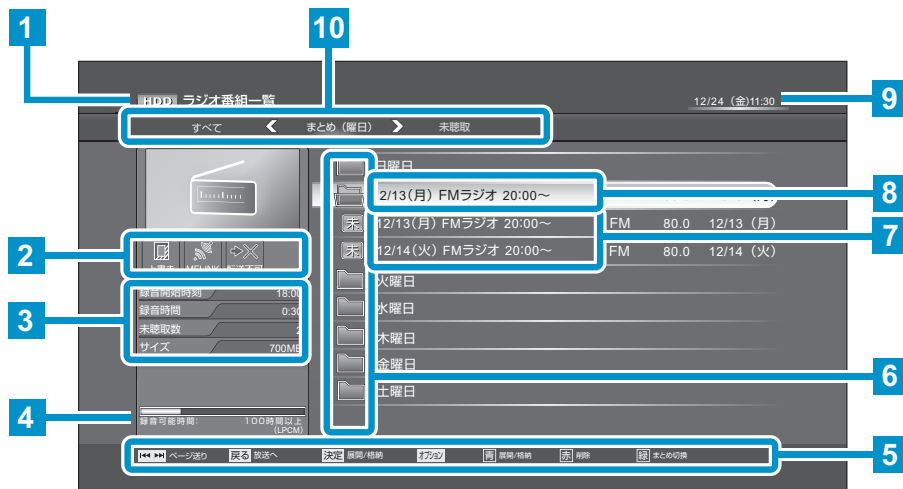
- 取り込んだ音楽の再生リスト(P.65)が表示されます。

3 項目を選び、決定を押す

4 再生したい曲またはリストを選び、再生►を押す

- 取り込んだ音楽が再生されます。
- 停止する場合は、停止■を押してください。停止位置(リジューム・ポイント)が記憶され、他のソースの視聴後、次に再生するときに停止した位置から再生が始まります。(つづき再生)
- 再生►の代わりに、赤を押すとランダム再生されます。
- 再生►の代わりに、緑を押すと通常再生されます。

➡ 「再生中の操作方法」について(P.69)
➡ 「つづき再生(リジューム停止)」について(P.70)

ラジオ番組の再生リストの見かた

1 メディア表示

HDD アイコンが表示されます。

2 ラジオ番組の属性アイコン 1

録音したラジオ番組の属性がアイコンで表示されます。

- 上書き ：繰り返し予約録音で、上書き設定している番組です。
- MELINK ：MELINK で録音した番組です。
- 転送不可 ：転送制限されている場合に、このアイコンが表示されます。

3 詳細情報

選んでいる番組、まとめの詳細情報（録音開始時刻、録音時間、録音モード、サイズ、未聴取数）が表示されます。

4 録音可能時間

現在設定されている録音モードでの、HDD に録音可能な残り時間が表示されます。

5 操作ガイド

リモコンボタンの操作内容が表示されます。

6 ラジオ番組の属性アイコン 2

- REC ：録音中の番組です。
- 未 ：１度も再生していない番組です。

7 番組名

番組の名前が表示されます。

8 まとめ名

格納されているまとめ表示の場合は、まとめ表示の名前がまとめ名として表示されます。

9 日時表示

現在の日時が表示されます。

10 分類タブ

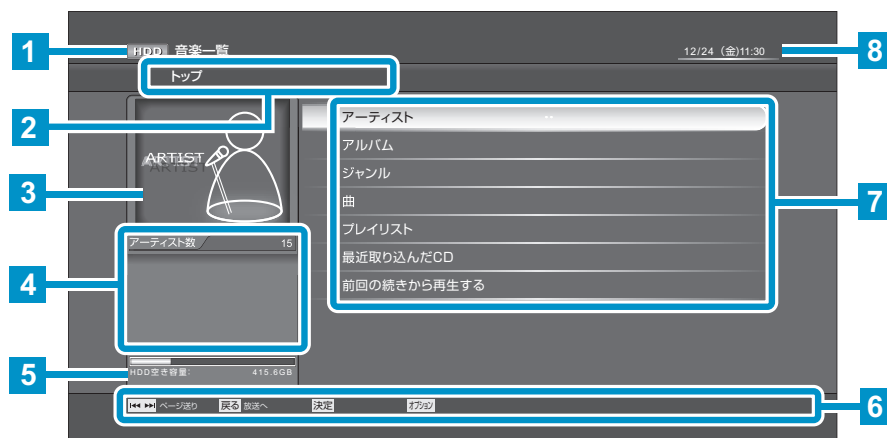
番組が分類して表示されます。

すべて ：すべての番組が一覧表示されます。

まとめ(*) ：「曜日」、「放送局」、「番組」のいずれかでまとめられます。

未聴取 ：１度も聞いていない番組が一覧表示されます。

＊ ：まとめの「曜日」、「放送局」、「番組」の切り換えは、［オプション］を押して、オプションメニューの "まとめ表示を切り換える"で設定します。

音楽の再生リストの見かた

1 メディア表示
取り込んだ音楽の場合は HDD アイコンが表示されます。音楽 CD の場合は CD アイコンが表示されます。

2 遷移履歴
音楽のトップリストからの遷移履歴が表示されます。
（例：‘アーティスト名’ - ‘アルバム名’）

3 アイコン表示
選んだリストのアイコンが表示されます。

4 詳細情報
選んでいるリストの詳細情報（アルバム数、全曲数、全曲の総再生時間など）が表示されます。

5 HDD 空き容量
HDD の空き容量が表示されます。

6 操作ガイド
リモコンボタンの操作内容が表示されます。

7 リスト表示
項目がリストで一覧表示されます。決定を押すと、別のリスト表示に切り換わります。元のリスト表示に戻りたいときは、戻るを押してください。

8 日時表示
現在の日時が表示されます。

リスト名	内容
アーティスト	アーティスト名が一覧で表示されます。 アーティストを選び 決定 を押すと、選んだアーティストのアルバムリスト表示に切り換わります。
アルバム	アルバム名が一覧で表示されます。 アーティストリストから切り換えた場合は、選んだアーティストのアルバムのみが表示されます。 アルバムを選び 決定 を押すと、選んだアルバムに含まれている曲リスト表示に切り換わります。
ジャンル	ジャンル名が一覧で表示されます。 ジャンルを選び 決定 を押すと、選んだジャンルに含まれている曲リスト表示に切り換わります。
曲	曲名が一覧で表示されます。 曲を選び 決定 または 再生 ► を押すと、選んだ曲をリストの順番で再生します。
プレイリスト	プレイリストが一覧で表示されます。
最近取り込んだ CD	取り込んだ CD の曲を、新しい順に表示します。
前回の続きから再生する	音楽を停止した状態で再生リストを表示したときに表示され、停止したところから再生します。

音楽CDを再生する

ディスクを入れて再生する場合

1 再生したいディスクを入れる

- 音楽 CD の入れ方については、"ディスクを入れる" (P.20)をご覧ください。
- ディスクを認識すると、メディア検出画面が表示されます。

2 "CD を聴く"を選び、決定を押す

- 曲情報を取得後に、ディスクが再生されます。
- パネル表示部に再生時間が表示されます。
- 停止する場合は、を押してください。停止位置(リジューム・ポイント)が記憶され、他のソースの視聴後、次に再生するときに停止した位置から再生が始まります。(つづき再生)

➡「再生中の操作方法」について(P.69)
➡「音楽の再生画面の見かた」について(P.65)
➡「つづき再生(リジューム停止)」について(P.70)

テレビの電源を入れずに、音楽 CD を再生するには

本機に外部スピーカーを接続している場合は、テレビの電源を入れなくても音楽 CD の音声を外部スピーカーから出せます。

1 フロントドアを手で下げて本体表示窓を見えるようにする(P.10)

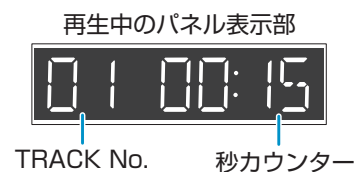
2 聞きたい CD を入れる

- CD が認識されパネル表示部に "CD :PLAY"(点滅)が表示されます。

3 決定を押して再生する

再生中のパネル表示部

01 00:15

TRACK No.　秒カウンター

再生した時にテレビが自動でついてしまった場合は、設定メニューの "HDMI 制御(リンク)設定"の"音声のみ再生時の連動" (P.161)を "オフ"にしてください。

- 本機内蔵のデータベースに登録されていない CD の場合は、インターネット経由で Rovi 社のデータベースから曲情報を取得します。ただし、インターネットの接続状況、或いはディスクによっては曲情報を取得できない場合があります。
- [青]を押すと曲情報の再取得ができます。
- ディスクによっては複数の候補が出る場合がありますので、お好みのものを選択してください。
- 一曲が 100 分以上の曲の場合は、再生時間がパネル表示できません。

スタートメニューから再生する場合

すでに再生したいディスクが入っている場合、またはセットしたディスクの再生が自動的に開始しない場合には、A スタートメニューから再生してください。

1 A(AUDIO) を押す

- A スタートメニューが表示されます。

2 画面下のディスクアイコンを選び、決定 を押す

- メディア検出画面が表示されます。

3 "CD を聴く"を選び、決定 を押す

- 曲情報を取得後に、ディスクが再生されます。
- 停止する場合は、停止 ■ を押してください。

SDカードやUSBメモリーに記録された音楽を再生する

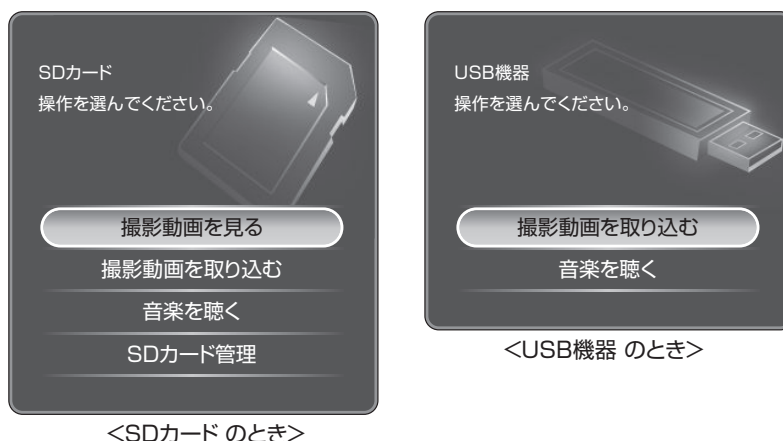
1 [A/AUDIO]を押す

• Aスタートメニューが表示されます。

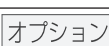
2 画面下の "SDカード"または "USB機器"を選び、[決定]を押す

• SDカードまたはUSB機器のメディア検出画面が表示されます。

<SDカード のとき>

<USB機器 のとき>

3 "音楽を聴く"を選び、[決定]を押す

• 音楽の再生リストが表示されます。

4 リストを選び、[決定]を押す

5 再生したい曲を選び、[決定]を押す

• 音楽が再生されます。
• 停止する場合は、[停止 ■]を押してください。停止位置(リジューム・ポイント)が記憶され、他のソースの視聴後、次に再生するときに停止した位置から再生が始まります。(つづき再生)

➡「再生中の操作方法」について(P.69)
➡「音楽の再生画面の見かた」について(P.65)
➡「つづき再生(リジューム停止)」について(P.70)

ラジオ番組や音楽の再生時にできる操作

再生時に使える操作ボタン一覧(AUDIO)

操作ボタン	説明
再生 ►	再生します。
停止 ■	再生を停止します。
早送り ►►	押すたびに早送り再生速度が 4 段階で切り換わります。 • 早送り中に 再生 ► を押すと、再生になります。
早戻し ◄◄	押すたびに、早戻し再生速度が 4 段階で切り換わります。 • 早戻し中に 再生 ► を押すと、再生になります。
一時停止 ❚❚	一時停止します。 • 一時停止中に 一時停止 ❚❚ または 再生 ► を押すと、再生になります。
+ アンプ音量 −	本機に接続したスピーカーおよびヘッドホンの音量を調節します。
アンプ消音	本機に接続したスピーカーおよびヘッドホンの音を消します。
次 ►►❙	ラジオ番組(まとめ再生以外):動作しません。 ラジオ番組(まとめ再生時)の場合:押すたびに、次の番組にスキップします。
	取り込んだ音楽、音楽 CD の場合:押すたびに、次のトラックにスキップします。 • 一時停止中に押すと、押すたびに一時停止のまま次のトラックにスキップします。
前 ❙◄◄	ラジオ番組の場合:押すと番組の先頭に戻ります。
	• 取り込んだ音楽、音楽 CD の場合:再生中のトラックの先頭に戻ります。トラックの先頭付近で押すと、1 つ前のトラックの先頭に戻ります。 • 一時停止中に押すと、一時停止のまま、トラックの先頭に戻ります。押すたびに 1 つずつ前のトラックの先頭に戻ります。
30秒送り	押すたびに約 30 秒ずつ先にスキップします。 • 一時停止中に押すと、押すたびに一時停止のまま約 30 秒ずつ先にスキップします。
7秒戻り	押すたびに約 7 秒ずつ戻ります。 • 一時停止中に押すと、押すたびに一時停止のまま約 7 秒ずつ戻ります。
1 あ.@ - 12	ラジオ番組、CD 以外の音楽の場合:動作しません。
	音楽 CD の場合:再生中に、1 あ.@ - 12 を押すと、その番号のトラックを再生します。 13 番目以降を再生したいときは、番号入力 を押した後に、1 あ.@ - 10 ゛゜小文字 を押して番号を入力してください。
オプション	オプションメニューを表示します。
画面表示	現在放送中の放送局名や周波数などが表示されます。
戻る	音楽の再生中は、再生を継続して再生リストに戻ります。 録音したラジオ番組の再生中は、再生を停止して再生リストに戻ります。

• ラジオ番組録音後しばらくの間は、その番組の早送り/早戻し中に音がでない場合があります。(早送り/早戻しの動作は実行されます)

オプションメニューから設定を変更するには

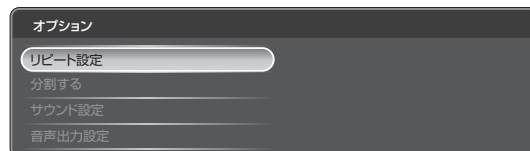
1 オプション を押す

- オプションメニュー画面が表示されます。

2 項目を選び、決定 を押す

3 設定を変更して、決定 を押す

オプション
リピート設定
分割する
サウンド設定
音声出力設定

4 戻る を押して終了する

オプションメニューの項目

リピート設定

再生中の番組や音楽をリピート(繰り返し)再生します。

分割する

1 つの番組を 2 つに分割することができます。
詳しくは、"録音したラジオ番組を分割する" (P.79)をご覧ください。

サウンド設定

お好みの音質に変更したいときに選んでください。
詳しくは、"好みの音質で聞く(サウンド設定)" (P.146)をご覧ください。

音声出力設定

音声出力を変更したいときに選んでください。
詳しくは、"音声出力設定" (P.56)をご覧ください。

ラジオ番組や音楽の再生についての補足説明

再生全般

- 再生開始時に、音声が出るまで時間がかかることがあります。
- ラジオ番組のリピート再生中に再生リスト画面を表示すると、リピート再生が解除されます。

つづき再生(リジューム停止)

つづき再生が始まる位置は、停止位置によって多少ずれることがあります。
次のような場合、記憶した停止位置(リジューム・ポイント)が解除されます。

■ **音楽 CD の再生**
- ディスクトレイを開けたとき。
- 電源コードを抜いたときや、停電があったとき。

■ **HDD の音楽再生**
- 電源コードを抜いたときや、停電があったとき。

■ **HDD のラジオ番組の再生**
- ラジオ番組を分割したとき。
- 電源コードを抜いたときや、停電があったとき。

■ **SD カード/USB 機器の音楽再生またはラジオ番組の再生**
- SD カード/USB 機器を取り出したとき。
- 電源コードを抜いたときや、停電があったとき。

削除する

録音したラジオ番組や音楽を削除する

録音したラジオ番組を削除する

1 Aを押す

2 "音楽再生"の "ラジオ録音"を選び、決定を押す

- ラジオ番組の再生リストが表示されます。

3 削除したいラジオ番組を選び、オプションを押す

- オプションメニュー画面が表示されます。

4 "削除する"を選び、決定を押す

- 削除の確認画面が表示されます。
- 手順２で赤を押しても、削除の確認画面が表示されます。

5 "この番組"または "このまとめ"を選び、決定を押す

6 "削除する"を選び、決定を押す

- 選んだ番組が削除され、ラジオ番組の再生リストに戻ります。

削除する

選んだラジオ番組をまとめて削除するには

チェックボックス付きの再生リストを表示して、選んだラジオ番組をまとめて削除することができます。

1 A(AUDIO)を押し、"音楽再生"の "ラジオ録音"を選び、決定を押す

2 オプションを押し、オプションメニュー画面を表示する

3 "削除する"を選び、決定を押す

4 "複数選ぶ"を選び、決定を押す

- ラジオ番組の再生リスト(チェックボックス付き)が表示されます。

- チェックボックス画面表示中は、◁ / ▷ によるタブ移動はできません。
- 削除できない番組はグレーで表示されます。

5 削除したいラジオ番組を選び、決定を押す

- 選んだ番組にチェックマークが表示されます。

6 手順 5 を繰り返し、削除したいラジオ番組を選ぶ

- チェックマークを解除したい場合は、解除したい番組を選び、決定を押してください。
- 赤を押すとすべてにチェックマークがつきます。緑を押すとすべてのチェックマークが解除されます。

7 オプションを押し、オプションメニュー画面を表示する

8 "削除を実行する"を選び、決定を押す

9 "削除する"を選び、決定を押す

- 選んだ番組が削除され、ラジオ番組一覧に戻ります。

曲/アルバム/アーティスト/ジャンルを削除する

1 曲リスト、アルバムリスト、アーティストリストもしくはジャンルリストを表示する

2 削除したい曲/アルバム/アーティスト/ジャンルを選び、オプション を押す

- オプションメニュー画面が表示されます。

3 "削除する"を選び、決定 を押す

4 "この曲"/ "このアルバム"/ "このアーティスト"/ "このジャンル"を選び、決定 を押す

- 選んだ曲/アルバム/アーティスト/ジャンルが削除されます。

複数の曲/アルバム/アーティスト/ジャンルをまとめて削除する

チェックボックス付きリストを表示して、まとめて削除することができます。

1 曲リスト、アルバムリスト、アーティストリストもしくはジャンルリストを表示する

2 オプション を押し、オプションメニュー画面を表示する

3 "削除する"を選び、決定 を押す

4 "複数選ぶ"を選び、決定 を押す

- 曲リスト(チェックボックス付き)が表示されます。

5 削除したい曲/アルバム/アーティスト/ジャンルを選び、決定 を押す

- 選んだ曲/アルバム/アーティスト/ジャンルにチェックマークが表示されます。

6 手順 5 を繰り返し、削除したい曲/アルバム/アーティスト/ジャンルを選ぶ

- チェックマークを解除したい場合は、解除したい曲/アルバム/アーティスト/ジャンルを選び、決定 を押してください。
- 赤 を押すとすべてにチェックマークがつきます。緑 を押すとすべてのチェックマークが解除されます。

7 オプション を押し、オプションメニュー画面を表示する

8 "削除を実行する"を選び、決定 を押す

9 "削除する"を選び、決定 を押す

- 選んだ曲/アルバム/アーティスト/ジャンルがまとめて削除されます。削除が完了すると元のリスト画面に戻ります。

編集する

本機でできる編集について

録音したラジオ番組の編集でできること

■ **番組名/まとめ名変更**

- 番組名やまとめ名を変更することができます。

➡ 録音したラジオ番組名/まとめ表示名を変更する(P.75)

■ **番組分割**

- 番組を複数に分割することができます。

➡ 録音したラジオ番組を分割する(P.79)

取り込んだ音楽の編集でできること

■ **情報修正**

- 曲名の変更や、曲の情報("タイトル"、"アルバム"、"アーティスト"、"ジャンル"および "リリース年")を修正することができます。

➡ 取り込んだ音楽の曲名などを変更する(P.76)

■ **プレイリスト作成、編集**

- プレイリストを作成し、お気に入りの曲を順番に再生することができます。

➡ 取り込んだ音楽でプレイリストを作成する(P.80)
➡ 作成したプレイリストを編集する(P.82)

録音したラジオ番組名/まとめ表示名を変更する

準備

- 録音したラジオの再生リストを表示してください。
  ラジオ番組の再生リストについては、"ラジオ番組の再生リストの見かた" (P.64)をご覧ください

1 [A AUDIO]を押す

2 "音楽再生"の "ラジオ録音"を選び、[決定]を押す

ラジオ番組名を変更する

1 変更したいラジオ番組を選び、[オプション]を押す

- オプションメニュー画面が表示されます。

2 "情報を修正する"を選び、[決定]を押す

- ラジオ番組の情報修正画面が表示されます。

3 [決定]を押し、番組名を変更する

- 文字の入力方法については、"文字入力の方法" (P.16)をご覧ください。

4 情報修正画面で "更新する"を選び、[決定]を押す

- 修正した番組名に変更します。変更が終わると、元の画面に戻ります。
- 中止するときは、"更新しない"を選び[決定]を押します。

まとめ名を変更する

1 変更したいまとめ表示を選び、オプション を押す

- オプションメニュー画面が表示されます。
- まとめの "曜日"および "放送局"は変更できません。

2 "情報を修正する"を選び、決定 を押す

- まとめ表示の情報修正画面が表示されます。

3 決定 を押し、まとめ名を変更する

- 文字の入力方法については、"文字入力の方法" (P.16)をご覧ください。

4 情報修正画面で "更新する"を選び、決定 を押す

- 中止するときは、"更新しない"を選び 決定 を押します。

5 情報修正の確認画面で "修正する"または "修正しない"を選び、決定 を押す

修正する　：まとめ表示内の番組も同時に修正します。
修正しない：まとめ表示内の番組は修正しません。
- 変更が終わると、元の画面に戻ります。

取り込んだ音楽の曲名などを変更する

準備

- 取り込んだ音楽の再生リストを表示してください。
  音楽の再生リストについては、"音楽の再生リストの見かた" (P.65)をご覧ください

1 A (AUDIO) を押す

2 "音楽再生"の "音楽"を選び、決定 を押す

曲の情報を修正する

1 それぞれのリストから曲一覧を表示する

2 情報を修正したい曲を選び、オプション を押す

- オプションメニュー画面が表示されます。

3 "情報を修正する"を選び、決定 を押す

- 曲の情報修正画面が表示されます。

4 "曲名"、"トラックアーティスト名"、"ジャンル名"および "トラック番号"を変更する

- "曲名"、"トラックアーティスト名"および "ジャンル名"の入力については、"文字入力の方法" (P.16)をご覧ください。
- "トラック番号"は、△ / ▽ で選び、決定 を押して変更してください。

5 情報修正画面で "更新する"を選び、決定 を押す

- 修正した情報に更新します。更新が終わると、元の画面に戻ります。
- 変更を中止するときは "更新しない"を選び、決定 を押してください。

アルバムの情報を修正する

1 アルバムリストを表示する

2 情報を修正したいアルバムを選び、オプション を押す

- オプションメニュー画面が表示されます。

3 "情報を修正する"を選び、決定 を押す

- "アルバム"の情報修正画面が表示されます。

4 "アルバム名"、"アーティスト名"、"ジャンル名"および "リリース年"を変更する

- "アルバム名"、"アーティスト名"および "ジャンル名"の入力については、"文字入力の方法" (P.16)をご覧ください。
- "リリース年"は、△ / ▽ で選び、決定 を押して変更してください。

5 情報修正画面で "更新する"を選び、決定 を押す

- 修正した情報に更新します。更新が終わると、元の画面に戻ります。

情報を一括修正する

"トラックアーティスト名"および "ジャンル"を一括で変更できます。

アーティスト名を一括修正する

1 アーティストリストを表示する

2 修正するアーティストを選び、オプション を押す

3 "情報を修正する"を選び、決定 を押す

- "アーティスト名"の修正画面が表示されます。

4 "アーティスト名"を変更する

- 文字の入力方法については、"文字入力の方法" (P.16)をご覧ください。

5 情報修正画面で "更新する"を選び、決定 を押す

- 修正した情報に更新します。情報の更新が終わると、アーティストリストに戻ります。

6 手順 2〜5 を繰り返してその他のアーテスト名を修正する

7 戻る を押し、元の画面に戻る

ジャンル名を一括修正する

1 ジャンルリストを表示する

2 修正するジャンルを選び、オプション を押す

3 "情報を修正する"を選び、決定 を押す

- "ジャンル名"の修正画面が表示されます。

4 "ジャンル名"を変更する

- 文字の入力方法については、"文字入力の方法" (P.16)をご覧ください。

5 情報修正画面で "更新する"を選び、決定 を押す

- 修正した情報に更新します。情報の更新が終わると、ジャンルリストに戻ります。

6 手順 2〜5 を繰り返してその他のジャンル名を修正する

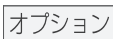
7 戻る を押し、元の画面に戻る

録音したラジオ番組を分割する

1 つの番組を 2 つに分割することができます。

準備

- 録音したラジオの再生リストを表示してください。
  ラジオ番組の再生リストについては、"ラジオ番組の再生リストの見かた" (P.64)をご覧ください

1 A(AUDIO)を押す

2 "音楽再生"の "ラジオ録音"を選び、決定 を押す

1 ラジオ番組一覧を表示する

2 分割したいラジオ番組を選んで再生し、分割したい位置で一時停止する

- ラジオ番組の再生操作については、"ラジオ番組や音楽の再生時にできる操作" (P.69)をご覧ください。

3 オプション を押し、オプションメニュー画面を表示する

4 "分割する"を選び、決定 を押す

- 分割の確認画面が表示されます。

5 "分割する"を選び、決定 を押す

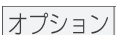
- ラジオ番組が停止位置で 2 つに分割されます。

- 分割したラジオ番組は元に戻せません。
- 分割後の番組時間が非常に短くなる場合は、分割できないことがあります。

取り込んだ音楽でプレイリストを作成する

準備

- 取り込んだ音楽の再生リストを表示してください。
音楽の再生リストについては、"音楽の再生リストの見かた" (P.65)をご覧ください

1 A(AUDIO)を押す

2 "音楽再生"の "音楽"を選び、決定 を押す

曲/アルバムをプレイリストに登録する

1 曲リストまたはアルバムリストを表示する

2 登録したい曲またはアルバムを選び、オプション を押す

- オプションメニュー画面が表示されます。

3 "プレイリストに登録する"を選んで、決定 を押す

- プレイリスト登録の確認画面が表示されます。

4 "この曲"もしくは "このアルバム"を選び、決定 を押す

5 決定 を押す

- プレイリスト選択画面が表示されます。

6 登録したいプレイリストを選び、決定 を押す

7 "登録する"を選び、決定 を押す

- プレイリストの登録が完了し、元の画面に戻ります。

- プレイリストの個数は８個用意されており、追加/削除することはできません。

- 複数の曲/アルバムをまとめて登録したいときは、"プレイリストにまとめて登録するには" (P.81)をご覧ください。

プレイリストにまとめて登録するには

チェックボックス付きリストを表示して、まとめてプレイリストに登録することもできます。

1 曲リストまたはアルバムリストを表示し、オプション を押す

2 "プレイリストに登録する"を選んで、決定 を押す

3 "複数選ぶ"を選び、決定 を押す

- チェックボックス付きリストが表示されます。

4 登録したい曲/アルバムを選び、決定 を押す

- 選んだ曲にチェックマークが表示されます。

5 手順４を繰り返して、登録したい曲/アルバムを選ぶ

- チェックマークを解除したい場合は、解除したい曲を選び、決定 を押してください。
- 赤 を押すとすべてにチェックマークがつきます。緑 を押すとすべてのチェックマークが解除されます。

6 オプション を押し、"登録を実行する"を選び、決定 を押す

7 決定 を押す

- プレイリスト選択画面が表示されます。

8 登録したいプレイリストを選び、決定 を押す

9 "登録する"を選び、決定 を押す

- プレイリストの登録が完了し、元の画面に戻ります。

作成したプレイリストを編集する

準備

- プレイリストを表示してください。

1 A(AUDIO) を押す

2 "音楽再生"の "音楽"を選び、決定 を押す

3 "プレイリスト"を選び、決定 を押す

プレイリストの名前を変更する

1 変更したいプレイリストを選び、オプション を押す

- オプションメニュー画面が表示されます。

2 "情報を修正する"を選び、決定 を押す

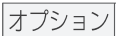
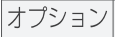
3 決定 を押す

- プレイリスト情報の修正画面が表示されます。

4 プレイリスト名を変更する

- 文字の入力方法については、"文字入力の方法" (P.16)をご覧ください。

5 "更新する"を選び、決定 を押す

- 変更したプレイリスト名が保存されます。終了後、元の画面に戻ります。

プレイリストの再生順番を変更する

1 変更したいプレイリストを選び、決定 を押す

- オプションメニュー画面が表示されます。

2 オプション を押し "曲順を並び替える"を選び、決定 を押す

3 プレイリストの順番を変更したい曲を選び、移動する

- ▽ / △ を押して、フォーカスを移動したい曲に合わせてください。
- 青 を押すと、フォーカスの曲が 1 つ上に移動します。
- 赤 を押すと、フォーカスの曲が 1 つ下に移動します。
- オプション を押すと、"一番上へ移動する"および "一番下へ移動する"を選んで移動できます。

4 オプション を押し、オプションメニュー画面を表示する

5 "並び替えを実行する"を選び、決定 を押す

- 変更した順番でプレイリストが保存されます。終了後、元の画面に戻ります。

曲をプレイリストから解除する

1 変更したいプレイリストを選び、決定 を押す

- 曲リストが表示されます。

2 解除したい曲を選び、オプション を押す

- オプションメニュー画面が表示されます。

3 "プレイリストから解除する"を選び、決定 を押す

4 "この曲"を選び、決定 を押す

5 "解除する"を選び、決定 を押す

- 選んだ曲がプレイリストから解除されます。終了後、元の画面に戻ります。

- 複数の曲をまとめて解除したいときは、"複数の曲をまとめてプレイリストから解除するには" (P.84)をご覧ください。
- プレイリストの曲をすべて解除したいときは、"プレイリストを初期化するには" (P.84)をご覧ください。

- オリジナルの曲/アルバムを削除すると、プレイリストからも解除されます。
- 曲をプレイリストから解除しても、オリジナルの曲は削除されません。オリジナルの曲を削除したい場合は、"曲/アルバム/アーティスト/ジャンルを削除する" (P.73)をご覧ください。

複数の曲をまとめてプレイリストから解除するには

チェックボックス付きリストを表示して、まとめてプレイリストから解除することができます。

1 解除したいプレイリストを選び、決定 を押す

2 オプション を押し、"プレイリストから解除する"を選び、決定 を押す

3 "複数選ぶ"を選び、決定 を押す

- チェックボックス付きリストが表示されます。

4 解除したい曲を選び、決定 を押す

- 選んだ曲にチェックマークが表示されます。

5 手順４を繰り返して、解除したい曲を選ぶ

- チェックマークを解除したい場合は、解除したい曲を選び、決定 を押してください。
- 赤 を押すとすべてにチェックマークがつきます。緑 を押すとすべてのチェックマークが解除されます。

6 オプション を押し、"解除を実行する"を選び、決定 を押す

7 "解除する"を選び、決定 を押す

- 選んだ曲がプレイリストから解除されます。終了後、元の画面に戻ります。

プレイリストを初期化するには

プレイリストを初期化すると、すべての曲が解除されます。プレイリスト名も初期化されます。

1 初期化したいプレイリストを選び、オプション を押す

- オプションメニュー画面が表示されます。

2 "プレイリストを初期化する"を選び、決定 を押す

- プレイリスト初期化の確認画面が表示されます。

3 "初期化する"を選び、決定 を押す

- プレイリストが初期化され、元の画面に戻ります。

ラジオ番組や音楽を転送する

録音したラジオ番組をSDカードやUSB機器に転送する

1 転送したい外部メディア(SD カード、USB 機器)を接続する

2 ラジオ番組一覧を表示する

3 転送したい番組またはまとめ番組を選び、オプション を押す

- オプションメニュー画面が表示されます。

4 "SD カードに転送する"または "USB 機器に転送する"を選び、決定 を押す

- SD カードに転送したい場合は、"SD カードに転送する"を選んでください。
- USB 機器に転送したい場合は、"USB 機器に転送する"を選んでください。

5 "この番組"または "このまとめ"を選び、決定 を押す

- 選んだ番組が外部メディアに転送されます。

6 転送完了の通知画面を確認し、決定 を押す

- 元の画面に戻ります。

➡ 転送先でのフォルダ名/ファイル名について(P.179)

- USB 機器は、マスストレージ対応の機器のみ使用できます。外付け HDD など、バスパワーを多く必要とする機器は、破壊の可能性がありますので接続しないでください。
- ラジオ番組録音後しばらくの間は、その番組名の変更や、分割、転送などができない場合があります。
- 時刻を設定していない場合、ラジオ番組の転送をしたときにフォルダ名(録音日時)が正しく設定されないことがあります。

選んだ番組をまとめて転送するには

チェックボックス付きリストを表示して、まとめて外部メディアに転送することができます。

1 転送したい外部メディア（SD カード、USB 機器）を接続する

2 ラジオ番組一覧を表示し、オプション を押す

- オプションメニュー画面が表示されます。

3 "SD カードに転送する"または "USB 機器に転送する"を選び、決定 を押す

- SD カードに転送したい場合は、"SD カードに転送する"を選んでください。
- USB 機器に転送したい場合は、"USB 機器に転送する"を選んでください。

4 "複数選ぶ"を選び、決定 を押す

- チェックボックス付きリストが表示されます。

- チェックボックス画面表示中は、◁ / ▷ によるタブ移動はできません。
- 転送できない番組はグレーで表示されます。

5 転送したい番組を選び、決定 を押す

- 選んだ番組にチェックマークが表示されます。

6 手順 5 を繰り返して、転送したい番組を選ぶ

- チェックマークを解除したい場合は、解除したい番組を選び、決定 を押してください。
- 赤 を押すとすべてにチェックマークがつきます。緑 を押すとすべてのチェックマークが解除されます。

7 オプション を押し、オプションメニュー画面を表示する

8 "転送を実行する"を選び、決定 を押す

- 選んだ番組がまとめて外部メディアに転送されます。

9 決定 を押し、元の画面に戻る

取り込んだ音楽をSDカードやUSB機器に転送する

1 転送したい外部メディア(SD カード、USB 機器)を接続する

2 曲リスト、アルバムリスト、アーティストリスト、ジャンルリストまたはプレイリストを表示する

3 転送したい曲/アルバム/アーティスト/ジャンルを選び、オプション を押す

- オプションメニュー画面が表示されます。

4 "SD カードに転送する"または "USB 機器に転送する"を選び、決定 を押す

- SD カードに転送したい場合は、"SD カードに転送する"を選んでください。
- USB 機器に転送したい場合は、"USB 機器に転送する"を選んでください。

5 "この曲"を選び、決定 を押す

- 選んだ曲/アルバム/アーティスト/ジャンルが外部メディアに転送されます。

6 転送完了の通知画面を確認し、決定 を押す

- 元の画面に戻ります。

- USB 機器は、マスストレージ対応の機器のみ使用できます。外付け HDD など、バスパワーを多く必要とする機器は、破壊の可能性がありますので接続しないでください。

➡ 転送先でのフォルダ名/ファイル名について(P.179)

AUDIO (RADIO & MUSIC)

選んだ曲/アルバム/アーティスト/ジャンルをまとめて転送するには

チェックボックス付きリストを表示して、まとめて外部メディアに転送することができます。ただし、カテゴリーが異なる（曲とアルバムなど）場合は、同時に転送できません。カテゴリーごとに転送してください。

1 転送したい外部メディア（SD カード、USB 機器）を接続する

2 曲リスト、アルバムリスト、アーティストリスト、ジャンルリストまたはプレイリストを表示し、オプション を押す

- オプションメニュー画面が表示されます。

3 "SD カードに転送する"または "USB 機器に転送する"を選び、決定 を押す

- SD カードに転送したい場合は、"SD カードに転送する"を選んでください。
- USB 機器に転送したい場合は、"USB 機器に転送する"を選んでください。

4 "複数選ぶ"を選び、決定 を押す

- チェックボックス付きリストが表示されます。

5 転送したい曲/アルバム/アーティスト/ジャンルを選び、決定 を押す

- 選んだ曲/アルバム/アーティスト/ジャンルにチェックマークが表示されます。

6 手順 6 を繰り返して、転送したい曲/アルバム/アーティスト/ジャンルを選ぶ

- チェックマークを解除したい場合は、解除したい曲/アルバム/アーティスト/ジャンルを選び、決定 を押してください。
- 赤 を押すとすべて選択されます。緑 を押すとすべて解除されます。

7 オプション を押し、オプションメニュー画面を表示する

8 "転送を実行する"を選び、決定 を押す

- 選んだ曲/アルバム/アーティスト/ジャンルがまとめて外部メディアに転送されます。

9 転送完了の通知画面を確認し、決定 を押す

VISUAL（TV & VIDEO）

■ **V スタートメニューからできること** 90

■ **テレビ放送を見る** 92
テレビ番組を見る 92
データ放送を見る 96
視聴中にできる操作/設定 97

■ **テレビ放送を録画する** 100
視聴中のテレビ番組を録画する 100
外部機器の映像を録画する 101
録画についての補足説明 101

■ **映像を取り込む** 102
ビデオカメラの映像を取り込む 102

■ **再生する** 103
録画した番組を再生する 103
ディスクを再生する 105
映像の再生時にできる操作 108
SD カードに記録された映像を見る 110
再生についての補足説明 111

■ **削除する** 112
録画した番組を削除する 112

■ **編集する** 114
本機でできる編集について 114
録画した番組の名前を変更する 115
録画した番組を保護する（設定/解除） 116
録画モードを変換する（録画可能時間を増やす） 117
動画編集をする 119

■ **ダビングする** 124
本機でできるダビングについて 124
録画した番組をディスクにダビングする 125

VISUAL
TV&VIDEO

～Vスタートメニューからできること～

テレビ

いろいろなデジタルテレビ放送を楽しむ

92ページ

録画予約

録画したい番組を番組表から選んで予約する

135ページ

録画予約した番組を確認する

139ページ

動画再生

本機のHDDに記録された映像を見る

103ページ

MELINK

MELINKサービスを楽しむ

別冊の「ネットサービスを楽しもう!!」をご覧ください。

ブルーレイ
・DVD

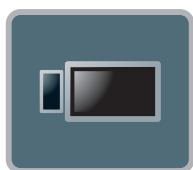
ブルーレイディスクやDVDの映像を見る

105ページ

本機のHDDからディスクに映像をダビングする

125ページ

ダビングしたディスクを再生する

105ページ

USB

ビデオカメラ(Everio)で記録した映像をUSB接続で取り込む

102ページ

SDカード

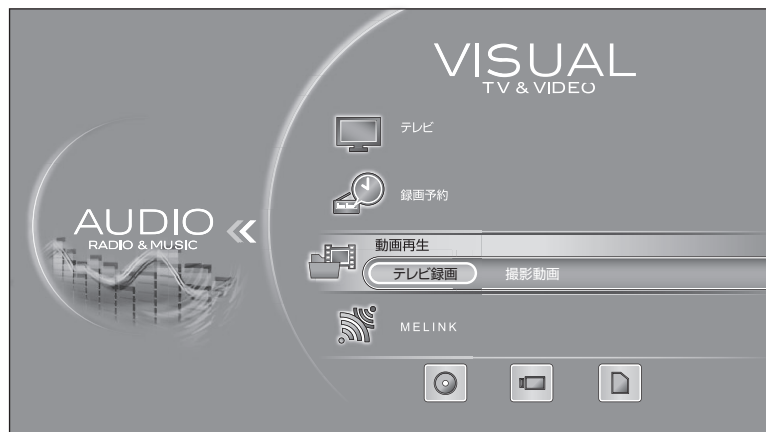
ビデオカメラ(Everio)でSDカードに記録した映像を再生する

110ページ

ビデオカメラ(Everio)でSDカードに記録した映像をHDDに取り込む

102ページ

Vスタートメニュー表示のしかた

V ボタンを押すとVスタートメニューが表示されます。

テレビ放送を見る

テレビ番組を見る

準備
- テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を本機を接続した入力に切り換えます。
- 本機の電源を入れます。

チャンネルを選局して見る

1 見たい放送を選ぶ

- 地デジ、BS または CS を押します。
- CS を押すたびに、放送が CS1 と CS2 に切り換わります。

地デジ ： 地上デジタル放送を見るとき。
BS ： BS デジタル放送を見るとき。
CS ： 110 度 CS デジタル放送を見るとき。

2 チャンネルを選ぶ

- ＋チャンネル－ を押すと、順送り／逆送りで放送局のチャンネルが切り換わります。
見たい番組の放送局を選んでください。

設定されているチャンネル番号で、放送局を切り換えるには

1 見たいチャンネルの番号（1 あ.@ - 12）を押す

- 設定されているチャンネル番号の放送局に切り換わります。

デジタル放送の３桁番号を入力して、放送局を切り換えるには

1 番号入力 を押し、３桁のチャンネル番号を入力する

- 1 あ.@（1）～ 9 らWXYZ（9）、10 ゛゜小文字（0）を押して、チャンネル番号を入力してください。
- デジタル放送で決まっているチャンネル番号の放送局に切り換わります。

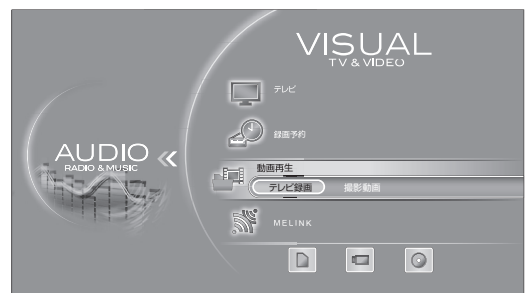
V スタートメニューから見たい放送を選ぶときは

1 V（VISUAL）を押す

- V スタートメニューが表示されます。

2 "テレビ"の "地上 D"、"BS"、"CS1"または "CS2"を選び、決定 を押す

3 チャンネルを選ぶ

メモ
- 2 番組同時録画中は、録画中の二つのチャンネル以外のチャンネルに切り換えることができません。
- デジタル放送を録画モード DR 以外で録画中は、外部入力に切り換えることができません。
- ＋チャンネル－ を押しつづけても、地デジ ⇔BS⇔CS には切り換わりません。

外部映像機器からの入力映像を見るには

準備

1 設定 を押し、"入出力設定"の "外部入力設定"を選び、決定 を押す

2 "外部入力"の項目値を "映像機器"に変更する

1 外部入力 を押す

- 外部機器からの入力映像に切り換わります。

番組表(G ガイド)から選んで見る

1 テレビ番組表 を押す

- 番組表が表示されます。
- 地デジ 、 BS および CS を押すと、それぞれの番組表に切り換わります。
- 番組表の詳細は、"番組表(G ガイド)の見かた" (P.94)をご覧ください。

2 現在放送中で視聴したい番組を選び、決定 を押す

- 番組の詳細画面が表示されます。
- 赤 を押すと、番組の属性を確認できます。青 を押すと、内容表示に戻ります。

3 "今すぐ見る"を選び、決定 を押す

- 番組が表示されます。

■ 他の日付の番組表を表示するには

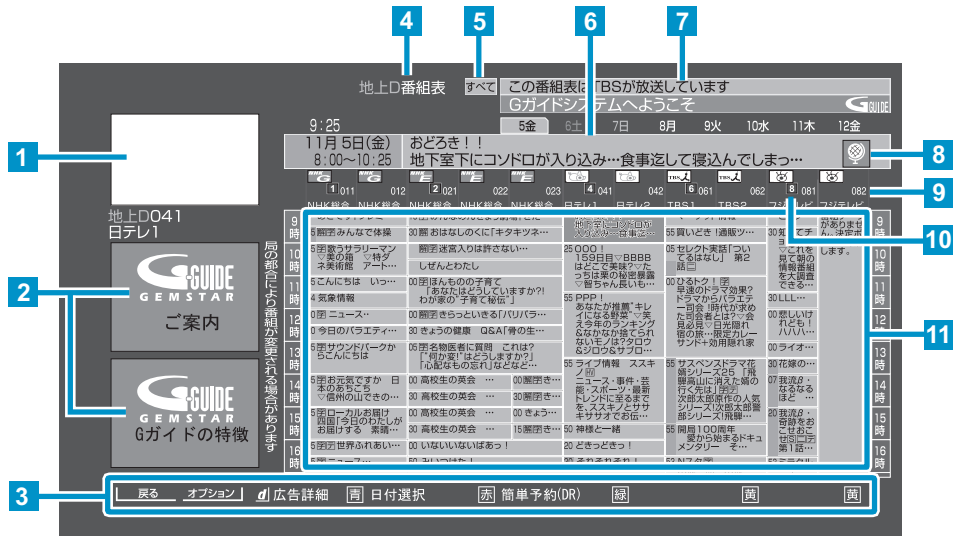
青 を押すと、他の日付の番組表を表示できます。(P.95)

■ 番組表から簡単に予約するには

赤 を押すと、選んでいる番組を簡単予約できます。(P.136)

■ 番組表のサブメニューを表示するには

番組表の表示中に オプション を押すと、サブメニューが表示されます。(P.95)

番組表(G ガイド)の見かた

1 選局中のチャンネル映像

2 パネル広告

連動データ d を押して選択状態にし、決定 を押すと詳細を表示します。

3 操作ガイド

リモコンボタンの操作内容が表示されます。

4 放送の種類

5 番組の種類

6 選択中の番組紹介

7 放送局からのお知らせ/テキスト広告など

8 番組のジャンルをアイコンで表示

9 放送局の３けたチャンネル番号

10 リモコンのチャンネルボタン番号

11 番組欄

- 短い番組は青の線で表示されます。選ぶと番組情報が表示されます。

番組の色分け表示について

番組データのジャンル情報に従って代表的なジャンル(映画、スポーツ、音楽、ドラマ、アニメ)を色分け表示しています。

番組内のアイコンについて

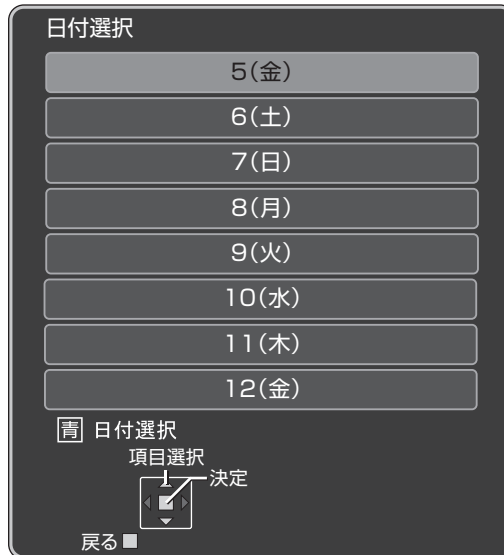
予 :録画予約している番組

■ 番組のジャンルアイコン一覧

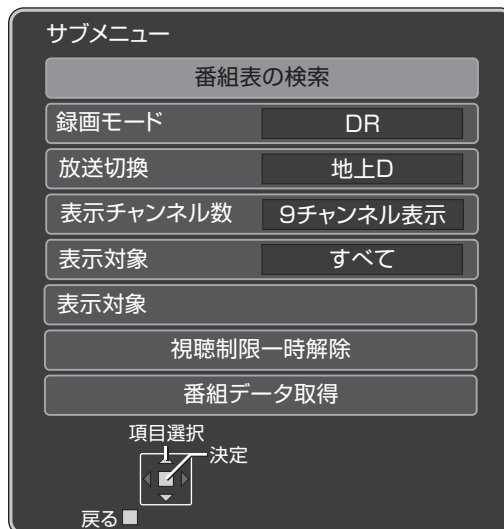
 ドラマ
 スポーツ(サッカー)
 音楽
 劇場 / 公演
 天気
 洋画
スポーツ(野球)
 バラエティ
 趣味 / 教育
 福祉
 邦画
 スポーツ(ゴルフ)
アニメ / 特撮
 情報 / ワイドショー
映画(その他)
スポーツ(その他)
ドキュメンタリー / 教養
ニュース / 報道

- 番組表は、放送局から送られるテレビ番組情報を、新聞の番組欄のように表示するシステムです。データの受信は、本機の電源が「切」時に行います。
- 本機を設置した時間帯によっては、番組表を表示できるまで 1 日程度かかることがあります。
- データの受信時刻は、放送ごとに異なるため、一度にすべての放送の番組表が表示されないことがあります。

他の日付の番組表を表示するには

青 を押すと、他の日付の番組表を表示できます。

- 表示した日付を選び、決定 を押します。

番組表のサブメニューについて

番組表の表示中に オプション を押すと、サブメニューが表示されます。

番組表の検索	：	ジャンルやキーワードなどから視聴、録画したい番組を検索できます。
録画モード	：	録画モード(P.177)を変更します。
放送切換	：	別の放送の番組表を表示します。
表示チャンネル数	：	1 画面に表示するチャンネル数を変更します。
表示対象	：	番組表で表示させる内容を変更します。 「設定チャンネル」を選ぶと、チャンネル設定されているチャンネルのみを表示します。 番組表の表示をやめると、設定は「すべて」に戻ります。
視聴制限一時解除	：	暗証番号を入力して、視聴制限を一時的に解除します。
番組データ取得	：	選んでいる局の番組情報を受信します。

データ放送を見る

データ放送のある番組では、テレビ画面の案内に従っていろいろな情報やサービスを利用できます。

テレビ番組に連動したデータ放送を見る

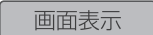
1 テレビ番組を視聴中に、連動データ［d］を押す

- テレビ番組に連動したデータ放送が表示されます。
- 情報が多い場合は、表示されるまで時間がかかることがあります。

2 画面の案内に従って、操作する

3 データ放送を見終わったら、連動データ［d］を押す

- テレビ番組に戻ります。

- データ放送のサービスを利用するためには、次の準備が必要になる場合があります。
    - B-CAS カードの登録
    - 放送局との受信契約
- 番組によってはテレビ放送に連動した情報が、自動的にデータ放送に切り換わって表示されることがあります。
- 本機は、インターネットを経由して利用する双方向通信サービスに対応しています。電話回線を経由して利用する双方向通信サービスには対応しておりません。

- 本機は、データ放送を録画できません。
- デジタル放送を録画した番組の再生中は、データ放送を視聴できません。
- デジタル放送の録画中は、データ放送を視聴できません。

視聴中にできる操作/設定

番組の視聴中に、オプションメニューを使って各種設定ができます。また、リモコンのボタンで、各種情報や各種設定画面を表示することができます。

情報画面を表示するには

1 [画面表示]を押す

- 現在放送中のチャンネル番号、番組の開始時刻/終了時刻や番組名などが表示されます。
- 情報画面を消すときは、再度[画面表示]を押してください。

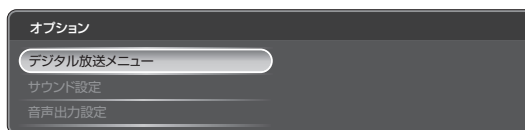
主音声出力、副音声出力や二重音声出力を切り換える

1 番組を視聴中に、[音声]を押す

- [音声]を押すたびに出力音声が切り換わります。

オプションメニューから設定を変更するには

1 [オプション]を押す

- オプションメニュー画面が表示されます。

2 項目を選び、[決定]を押す

- 設定項目について詳しくは"オプションメニューの項目" (P.98)をご覧ください。

3 設定を変更して、[決定]を押す

4 [戻る]を押して終了する

- 副音声や二重音声が設定されてない番組を視聴しているときは、[音声]を押しても出力音声が切り換わりません。

オプションメニューの項目

デジタル放送メニュー

デジタル放送に関する設定を変更したいときに選んでください。

■ デジタル放送メニュー → 視聴制限一時解除

視聴制限された番組を視聴するときに、暗証番号を入力して一時的に制限を解除できます。

- 視聴制限されていない番組を視聴するときは、項目が表示されません。
- "制限項目設定"の "暗証番号登録"(P.157)で暗証番号を登録していない場合は、暗証番号を登録する画面が表示されます。

■ デジタル放送メニュー → データ放送表示オフ

データ放送を終了し、通常放送の画面に戻ります。

- データ放送が表示されていないときは、項目が表示されません。

■ デジタル放送メニュー → 信号切換

映像や音声などの信号を複数放送している場合に、◁ / ▷ を押して切り換えます。

- 番組によって選べる項目が異なります。

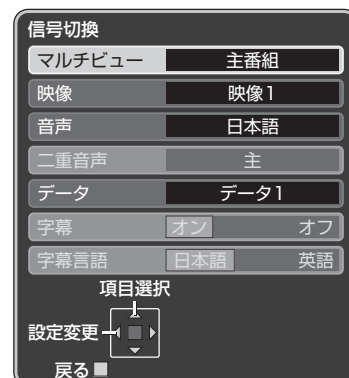
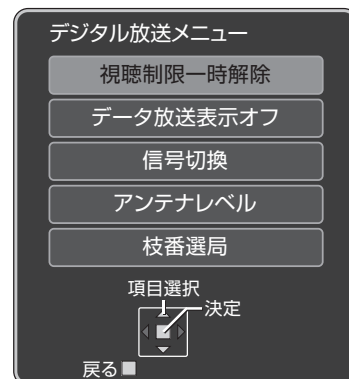
マルチビュー：マルチビュー放送の場合、アングルを切り換えます。
映像　：複数の映像を放送している番組の場合、映像を切り換えます。
音声　：複数の音声を放送している番組の場合、音声を切り換えます。
二重音声　：主音声と副音声を切り換えます。
データ　：データ放送の場合、データを切り換えます。
字幕　：画面に字幕を表示します。(P.99)
字幕言語　：字幕で表示する言語を設定します。

■ デジタル放送メニュー → アンテナレベル

アンテナの受信状態を確認したいときに選んでください。
項目を選ぶと、受信状態が表示されます。

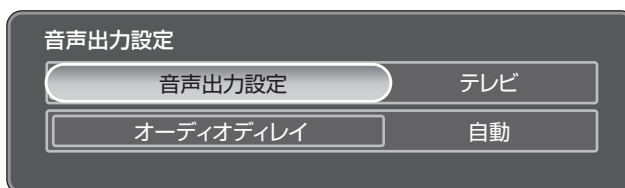
■ デジタル放送メニュー → 枝番選局

地上デジタル放送の枝番を選局することができます。
枝番とは、同じチャンネル番号に割り当てられる放送が複数受信できた場合に、追加される 4 桁目の番号のことです。(例:「011-0」「011-1」)

- 主選局にしたいチャンネル番号を選び、［緑］を押すと主選局に変更することができます。

サウンド設定

お好みの音質に変更したいときに選んでください。
詳しくは、"好みの音質で聞く(サウンド設定)" (P.146)をご覧ください。

音声出力設定

音声出力を変更したいときに選んでください。

■ **音声出力設定 → 音声出力設定**

音声の出力を、テレビ出力またはスピーカー出力に切り換えます。

テレビ(初期値)　：音声を HDMI 出力端子およびテレビ出力端子(音声)から出力します。
スピーカー出力端子、およびサブウーファープリアウト端子からは音声出力されません。

本機のスピーカー：音声をスピーカー出力端子から出力します。
HDMI 出力端子およびテレビ出力端子(音声)からは音声出力されません。

■ **音声出力設定 → オーディオディレイ**

入力された音声を一定時間遅らせる機能です。
画面の口の動きと音声にズレがあるときにご利用ください。

設定値　：自動、0ms〜200ms

テレビ番組の字幕を表示するには

1 オプション を押す

2 "デジタル放送メニュー"を選び、決定 を押す

3 "信号切換"を選び、決定 を押す

4 字幕の項目で、"オン"を選ぶ

- テレビ番組の字幕が表示されるようになります。
- 字幕を表示したくない場合は、"オフ"を選びます。
- 設定が終わったら、戻る を押します。

テレビ番組の視聴中に 字幕 を押しても、字幕を表示することができません。"デジタル放送メニュー"にある "信号切換"で字幕の設定をしてください。

- 本機にヘッドホンをつないだときは、"音声出力設定"の設定に関わらず、ヘッドホン端子から音声出力され、HDMI 出力端子、テレビ出力端子(音声)およびスピーカー出力端子からは音声が出力されません。
- "音声出力設定"の設定に関わらず、光デジタル音声出力端子からは常に音声出力されます。

テレビ放送を録画する

視聴中のテレビ番組を録画する

視聴中の番組を録画することができます。ラジオ録音と合わせて、最大で 2 番組まで同時に録画することができます。

1 番組を視聴する

- 番組の視聴方法については、"テレビ番組を見る" (P.92)をご覧ください。

2 録画/録音 ● を押し、録画を開始する

- 一時停止 ❚❚ を押すと、録画を一時停止します。
- もう一度 一時停止 ❚❚ を押すと、録画を再開します。

3 停止 ■ を押す

- 録画を終了します。(停止後に次の操作ができるまで、しばらく時間がかかる場合があります。)

録画の終了時刻を指定するには(ワンタッチタイマー録画)

録画中に 録画/録音 ● を押すと「録画状態表示」が表示されます。「録画状態表示」の表示中に 録画/録音 ● をもう一度押すと、ワンタッチタイマー録画に切り換わります。ワンタッチタイマー録画では録画終了時刻を指定できます。

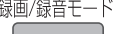
1 番組を選局し、録画/録音 ● を押して録画を開始する

- 「録画状態表示」が表示されます。

○ 地上D 023ch DR　0：00：10

2 「録画状態表示」が表示されているときに、録画/録音 ● を押す

- 録画/録音 ● を押した回数に応じて、録画終了時刻が 30 分ずつ増えます。

例)現在 13:40 として、録画状態表示が表示中

録画/録音 ● を押すごとに 14:00⇒14:30⇒15:00⇒･･･⇒18:30⇒19:00⇒19:30⇒オフ(非表示)⇒14:00⇒14:30････

録画モードを指定するには

録画を開始する前に、録画モードの設定値を変更することができます。

1 録画/録音モード を押す

2 変更したい録画モードを選ぶ

- 録画/録音モード を押すたびに、録画モードが変更されます。選びたい録画モードにフォーカスを合わせてください。録画モードについては、"録画/録音モードと記録時間の目安、多重音声について" (P.177)をご覧ください。

3 決定 または 戻る を押し、元の画面に戻る

- 録画は、最大で 6 時間までできます。
- 字幕は録画モード DR で録画した場合にのみ、表示/非表示を切り換えることができます。
詳しくは、"録画についての補足説明" (P.101)をご覧ください。
- 手動録画中に[電源]を押して電源を切ると、録画が停止します。

- どちらか片方の番組を録画モード DR で録画している場合のみ、2 番組を同時に録画できます。
- 2 番組を同時に録画中は、録画中の番組にしか切り換えることができません。

外部機器の映像を録画する

ビデオデッキやビデオカメラなどの外部機器の映像を、本機の HDD に録画することができます。

準備

- 本機と外部機器をつなぎます。詳しくは、"外部入力端子に外部機器をつなぐ" (P.37)をご覧ください。
- "設定メニュー"の "外部入力設定"を "映像機器"に設定する必要があります。詳しくは、"外部入力設定" (P.159)をご覧ください。

録画したい録画モードに設定します。詳しくは"録画モードを指定するには" (P.100)をご覧ください。

1 外部入力 を押し、入力を切り換える

- 外部機器からの出力映像/音声がテレビに出力されます。

2 録画/録音 ● を押す

- 外部機器からの録画を開始します。
- 録画を一時中断したい場合は、一時停止 ❚❚ を押してください。
  再度 一時停止 ❚❚ を押すと、録画を再開します。

3 停止 ■ を押し、録画を終了する

- 外部機器からの録画を終了します。

録画の終了時刻を指定するには(ワンタッチタイマー録画)

- 録画中に 録画/録音 ● を押すと「録画状態表示」が表示されます。録画/録音 ● をもう一度押すと、ワンタッチタイマー録画に切り換わります。
  ワンタッチタイマー録画では録画終了時刻を指定できます。
  詳しくは、"録画の終了時刻を指定するには(ワンタッチタイマー録画)" (P.100)をご覧ください。

- 外部機器の出力音声が主(左)･副(右)混合のときは、本機で主(左)･副(右)混合のまま録画されます。
  その場合、本機での再生時には主音声と副音声が左右から同時に再生され、[音声]を押しても、音声を切り換えることができません。
  ダビング元の番組が二カ国語記録の場合には、録画開始前にあらかじめ外部機器の再生の設定にて、主音声か副音声かどちらか一方を再生するようにしてから録画してください。
  詳しくは、外部機器の取扱説明書をご覧ください。

録画についての補足説明

録画について

- 録画中に HDD の空き容量がなくなったときは、録画が自動的に停止します。
- 録画モードを DR で録画した場合にのみ、再生時に字幕の表示/非表示が切り換えられます。
- 録画モードを DR 以外で録画した場合、予約の詳細設定での字幕の設定がオンのときは、字幕が録画映像として焼きこまれ、字幕が常に表示された状態で再生されます。
  また、オフのときは字幕が録画されないので、再生時に字幕を表示できません。
- 外部機器からの録画で、市販 VHS や CATV の有料番組など、コピー制御信号で録画を禁止されている映像信号は正常に録画できません。

映像を取り込む

ビデオカメラの映像を取り込む

当社ビデオカメラ(Everio)で撮影した SD カードを挿入すると、SD カードの映像を取り込むことができます。また、ビデオカメラを USB 接続すると、ビデオカメラの映像を取り込むことができます。

当社ビデオカメラ(Everio)で撮影した映像を、DVD ライターや BD ドライブでバックアップした Everio バックアップディスク(SD-Video/MPEG2-TS)または AVCHD ディスクをお持ちの場合は、ディスクから本機の HDD に映像を取り込むことができます。

1 取り込みの準備をする

SD カード(AVCHD、SD-Video)から取り込む場合

- 映像が入った SD カードを挿入します。
  挿入すると、メディア検出画面が表示されます。
  SD カードの挿入方法については、"SD カードを入れる" (P.20)をご覧ください。

ビデオカメラから取り込む場合

- ビデオカメラを USB 端子につなぎます。
  ビデオカメラによってはビデオカメラ側で USB 接続のための操作をする必要があります。
  詳しくはビデオカメラの取扱説明書をお読みください。

Everio バックアップディスクから取り込む場合

- Everio バックアップディスクをトレイに入れます。
  トレイを閉めると、メディア検出画面が表示されます。
  ディスクの入れかたについては、"ディスクを入れる" (P.20)をご覧ください。

2 メディア検出画面の "撮影動画を取り込む"を選び、決定 を押す

- 撮影動画の取り込み画面が表示されます。

3 "差分を取込む"または "すべてを取込む"を選び、決定 を押す

- "差分を取込む"を選ぶと、過去に取り込まれていない映像をすべて取り込みます。
- "すべてを取込む"を選ぶと、過去に取り込まれている映像も別の映像としてすべて取り込みます。

4 "取り込む"を選び、決定 を押す

- 予約録画との重複がなければ取り込みを開始します。
- 予約録画との重複がある場合は、確認画面が表示されます。予約録画と取り込みのどちらを優先するか選び、取り込みを優先すると取り込みを開始します。取り込みが終了した時点で予約録画終了時刻になっていなければ、残り分を録画開始します。
- 取り込みが完了すると、画面にメッセージが表示され、元の画面に戻ります。

- 他社製のビデオカメラについては、映像の取り込みを保証しません。
- SD カードの映像フォーマットによっては、映像の取り込みができない場合があります。
- 取り込み可能なメディアについては、"再生/ダビングができるメディアについて" (P.174)をご覧ください。

- 録音/録画中は取り込みができません。録音/録画が終了してから取り込みを実行してください。
- 取り込み中に録画予約時間になる場合は、重複の確認画面が表示されます。

再生する

録画した番組を再生する

録画したテレビ番組やビデオカメラから取り込んだ映像を、再生リストから選んで再生します。

1 V を押す

- V スタートメニューが表示されます。

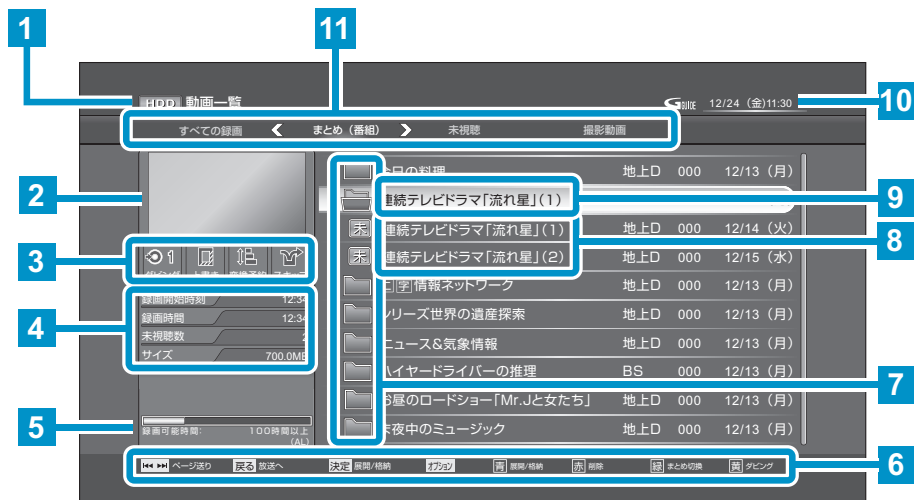
2 "動画再生"の "テレビ"または "撮影動画"を選び、決定 を押す

- 再生リスト(P.104)が表示されます。

3 再生したい映像(番組)を選び、決定 を押す

- 選んだ映像(番組)が再生されます。
- 停止する場合は、停止■ を押してください。停止位置(リジューム・ポイント)が記憶され、他のソースの視聴後、次に再生するときに停止した位置から再生が始まります。(つづき再生)
- 再生が終了および停止すると、再生リスト画面に戻ります。

➡ 再生中の操作のしかた(P.108)
➡ 本機でダビングしたディスクを再生したい(P.105)
➡ 市販のディスクを再生したい(P.105)
➡ 番組の削除をしたい(P.112)
➡ 番組の編集をしたい(P.114)

再生リストの見かた(HDD の動画一覧)

1 メディア表示

HDD アイコンが表示されます。

2 選択番組縮小表示

選んでいる番組が縮小表示されます。

- 選択番組縮小表示は、1 倍速で再生されます。

3 テレビ番組の属性アイコン 1

選んでいる番組のアイコンが表示されます。

- (ダビング)：ダビング可能回数(1～10)が表示されます。数字が「1」のときにダビングすると、番組がディスクに移動します。ダビングが禁止されているときは、禁止マークのアイコンが表示されます。
- (上書き)：繰り返し予約録画で、上書き設定されている番組です。
- (保護)：保護されている番組です。
- (変換予約)：録画モード変換予約されている番組です。
- (スキップ)：編集(スキップ設定)されている番組です。

4 詳細情報

選んでいる番組、まとめの詳細情報(録画開始時刻、録画時間、録画モード、サイズ、未視聴数)が表示されます。

5 録画可能時間

HDD に録画可能な残り時間が表示されます。

6 操作ガイド

リモコンボタンの操作内容が表示されます。

7 テレビ番組の属性アイコン 2

- REC：録画中です。
- 未：1 度も再生していない番組です。
- (フォルダ)：複数の番組がまとめられています。選んで 決定 を押すと、まとめ表示内の番組が表示されます。(分類タブの「まとめ」のときのみ)

8 番組名

番組名が表示されます。

9 まとめ名

格納されているまとめ表示の場合は、まとめ表示の名前がまとめ名として表示されます。

10 日時表示

現在の日時が表示されます。

11 分類タブ

番組が分類して表示されます。

すべての動画：すべての録画番組が一覧表示されます。取り込んだ撮影動画は含まれません。上から録画日の新しい順に並びます。

まとめ(*)：「番組」、「曜日」、「ジャンル」のいずれかでまとめられます。

未視聴：1 度も見ていない番組が一覧表示されます。

撮影動画：ビデオカメラや SD カードから取り込んだ映像が一覧表示されます。

＊：まとめの「番組」、「曜日」、「ジャンル」の切り換えは、オプション を押して、オプションメニューの "まとめ表示を切り換える"から設定します。

ディスクを再生する

準備

- テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を本機を接続した入力に切り換えます。
- 本機の電源を入れます。

ディスクを入れて見る場合

1 再生したいディスクを入れる

➡ ディスクの入れかた(P.20)

2 メディア検出画面で "動画を見る"を選び、決定 を押す

- 市販のディスクの場合は、再生が始まります。
  メニュー画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。
  市販ディスクによっては、メディア検出画面が表示されずに再生が始まる場合があります。
- 録画済みのディスクの場合は、再生リストが表示されます。
  再生したい映像(番組)を選び、決定 を押して再生してください。
  "再生リストの見かた(Blu-ray™/DVD/SD カードの動画一覧)" (P.106)
- 停止する場合は、を押してください。停止位置(リジューム·ポイント)が記憶され、他のソースの視聴後、次に再生するときに停止した位置から再生が始まります。(つづき再生)

➡ 再生中の操作のしかた(P.108)
➡ 「つづき再生(リジューム停止)」について(P.111)

スタートメニューから見る場合

1 V を押す

- V スタートメニューが表示されます。

2 画面下のディスクアイコンを選んで、決定 を押す

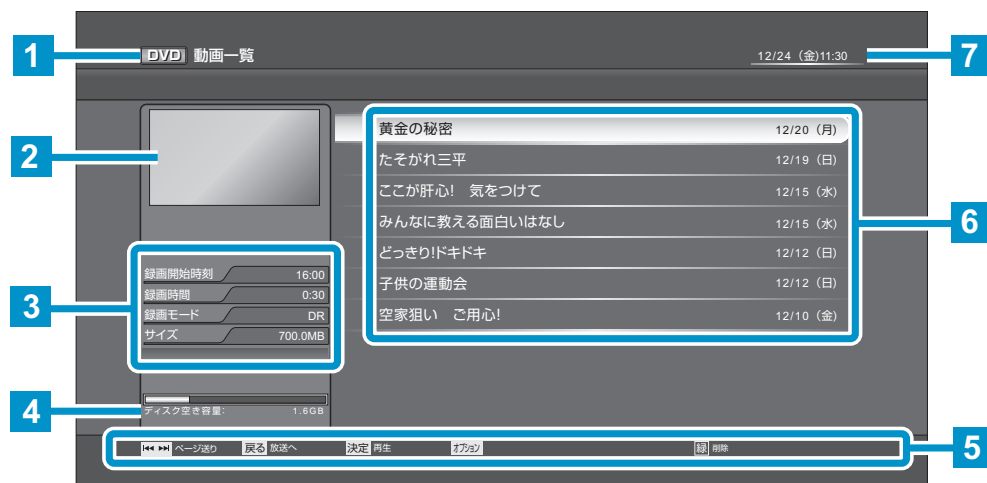
- Blu-ray Disc™ のときは "ブルーレイ"のアイコンに、DVD のときは "DVD"のアイコンになります。

3 メディア検出画面で "動画を見る"を選び、決定 を押す

- 以降の手順は「ディスクを入れてみる場合」の手順 2 を参照してください。

- DVD ビデオソフトの再生時は、テレビ放送と比べて音量が小さく感じられます。再生中に音量を上げたときは、再生停止前に必ず音量を下げてください。
- 市販の DVD や Blu-ray Disc™ 再生時は録画一覧画面は表示されず、一般的には制作者によるメニュー画面が表示されます。

VISUAL (TV & VIDEO)

再生リストの見かた（Blu-ray™/DVD/SD カードの動画一覧）

1 メディア表示

ブルーレイ/DVD/SD カードのアイコンが表示されます。

2 選択番組縮小表示

選んでいる番組が縮小表示されます。

- 選択番組縮小表示は、1 倍速で再生されます。

3 番組情報

録画開始時刻、録画時間、録画モード、サイズ（容量）が表示されます。

4 ディスク/SD カード空き容量

ディスク/SD カードの空き容量が表示されます。

5 操作ガイド

リモコンボタンの操作内容が表示されます。

6 タイトルリスト

ディスクにダビングされた番組や SD カードに記録された撮影動画が表示されます。

- SD カードに AVCHD 方式で記録された撮影動画はリスト表示されません。

7 日付表示

現在の時間が表示されます。

BD-Live について

本機をインターネットに接続することで、特別映像や字幕などの追加コンテンツや、ネットワーク対戦ゲームなど、様々な機能を楽しむことができます。

- BD-Live で利用できる様々な機能は、ディスクにより異なります。詳しい機能や動作については、それぞれのディスクの画面表示や説明をご覧ください。
- BD-Live を利用するには、ダウンロードしたコンテンツを保存するために SD カードを本機に挿入する必要があります。SD カードは、容量が 1GB 以上、Class 2～10 のものをお使いください。
  SD カードの空き容量が少ない場合は、本機で SD カードを初期化する(P.181)か、他の SD カードをお使いください。
- BD-Live 対応ディスクの再生中は、SD カードを本機から抜かないでください。
- BD-Live を利用するには、ネットワークの設定を行ってください。
  詳しくは、"ネットワークの設定をする" (P.47)をご覧ください。
- お使いのネットワーク環境によっては、ネットワーク接続に時間がかかったり、接続できない場合があります。
- BD-Live 対応ディスクの再生中、プレイヤーまたはディスクの識別 ID がコンテンツプロバイダーに送信されることがあります。インターネット接続を制限するには、"BD-Live インターネット接続"のを変更してください。

BD-Live 用データを削除するには

1 削除したい SD カードを入れ、メディア検出画面を表示する

2 "SD カード管理"を選び、決定を押す

- SD カード管理画面が表示されます。

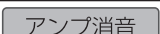
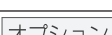
3 "BD-Live 用データ削除"を選び、決定を押す

- 削除の確認画面が表示されます。

4 "削除する"を選び、決定を押す

- BD-Live 用データが削除され、元の画面に戻ります。

バーチャルパッケージについて

バーチャル･パッケージに対応している BD ビデオソフトでは、他のメディア(ローカルストレージ)にデータをコピーして、再生しながらいろいろな機能を楽しむことができます。

本機では、SD カードをローカルストレージとして使用します。

- 必要な空き容量やコピー、再生のしかたは、BD ビデオソフトの取扱説明書をご覧ください。
- 他のデータが入った SD カードや、他の機器でフォーマットされた SD カードを使用すると、正しく再生されないことがあります。
  その場合は、本機で SD カードを初期化する(P.181)か、他の SD カードをお使いください。
  初期化すると、記録された内容も削除されますので、ご注意ください。
- コピーされたデータでバーチャル･パッケージを再生中に本機から SD カードを抜くと、ディスクの再生が停止します。
- 再生中、映像や音声が停止することがあります。

➡ 有線ネットワークにつなぎたい(P.35)
➡ 無線ネットワークにつなぎたい(P.36)
➡ BD-Live 接続設定を変更したい(P.153)

映像の再生時にできる操作

再生中に使える操作ボタン

操作ボタン	説明
再生 ►	映像を再生します。
停止 ■	再生を停止します。
早送り ►►	押すたびに、早送り再生速度が 5 段階で切り換わります。 • 1 回押すと、音声付きの約 1.3 倍速の早送りになります。 • 早送り再生中に 再生 ► を押すと通常再生に戻ります。
早戻し ◄◄	押すたびに、早戻し再生速度が 4 段階で切り換わります。 • 早戻し再生中に 再生 ► を押すと通常再生に戻ります。
一時停止 ❚❚	再生が一時停止します。 • 一時停止中に 再生 ► を押すと通常再生に戻ります。 ゆっくり見る（逆スロー再生/スロー再生） • 一時停止中に、早戻し ◄◄ / 早送り ►► を長押しすると、逆スロー再生/スロー再生します。押すたびに速度が 4 段階で切り換わります。 • スロー再生中に、再生 ► を押すと通常再生に、一時停止 ❚❚ を押すと一時停止に戻ります。 コマを戻す/進める（コマ戻し/コマ送り） • 一時停止中に、早戻し ◄◄ / 早送り ►► を押すと、コマ戻し/コマ送りをします。
字幕	押すたびに、字幕が切り換わります。
＋ アンプ音量 －	本機に接続したスピーカーおよびヘッドホンの音量を調節します。
アンプ消音	本機に接続したスピーカーおよびヘッドホンの音を消します。
次 ►►❘	押すたびに、次のチャプターにスキップします。 • 一時停止中に押すと、押すたびに一時停止のまま次のチャプターにスキップします。
前 ❘◄◄	押すたびに、前のチャプターに戻ります。 • 一時停止中に押すと、押すたびに一時停止のまま前のチャプターに戻ります。
30秒送り	押すたびに約 30 秒ずつ先にスキップします。 • 一時停止中に押すと、押すたびに一時停止のまま約 30 秒ずつ先にスキップします。
7秒戻り	押すたびに約 7 秒ずつ戻ります。 • 一時停止中に押すと、押すたびに一時停止のまま約 7 秒ずつ戻ります。
音声	押すたびに、音声が切り換わります。
画面表示	現在放送中のチャンネル番号、番組の開始時刻/終了時刻や番組名などが表示されます。
オプション	再生中に使えるオプションメニューを表示します。
戻る	再生を停止し、元の画面に戻ります。（DVD-Video、BDMV では機能しません。）

- 本機で録画した番組は、録画モード DR で録画された字幕あり番組のみ字幕切り換えが可能です。

- SD カードに記録した映像や、ビデオカメラから取り込んだ映像、および BDMV の映像は、逆スロー再生ができません。
- ビデオカメラから取り込んだ映像、および BDMV の映像は、コマ戻しができません。

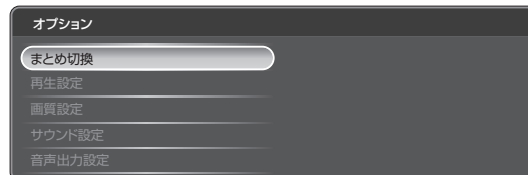
オプションメニューの項目

1 オプション を押す

- オプションメニュー画面が表示されます。

2 項目を選び、決定 を押す

3 設定を変更して、決定 を押す

4 戻る を押して終了する

オプションメニューから設定を変更するには

まとめ切換

動画のまとめを切り換えます。

再生設定

再生に関して設定します。

映像(アングル)	:	複数の映像を録画した動画の場合、映像やアングルを切り換えます。
映像情報	:	映像の情報を表示します。
音声	:	複数の音声を録画した動画の場合、音声を切り換えます。
音声情報	:	音声の情報を表示します。
二重音声 L/R	:	主音声と副音声の出力のしかたを切り換えます。
字幕	:	画面に字幕を表示します。
字幕言語	:	字幕で表示する言語を表示します。
リピート再生	:	再生中の動画をリピート(繰り返し)再生します。
BD-Video オプション	:	BD-Video 再生の場合、副映像や副音声などの設定ができます。

画質設定

動画の画質について設定します。

画質選択	:	再生時の画質を選びます。 ソフト:ざらつきの少ないやわらかい画質 ファイン:輪郭がはっきりした画質 シネマ:映画鑑賞に適した画質
プログレッシブ	:	480p、1080p のプログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。 "自動"に設定していて画像がぶれるときは "ビデオ"に設定してください。
DNR	:	ノイズ低減機能を設定します。

サウンド設定

お好みの音質に変更したいときに選んでください。
詳しくは、"好みの音質で聞く(サウンド設定)" (P.146)をご覧ください。

音声出力設定

音声出力を変更したいときに選んでください。
詳しくは、"音声出力設定" (P.99)をご覧ください。

SDカードに記録された映像を見る

準備
- テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を本機を接続した入力に切り換えます。
- 本機の電源を入れます。

1 再生したい外部メディア(SDカード)を入れる
- メディア検出画面が表示されます。

2 "撮影動画を見る"を選び、決定を押す
- 再生リストが表示されます。"再生リストの見かた(Blu-ray™/DVD/SDカードの動画一覧)" (P.106)
- AVCHD方式で録画したSDカードの場合は、再生リストが表示されずに、動画が再生されます。

3 再生したい撮影動画を選んで、決定を押す
- 停止する場合は、を押してください。停止位置(リジューム・ポイント)が記憶され、他のソースの視聴後、次に再生するときに停止した位置から再生が始まります。(つづき再生)

- ➡ 再生中の操作のしかた(P.108)
- ➡ 「つづき再生(リジューム停止)」について(P.111)

スタートメニューから見る場合

1 V(VISUAL)を押す
- Vスタートメニューが表示されます。

2 画面下のSDカードアイコンを選んで、決定を押す

3 メディア検出画面で "動画を見る"を選び、決定を押す
- 再生が始まります。
- メニュー画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。
- 停止する場合は、停止を押してください。停止位置(リジューム・ポイント)が記憶され、次に再生するときに停止した位置から再生が始まります。(つづき再生)

- SDカードの認識・読み込み中は、SDカードを抜いたり、本機の電源を切ったり、電源コードを抜いたりしないでください。
カードの破損や本体の故障の原因となります。
- 記録状態などによっては、リストに表示されるファイルでも再生できないことがあります。

再生についての補足説明

再生全般

- Blu-ray Disc™/DVD の 2 層ディスクの再生中は、1 層目と 2 層目が切り換わるときに映像や音声が一瞬止まることがあります。
- 再生開始時に、映像や音声が出るまで時間がかかることがあります。
- コマ戻し中は、番組のつなぎ目部分でコマ飛びして再生されないことがあります。
- ディスクの再生が終わると、最後の場面で再生一時停止となったりディスクメニューが表示されたりすることがあります。この状態が長く続くと、テレビ画面が焼き付きを起こすことがあります。
- ディスクによっては、つづき再生、再生速度の切り換え、頭出し、言語やカメラアングルの切り換え、リピート再生などの操作が、本機ではできないことがあります。

再生リスト画面

- DVD-RW(Video)/-R(Video)をファイナライズしたディスクは、再生リスト画面を表示できません。ディスクメニューから再生してください。
- リピート再生中に再生リスト画面を表示すると、リピート再生が解除されます。

つづき再生(リジューム停止)

つづき再生が始まる位置は、停止位置によって多少ずれることがあります。
次のような場合、記憶した停止位置(リジューム・ポイント)が解除されます。

■ HDD の再生

- 編集をしたとき。(編集していない番組の停止位置も解除されます。)
- 電源コードを抜いたときや、停電があったとき。

■ ディスクの再生

- ディスクトレイを開けたとき。
- ディスクメニューを表示したとき。
- 設定メニューの "音声言語"や "BD-Video 視聴制限"などの設定を変更したとき。
- ファイナライズをしたとき。
- 市販の BD ビデオでリジューム停止が禁止されたもの。
- 電源コードを抜いたときや、停電があったとき。

■ SD カードの再生

- SD カードを取り出したたとき。
- 電源コードを抜いたときや、停電があったとき。

追っかけ再生／同時録画再生

- 録画の開始直後は、追っかけ再生できないことがあります。少し時間を置いて再生してください
- 追っかけ再生中、再生が録画に追いついてしまうような再生位置ではスキップやサーチなどの操作はできません。

スクリーンセーバー

本機には固定画面表示による画面の焼き付きを防ぐために、スクリーンセーバーを設定できます。
固定画面を表示中に、約 5 分以上無操作が続いた場合にスクリーンセーバーが起動します。
何かの操作をすると、スクリーンセーバーが解除されます。

1

を押す

2 "本体設定"を選び、決定 を押す

3 "表示設定"を選び、決定 を押す

4 "テレビ画面の焼き付き低減機能"を "オン"にし、決定 を押す

詳しくは、"テレビ画面の焼き付き低減機能" (P.158)をご覧ください。

VISUAL（TV & VIDEO）

削除する

録画した番組を削除する

録画したテレビ番組や取り込んだ撮影動画を削除することができます。間違って削除したくない場合は、番組を保護してください。

➡ 選んだ番組を保護する（P.116）

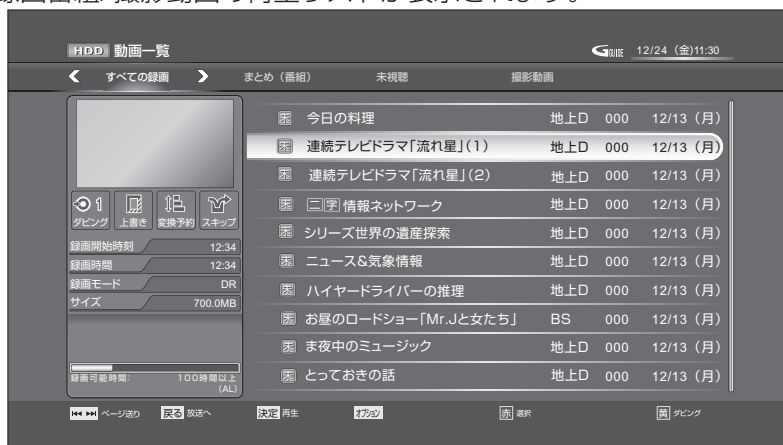
1 V を押す

2 "動画再生"の "テレビ録画"または "撮影動画"を選び、決定 を押す

- 録画番組/撮影動画の再生リストが表示されます。

3 削除したい録画番組を選び、オプション を押す

- オプションメニュー画面が表示されます。

4 "削除する"を選び、決定 を押す

- 手順３で オプション の代わりに、赤 を押しても削除できます。

5 "この番組"を選び、決定 を押す

6 確認画面で "削除する"を選び、決定 を押す

- 選んだ番組が削除され、再生リストに戻ります。

- 保護されている番組は削除することができません。保護を解除してから削除してください。
  ➡ 選んだ番組の保護を解除する（P.116）

選んだ番組をまとめて削除するには

チェックボックス付きリストを表示して、まとめて削除することができます。

1 録画番組一覧を表示する

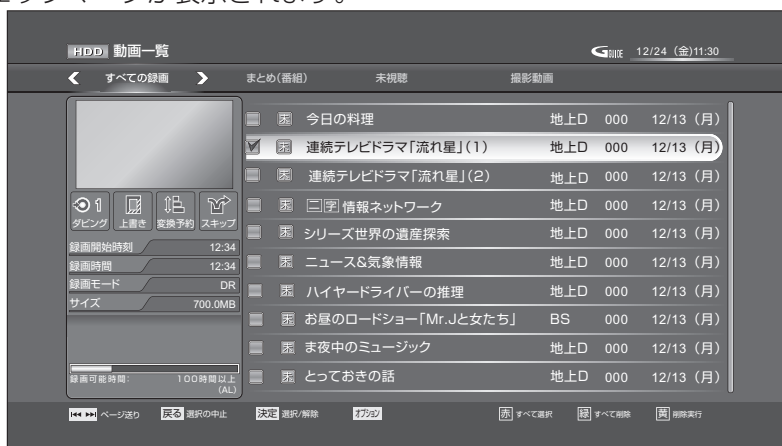
2 オプション を押し、オプションメニュー画面を表示する

3 "削除する"を選び、決定 を押す

4 "複数選ぶ"を選び、決定 を押す

- 録画番組一覧(チェックボックス付き)が表示されます。
- 削除できない番組はグレーで表示されます。

5 削除したい録画番組を選び、決定 を押す

- 選んだ番組にチェックマークが表示されます。

- ◁ / ▷ によるタブ移動はできません。

6 手順 5 を繰り返し、削除したい録画番組を選ぶ

- チェックマークを解除したい場合は、解除したい番組を選び、決定 を押してください。
- 赤 を押すとすべてにチェックマークがつきます。緑 を押すとすべてのチェックマークが解除されます。

7 オプション を押し、オプションメニュー画面を表示する

8 "削除を実行する"を選び、決定 を押す

9 確認画面で "削除する"を選び、決定 を押す

- 選んだ番組が削除され、録画番組一覧に戻ります。

編集する

本機でできる編集について

本機のＨＤＤに取り込んだ映像を編集することができます。

情報を修正する

番組名/まとめ名変更

- 番組名やまとめ名を変更することができます。

➡（P.115）

番組の保護を設定する

番組保護、解除

- 番組を削除しないように保護したり、保護を解除したりすることができます。

➡（P.116）

動画を編集する

録画モード変換

- 録画した番組の録画モードを変換することができます。録画した番組を圧縮して変換します。

➡（P.117）

チャプター分割、結合

- 録画した映像のチャプターを分割したり、チャプターを結合することができます。

➡（P.121）

チャプター削除

- 映像のチャプター部分を選んで削除することができます。

➡（P.122）

番組分割

- 番組を複数に分割することができます。

➡（P.123）

- ディスク、SD カードおよび USB 機器の映像は、編集することができません。

録画した番組の名前を変更する

録画した番組名/まとめ名を変更することができます。

選んだ番組名/まとめ名を変更する

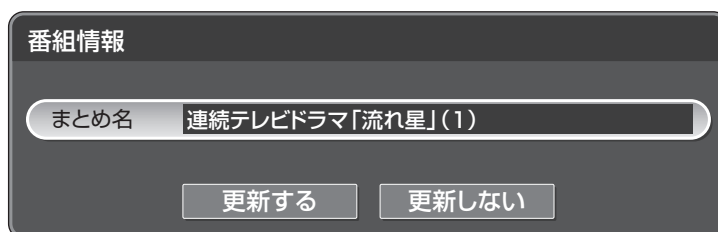
1 録画番組一覧を表示する

2 変更したい録画番組またはまとめ表示を選び、オプション を押す

- オプションメニュー画面が表示されます。

3 "情報を修正する"を選び、決定 を押す

- 録画番組またはまとめ表示の情報修正画面が表示されます。

4 "番組名"または "まとめ名"を選び、決定 を押す

5 番組名/まとめ名を変更する

- 文字の入力方法については、"文字入力の方法" (P.16)をご覧ください。

6 情報修正画面で "更新する"を選び、決定 を押す

- 修正した番組名/まとめ名に変更します。変更が終わると、元の画面に戻ります。

録画した番組を保護する(設定/解除)

保護すると、録画した番組を誤って編集や消去をしないようにできます。

選んだ番組を保護する

1 録画番組一覧を表示する

2 保護したい録画番組を選び、オプション を押す

- オプションメニュー画面が表示されます。

3 "保護する"を選び、決定 を押す

- 保護の確認画面が表示されます。

4 "この番組"を選び、決定 を押す

- 選んだ番組が保護されます。
- "複数選ぶ"を選ぶと、複数の番組をまとめて保護できます。

選んだ番組の保護を解除する

1 録画番組一覧を表示する

2 保護を解除したい録画番組を選び、オプション を押す

- オプションメニュー画面が表示されます。

3 "保護を解除する"を選び、決定 を押す

- 保護解除の確認画面が表示されます。

4 "この番組"を選び、決定 を押す

- 選んだ番組の保護が解除されます。
- "複数選ぶ"を選ぶと、複数の番組をまとめて解除できます。

録画モードを変換する(録画可能時間を増やす)

録画モード "DR"で録画した番組を再圧縮して変換することができます。変換されると、録画可能時間が増えます。

選んだ番組の録画モードを変換する

1 録画番組一覧を表示する

2 録画モードを変換したい番組を選び、オプション を押す

- オプションメニュー画面が表示されます。

3 "編集する"を選び、決定 を押す

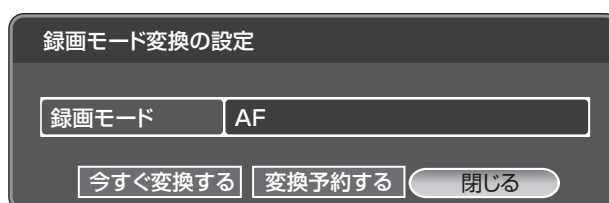
4 "録画モードを変換する"を選び、決定 を押す

- 録画モードの変換画面が表示されます。

5 "録画モード"を選び、決定 を押す

6 変換したい録画モードを選び、決定 を押す

- 録画モードの詳細については、"録画/録音モードと記録時間の目安、多重音声について" (P.177)をご覧ください。

7 "今すぐ変換する"または "変換予約する"を選び、決定 を押す

- "今すぐ変換する"を選び 決定 を押すと、録画モード変換の確認画面が表示されます。
- あとで実行したいときは、"変換予約する"を選び、決定 を押してください。本機の電源が「切」のときに変換を実行します。

8 "変換する"を選び、決定 を押す

- 手順 7 で "今すぐ変換する"を選んだ場合は、"変換する"を選び、決定 を押してください。選んだ録画モードに番組が変換されます。変換が終了するとメッセージが表示され、元の画面に戻ります。
- 手順 7 で "変換予約する"を選んだ場合は、電源が「切」で予約などが無い時間に自動で変換が行われます。変換作業中に何らかの操作が行われた場合は変換を中止し、変換可能になったときで再度変換し直します。

- "変換予約する"を設定して、本機の電源を「切」にしたとき、予約録画などがあると予約録画が優先されます。
- 録画モード変換予約は最大で 10 件まで設定できます。
- ハイビジョンでない標準画質の放送を DR モードで記録し、その番組を録画モード変換すると番組の容量が逆に増えてしまう場合があります。

- 録画モードを変換すると、元の録画モード "DR"に戻せません。
- 録画モードの変換は、DR から AF/AN/AL/AE への変換のみ可能です。XP/SP/LP/EP への変換(ダウンコンバート)は、できません。

- 録画モードの変換予約は、予約一覧で確認/変更/削除できます。
➡ (P.118)

VISUAL (TV & VIDEO)

録画モード変換中に、変換を中止したい場合は

1 録画モード変換中に、オプション を押す

- オプションメニュー画面が表示されます。

2 "中止する"を選び、決定 を押す

- 録画モード変換の中止の確認画面が表示されます。

3 "中止する"を選び、決定 を押す

- 録画モード変換が中止されます。

録画モード変換予約を削除したい場合は

1 予約/確認 を押す

2 オプション を押し、"テレビ予約"を選び、決定 を押す

3 ◁/▷ で "録画モード変換"の予約一覧画面を表示する

4 削除したい録画モード変換予約を選び、オプション を押す

- オプションメニュー画面が表示されます。

5 "削除する"を選び、決定 を押す

- 番組の録画モード変換予約が削除されます。

録画モード変換予約を変更したい場合は

1 予約/確認 を押す

2 オプション を押し、"テレビ予約"を選び、決定 を押す

3 ◁/▷ で "録画モード変換"の予約一覧画面を表示する

4 変更したい予約を選び、決定 を押す

- 録画モード変換の設定画面が表示されます。

5 "録画モード"を選び、決定 を押す

- 録画モードの選択画面が表示されます。
- 変更したい録画モードを選び、決定 を押してください。

6 "変換予約する"を選び、決定 を押す

- 変更した録画モードで予約が更新されます。

動画編集をする

動画編集画面で「チャプターの分割」、「チャプターの結合」、「チャプターのスキップ設定」、「チャプターの削除（部分削除）」および「番組の分割」ができます。
チャプターについて、詳しくは"チャプターとは" (P.120)をご覧ください。

動画編集画面を表示する

1 [V] を押す

2 "動画再生"の "テレビ録画"または "撮影動画"を選び、[決定] を押す

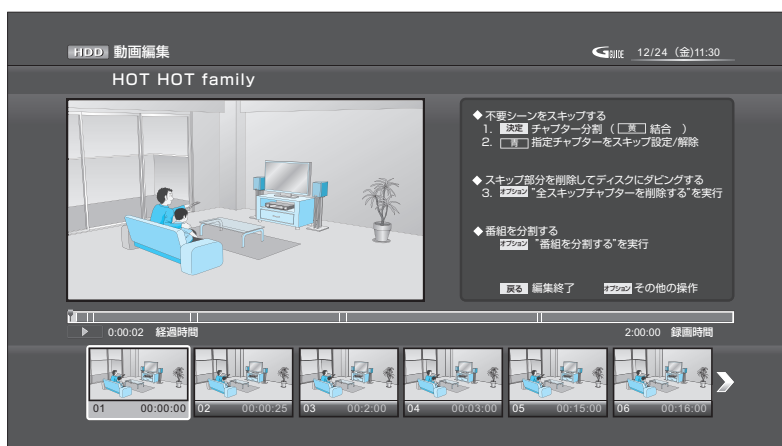
- 録画番組/撮影動画の再生リストが表示されます。

3 動画編集したい番組を選び、[オプション] を押す

- オプションメニュー画面が表示されます。

4 "編集する"を選び、[決定] を押す

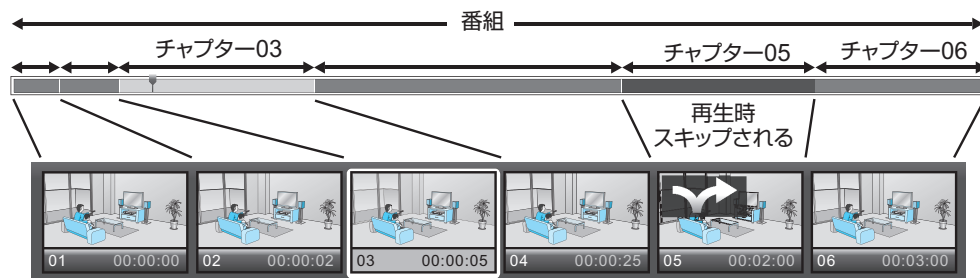
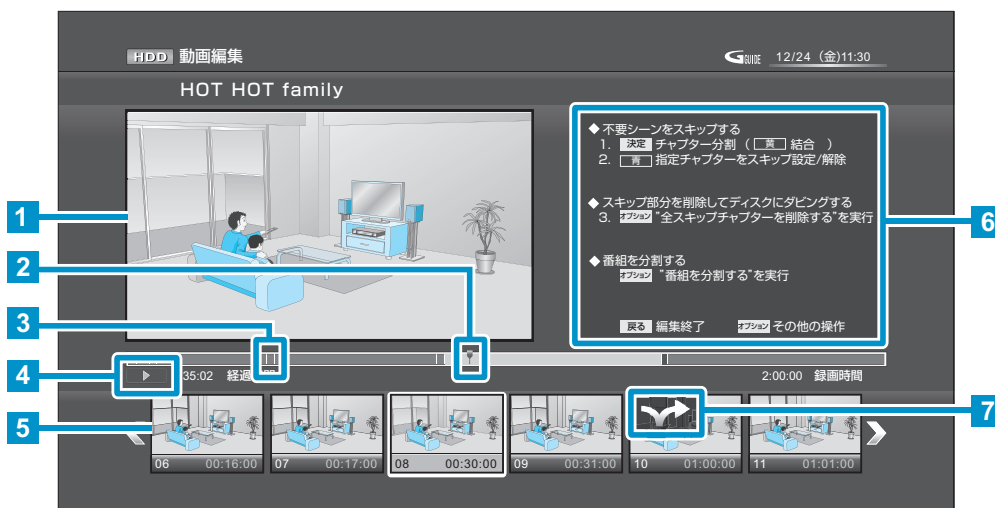
5 "動画を編集する"を選び、[決定] を押す

- 動画編集画面が表示されます。

動画編集を終了するには

1 [戻る] を押す

- 録画番組/撮影動画の再生リストの画面に戻ります。

チャプターとは

チャプターとは、チャプターマーク（映像の区切りマーク）で区切られた区間のことを言います。
お気に入りの場面などにチャプターマークを作成すると、前/次を押したときにその場面へ飛ぶことができます。

動画編集画面の見かた

1 再生確認画面

再生中の動画が画面に表示されます。

2 再生位置表示

再生確認画面での再生位置を表示します。

3 チャプターマーク

チャプターを分割したときに、チャプターマークが作成されます。チャプターを結合すると、チャプターマークが消えます。

4 再生状態表示

再生確認画面での再生状態を表示します。

5 チャプター代表小画面

それぞれのチャプターの一番先頭の映像が表示されます。

6 操作ガイド

操作手順、使用するボタンなどが書かれています。

7 スキップマーク

：再生中に飛ばされるチャプターを青で設定/解除します。

チャプターを分割する/結合する

チャプターを分割すると、前 / 次 でチャプターの先頭に移動できます。

準備 • 動画編集画面を表示してください。

■ チャプターを分割する(チャプターマークの追加)

1 動画を再生し、コマ送りなどで目的のコマで一時停止する

• 録画した番組の再生方法については、"録画した番組を再生する" (P.103)をご覧ください。

2 決定 を押す

• 一時停止した位置でチャプターマークが追加され、チャプターが分割されます。

3 手順 1〜2 を繰り返してチャプターを分割する

■ チャプターを結合する(チャプターマークの削除)

1 ◁ / ▷ および 前 / 次 で結合したいチャプターを選び、オプション を押す

• オプションメニュー画面が表示されます。

2 "チャプターを結合する"を選び、決定 を押す

3 "前のチャプター"、"後ろのチャプター"または "すべてのチャプター"を選び、決定 を押す

• "前のチャプター"を選ぶと、選んでいるチャプターと 1 つ前のチャプターを結合します。
• オプション の代わりに、黄 を押しても、前のチャプターと結合します。
• "後ろのチャプター"を選ぶと、選んでいるチャプターと 1 つ後ろのチャプターを結合します。
• "すべてのチャプター"を選ぶと、すべてのチャプターが結合されます。

4 確認画面で "結合する"を選び、決定 を押す

• チャプターが結合されます。

• 本機で設定できるチャプター数の上限は以下の通りです。
HDD の 1 番組での最大チャプター数:99

VISUAL (TV & VIDEO)

チャプターをスキップ設定する/削除する

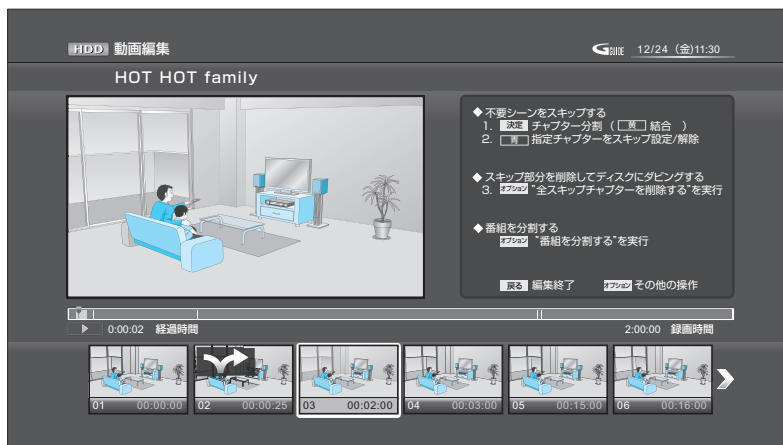
録画した番組の不要部分をスキップしたり、削除したりすることができます。

準備
- 動画編集画面を表示してください。
- チャプターを分割する。
  チャプターの分割方法については、"チャプターを分割する/結合する" (P.121)をご覧ください。

■ チャプターをスキップ設定にする

チャプターをスキップ設定にすることができます。スキップ設定されたチャプターは再生時にスキップされます。

1 ◁ / ▷ および 前 / 次 で削除したいチャプターを選び、オプション を押す
- オプションメニュー画面が表示されます。

2 "スキップを設定/解除する"を選び、決定 を押す

- 選んだチャプターがスキップ設定されます。
- オプション の代わりに、青 を押してもスキップ設定できます。

3 手順 1〜2 を繰り返し、チャプターをスキップ設定する
- スキップ設定を解除したい場合は、解除したいチャプターを選び、手順 1〜2 を操作してください。選んだチャプターのスキップ設定が解除されます。

- スキップ設定したチャプターもディスクにダビングされます。ディスクにダビングしたくないチャプターをすべて削除してください。

■ チャプターを削除する(部分削除)

スキップ設定にしたチャプターをすべて削除できます。事前に削除したいシーンの前後でチャプター分割し、削除したいシーンをスキップ設定しておいてください。

1 動画編集画面で、オプション を押す
- オプションメニュー画面が表示されます。

2 "全スキップチャプターを削除する"を選び、決定 を押す
- チャプター削除の確認画面が表示されます。

3 "削除する"を選び、決定 を押す
- スキップ設定したチャプターがすべて削除されます。

録画した番組を分割する

録画した番組(タイトル)を選んだチャプターの先頭で２つに分割することができます。

- 分割位置は、選んだチャプター画面の先頭で前後に分割されます。
  現在の再生位置(サムネイル画面の位置)では分割されないのでご注意ください。

準備

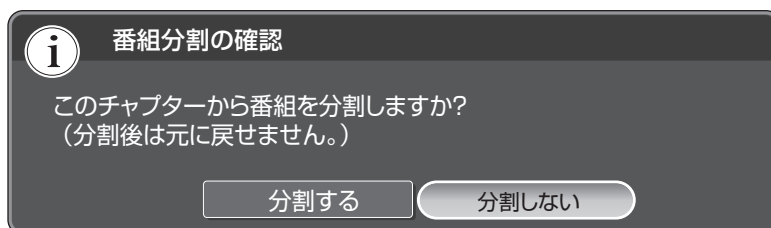
- 動画編集画面を表示してください。
- チャプターを分割します。
  チャプターの分割方法については、"チャプターを分割する/結合する" (P.121)をご覧ください。

1 ◁/▷および 前 / 次 で分割したい位置のチャプターを選び、オプション を押す

- オプションメニュー画面が表示されます。

2 "番組を分割する"を選び、決定 を押す

- タイトル分割の確認画面が表示されます。
- チャプター画面の一覧に分割位置がマークアップされます。

3 "分割する"を選び、決定 を押す

- 分割位置が正しいか確認してください。決定 を押すとタイトルが分割され、終了後に分割完了の画面が表示されます。
- 分割位置を直したい場合は、"分割しない"を選んで 決定 を押し、手順1からやり直してください。

4 "閉じる"を選び 決定 を押す

- 元の画面に戻ります。

- 一度分割した番組を元に戻す(もう一度結合する)ことは、できません。

ダビングする

本機でできるダビングについて

本機の HDD に録画した番組を、Blu-ray Disc™ および DVD にダビングできます。
USB メモリーや SD カードには、ダビングできません。

本機には複数のダビングモードがあります。

ダビングモード	内容
おまかせ （初期値）	本機が自動的に、各番組をできるだけ最適なモードに設定してディスクにダビングします。 • 高速ダビングが可能な場合は、高速ダビングします。 • 高速ダビングが不可能な場合は、できるだけ高画質なモードでダビングします。 • ディスクの空き容量が少ない場合は、画質（録画モード）を下げてダビングします。
高速ダビング	元の録画データを変換しないで、そのまま高速にディスクにダビングします。 ただし、高速ダビングできる条件に合わない番組は、選択できません。
AF～AE、XP～EP	元の録画モードに関係なく、指定した録画モードに変換しながら等速でディスクにダビングします。

ダビングの動作

◎：高速でダビング可能　○：等速でダビング可能　×：ダビング不可　-：選択不可

ダビング先の規格		BDAV			AVCREC			DVD-VR			DVD-Video			備考
録画した元の放送など	元の録画モード	高速	AF～AE	XP～EP	高速	AF～AE	XP～EP	高速	AF～AE	XP～EP	高速	AF～AE	XP～EP	
デジタルテレビ放送（ダビング 10）	DR（MPEG2TS）	◎	○	○	×	○	×	×	×	○	×	×	×	コピー回数が 1 の時はムーブになります。
	AF～AE	◎	○	○	◎	○	×	×	×	○	×	×	×	
	XP～EP	×	×	○	×	×	×	◎	×	○	×	×	×	
デジタルテレビ放送（コピーフリー）	DR（MPEG2TS）	◎	○	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○	
	AF～AE	◎	○	○	◎	○	×	×	×	○	×	×	○	
	XP～EP	×	×	○	×	×	×	◎	×	○	×	×	○	
取り込んだ動画	HD（MPEG2TS）	◎	○	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○	一部のハイビジョン Everio、バックアップディスクなど
	HD（H.264/MPEG4AVC）	◎	○	○	◎	○	×	×	×	○	×	×	○	USB 接続、SD カード、Disc からの取り込み
	SD（MPEG2PS）	×	×	○	×	×	×	◎	×	○	×	×	○	
外部入力録画（元がコピー制限なし）	XP～EP	×	×	○	×	×	×	◎	×	○	◎	×	○	
外部入力録画（元がコピー制限あり）	XP～EP	-	-	-	-	-	-	◎	-	○	-	-	-	この場合はムーブになります

番組のダビング制限について

デジタル放送の場合は、一部の番組を除いてほとんどの番組が、著作権保護のためダビングが禁止または制限されています。ダビング 10 の番組をダビングする場合、9 回目までは「コピー」となり、ダビング後も HDD の元の番組はそのまま残ります。10 回目または「1 回だけ録画可能」な番組は、「ムーブ（移動）」となり、ダビング後に HDD の元の番組が削除されます。

➡ ダビングができるメディアについて（P.174）
➡ 録画モードと記録時間の目安について（P.177）

録画した番組をディスクにダビングする

専用のダビングリスト画面でリストを作成し、ダビングします。

1 ディスクをセットする

- メディア検出画面が表示されます。

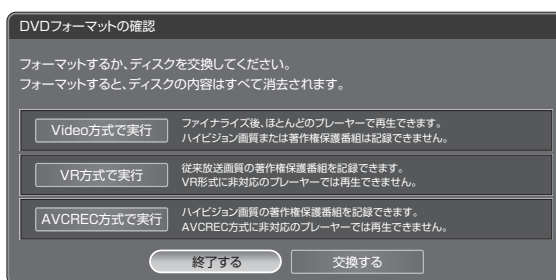
<Blu-ray Disc™ のとき>

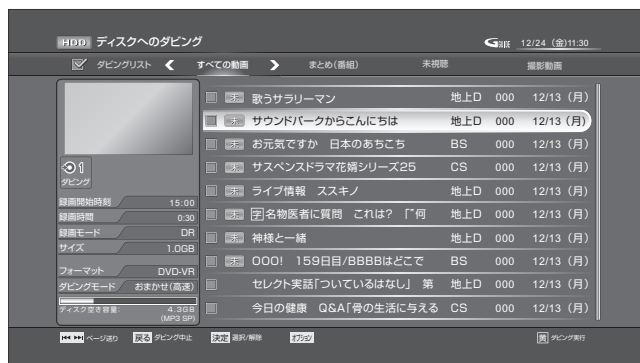
<DVD のとき>

- すでにディスクがセットしてある場合は、[V VISUAL]を押しディスクアイコンを選び、[決定]を押してください。

2 "ディスクにダビングする"を選び、[決定]を押す

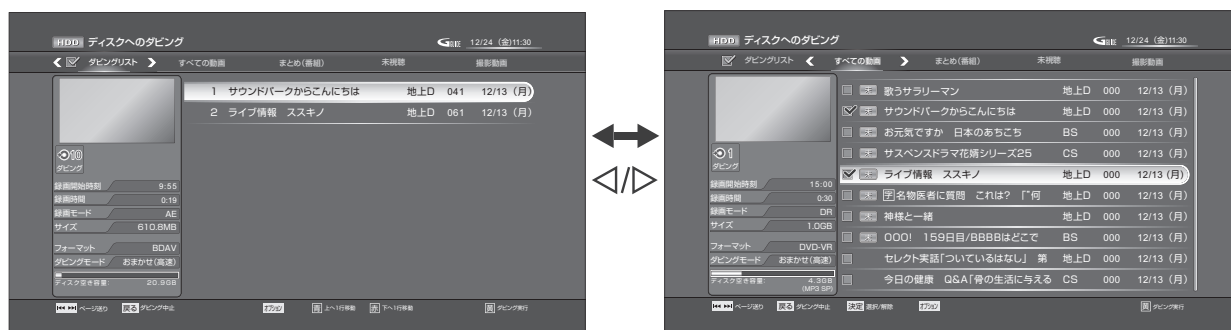
新しいディスクの場合 → 手順３へ
フォーマット済みディスクの場合 → 手順４へ
ファイナライズしたDVD-RWディスクの場合 → ファイナライズを解除(P.182)してから手順４へ

3 フォーマットを実行する

- Blu-ray Disc™ の場合は、"実行する"を選んで[決定]を押してください。
- DVDの場合は、"Video方式で実行"、"VR方式で実行"または "AVCREC方式で実行"を選び、[決定]を押してください。
- フォーマットが実行され、フォーマットが完了するとチェックボックス付き録画一覧画面が表示されます。

4 ダビングしたい番組を選ぶ

1 ダビングしたい番組を選び、決定 を押す

- 選んだ番組にチェックマークが表示され、ダビングリストに登録されます。
- 再度 決定 を押すと、チェックマークが消え登録が解除されます。

2 手順 1 を繰り返して、ダビングしたい番組をダビングリストに登録する

■ ダビングリストで確認する

- 選択画面から ◁ を押すとダビングリストに移動します。
- ダビングリストから削除したい場合は、削除したい番組を選び、オプション を押します。
  "リストから解除する"を選び、決定 を押すと、リストから解除されます。
  "リストからすべて解除する"を選び、決定 を押すと、リストからすべて解除されます。
- 順番を変更したい場合は、変更したい番組を選び、青 を押すと 1 つ上に移動、赤 を押すと 1 つ下に移動します。

5 ダビングモードを設定/変更する

- ダビングモードは標準で "おまかせ"に設定されています。ダビングモードを "高速ダビング"または、お好みの録画モードに変更したい場合は、以下の手順を実行してください。

1 オプション を押す

2 "ダビングモードを変更する"を選び、決定 を押す

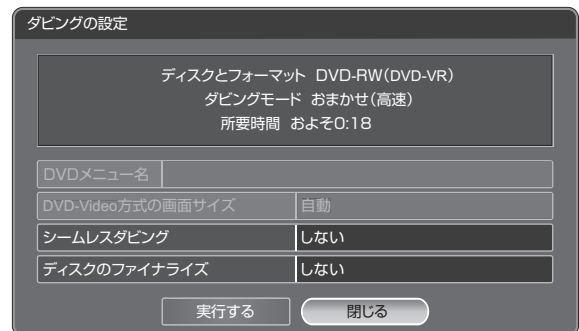
- 設定可能な録画モードが表示されます。

3 "高速ダビング"またはお好みの録画モードを選び、決定 を押す

6 ダビング実行時の各種設定を確認する

1 オプション を押す

2 "ダビングを開始する"を選び、決定 を押す

- ダビングの設定画面が表示されます。
- オプション を押す代わりに、黄 を押しても画面が表示されます。
- ダビングの設定画面では、"ディスクとフォーマット"、"ダビングモード"、ダビングにかかるおよその"所要時間"が確認できます。
- DVD メニューで表示される "DVD メニュー名"、"DVD-Video 方式の画面サイズ"、"撮影動画のシームレスダビング"、"ディスクのファイナライズ"の設定については、下記をご覧ください。

- 表示されるダビングの所要時間はあくまで目安時間です。実際には早く終わったり、多少遅くなる場合があります。

DVD メニュー名を入力するには(DVD-Video 方式のみ対応)

1 "DVD メニュー名"を選び、決定 を押す

- DVD メニュー名の入力画面が表示されます。

2 DVD メニュー名の文字を入力する

- 文字の入力方法については、"文字入力の方法" (P.16)をご覧ください。

DVD-Video 方式の画面サイズを設定するには(DVD-Video 方式のみ対応)

- DVD-Video 方式の場合に、画面サイズを設定できます。

1 "DVD-Video 方式の画面サイズ"を選び、決定 を押す

2 "自動"、"4:3"または "16:9"を選び、決定 を押す

- "自動"を選んだ場合は、ダビングする番組に合わせて画面サイズが自動で切り換わります。"4:3"または "16:9"を選んだ場合は、選んだ画面サイズで固定されます。
- 通常は "自動"に設定してください。

シームレスダビングを行うには

- チャプター削除(部分削除)した番組がダビングリストに含まれている場合に、シームレスダビングを設定すると、シーンのつなぎ目をなめらかにしてダビングできます。

1 "撮影動画のシームレスダビング"を選び、決定 を押す

2 "する"または "しない"を選び、決定 を押す

- "する"を選んだ場合は、シームレスダビングをします。このとき、高速ダビングはできません。

ファイナライズを設定するには

- ダビング終了後に、ディスクをファイナライズするか設定できます。
ファイナライズをすると、他の DVD プレーヤー／レコーダーなどで再生したり、ディスクへの追記を防いだりできます。

1 "ディスクのファイナライズ"を選び、決定を押す

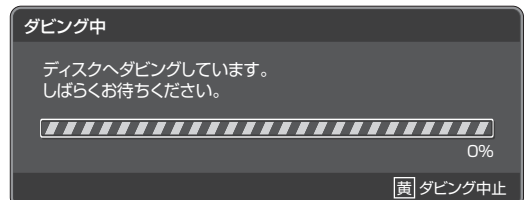
2 "する"または "しない"を選び、決定を押す

- "する"を選んだ場合は、ダビング終了後にディスクをファイナライズします。

- ファイナライズできないディスクの場合は、ファイナライズの設定がグレーで表示され、設定できません。
- DVD-RW を AVCREC 方式でフォーマットした場合に、"しない"にしてダビングすると、本機からディスクを取り出せません。(警告画面が表示されます)その場合は、ダビング後にファイナライズを実行してください。
また、DVD-RW(AVCREC フォーマット)を繰り返し使用するなど、追記限界回数に達した場合は再生可能な状態を確保するため、ダビング時に強制的にファイナライズします。その場合、そのディスクは AVCREC では再フォーマットできません。
- ファイナライズについては、"他の DVD プレーヤーなどで再生できるようにする(ファイナライズ)" (P.182)をご覧ください。

7 ダビングを開始する

1 "実行する"を選び、決定を押す

- ダビングを開始します。
- ダビングを中止する場合は、黄を押してください。確認画面で "中止する"を選ぶと、ダビングが中止されます。ただし、BD-R や DVD-R など 1 回のみ記録のディスクの場合は、すでに書き込んだ部分の容量は使用できなくなります。
- ダビングが終了すると、完了のメッセージが表示されます。

2 "閉じる"を選び、決定を押す

- HDD の動画一覧の画面が表示されます。

- 高速ダビング以外のとき、ダビング実行中にテレビ出力の解像度が変わることがありますが、ダビング内容には影響はありません。

番組をディスクの空き容量に追加ダビングする

ディスクの空き容量に追加する場合は、フォーマットをする必要がありません。

1 追加ダビングをしたいディスクをセットする

2 メディア検出画面が表示されるので、"ディスクにダビングする"を選び、決定を押す

3 手順 4「ダビングしたい番組を選ぶ」以下を実行する

録画・録音予約

■ 予約スケジュールを使う 130
■ 予約の設定画面のみかた 134
■ 番組表から予約する 135
■ 本機の予約候補検索機能を使って予約する 137
■ 予約一覧で予約の確認や変更、削除をする 139
■ 予約についての補足説明 144

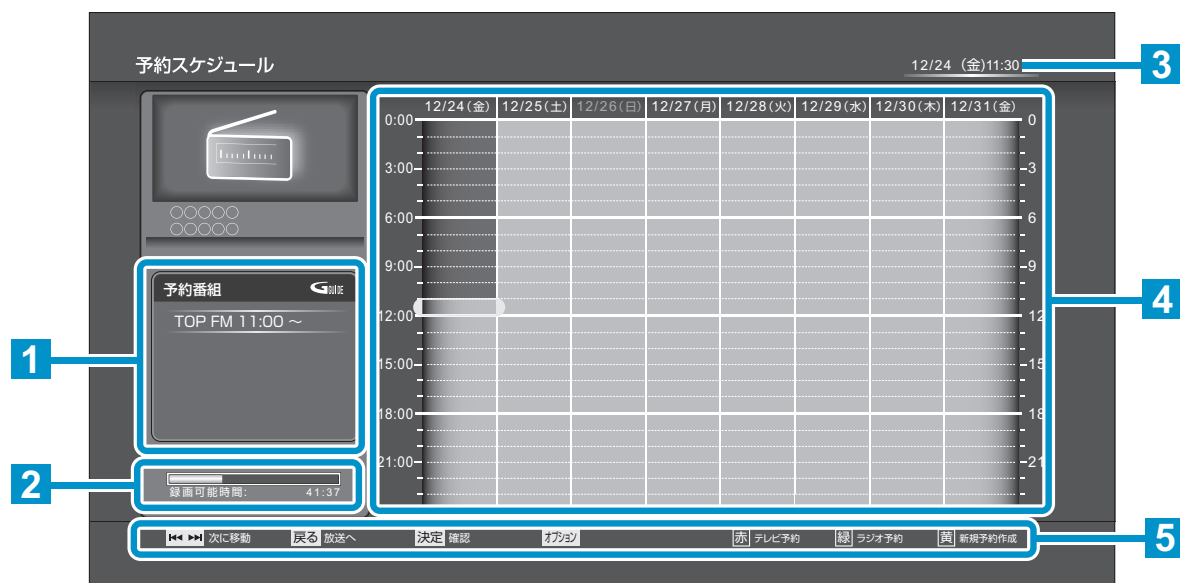
予約スケジュールを使う

予約スケジュールでは、ラジオ番組とテレビ番組の予約状況が時間帯で表示されます。時間帯を選び、予約の登録/確認/変更/削除することができます。

予約スケジュールを表示する

1 予約/確認 を押す

- 予約スケジュール画面が表示されます。
- 予約/確認 を押すたびに、「予約スケジュール」→「テレビ予約一覧」→「ラジオ予約一覧」→ の順番で画面が切り換わります。戻る を押すと、予約スケジュール画面を閉じます。

予約スケジュールの見かた

予約スケジュールは、現在日を含めて 8 日分が表示されます。

1 予約番組

選んでいる時間帯の予約番組を表示します。選んでいる時間帯に予約がないときは、表示されません。

2 録画可能時間

HDD に録画可能な残り時間が表示されます。

3 日時表示

現在の日時が表示されます。

4 予約スケジュール

予約スケジュールは、現在日を含めて 8 日分が表示されます。

各色の内容は以下のようになります。

黒色(過去の時間帯)
- 現在時刻よりも過去の時間帯です。

赤色(録画／録音中)
- 現在、録画/録音がされている時間帯です。

水色(予約あり)
- 録画/録音が可能な予約が設定されている時間帯です。

黄色(録れない予約あり)
- 以下のような原因で、録画/録音が不可能な予約がある時間帯です。
  ･重複予約がある
  ･HDD 容量が不足している
  ･録画可能なタイトル数を超えている
  予約内容を修正したり、不要な映像や音声を削除してください。

灰色(予約無し)
- 予約が設定されていない時間帯です。

5 操作ガイド

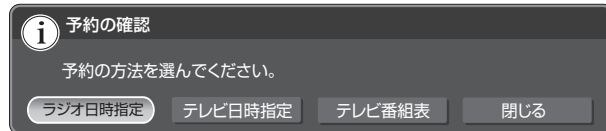
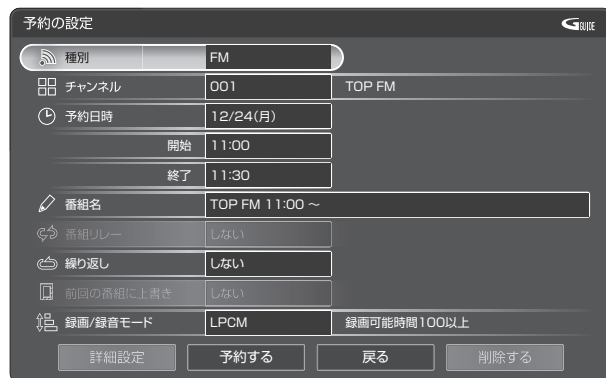
リモコンボタンの操作内容が表示されます。

予約スケジュールから予約を登録する

1 予約/確認 を押す

- 予約スケジュール画面が表示されます。

2 ◁ / ▷ / △ / ▽ を押して予約したい時間帯を選び、黄 を押す

- 予約の確認画面が表示されます。

3 "ラジオ日時指定"または "テレビ日時指定"を選び、決定 を押す

- 予約の設定画面が表示されます。

4 予約の設定をする

- 予約の設定画面で "種別"、"チャンネル"、"予約日時"、"番組名"、"繰り返し"および "録画/録音モード"を設定してください。
  各項目の詳細は、"ラジオ番組予約とテレビ番組予約では、設定できる項目が異なります。" (P.134)をご覧ください。

1 設定したい項目を選び、決定 を押す

2 設定値を選び、決定 を押す

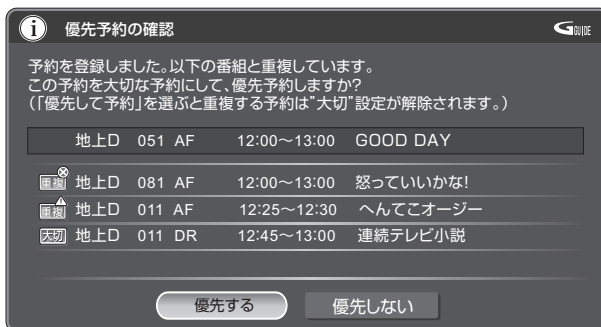
5 "予約する"を選び、決定 を押す

- 設定した内容で予約されます。
- 引き続き予約したい場合は、手順2～5を繰り返してください。
- 予約が重複するときは、優先予約の確認画面が表示されます。"優先予約の確認画面について" (P.132)をご覧ください。
- 戻る を押すと、予約スケジュール画面を閉じます。

- 同時予約の最大数は、「テレビ番組２番組」もしくは「テレビ番組とラジオ番組」の組合わせとなります。
  予約が重複している場合は、予約が実行されません。
  重複予約の確認については、"番組の重複予約を確認するには" (P.141)をご覧ください。
- 一つのラジオ番組の録音可能時間は、最大６時間です。
- 一つのテレビ番組の録画予約は最大 23 時間 59 分まで予約できますが、その場合は８時間ごとにテレビ番組を分割して録画します。

録画・録音予約

優先予約の確認画面について

予約の設定をしたときに、予約が重複していると優先予約の確認画面が表示されます。

優先する　：この予約に大切アイコンが付加され、予約を優先して実行します。
優先しない：予約はできますが、このままでは予約を正しく実行できません。他の予約を変更･削除する必要があります。"予約一覧で予約の確認や変更、削除をする" (P.139)で他の予約を変更･削除してください。

スタートメニューから予約スケジュール画面を表示するには

1 A(AUDIO)またはV(VISUAL)を押す

2 "録音予約"または "録画予約"の "予約スケジュール"を選び、決定を押す

- 予約スケジュール画面が表示されます。

予約スケジュールのオプションメニューについて

予約スケジュール画面でオプションを押すと、予約スケジュールのオプションメニューが表示されます。

1 予約スケジュール画面でオプションを押す

- オプションメニュー画面が表示されます。

2 項目を選び、決定を押す

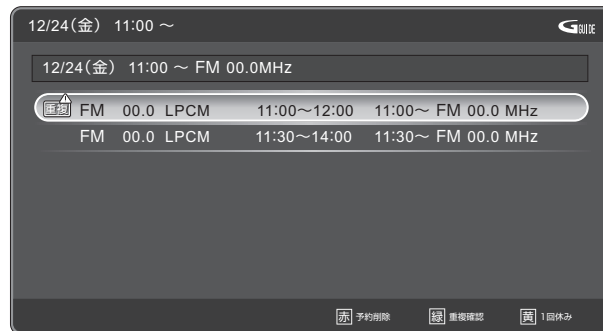
テレビ予約一覧 ：テレビ予約一覧画面が表示されます。
ラジオ予約一覧 ：ラジオ予約一覧画面が表示されます。
予約を作成する ：予約の方法を選ぶ画面が表示されます。

予約スケジュールから予約を確認/変更/削除する

1 予約/確認 を押す

- 予約スケジュール画面が表示されます。

2 予約を確認/変更/削除したい時間帯を選び、決定 を押す

- 選んだ時間帯の予約内容画面が表示されます。

3 確認/変更/削除したい予約を選び、決定 を押す

- 予約の設定画面が表示されます。

4 予約の設定画面で、予約の確認/変更/削除する

予約を変更せずに、確認だけしたい場合

"戻る"を選び、決定 を押す

- 予約内容を変更せずに元の画面に戻ります。

予約を変更したい場合

変更したい項目を変更してから "予約する"を選び、決定 を押す

- 予約内容を変更して元の画面に戻ります。

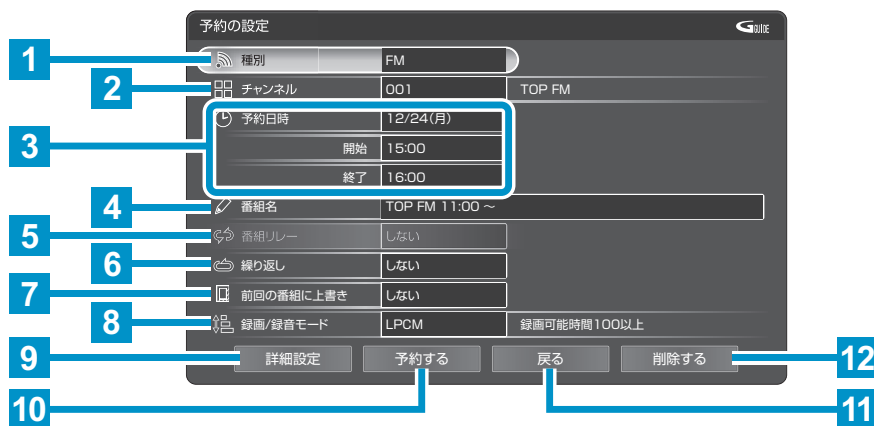
予約を削除したい場合

"削除する"を選び 決定 を押し、削除確認画面で "削除する"を選び、決定 を押す

- 予約を削除して元の画面に戻ります。

録画・録音予約

予約の設定画面のみかた

- ラジオ番組予約とテレビ番組予約では、設定できる項目が異なります。
- 設定できない項目は、項目がグレーで表示されて選べません。
- 設定したい項目を選んで 決定 を押すと、設定値を変更できます。

1 種別

- ラジオの場合: "FM"、"AM"および "LINE(音声)"から録音対象を選びます。
- テレビの場合: "地上 D"、"BS"、"CS1"、"CS2"および "LINE(映像)"から録画対象を選びます。

2 チャンネル

- ラジオの場合:録音予約したいチャンネルのプリセット番号を入力します。プリセット番号に対応した放送局名が表示されます。
- テレビの場合:録画予約したいチャンネル番号を入力します。チャンネル番号に対応した放送局名が表示されます。

3 予約日時/開始/終了

予約日/予約の開始時刻/予約の終了時刻が表示されます。予約の日時を変更できます。
(番組表から予約した場合は、グレーで表示され変更できません。)

4 番組名

番組名を入力します。テレビ番組表から録画予約する場合は、テレビ番組表に登録されている番組名が表示されます。
文字の入力については、"文字入力の方法" (P.16)をご覧ください。

5 番組リレー

テレビ番組表から予約する場合に、"する"に設定すると、放送チャンネルが変わっても予約を引き継いで録画します。高校野球のように、番組時間の延長により放送チャンネルが変わって放送される場合に設定してください。
(録音予約では設定できません。)

6 繰り返し

"毎週"、"月～金"、"月～土"、"毎日"もしくは "曜日選択"で指定した曜日に繰り返し録音/録画予約します。同じ時間帯で繰り返して予約したい場合に設定してください。

7 前回の番組に上書き

"繰り返し"の設定が "毎週"の場合

- "しない"に設定すると、上書きしません。
- "前週分を上書き"に設定すると、前週の同じ曜日に録音/録画した番組を上書きします。

"繰り返し"の設定が "毎週"以外の場合

- "しない"に設定すると、上書きしません。
- "前回分を上書き"に設定すると、前回に録音/録画した番組を上書きします。
- "前週分を上書き"に設定すると、前週の同じ曜日に録音/録画した番組を上書きします。

8 録画/録音モード

録画/録音モードを選びます。詳細は、"時間は目安となっております。録画時間を保障するものではないのでご注意ください。" (P.177)をご覧ください。

9 詳細設定

詳細設定画面が表示されます。設定できない項目は、グレーで表示され選ぶことができません。

- 各項目について詳しくは、「オプションメニューの項目 "デジタル放送メニュー"→"信号切換"」(P.98)をご覧ください。

10 予約する / 変更する

設定した内容で、番組を予約または変更します。

11 戻る

予約をせずに元の画面に戻ります。

12 削除する / 録音を停止する / 録画を停止する

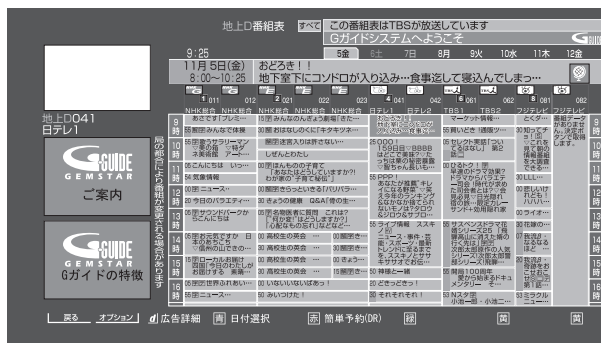
選んでいる番組の予約を取り消します。予約の実行中は、選んでいる番組の録音/録画を停止します。

番組表から予約する

番組表でテレビ番組の録画予約ができます。また、番組表の検索機能を使って、録画予約することもできます。

番組表から録画予約する

1 テレビ番組表 を押す

- 番組表が表示されます。

- 地デジ、BS または CS を押すと、それぞれの番組表に切り換わります。
- 番組表の詳細は、"番組表（G ガイド）の見かた" (P.94)をご覧ください。

2 録画予約をしたい番組を選び、決定 を押す

- 番組の詳細画面が表示されます。
- 赤 を押すと、番組の属性を確認できます。青 を押すと、内容表示に戻ります。

3 "番組予約へ"を選び、決定 を押す

- 予約の設定画面が表示されます。

4 予約の設定をする

- 予約の設定画面で "番組名"、"番組リレー"、"繰り返し"および "録画/録音モード"の設定ができます。
  各項目の詳細は、"予約の設定画面のみかた" (P.134)をご覧ください。

5 "予約する"を選び、決定 を押す

- 選んだ番組が録画予約され、番組表に戻ります。
- 予約が重複するときは、優先予約の確認画面が表示されます。"優先予約の確認画面について" (P.132)をご覧ください。

- 同時予約の最大数は、「テレビ番組 2 番組」もしくは「テレビ番組とラジオ番組」の組合わせとなります。
- 予約の優先順位については、"予約についての補足説明" (P.144)をご覧ください。
- 字幕は録画モード DR で録画した場合にのみ、表示/非表示を切り換えることができます。
  詳しくは、"録画についての補足説明" (P.101)をご覧ください。

V スタートメニューから番組表を表示するには

1 V(VISUAL) を押す

2 "録画予約"の "テレビ番組表"を選んで、決定 を押す

- 番組表が表示されます。
- 予約をする場合は、「番組表から録画予約する」の手順2以降を実行してください。

簡単予約するには

番組表からボタン一つで簡単に予約できます。簡単予約では、番組表の情報を元に予約します。

1 テレビ番組表 を押す

2 録画予約をしたい番組を選び、赤 を押す

- 選んだ番組が簡単予約されます。

番組表の検索を使って予約する

番組表の検索機能を使って、「ジャンル」、「キーワード」、「人名」および「トピックス（おすすめ情報）」から番組を検索して録画予約できます。

1 テレビ番組表 を押す

- 番組表が表示されます。

2 オプション を押して "番組表の検索"を選び、決定 を押す

- 検索方法が表示されます。

3 お好みの検索方法を選び、決定 を押す

ジャンル　：「映画」や「ドラマ」といったジャンル一覧が表示されます。ジャンルを選んで 決定 押すと、指定したジャンルの番組一覧が表示されます。

キーワード：番組表でピックアップされたキーワードが表示されます。お好みのキーワードを選んで 決定 押すと、指定したキーワードに関連した番組一覧が表示されます。

人名　：番組表でピックアップされた人名が表示されます。お好みの人名選んで 決定 押すと、指定した人物が登場する番組一覧が表示されます。

トピックス：番組表でピックアップされた「おすすめ番組」が表示されます。

4 録画予約をしたい番組を選び、決定 を押す

- 番組の詳細画面が表示されます。

5 「番組表から録画予約する」の手順４以降を実行する

➡ (P.135)

- 簡単予約をした場合は、"種別"、"チャンネル"、"予約日時"および "番組名"が番組表で自動設定されます。また "録音/録画モード"は現在の標準設定が使用されます。設定を変更して予約したい場合は、簡単予約ではなく、予約設定画面で予約してください。
- 外部機器からの映像を録画予約する場合は、予約スケジュールから時間指定して予約してください。詳しくは、"予約スケジュールから予約を登録する" (P.131)をご覧ください。

本機の予約候補検索機能を使って予約する

「キーワード」、「ジャンル」および「新番組」から検索項目を選び、番組を絞り込んで録画予約できます。

検索候補を設定する

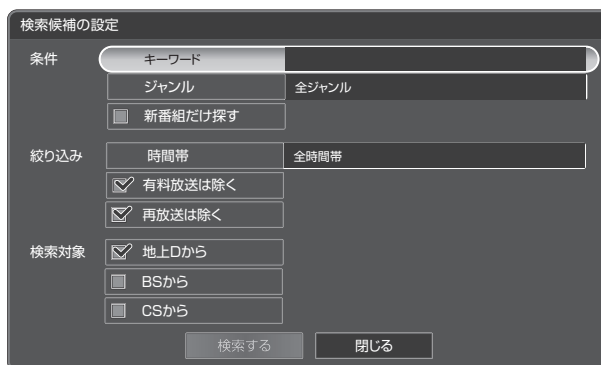
1 予約/確認 を２回押す

- テレビ予約一覧画面が表示されます。

2 ▷ を押して、タブの "予約候補検索"を選ぶ

- 予約候補検索の画面が表示されます。

3 設定する項目を選び 決定 を押す

- 検索候補の設定画面が表示されます。

- 検索したい内容に設定します。

4 設定が完了したら "検索する"を選び、決定 を押す

- 検索を実行し、元の画面に戻ります。

- 検索候補は８個まで設定できます。
- 電子番組表の番組情報の取得タイミングによっては、検索に表示されない場合があります。

本機の予約候補検索機能を使って予約する

予約候補検索から予約する

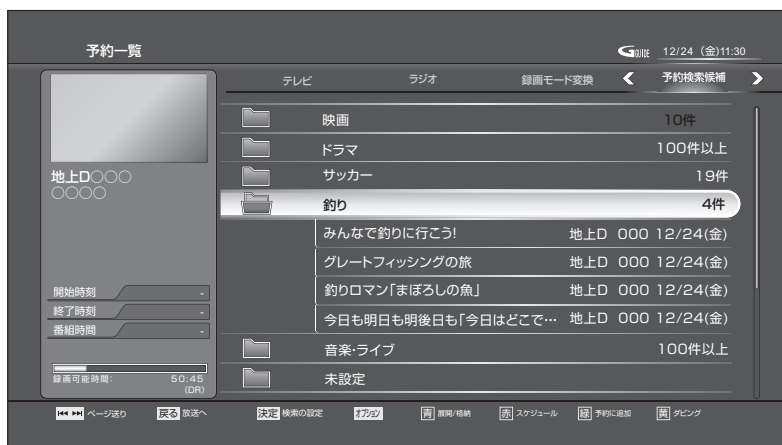
1 予約/確認 を２回押す

- テレビ予約一覧画面が表示されます。

2 タブの "予約候補検索"を選ぶ

- 予約候補検索画面が表示されます。

3 録画予約したい候補検索結果のグループを選び、青 を押す

- 候補検索が展開されます。

- オプション を押して "候補検索を展開/格納する"を選んでも展開/格納できます。

4 録画予約したい番組を選び、決定 を押す

- 番組の詳細画面が表示されます。

5 "予約に追加"を選び、決定 を押す

- 予約設定画面が表示されます。
- 必要に応じて内容を変更してください。
- 各項目の詳細は、"予約の設定画面のみかた" (P.134)をご覧ください。

6 "予約する"を選び、決定 を押す

予約一覧で予約の確認や変更、削除をする

予約一覧で予約の確認/変更/削除するには

1 予約/確認 を押して、"ラジオ予約一覧"または "テレビ予約一覧"の画面を表示する

- 予約/確認 を押すたびに、「予約スケジュール」→「テレビ予約一覧」→「ラジオ予約一覧」→ の順番で画面が切り換わります。
- 予約スケジュール画面で オプション を押して、"ラジオ予約一覧"または "テレビ予約一覧"を選んでも、予約一覧画面を表示できます。
- 予約スケジュール画面で 緑 を押しても、ラジオ予約一覧画面が表示されます。

- 予約スケジュール画面で 赤 を押しても、テレビの予約一覧画面が表示されます。

- アイコンについては、"予約一覧のアイコンについて" (P.142)をご覧ください。

録画・録音予約

2 確認/変更/削除したい予約を選び、決定を押す

• 予約の設定画面が表示されます。

3 予約の設定画面で、予約の確認/変更/削除する

予約を変更せずに、確認だけしたい場合

1 予約の設定画面で "戻る"を選び、決定を押す

• 予約内容を変更せずに元の画面に戻ります。

予約を変更したい場合

1 予約の設定画面で変更したい項目を変更する

2 予約設定画面で "変更する"を選び、決定を押す

• 予約を変更します。

予約を削除したい場合

1 予約の設定画面で "削除する"を選び、決定を押す

• 削除確認画面が表示されます。

2 "削除する"を選び、決定を押す

• 予約を削除します。

➡ 予約の設定画面のみかた(P.134)
➡ 番組の重複予約を確認するには(P.141)
➡ 予約スケジュールから予約を確認/変更/削除する(P.133)

スタートメニューから録音予約、または録画予約を確認/変更/削除するには

1 A または V を押す

2 "録音予約"または "録画予約"の "予約一覧"を選び、決定 を押す

- 予約一覧画面が表示されます。

3 「予約一覧で予約の確認/変更/削除するには」の手順 3 以降を実行する
➡（P.140）

番組の重複予約を確認するには

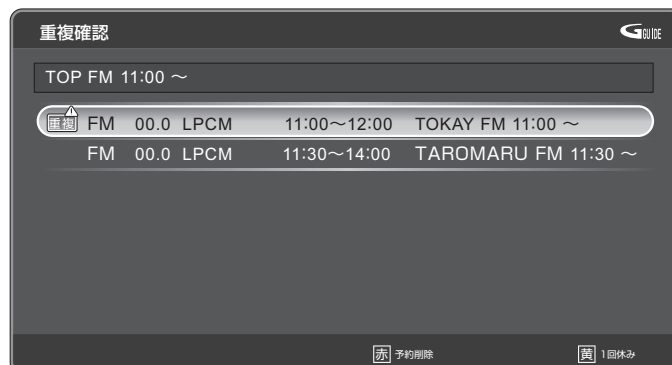
1 予約/確認 を押して "ラジオ予約一覧"または "テレビ予約一覧"の画面を表示する

- 予約/確認 を押すたびに、「予約スケジュール」→「テレビ予約一覧」→「ラジオ予約一覧」→ の順番で画面が切り換わります。

2 予約一覧画面で 重複 が表示された予約を選び、オプション を押す

- 重複予約がない場合は、重複 は表示されません。

3 "重複を確認する"を選び、決定 を押す

- 重複確認画面が表示されます。
- 重複している予約を変更または削除してください。

予約一覧のアイコンについて

予約の状況に応じて、予約一覧にアイコンが表示されます。
アイコンに関する説明については、下記一覧表をご覧ください。

アイコン	名称	内容
月～土	繰り返し（展開）	繰り返し予約が設定された予約のグループです。 "繰り返し"の設定ごとに "毎週"、"月～金"、"月～土" "毎日"および各"曜日"の種類があります。 青 を押すと、グループを展開/格納します。
月～土	繰り返し（格納）	
月～土	繰り返し（展開）に記録不可あり	繰り返し予約の中に 1 件以上の記録できない予約がある予約のグループです。 1 回休みの予約をした場合にも、このアイコンが表示されます。 青 を押すと、グループを展開/格納します。
月～土	繰り返し（格納）に記録不可あり	
REC	記録中	記録中の予約です。
REC	一部分記録不可	予約が重複しているなどの理由で、記録中の内容が一部分記録できない予約です。
重複	記録不可（すべて）	他の予約と重複している予約です。 予約内容は、すべて記録できません。
重複	記録不可（一部分）	他の予約と重複している予約です。 予約内容の一部分が記録できません。
大切	大切な予約	大切な予約に設定された予約です。 予約一覧画面で 緑 押すと、大切な予約に設定できます。
休み	1 回休み	1 回休み中の予約です。
不可	予約実行不可	HDD の残容量不足や、番組数が上限を超えるなどの理由により、記録できない予約です。
	予約候補検索結果（格納）	予約候補検索で検索された結果のグループです。 青 を押すと、グループを展開/格納します。
	予約候補検索結果（展開）	
済み	予約済み	予約候補検索で検索された番組で、既に予約済みの番組です。

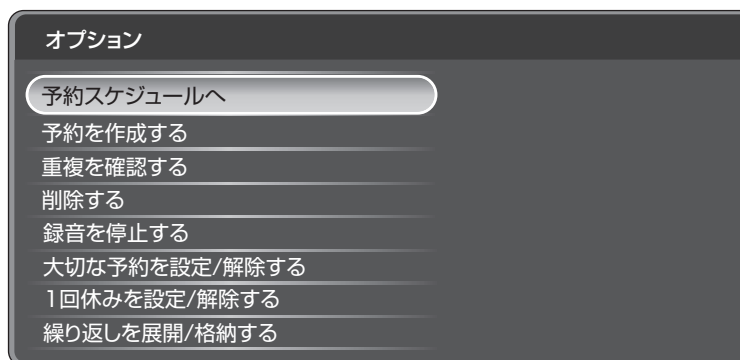
予約一覧のオプションメニューについて

予約一覧画面で オプション を押すと、予約一覧のオプションメニュー画面が表示されます。

1 予約/確認 を押して、"ラジオ予約一覧"または "テレビ予約一覧"の画面を表示する

- 予約/確認 を押すたびに、「予約スケジュール」→「テレビ予約一覧」→「ラジオ予約一覧」→ の順番で画面が切り換わります。
- 予約一覧画面が表示されます。

2 予約一覧画面で オプション を押す

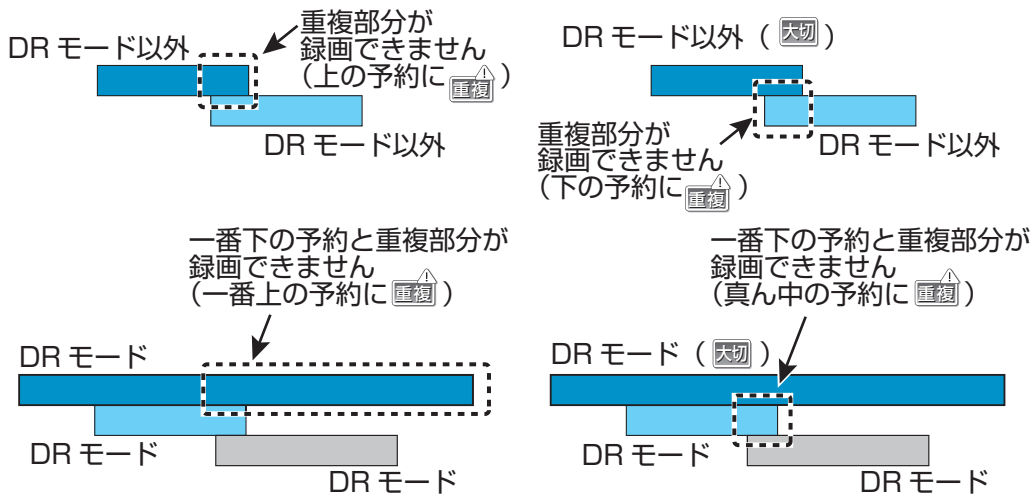
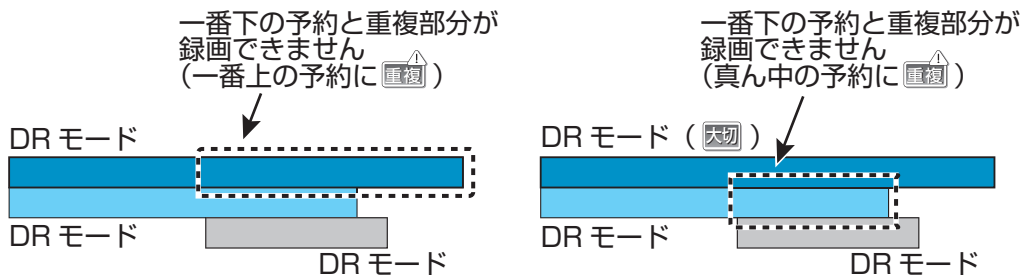
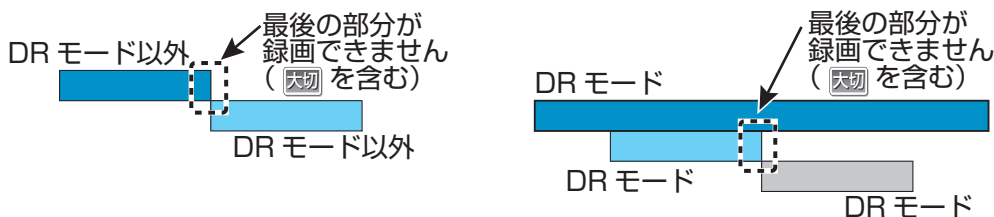
- オプションメニュー画面が表示されます。(画面はラジオの予約一覧の場合)

3 項目を選び、決定 を押す

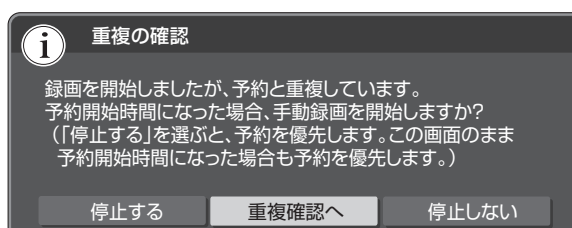
予約スケジュールへ	： 予約スケジュール画面が表示されます。(P.130)
予約を作成する	： 予約設定画面が表示されます。(P.134)
重複を確認する	： 重複確認を行います。(P.141)
削除する	： 予約削除の確認画面が表示され、選択した予約を削除します。
録音を停止する/録画を停止する	： 選択した録音/録画を停止します。録音/録画中の予約でのみ、録音/録画を停止できます。
大切な予約を設定/解除する	： 選択した予約を大切な予約に設定/解除できます。大切な予約に設定すると、予約が重複したときに、優先して予約が実行されます。
1 回休みを設定/解除する	： 選択した予約を 1 回休みに設定/解除できます。番組がお休みのときは、1 回休みに設定してください。 繰返し設定されている予約のみに、設定できます。
繰り返しを展開/格納する	： 選択した繰り返し予約を "展開"または "格納"できます。 展開した場合、各個別予約が表示されます。 格納した場合は 1 行にまとめて表示されます。

予約についての補足説明

予約の優先順位について

- 同時録画/録音できない予約が重複した場合は、「大切な予約」を除き、開始時刻が遅い予約が優先して実行されます。詳しい予約動作については、下記をご覧ください。

■ 全部または一部が重なった場合は、開始時刻の遅い予約が優先されます。開始時刻が一番早い予約は、別の予約の開始時刻に記録が中止されます。

■ 開始時刻が同じ予約が 2 つある場合は、“予約一覧” 画面で順番が下（後から追加された予約）の予約が優先されます。順番が上の予約は、別の予約の開始時刻に記録が中止されます。

■ 前の予約の終了時刻と後ろの予約の開始時刻が同じ場合は、後ろの予約の準備の為、前の予約が 30 秒ほど早く記録が中止されます。

予約との同時操作について

- 録画/録音 ● ボタンによる録音/録画（手動録音/録画）やダビングを開始するときに予約録音/録画と重複する可能性がある場合、まず録音/録画を開始した後に重複の確認画面が表示されます。
画面の指示に従い、手動録画やダビングと予約録音/録画のどちらを優先させるかを選択してください。

- 詳しくは、"同時に操作できる機能について" (P.183)をご覧ください。

その他の機能

■ 好みの音質で聞く（サウンド設定） 146
■ HDMI 機器制御（リンク）機能を使う 148
■ スリープタイマーを使う 150

好みの音質で聞く（サウンド設定）

ラジオ放送やテレビ番組、録音した番組、録画した番組、CD や DVD などを視聴中にお好みに応じたサウンド設定の変更ができます。

サウンド設定の項目

HRS+

"オン"に設定すると、音質補正され、原音に近い状態で聞こえるようになります。

3D フォニック

"オン"に設定すると、マルチチャンネルサラウンドの臨場感を 2 本のスピーカーで再現します。

- 音声が 2ch ステレオのときは、"3D フォニック/Dolby PLII"と表示されます。

ナイトモード

"オン"に設定すると、小音量でも聞きやすくなります。また、爆発音などの大きな音は音量が抑えられます。夜間など小音量で聞きたいときに便利です。
（ラジオのときは使用できません。）

音質設定

お好みの音質設定に変更できます。

■ 音質設定 → デュアルモードイコライザー(AUDIO のとき)

- 音楽のジャンルに合わせて選びます。

ダイレクト ： 標準設定です。
ポップ ： ポップミュージックに適したイコライザーの設定です。
ロック ： ロックミュージックに適したイコライザーの設定です。
ジャズ ： ジャズミュージックに適したイコライザーの設定です。
クラシック ： クラシックミュージックに適したイコライザーの設定です。
AM ラジオ ： AM ラジオ放送に適したイコライザーの設定です。

■ 音質設定 → デュアルモードイコライザー(VISUAL のとき)

- 視聴する番組に合わせて選びます。

ダイレクト ： 標準設定です。
シネマ ： 映画番組に適したイコライザーの設定です。
ミュージック： 音楽番組に適したイコライザーの設定です。
スポーツ ： スポーツ番組に適したイコライザーの設定です。
ドラマ ： ドラマ番組に適したイコライザーの設定です。
ニュース ： ニュース番組に適したイコライザーの設定です。

■ 音質設定 →D-BASS

- 低音レベルを選びます。
- レベルの数値が大きいほど、低音が強調されます。
- 低音強調をしたくない場合は、"オフ"を選んでください。

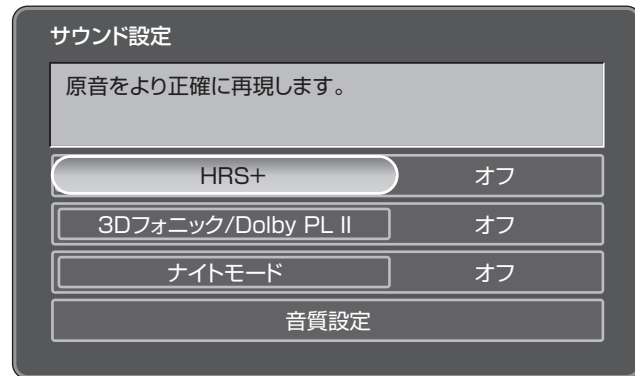
レベル ： オフ/レベル 1/レベル 2/レベル 3/レベル 4/レベル 5

- デュアルモードイコライザーの設定値は、以下のそれぞれで設定値を記憶します。
  ·動画（テレビ放送、HDD、ディスク、SD カード、外部映像入力）
  ·音楽（HDD の音楽、CD）
  ·FM ラジオ（FM ラジオ放送、HDD の FM ラジオ録音、外部音声入力）
  ·AM ラジオ（AM ラジオ放送、HDD の AM ラジオ録音）

サウンド設定を変更するには

1 オプション を押す

- オプションメニュー画面が表示されます。

2 "サウンド設定"を選び、決定 を押す

3 変更したい項目を選び、決定 を押す

4 お好みの項目を選び、決定 を押す

- 他にも設定を変更する場合は、手順 2、3 を繰り返します。

5 戻る を押して終了する

- HRS+ を押すと、"HRS+"の設定画面が表示され直接設定できます。
- 3Dフォニック を押すと、"3D フォニック"の設定画面が表示され直接設定できます。
- イコライザー を押すと、"デュアルモードイコライザー"の設定画面が表示され直接設定できます。
- 192kHz の音声のディスク再生時に、"3D フォニック"を "オン"に設定すると 48kHz で再生されます。

- 音声出力先がテレビのときは、"HRS+"、"3D フォニック/Dolby PL II"および "音質設定"が設定できません。
- ヘッドホンをつないだときは、音声出力先に関わらず、"3D フォニック/Dolby PL II"が設定できません。
- "HRS+"が "オン"のときは、"3D フォニック/Dolby PL II"、ナイトモードおよび "音質設定"が設定できません。

HDMI 機器制御（リンク）機能を使う

HDMI 機器制御機能とは？

本機と HDMI-CEC 規格に準拠した連動機能対応テレビを HDMI ケーブルでつなぐことで、本機とテレビとの間で連動して操作することができる機能です。

HDMI-CEC（Consumer Electronics Control）は、HDMI ケーブルで接続することにより、対応機器間の相互連動動作を可能にした業界標準規格です。

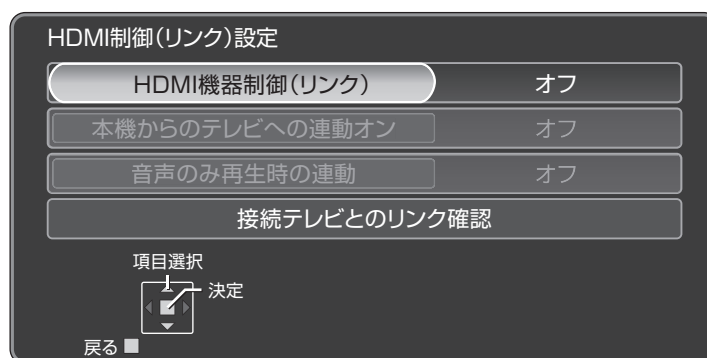
HDMI 機器制御（HDMI-CEC）機能を使うには

1 本機と HDMI 機器制御に対応したテレビを HDMI ケーブルでつなぐ

2 設定 を押し、"入出力設定"を選び、決定 を押す

- 入出力設定画面が表示されます。

3 "HDMI 制御（リンク）設定"を選び、決定 を押す

- "HDMI 制御（リンク）設定"の画面が表示されます。

4 "HDMI 機器制御（リンク）"を選び、決定 を押す

5 "オン"を選び、決定 を押す

- HDMI 機器制御（HDMI-CEC）機能が有効になります。

- 接続機器によってはお客様の意図しない動作をする場合があります。このようなときは "HDMI 機器制御"を"オフ"にしてください。
- HDMI 機器制御が有効な状態で、本機の電源コードや HDMI ケーブルを抜いた場合は、HDMI 機器制御が機能しません。
  この場合は電源コードや HDMI ケーブルを接続後、テレビの入力切換を本機の入力に切り換えると、再び HDMI 機器制御が機能するようになります。

- HDMI 機器制御に対応していないテレビと接続したときは、HDMI 機器制御機能は使えません。
  また、"オン"に設定しても HDMI 機器制御機能が動作しない場合は、"オフ"に設定してお使いください。
- HDMI ケーブルで接続しないと、HDMI 機器制御機能は使えません。
- お買い上げ時、"HDMI CEC"の設定は "オフ"に設定されています。

HDMI-CEC リンクの互換性をチェックするには

お使いのテレビと本機とで使える HDMI-CEC 機能について、事前に確認することができます。

準備
- 確認する前に、HDMI 機器制御(HDMI-CEC)機能を有効にしてください。
詳しくは、"HDMI 機器制御(HDMI-CEC)機能を使うには" (P.148)をご覧ください。

1 設定 を押し、"入出力設定"を選び、決定 を押す

2 "HDMI 制御(リンク)設定"を選び、決定 を押す

3 "接続テレビとのリンク確認"を選び、決定 を押す

- 対応操作の確認画面が表示されます。

4 画面の指示に従い、テレビのリモコンで操作し、確認する

- 画面に操作可能なボタンが表示されます。表示されている内容とボタン操作との対応をすべて確認してください。

5 戻る を押し、元の画面に戻る

対応している HDMI-CEC 機能

■ **ワンタッチプレイ**
- 本機で映像/音声を再生するときに、連動してテレビの電源を入れ、入力切換します。
音声のみを再生するときは、連動しないようにも設定できます。
- 本機で 電源/AUDIO/VISUAL/MELINK/アクトビラ/テレビ番組表 および 予約/確認 を押し、各画面が表示されたときに、連動してテレビの電源を入れ、入力切換します。

■ **システムスタンバイ**
- テレビの電源を「切」にすると、連動して本機の電源が「切」になります。
以下の動作中は、HDMI 機器制御の設定に関わらず、本機の電源が連動して「切」になりません。
  - 録画中/録音中
  - フォーマット中
  - ファイナライズ中
  - ダビング中
- 内部での記録モード変換中

■ **ワンタッチレコード**
- テレビのワンタッチレコード操作(リンクメニューの操作、[録画] ボタンなど)により、
本機の電源が自動的に入り、テレビの受信しているチャンネルの番組が本機で録画されます。
録画の停止は、本機操作でも停止することができます。
以下の動作中は、HDMI 機器制御の設定に関わらず、ワンタッチレコードが実行されません。
  - 本機が録画できない状態のとき
  - テレビで指定しているワンタッチレコード対象機器が、本機以外のレコーダーのとき

■ **デッキコントロール**

■ **リモコンパススルー**
- テレビのリモコンで、本機の操作(上下左右のフォーカス移動、決定ボタン、カラーボタンなど)や、機能動作が操作できます。

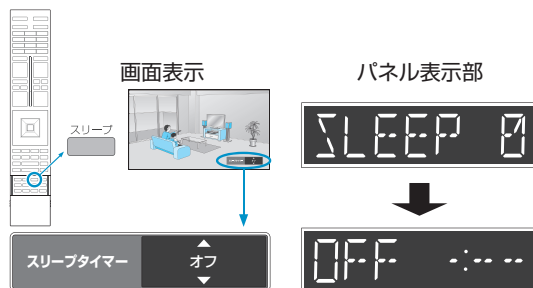
■ **システムオーディオコントロール**
- テレビのリンクメニューで、本機の音声出力をスピーカー出力とテレビ出力を選べます。
スピーカー出力を選んだ場合、テレビの[音量+]/[音量-]/[消音]ボタンで本機につないだスピーカーの音量を調節できます。

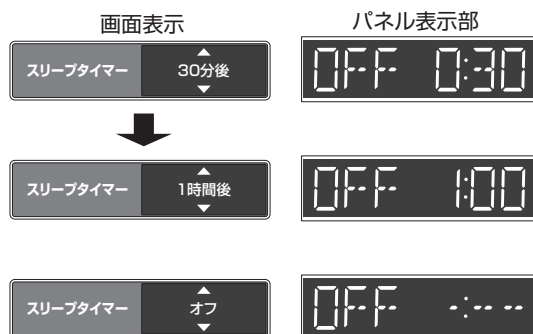
スリープタイマーを使う

スリープタイマーを使うと、設定した時間が経過すると自動で電源が切れます。

スリープタイマーの終了時間を設定する

1 視聴・再生中に［スリープ］を押す

- スリープタイマーの設定画面が画面右下に表示されます。
  パネル表示部には "SLEEP"が一瞬表示され、その後 "OFF -:--"と表示されます。

2 スリープタイマー設定画面表示中に［スリープ］を押す

- 押すたびに、"30 分後"→ "1 時間後"→ "1 時間 30 分後"→ "2 時間後"→ "2 時間 30 分後"→ "3 時間後"→ "オフ"の順番でスリープタイマーの時間が設定変更されます。
  （△ / ▽ でも設定時間を変更できます。）
- "オフ"を選ぶと、スリープタイマーを解除します。
- ［決定］を押すと表示が消え、スリープタイマーが作動開始します。
  （約 5 秒間操作しない場合も表示が消えて、スリープタイマーが作動開始します。）

スリープタイマーの終了時間を確認・変更するには（設定済みの場合）

1 視聴・再生中に［スリープ］を押す

- パネル表示部に電源が切れるまでの時間が表示されます。
  （例： "OFF 1:24"→1 時間 24 分後に電源が切れます。）

2 時間設定を変更したい場合は、設定画面表示中に［スリープ］を押し、終了時間を変更する

- △ / ▽ でも終了時間を変更できます。
- ［決定］を押すと表示が消え、スリープタイマーが作動開始します。
  （約 5 秒間操作しない場合も表示が消えて、スリープタイマーが作動開始します。）

- ラジオや CD 再生などテレビ画面を消して聞いているときでも、パネル表示部だけで操作できます。
- 録画中やダビング中のときは、スリープタイマーで設定時間になると電源は切れます。そのとき、電源が切れても録画およびダビングは継続されます（手動録画は除く）。
- スリープタイマーを設定中でも、⏻ を押して本機の電源を切ることができます。その場合は、電源が切れたときにスリープタイマーが解除されます。

設定メニュー

■ 本機の設定を変更する 152

再生設定 153

録画設定 156

放送受信設定 157

本体設定 158

入出力設定 159

ネットワーク設定 162

MELINK 設定 162

メール/情報設定 162

本機の設定を変更する

設定メニューを使用して本機の設定を変更します。

- 設定メニューの項目や設定値が変更できない場合は、グレーで表示されます。

- 録音/録画中は設定の変更ができません。

■ **例:待機時省電力モードを変更する。(起動時間を優先したモードにします)**

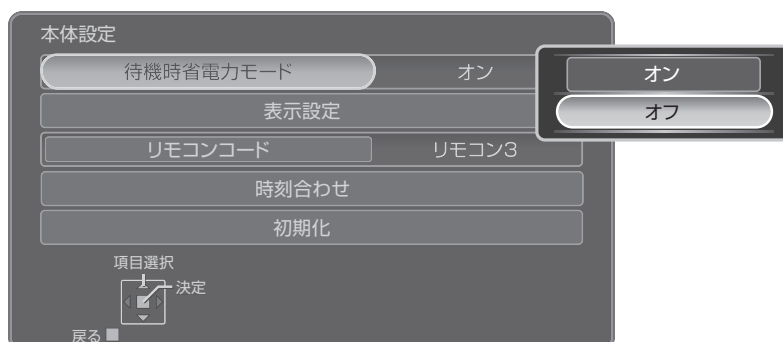
1 設定 を押す

- 設定メニュー画面が表示されます。

2 △ / ▽ を押して "本体設定"を選び、決定 を押す

- 本体設定画面が表示されます。

3 "待機時省電力モード"を選び、決定 を押す

- "待機時省電力モード"のサブメニューが表示されます。

4 "オフ"を選び、決定 を押す

- 待機時省電力モードが解除され、起動時間を優先します。(起動時間が早くならない場合もあります)

5 設定 を押して、終了する

本機の設定を変更する

再生設定

再生専用ディスク設定

BD-Live インターネット接続

BD-Live 機能を使うときのインターネット接続を許可するかどうかを設定します。許可すると BD-Live による特典映像など、付加機能が楽しめます。

無効	すべての BD-Live コンテンツに対して、インターネットへの接続を許可しません。
有効	すべての BD-Live コンテンツに対して、インターネットへの接続を許可します。
有効(制限付き)(初期値)	BD-Live コンテンツ制作者の証明書が含まれているときのみインターネットへの接続を許可します。

BD-Video の視聴制限

BD ビデオ再生時の視聴年齢制限を設定します。

- 暗証番号の設定が必要になります。画面の指示に従って、4 桁の数字で暗証番号を設定してください。

音声言語

再生する音声の言語を設定します。

日本語	日本語で音声を再生します。
英語(初期値)	英語で音声を再生します。
ディスク最優先言語	ディスクが指定する優先言語で再生します。
その他	言語コードを記号で選択します。"言語コード一覧表" (P.188)で確認して選択してください。

字幕言語

字幕の表示言語を設定します。

オフ	字幕を表示しません。
日本語(初期値)	日本語で字幕を表示します。
英語	英語で字幕を表示します。
その他	言語コードを記号で選択します。"言語コード一覧表" (P.188)で確認して選択してください。

メニュー言語

ディスクメニューの表示言語を設定します。

- ディスクによってはソフト制作者の意図により、上記の字幕言語や音声言語の設定によらず、制作者の指示言語が優先される場合があります。

日本語(初期値)	日本語でメニューを表示します。
英語	英語でメニューを表示します。
その他	言語コードを記号で選択します。"言語コード一覧表" (P.188)で確認して選択してください。

再生時の音声

再生時の音声に関する設定をします。

デジタル出力(AAC、Dolby D/Dolby D+/Dolby HD、DTS/DTS-HD)

HDMI 出力端子および光デジタル音声出力端子(光デジタル)に接続する機器に合わせて設定します。

- HDMI 接続で音声を出力しているときは、接続機器側の仕様/設定に自動的に合わせるので、ここで設定した通りの音声出力がされない場合があります。
- 接続機器に合わせて正しく設定しないと、音声にノイズが発生したり、音が出ないことがあります。

Bitstream	それぞれの音声に対応した機器に接続するときに設定します。
PCM(初期値)	それぞれの音声に対応していない機器に接続するときに設定します。

PCM ダウンサンプリング

光デジタル音声出力端子(光デジタル)に接続する機器に合わせて設定します。

- 著作権保護されているディスクの再生は、本設定値にかかわらず、48KHz に変換されて出力されます。

オン	ダウンサンプリング(周波数変換)を行います。48kHz 以下のみ対応の機器に接続しているときに設定してください。
オフ(初期値)	ダウンサンプリング(周波数変換)を行いません。48kHz を超える周波数に対応した機器に接続しているときに設定してください。

ダウンミックス

マルチチャンネル音声を 2 チャンネルに切り換えるか設定します。

- "デジタル出力"を "Bitstream"に設定しているときは、ダウンミックスされません。

ノーマル(初期値)	ドルビーサラウンドに対応していない機器に接続するとき
ドルビーサラウンド	マルチチャンネルサラウンドに変換する機能がある機器に接続するとき

D レンジコントロール

ダイナミックレンジ(最大音量と最小音量の比)を圧縮することで、小音量でも音声を聞きやすくします。ドルビーデジタルで再生するときに設定してください。

自動(初期値)	Dolby True HD の音声のみに有効
オン	Dolby Digital, Dolby Digital Plus, Dolby True HD の音声のときに有効
オフ	無効

サプリーム

圧縮などで欠落した高音域を補間して最適化します。

自動(初期値)	有効なコンテンツに対して、自動的に高音域の補間処理をします。
オフ	高音域の補間処理をしません。

BD-Video 副音声・操作音

ブルーレイディスク再生時の副音声やメニューの操作音について設定します。

- 副音声やメニューの操作音をミックスして出力するとき、サンプリング周波数は、48kHz に変換されます。

オン(初期値)	副音声やメニューの操作音をミックスして出力します。
オフ	主音声のみ出力します。

スチルモード

一時停止時の画像表示について設定します。

- DR モードの番組や AVCHD の動画再生のときは、設定が無効になります。

自動(初期値)	自動で制御を行います。
フィールド	動きのある映像や "自動"に設定したときに、ぶれが生じる場合に設定してください。
フレーム	"自動"に設定したときに、細かい絵柄などが見えにくい場合に設定してください。

シームレス再生

チャプター削除(部分削除)した番組を再生するときの設定をします。

- DR モードの番組や AVCHD の動画再生のときは、設定が無効になります。

オン(初期値)	シーンのつなぎ目をなめらかに再生します。(ただし、シーンのつなぎ目部分で、チャプター設定したコマが一部飛ばされる場合があります。)
オフ	シーンのつなぎ目は正しいコマで再生されますが、シーンのつなぎ目で画面が一瞬止まる場合があります。

録画設定

容量不足警告日数

HDD 容量の不足などで予約が実行ができないことを警告メッセージで前もって知らせる機能です。

切	警告メッセージを表示しません。
2 日以内(初期値)	指定した日おきに、警告メッセージを表示します。 例えば「2 日以内」に設定すると、2 日以内に実行できない予約がある場合に本体起動時、新規予約設定時、予約変更時に警告メッセージを表示します。
4 日以内	
6 日以内	
8 日以内	

自動チャプター(DR 録画のみ)

録画中に場面が切り換わるところや CM の前後などで自動的にチャプターマークを作成するか設定します。

- 録画する番組によって、チャプターマークの位置が正しく作成されないことがあります。

オン(初期値)	チャプターマークを自動的に作成します。
オフ	チャプターマークをしません。

放送受信設定

かんたん設置設定

設置についてウィザード形式で設定します。
詳しくは"かんたん設置設定をする" (P.39)をご覧ください。

設置設定

放送に関する設定をします。

受信対象設定

BS または 110 度 CS デジタル放送を受信するか設定します。

チャンネル設定(地上デジタル/BS/CS1/CS2/FM/AM)

受信するチャンネルを自動または手動で設定します。

➡ テレビチャンネルを手動で調整する(P.45)
➡ ラジオ放送局を手動で調整する(P.46)

番組表設定

番組表(G ガイド)を設定したり、設定内容を確認したりします。

地域設定

本機をお使いになる地域を設定します。

受信設定(地上デジタル/衛星/FM/AM)

受信状況に関する設定をします。

B-CAS カードテスト

B-CAS カードの動作状況をテストできます。

デジタル放送・再生

字幕表示や制限項目に関する設定をします。

字幕の設定(字幕/字幕言語/文字スーパー/文字スーパー言語)

字幕や字幕スーパー(日本語/英語)を表示するか設定します。

制限項目設定

デジタル放送の視聴やアクトビラを使用するときの視聴制限などを設定します。

暗証番号登録	制限を解除するための暗証番号を設定します。
視聴可能年齢	視聴可能な年齢を設定します。
ブラウザ制限	アクトビラを使用するときに暗証番号入力をさせるか設定します。
暗証番号変更	設定した暗証番号を変更します。
暗証番号取消し	設定した暗証番号を取り消します。

選局対象

選局する対象を設定します。

ソフトウェア更新設定 (ダウンロード予約)

本機は、衛星放送を利用してソフトウェアを更新する機能に対応しております。ソフトウェア更新のお知らせは、本機の放送メール受信確認(P.162)で確認できます。
ここではソフトウェアの更新を自動更新するか、または手動更新するか設定します。
通常は、"自動"に設定することをおすすめします。"手動"に設定した場合は、ダウンロード開始時刻 5 分前に電源をオフしておく必要があります。

放送受信設定リセット

設定項目リセット

放送受信に関する設定項目をリセットします。

個人情報リセット

放送設定に関するすべての項目(MELINK、アクトビラも含む)をリセットします。

本体設定

待機時省電力モード

本機の電源「切」(待機時)での省電力モードについて設定します。((P.152)に操作例があります)

オン(初期値)	電源が「切」のときに、消費電力を極力抑えます。(起動に時間がかかります)
オフ	電源が「切」のときに、起動時間と消費電力のバランスを取ったモードです。 本体内部の温度上昇を防ぐため、冷却ファンが回ることがあります。

表示設定

表示に関する設定をします。

自動オンスクリーン表示

動作状態を自動的に表示するか設定します。

オン(初期値)	本機を操作すると、テレビ画面に自動的に動作状態が表示されます。約5秒経つと、表示は消えます。
オフ	動作状態を表示しません。

テレビ画面の焼き付き低減機能

ブラウン管やプラズマテレビをご使用の場合、明るめの同じ絵柄を長時間表示すると焼き付きを起こす可能性があります。本機能を "オン"に設定すると、操作画面表示中にしばらく操作が無い場合に、明るさを暗くして、焼き付きを低減できます。

オン	操作画面表示中にしばらく操作が無い場合に、画面の明るさを暗くします。その後、何らかの操作をすると、元の明るさに戻ります。
オフ(初期値)	焼き付き低減機能を使用しません。

本体表示の明るさ

本体表示部の明るさを設定します。

明(初期値)	常に明るく表示します。
暗	常に暗く表示します。
シアターオート	映像の再生中は表示を消灯します。音声のみの再生中は "暗"と同じ明るさで表示します。部屋を暗くして使用するときなどに設定してください。
消灯	常に表示を消灯します。

リモコンコード

別のビクター製レコーダー/プレーヤーをお持ちの方で、リモコンコードが混信する場合に変更します。

リモコン 1	設定値のいずれかを選んで決定を押すと、画面にリモコンコード変更の確認画面が表示されます。 画面の指示に従って、リモコン側のコードを変更してください。
リモコン 2	
リモコン 3(初期値)	
リモコン 4	

時刻合わせ

本機の時刻を合わせます。

- 本機はデジタル放送から送られてくる情報を取得し、自動的に時刻を修正しますので、通常は時刻合わせは必要ありません。

初期化

本機の設定や HDD の内容を初期化します。

機能設定の初期化

本機の設定をお買い上げ時の状態にリセットします。(リモコンコード、時刻設定を除く)

ハードディスクの初期化

本機に記録された番組内容をすべて削除します。

入出力設定

外部入力設定

外部入力に関する設定をします。

外部入力

外部入力に接続する機器を設定します。

映像機器(初期値)	外部入力に映像機器を接続するときに設定します。
オーディオ機器	外部入力にオーディオ機器を接続するときに設定します。

外部入力音声レベル

外部入力の音声レベルを設定します。

標準(初期値)	音声レベルを標準にします。
大	音声レベルを大きくします。

HDMI テレビ出力

テレビと HDMI ケーブルで接続したときの設定をします。

HDMI 映像優先モード

HDMI 端子と D 映像端子から出力される映像の解像度をどちらの設定で出力するかを設定します。

オン(初期値)	HDMI 端子の出力解像度を優先します。
オフ	D 映像端子の出力解像度を優先します。

4:3 映像のテレビ表示

4:3 映像を 16:9 テレビに表示するときの設定をします。

オート(初期値)	入力された映像に合わせて自動的に設定されます。
ワイド	画面サイズに合わせて、左右方向に引き伸ばした映像になります。

HDMI 出力解像度

HDMI 端子から出力される映像の解像度を設定します。

- 設定が合っていないと、映像が正常に映らなくなります。

オート(初期値)	接続した機器に合わせて自動的に解像度が設定されます。
480p/1080i/ 720p/1080p	出力される映像の解像度を固定します。 ("720p"に設定した場合、"720p"以外で製作されたディスクや番組を視聴や再生するときは、1080i で出力されます。)

24p 出力

映画などの 24p 記録された素材を 24p で出力するか設定します。

オート(初期値)	24p 記録された素材を出力するときは、自動的に 24p で出力します。
オフ	24p で出力しません。

HDMI RGB 出力レンジ

RGB 入力のみに対応した機器(DVI 機器など)と接続するときに設定します。

スタンダード	標準的な画質に設定されます。
エンハンス (初期値)	映像の白黒がはっきりしないときに設定します。

Deep Color 出力

Deep Color 対応テレビと接続するときに設定します。

オート(初期値)	自動的に Deep Color で出力します。
オフ	映像が乱れたときや、色が不自然なときに設定します。

x.v.Color

x.v.Color 対応テレビと接続するときに設定します。

オート(初期値)	自動的に x.v.Color で出力します。
オフ	映像が乱れたときや、色が不自然なときに設定します。

アナログテレビ出力設定

テレビと D 端子ケーブルや S 端子ケーブルで接続したときの設定をします。

テレビタイプ

接続するテレビの縦横比(アスペクト比)に合わせて設定します。

16:9(初期値)	画面サイズが 16:9 のテレビと接続するときに設定します。
4:3	画面サイズが 4:3 のテレビと接続するときに設定します。

4:3 映像のテレビ表示

4:3 映像を 16:9 テレビに表示するときの設定をします。

オート(初期値)	入力された映像に合わせて自動的に設定されます。
ワイド	画面サイズに合わせて、左右方向に引き伸ばした映像になります。

16:9 映像のテレビ表示

16:9 映像を 4:3 テレビに表示するときの設定をします。

パン&スキャン	上下方向を画面いっぱいに表示して、左右の切れた映像になります。
レターボックス(初期値)	左右方向を画面いっぱいに表示して、上下に黒い帯が入った映像になります。

D 端子出力解像度

D 映像端子から出力される映像の解像度を設定します。

- 設定が合っていないと、映像が正常に映らなくなります。

D1(初期値)	D1(480i)で出力されます。
D2	D2(480p)で出力されます。
D3	D3(1080i)で出力されます。
D4	D4(720p)で出力されます。 ("D4"に設定した場合、"720p"以外で製作されたディスクや番組を視聴や再生するときは、1080i で出力されます。)

S 端子ワイドモード

S 端子から出力される映像の識別について設定をします。

S1	16:9 映像と 4:3 映像を識別して出力します。
オフ(初期値)	映像を識別せずに出力します。

HDMI 制御(リンク)設定

HDMI 機器制御(HDMI-CEC)機能について設定します。

HDMI 機器制御(リンク)

HDMI 機器制御機能を使うかどうか設定します。

オン	HDMI 機器制御機能を使います。
オフ(初期値)	HDMI 機器制御機能を使いません。

本機からテレビへの連動オン

本機の電源を入れたときに連動してテレビの電源も入れるかどうかを設定します。

オン	連動してテレビの電源が入ります。
オフ(初期値)	テレビの電源は連動しません。

音声のみ再生時の連動

音声のみを再生するときだけ、リンク機能によりテレビの電源との連動機能を有効にするか無効にするかを設定します。

オン	本機の再生によって、テレビの電源が連動オンします。 テレビの電源を切ったとき、本機も連動して電源が切れます。
オフ(初期値)	本機の再生によって、テレビの電源が連動オンしません。 テレビの電源を切っても、本機は連動して電源が切れず、再生を続けます。

接続テレビとのリンク確認

接続しているテレビで HDMI 機器制御機能が使えるか確認します。

スピーカー設定

スピーカーやサブウーファーを接続したときの設定をします。

接続スピーカー

接続するスピーカーに合わせて選択してください。選択したスピーカーに最適な特性で楽しめます。

SX-WD30 シリーズ	「ビクター製 SX-WD30 シリーズ」を使うとき
SX-WD50 シリーズ	「ビクター製 SX-WD50 シリーズ」を使うとき
SX-L33 シリーズ	「ビクター製 SX-L33BK/SX-L33MK2 など」を使うとき
SX-LT55 シリーズ	「ビクター製 SX-LT55BK/SX-LT55MK2 など」を使うとき
LS-K711 シリーズ	「ケンウッド製 LS-K711 シリーズ」を使うとき
LS-K1000 シリーズ	「ケンウッド製 LS-K1000 シリーズ」を使うとき
SP-MA1	「ビクター製 SP-MA1」を使うとき
リザーブ	将来当社で発売するスピーカー用です。
その他(初期値)	上記以外のスピーカーを使うとき
接続なし	スピーカーを使わないとき

※設置の状態によって合わない場合があります。そのときは "その他"をお使いください。

サブウーファー

サブウーファーを接続したときに設定します。

オン	サブウーファーを使います。 "フロント"、"サブウーファーリミックス"および "クロスオーバー周波数"を設定できるようになります。
オフ(初期値)	サブウーファーを使いません。

フロント

フロントスピーカーの大きさを設定します。

ラージ(初期値)	スピーカーユニットの口径が、12cm 以上のときに設定します。
スモール	スピーカーユニットの口径が、12cm 未満のときに設定します。

サブウーファーリミックス

フロントスピーカーが "ラージ"のときに、他チャンネルの低音を加え、更に効果を強調します。

オン(初期値)	低音を左右のスピーカーとサブウーファーの両方から出力します。
オフ	低音をサブウーファーのみ出力します。

クロスオーバー周波数

フロントスピーカーとサブウーファーの動作範囲を設定します。設定した周波数以下の音をサブウーファーから、それ以上をフロントスピーカーから出力します。

40Hz~250Hz (初期値:200Hz)	フロントスピーカーとサブウーファーの動作範囲を分ける周波数を設定します。

ネットワーク設定

- 詳しい設定方法は、"ネットワークの設定をする" (P.47)をご覧ください。

接続方法

接続方法（有線/無線）を設定します。

WiFi 設定

WiFi について設定します。"自動設定（WPS）"、"手動設定"、"MAC アドレス（無線 LAN）"を設定できます。

IP アドレス/DNS 設定

IP アドレス/DNS 設定について設定します。

プロキシサーバー設定

プロキシサーバーを設定します。

インターネット接続テスト

ネットワークの接続テストをします。

MELINK 設定

- 詳しい設定方法は、別冊の「ネットサービスを楽しもう！！」をご覧ください。

ユーザー情報／一覧

ユーザー情報を設定したり、確認できます。

MELINK 優先

ラジオ放送を聞くときに、MELINK を優先にするかしないかを設定します。

MELINK 接続テスト

MELINK ネットワークの接続テストをします。

MELINK 機器 ID

本機の MELINK 機器 ID を表示します。

MELINK についての内容確認

MELINK の利用規約を確認できます。

メール/情報設定

放送メール受信確認

放送局から送られてくる情報を確認できます。

機器メール受信確認

本機から送られてくる情報（録画予約できなかったときなど）を確認できます。
本機に保存される機器メールの数は、最大 20 通までです。20 通を超えると古いものから削除されます。

B-CAS カード

B-CAS カードの番号を確認できます。

ボード

110 度 CS デジタル放送から送られてくる情報を確認できます。

?こんなときは

■ 電源について 164

■ 接続/操作方法について 165

■ AUDIO について 167

■ VISUAL について 168

■ 録音/録画/予約について 170

■ 削除/編集/ダビングについて 172

電源について

	こんなときには	ここを確認してください	参照ページ
電源について	電源が入らない	►電源コードのプラグが電源コンセントから抜けていませんか？ ►リモコンの乾電池が消耗していませんか？ ►上記以外の場合は、故障により安全装置がはたらいている可能性があります。 電源プラグをコンセントから抜き差しして、本機をリセットしてください。 それでも不具合が続く場合は、お買い上げの販売店またはサービス窓口にご相談ください。	38 22 215
	何も操作をしていないのに、勝手に電源が入る	►番組表の番組データを受信中ではありませんか？ ►本機ファームウェアのダウンロード中ではありませんか？ ►HDMI 機器制御（リンク）機能を使用していませんか？ テレビから HDMI リンク機能で録画開始などの「電源オン」の制御信号を受信すると、本機の電源が自動的に入ります。	94 157 148
	電源を入れると、"かんたん設置設定"の画面が表示される	►"かんたん設置設定"の設定はお済みですか？ "かんたん設置設定"の設定が完了してない場合に表示されます。	39
	テレビの電源を切ると本機の電源も自動的に切れる	►HDMI 機器制御を使用していませんか？ HDMI 機器制御では、テレビの電源を切ると本機の電源も連動して自動的に切れます。	148
	勝手に電源が切れる	►正常ではないディスクをセットしていませんか？ ディスクの異常を検知した場合に、自動的に電源が切れることがあります。 ►上記以外の場合は、故障により安全装置がはたらいている可能性があります。 電源プラグをコンセントから抜き差しして、本機をリセットしてください。 それでも不具合が続く場合は、お買い上げの販売店またはサービス窓口にご相談ください。	ー 215
	電源を切っても、電源がしばらく切れなかったり、切れるまで時間がかかる	►システムの終了や情報の更新を行うため、電源が切れるまで、しばらく時間がかかることがあります。	ー
	電源がオフ（スタンバイ）でも冷却用ファンが回っている	►電源がオフ（スタンバイ）でも、予約録画/録音中や録画モード変換中など、ファンが回転し続けることがあります。 ►デジタル放送の有料放送と契約していませんか？ デジタル放送の放送局側からの制御信号で、本機が通電状態となり、ファンが回転し続けることがあります。	ー

接続/操作方法について

	こんなときには	ここを確認してください	参照ページ
操作方法について	リモコンで操作できない 本機だけ、テレビだけ、など一部のボタンを押しても動作しない	►本体とリモコンのリモコンコードが合っていますか？ 本機とリモコンのリモコンコードが異なっている場合は、表示窓部にメッセージが表示されます。同じリモコンコードに設定してください。 例：リモコンが "リモコン 3"、本機が "リモコン 4"に設定されている場合は、"RCU:3<>4"と表示窓部に表示されます。	158
		►リモコンの乾電池が消耗していませんか？ リモコンの乾電池が消耗してるときは、新しい乾電池に交換してください。	22
	本機が動かない 本機の操作ができない	►その操作が禁止されているときは、画面に禁止のメッセージが表示されます。	－
		►ご購入後に初めて電源を入れたときは "かんたん設置設定"の画面が表示されます。設定中は、録画・再生などの操作はできません。	39
		►上記以外の場合は、故障により安全装置がはたらいている可能性があります。 本体の電源ボタンを 5 秒以上押し続けるか、または電源プラグをコンセントから抜き差しして、本機をリセットしてください。その後、電源を入れて動作を確かめてください。 それでも不具合が続く場合は、お買い上げの販売店またはサービス窓口にご相談ください。	215
	本機の動作が遅い	►2 番組同時録画、テレビとラジオまたは外部入力の同時録画/録音中、録画/録音の開始/終了時は多少動作が遅くなることがありますが、故障ではありません。	－
	ディスクの操作ができない	►操作先がディスクになっていますか？ 操作先がディスクになっていない場合は、A スタートメニューから操作先を切り換えてください。	67
		►ディスクがセットされていますか？ ディスクを認識すると、操作先がディスクに切り換わり、操作ができるようになります。	66 105
		►ディスクによっては、本機で再生できない場合があります。 詳しくは"再生/ダビングができるメディアについて" 174 をご覧ください。	174
	ディスクトレイの開閉ができない	►各種メッセージの表示中に、トレイの開閉ができない場合があります。その場合は、処理が終了するとメッセージが消え、操作ができるようになります。	－
		►本機で使用できないディスクを本機に入れた場合は、トレイの開閉ができなくなることがあります。[トレイ開/閉]を５秒以上押して、ディスクトレイを強制オープンしてください。再度、[トレイ開/閉]を５秒以上押すと、強制オープンが解除されます。	－
	ディスクトレイがしばらく出てこない、出てくるまで時間がかかる	►情報を更新するため、トレイが開くまでしばらく時間がかかります。	－
	ディスクを入れてから、しばらく操作ができない	►ディスクの認識と情報の読み込みを行うため、ディスクが使用可能になるまでしばらく時間がかかります。	－
	SD カードの操作ができない	►操作先が SD カードになっていますか？ 操作先が SD カードになってない場合は、A スタートメニューまたは V スタートメニューから操作先を切り換えてください。	68
		►SD カードがセットされていますか？ SD カードを認識すると、操作先が SD カードに切り換わり、操作ができるようになります。	－

接続/操作方法について

症状	確認・対処	ページ
SD カードの内容が読めない	►本機以外でフォーマットした SD カードは動作できない場合があります。その場合は本機でフォーマットした SD カードをご使用ください。 ►SD カードを正しい向きで奥まで(止まるまで)差し込んでいますか？	180 20
本機の設定画面が表示されない	►設定画面や項目の操作ができないときに、設定画面が表示されないことがあります。 ►テレビの入力切換を本機を接続した入力にしていますか？	– –
表示部にメッセージが出ない 表示部が暗い	►"本体表示の明るさ"の設定項目によっては、本体表示部の表示が消えたり暗くなったりします。	158
本体表示部にエラーメッセージが表示される	►故障により安全装置がはたらいている可能性があります。 本体の電源ボタンを 5 秒以上押し続けるか、または電源プラグをコンセントから抜き差しして、本機をリセットしてください。その後、電源を入れて動作を確かめてください。 それでも不具合が続く場合は、お買い上げの販売店またはサービス窓口にご相談ください。	189 215
電源ランプが赤色で点滅している	►内部的に安全装置がはたらいた状態です。 以下の場合は、本体表示窓に原因が 3 秒間表示され、電源ランプが点滅します。本体の電源ボタンを押すと、点滅が解除されスタンバイ状態になります。 ・低温検出時:"LO TEMP" →部屋の温度を暖かくしてから起動してください。 ・高温検出時:"HI TEMP" →周りのスペースを十分にとってください。 本機の温度を下げてから起動してください。 ・ファンの回転停止検出時:"FANLOCK" →ファンの通気孔に何か詰まっていないか確認してください。 以上を行っても改善されなかったり、本体表示無しで赤点滅する場合は、故障の可能性がありますので、お買い上げの販売店またはサービス窓口にご相談ください。	215
本機が正常に動作しない	►露付きが起こっていませんか？ 露付きは寒い所から急に部屋に持ち込んだりしたときに起こります。その場合は、電源を入れずに 2 時間以上放置してから起動してください。 ►本機のソフトリセット機能をお試しください。 本体の電源ボタンを 5 秒以上押し続けると、本体表示窓に"RESET"と表示され、その後電源ランプが赤く点灯し、スタンバイ状態になります。その後、電源を入れて動作を確かめてください。 ►上記以外の場合は、故障により安全装置がはたらいている可能性があります。 電源プラグをコンセントから抜き差しして、本機をリセットしてください。 それでも不具合が続く場合は、お買い上げの販売店またはサービス窓口にご相談ください。	– 215 215

AUDIO について

	こんなときには	ここを確認してください	参照ページ
音声について	音声が出ない	►スピーカーがつながっていますか？ スピーカーの接続を確認してください。	32
		►ヘッドホンをつないでいませんか？ 本機にヘッドホンをつなぐと、スピーカーから音声が出力されません。	10
		►音声がミュートになっていませんか？ [音量+/-]または[消音]を押すとミュートが解除されます。	12
		►音声出力設定を確認してください。	56
	音声に雑音が入る	►パソコンなどの電子機器が近くに置かれていませんか？ 電子機器のノイズを受信すると、音声に雑音が入る場合があります。本機からなるべく離れた位置に電子機器を設置してください。	–
	Blu-ray Disc™/DVD の音声言語が変更できない	►音声言語が複数登録されている場合に、変更することができます。	153
	外部録音した音声の音量が小さい	►外部接続した機器の音量が低い状態で録音すると、音声の音量が小さくなる場合があります。外部機器から録音する場合は、外部機器の音量レベルを上げた状態で録音してください。	58
ラジオ放送について	FM 放送が受信できない	►FM アンテナをつないでいますか？ FM アンテナの接続を確認してください。	29
		►お住まいの場所やアンテナの設置位置によって、FM 放送の受信状態が異なります。アンテナの設置位置や向きを調節してください。 付属の簡易型アンテナで受信感度が優れない場合は、市販品の FM 屋外アンテナの設置をお勧め致します。	29
	AM 放送が受信できない	►AM アンテナをつないでいますか？ AM アンテナの接続を確認してください。また、付属の AM ループアンテナは、アンテナ線が枠に巻かれた状態のままお使いください。枠からはずすとアンテナの効果がなくなります。	28
		►アンテナの設置位置やアンテナの向きによって、AM 放送の受信状態が異なります。アンテナの設置位置や向きを調節してください。	28

VISUAL について

	こんなときには	ここを確認してください	参照ページ
映像について	映像が映らない	►アンテナケーブルおよび各種映像ケーブルがつながっていますか？ ケーブルを違う端子(入力/出力も含む)につないでいませんか？ ケーブルの接続を確認してください。	25 30
		►B-CAS カードを正しい向きで奥まで差し込んでいますか？ B-CAS カードを差し込まないと、地上デジタル放送、BS および CS 放送の映像出力ができません。	27
		►地上デジタル放送の受信電波が弱い場合でも強すぎる場合でも受信レベルが下がり、映らないことがあります。 また、分配器を使うと受信電波が弱くなります。そのときは市販のブースターなどを使うと改善されることがあります。	–
		►"HDMI テレビ出力"および "アナログテレビ出力設定"を設定しましたか？ 本機とテレビの接続方法に応じて、"HDMI テレビ出力"および "アナログテレビ出力設定"が必要になる場合があります。 詳しくは、およびをご覧ください。	159 160
		►有料放送の視聴には、放送局ごとに受信契約が必要です。契約方法などの詳細につきましては、各有料放送のホームページなどをご覧ください。なお B-CAS カードは、受信契約をしたものをお使いください。	–
	映像が乱れる	►本機とテレビを直接つないでいますか？ 本機をビデオなどを経由してテレビにつなぐと、コピーガードにより正しく再生できないことがあります。	–
	ハイビジョン映像(D3 画質以上)が出力されない	►HDMI ケーブルと D 端子ケーブルの両方から映像を出力していませんか？ 著作権保護されたディスクを再生すると、D 端子からの出力が 480p (D2)までに制限されます。 HDMI ケーブルをはずすか、"HDMI 映像優先モード"を "オフ"に設定してください。	159
		►"D 端子出力解像度"が 480p(D2)以下になっていませんか？ お使いのテレビにあわせて、"D 端子出力解像度"を 1080i(D3)以上に変更してください。	160
		►市販の Blu-ray Disc™ ソフト再生時の D 端子出力解像度は、Blu-ray Disc™ ソフトのコピー制限規格により、設定にかかわらず 480i に制限されます。同様に市販 DVD ソフト再生時の D 端子出力解像度は、設定にかかわらず 480p 以下に制限されます。	–
	映像の左右が切れる	►16:9 のアスペクト比で作成された番組や DVD を再生したときに、4:3 テレビで映像の左右が切れることがあります。 "16:9 映像のテレビ表示"を "レターボックス"に変更してください。	160
テレビ放送について	本機の電源が切れるとテレビでの BS/CS 受信ができなくなる	►設定メニューの "放送受信設定"→ "設置設定"→ "受信設定"→ "衛星"→ "アンテナ電源"の設定が "オフ"になっていませんか？ "オン"にしてください。	157
	BS/110 度 CS デジタル放送が映らない。 映りが悪い	►BS･110 度 CS アンテナの方向や角度がずれていませんか？ BS･110 度 CS アンテナの方向や角度が強風などでずれると、放送を受信できません。	
		►BS･110 度 CS デジタルアンテナに電源が供給されていますか？ BS･110 度 CS アンテナの受信方法を "共同受信"に設定すると、アンテナに電源を供給しません。 個人でアンテナを設置してる場合は、"個別受信"に設定し、アンテナに電源を供給してください。	43
		►次のような場合は、電波障害により一時的に映像･音声が乱れることがあります。	–

		1)雨雲があるとき 2)強い降雨のとき 3)障害物があるとき 4)雪が BS/110 度 CS アンテナに付着しているとき	
	BS/110 度 CS デジタル放送が映らない。 映りが悪い （個別受信の場合）	► BS アンテナがショートしている可能性があります。 その場合、設定メニューの "放送受信設定"→ "設置設定"→ "受信設定"→ "衛星"→ "アンテナ電源"の設定が "オフ"になります。 ショート状態を解決してから改めて "アンテナ電源"を "オン"に設定してください。 テレビなど他の機器から BS アンテナに電源を供給している場合やマンションなど共同受信している場合は、アンテナ電源を "オン"にしないでください。	157
	放送の切り換えができない、チャンネルが切り換えられない	► 2 番組同時録画（録音も合わせて）していませんか？ 2 番組同時録画中は、放送やチャンネルを切り換えることができません。 ► 録画モード DR 以外で録画していませんか？ そのときは、外部入力に切り換えることができません。 ► 番組やディスクの再生中ではありませんか？ 再生中は、放送やチャンネルを切り換えることができません。	57 100 — —
字幕について	Blu-ray Disc™/DVD の字幕言語やアングルが変更できない	► 字幕言語およびアングルが複数登録されている場合に、変更することができます。	—
	字幕が表示されない	► "字幕"設定が "オフ"になっていませんか？ [字幕]を押し、"字幕"設定を変更してください。 ► 録画モード DR 以外で録画した番組や字幕情報がないディスクについては、字幕が表示されません。	157 —

録音/録画/予約について

	こんなときには	ここを確認してください	参照ページ
録音について	録音できない	►録音したラジオ番組の数が上限を超えていませんか？ 本機で録音できるラジオ番組数は録音と録画を合わせて 498 までです。録音したい場合は、不要な番組を削除してから録音してください。 ►HDD の容量が不足していませんか？ 不要な番組を削除してから録音してください。	– 71
	音楽を取り込みできない	►音楽 CD をセットしていますか？ CD-DA フォーマット以外のディスクからは、録音できません。MP3 形式や WAV 形式の音楽は、SD カードまたは USB メモリーから取り込むことができます。 ►取り込み可能なフォーマットですか？ 本機では WMA 形式や MP4 形式の音楽は取り込みできません。 ►HDD の容量が不足していませんか？ 不要な曲を削除してから録音してください。	59 61 59 61 71
	録音した音量が低い	►外部接続した機器の音量が低い状態で録音すると、音声の音量が小さくなる場合があります。外部機器から録音する場合は、外部機器の音量レベルを上げた状態で録音してください。	58
録画について	録画できない	►「録画禁止」番組を録画していませんか？ 「録画禁止」番組は著作権保護されている為、本機に録画することができません。 ►録画した番組の数が上限を超えてませんか？ 本機で録画できる番組数は録音と録画を合わせて 498 までです。録画したい場合は、不要な番組を削除してから録画してください。 ►HDD の容量が不足していませんか？ 不要な番組を削除してから録画してください。	101 112 112
	字幕が録画されない	►録画モード DR で録画しましたか？ 録画モード DR 以外で録画した番組には、字幕が記録されません。	100 135
	動画を取り込みできない	►違法複製防止のためのコピー制限やコピーガードがディスクにかかっていませんか？ 著作権保護されたディスクから取り込むことはできません。 ►取り込み可能なフォーマットですか？ 本機では BDAV、BDMV、DVD-Video、DVD-VR、AVCREC および DivX 形式の動画は取り込みできません。	– 174
	二カ国語放送の主音声と副音声の両方を録画するには？	►録画モードによっては、主音声と副音声の両方を録音できないことがあります。	178
	デジタル放送をハイビジョン画質(HD 放送)で録画できない	►録画モードが XP～EP のいずれかではありませんか？ 録画モードが XP～EP の場合は、標準画質(SD 放送)で録画されます。ハイビジョン画質で録画する場合は、録画モードを DR もしくは AF～AE のいずれかを選び、録画してください。	177 100
	データ放送や地上デジタル音声放送は録画できますか？	►本機では録画できません。	–
	MELINK の録画はできますか？	►本機では MELINK の録画ができません。録音のみ可能です。	–
	2 番組同時録画ができない	►録画モードを DR 以外で録画していませんか？	100

	症状	確認・対処	参照ページ
		2 番組同時録画する場合は、どちらか片方は、録画モード DR でしか録画できません。	
		► ラジオ番組を録音していませんか？ ラジオ番組を録音中は、2 番組同時録画ができません。録画と録音を合わせて、最大で 2 番組同時に記録することができます。 また 1 番組録画は、録画モード DR でのみ同時録画できます。	100
		► ダビングもしくは取り込み中ではありませんか？ ダビングおよび取り込み中は、2 番組同時録画ができません。	102 124
予約について	予約が重なった場合は、どちらが優先されるのですか?	► 録画予約および録音予約の開始時間が遅い予約が優先されます。詳しくは、"予約について"をご覧ください。	144
	電源を入れたまま予約時間になった場合は？	► そのまま予約が実行されます。特に操作をしなければ予約録画/録音が終了しても電源は入ったままです。予約録画/録音実行中に電源を切っても予約はそのまま実行されます。	－
	録画予約できない	► 予約番組の数が上限を超えていませんか？ 本機で予約できる番組数は、テレビとラジオのそれぞれで 64 までです。	－
		► 時計が合っていますか？ 本機は地上デジタル放送から送られてくる情報を取得し、自動的に時刻を修正します。 時刻合わせをするときは、設定メニュー "本体設定"の "時刻合わせ"で操作してください。	158
		► 予約番組が重複していませんか？ 本機で同時に可能な予約最大数は、テレビ番組とラジオ番組合わせて 2 つまでです。 また、番組表の時間変更により予約が追従変更された場合は、重複した予約が実行されないことがあります。	141
	録画予約した番組が録画されない	► 録画開始直前に停電などの理由で電源が入っていない場合は、予約が実行されないことがあります。	－
	番組の最後まで録画ができていない	► 予約が重なっていませんか？ 予約が重なっていると、記録できないことがあります。	144
		► 予約が連続して設定されていませんか？ 前の予約終了と次の予約開始が同じ時刻の場合で、かつ同時録画が不可能な組合せの場合は、前の予約の最後の部分（約 30 秒）が録画されません。	144
	予約と違う番組が録画された	► 特別番組やドラマ入れ替えなど番組編成が変更される場合があります。 番組表から繰り返し予約したときは、当日の放送が変更された場合、別の番組が録画されることがあります。また、時間を指定して予約した場合は、番組変更の追従が行われません。	－

削除/編集/ダビングについて

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
削除について	HDD に記録された番組の編集･削除ができない	►番組が保護されていませんか？ 番組が保護されている場合は、その番組の編集や削除ができません。番組の保護を解除してください。	116
		►録音/録画中の番組ではありませんか？ 録音/録画中の番組は、番組が終了し録音/録画が完了するまでは編集および削除ができません。	−
		►2 番組同時録画(録音)中ではありませんか？	−
編集について	チャプターが分割できない	►チャプターマークの数が上限になっていませんか？ 本機で設定できるチャプターマークには上限があります。詳しくは、"チャプターを作成･編集する"をご覧ください。	121
	チャプターマークが追加できない	►近くにチャプターマークがありませんか？ チャプターマークの間隔が非常に短くなる箇所にチャプターマークを追加できないことがあります。	121
	削除･分割した番組を元に戻せない	►削除･分割した番組は、元に戻すことができません。 内容をよく確認してから、削除･分割をしてください。	71 79 112 123
	初期化した内容を元に戻せない	►HDD およびディスクを初期化(フォーマット)した場合は、記録されている内容がすべて削除され、元に戻すことができません。 内容をよく確認してから、初期化してください。	180
	ファイナライズをしても、他の DVD プレーヤーで再生できない	►DVD プレーヤーによっては、ファイナライズをしても再生できないことがあります。	−
	ファイナライズが解除できない	►本機でファイナライズを解除できるのは、本機でファイナライズを行った DVD-RW(VR モード)のみです。	182
ダビングについて	ダビングができない	►ディスクに傷や汚れがあると、ダビングできないことがあります。	−
		►他機で記録された Blu-ray Disc™ を使用したときに、本機で追記ダビングできないことがあります。	−
		►他機で録画され、ファイナライズされていない DVD-RW(Video モード)/DVD-R(Video モード)は、本機でダビングできません。	−
		►他機で初期化(フォーマット)されたディスクを使用したときに、本機でダビングできないことがあります。	−
	ダビングした元番組が動画一覧に表示されない	►コピーワンスの番組はダビングではなく、ムーブ(移動)になります。 HDD に番組が残らないのでご注意ください。	175
	ダビングしても字幕がダビングされない	►録画モードを DR 以外で録画していませんか？ 字幕は録画モード DR で録画した場合にのみ記録されます。字幕付きでダビングしたい場合は、ダビング元とダビング先の両方を録画モード DR に設定してください。	100 177
	二カ国語放送の主音声と副音声の両方をダビングするには？	►録画モードを変更してダビングするときの録画モードによっては、主音声と副音声の両方を録音できないことがあります。	178

知っておいて欲しいこと

■ 再生/ダビングができるメディアについて ―― 174
■ 録画/録音モードと記録時間の目安、多重音声について ―― 177
■ 転送先でのフォルダ名/ファイル名について ―― 179
■ ディスク/カードの初期化(フォーマット) ―― 180
■ 他の DVD プレーヤーなどで再生できるようにする(ファイナライズ) ―― 182
■ 同時に操作できる機能について ―― 183
■ 地上デジタル放送のチャンネル設定一覧 ―― 186
■ 言語コード一覧表 ―― 188
■ パネル(LCD)表示について ―― 189
■ 使用上のご注意 ―― 192
■ ソフトウェアライセンス ―― 196
ロヴィ社のフロー･ダウン･ライセンス規約(利用規約) ―― 208
■ 用語解説 ―― 209

再生/ダビングができるメディアについて

■ 再生/取り込みができるメディアについて

再生メディア	記録方式	主な記録内容	再生	HDD への取り込み
BD-ROM	BDMV	市販 Bul-ray Disc など	○	×
BD-R(1 層/2 層)、BD-RE(1 層/2 層)	BDMV(他機や PC で作成した)	ハイビジョンの撮影動画(*1)など	○	×
	BDAV	ハイビジョンの放送録画や撮影動画(*1)など	○	×
DVD-R(1 層/2 層)、DVD-RW、DVD-RAM	AVCREC	ハイビジョンの放送録画や撮影動画など	○	×
DVD-R(1 層/2 層)、DVD-RW	AVCHD(ビデオカメラで撮影した)	ハイビジョンの撮影動画	○	○
DVD-R(1 層/2 層)、DVD-RW	ビクター独自方式(MPEG2-TS)	ハイビジョン Everio バックアップディスク(*2)	○	○
DVD-ROM、DVD-R(1 層/2 層)、DVD-RW	DVD-Video	市販 DVD やアナログ放送録画、撮影動画など	○	×
DVD-R(1 層/2 層)、DVD-RW、DVD-RAM	DVD-VR	放送録画、撮影動画など	○	×
HD　Everio(USB 接続)	AVCHD、SD-Video(ハイビジョン MPEG2-TS 方式)	ハイビジョン撮影動画	×	○
Everio(USB 接続)	SD-Video(標準画質 MPEG2-PS 方式)	撮影動画	×	○
SDHC カード、SD カード	AVCHD、SD-Video(ハイビジョン MPEG2-TS 方式)	ハイビジョン撮影動画	○	○
	SD-Video(標準画質 MPEG2-PS 方式)	撮影動画	○	○
CD-ROM	CD-DA	市販音楽ディスク	○	○
CD-R/RW	CD-DA	音楽、音声	○	○
SDHC カード、SD カード(*3)	WAV、MP3(CBR、VBR、32～320kbps)	音楽、音声	○	○
デジタルオーディオプレイヤーなどの USB 機器	WAV、MP3(CBR、VBR、32～320kbps)	音楽、音声	○	○

○:可能、×:不可能

*1: ハイビジョン Everio などで撮影したものをディスクライターなどでバックアップしたディスクなど。
*2: ハイビジョン Everio バックアップディスクとは、ビクター製ビデオカメラのハイビジョン Everio から専用 DVD ライターでバックアップしたビクター独自規格の DVD のことを言います。
*3: 本機で使用できる SD カード、SDHC カードは 32 GB(Class 2～10 を推奨)までです。

- MiniSD カード、MicroSD カードを使用するときは、必ず専用のアダプターを装着してください。
- USB 機器は、マスストレージ対応の機器のみ使用できます。外付け HDD など、バスパワーを多く必要とする機器は、破壊の可能性がありますので接続しないでください。
- 著作権保護のかかっている動画、音楽はその著作権保護技術に従い、録画･録音およびダビングができない場合があります。

- すべての機器、メディアとの接続を保証するものではありません。本機との相性により動作できない機器、メディアもあります。
- カートリッジタイプの DVD-RAM はそのまま使用できません。
  カートリッジから取り出して使用してください。
- AVCHD と SD-Video が混在したメディアの場合は、AVCHD 部分のみしか再生できません。(取り込みはどちらも可能です。)

■ **本機の HDD から書き出し(ダビング)ができるメディアについて**

記録メディア	BD-R(1 層/2 層)、BD-RE(1 層/2 層) *5	DVD-R(1 層/2 層)、DVD-RW *6			SDHC カード、SD カード *7	デジタルオーディオプレイヤーなどの USB 機器 *8
書き出し記録方式	BDAV	AVCREC	DVD-VR	DVD-Video	WAV、MP3	WAV、MP3
デジタルテレビ放送録画(ハイビジョン記録)	○	○	○*1*4	△*1*2	×	×
デジタルテレビ放送録画(標準画質記録)	○	×	○*4	△*2	×	×
撮影動画(ハイビジョン記録)	○	○	○*1	○*1	×	×
撮影動画(標準画質記録)	○	×	○	○	×	×
外部入力録画(標準画質記録)	○	×	○*4	△*3	×	×
CD 録音、ラジオ/外部入力録音(WAV、MP3 ファイル)	×	×	×	×	○	○
MELINK 録音(WAV、MP3 ファイル)	×	×	×	×	△*3	△*3

○:書き出し可能、×:書き出し不可能、△:元番組の内容に依存

*1: ダウンコンバートされて書き出し(ダビング)されます。
*2: 元番組がコピーフリーのときのみ、書き出し(ダビング)できます。コピーガード(著作権保護)されている番組は、書き出し(ダビング)できません。
*3: 元番組がコピーフリーのときのみ、書き出し(ダビング)できます。コピーワンスの番組は、書き出し(ムーブ)できません。
*4: 元番組がコピーフリーではない場合、CPRM 対応のディスクにのみ書き出し(ダビング)できます。CPRM 非対応のディスクには、書き出し(ダビング)できません。
デジタルテレビ放送のほとんどがコピーフリーではありませんので、放送録画をダビングするには CPRM 対応ディスクをお使いください。
*5: BD-RE(Ver.2.1、1 層/2 層、~2x)、BD-R(Ver.1.1/1.2/1.3 、1 層/2 層、~6x)、BD-R(LTH ~4x)にそれぞれ対応しています。8 cm ディスクにはダビングできません。
*6: DVD-RW(Ver.1.1/1.2 、1 層/2 層、~6x)、DVD-R(Ver.2.0/2.1、1 層、~16x)(Ver.3.0、2 層、~8x)にそれぞれ対応しています。8 cm ディスクにはダビングできません。
本機でダビングした DVD-R/DVD-R DL(片面 2 層)/DVD-RW は、他機(当社製も含む)では追記/ファイナライズできない場合があります。
*7: Mini および Micro の SDHC/SD カードに書き出すときは、アダプタを使用してください。
*8: USB 機器は、マスストレージ対応の機器のみ使用できます。外付け HDD など、バスパワーを多く必要とする機器は、破壊の可能性がありますので接続しないでください。

- 放送や外部入力からディスクへの直接録画はできません。
- 音声のディスクへの書き出しはできません。
- デジタル放送録画など、コピー制限された番組は、著作権保護技術 AACS(Advanced Access Content System)に対応した BD-RE/R および著作権保護技術 CPRM(Content Protection for Recordable Media) に対応した録画用 DVD-RW/-R ディスク(VR モード)にダビング可能です。
- すべての機器、メディアとの接続を保証するものではありません。本機との相性により動作できない機器、メディアもあります。

ディスク/カードの使用上のご注意

次のようなところは避けてディスクやカードを保管してください。

- 湿気やほこりの多いところやカビの発生しやすいところ
- 直射日光が当たるところや暖房器具の近く
- 夏の自動車の車内

次のようなディスクは使用しないでください。ディスク自体の破損や本体の故障の原因となります。

- 傷が付いているディスク
- ラベルやシールが貼られているディスク
- ラベルがはがれているディスク
- のりがはみ出しているディスク
- ひび割れ、変形、接着剤などで補修したディスク
- 六角形など、特殊な形状のディスク

ディスクに関するそのほかのご注意

- ディスクを落としたり、衝撃をあたえたりしないでください。
- ディスクに付いた指紋やほこりなどの汚れは、映像や音声の乱れの原因になります。柔らかい布などでいつもきれいにしてください。柔らかい布でディスクの中心から外側に向かって軽く拭いてきます。
- ディスクの汚れがひどいときには、少し水で湿らした布で拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
- シンナーやベンジン、アルコール、従来のレコードクリーナー、静電気防止スプレーなどは絶対に使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。
- ディスクはケースに入れて、立てて保管してください。ケースに入れないで重ねたり、立てかけたり、落としたりすると変形やひび割れの原因となります。

カードに関するそのほかのご注意

- SD カードを落としたり、衝撃をあたえたりしないでください。
- SD カードを取り出すときは、アクセス中(ダビング、再生、フォーマットなど)でない事を確認してから取り出してください。
- アクセス中に SD カードを抜いたり、電源コードを抜かないでください。SD カードが使用できなくなる場合があります。使用できなくなった場合は、再フォーマットしてください。再フォーマットしても使用できない場合は、新しい SD カードを使用してください。
- MiniSD カード、MicroSD カードを使用するときは、必ず専用のアダプターを装着してください。

録画/録音モードと記録時間の目安、多重音声について

- 時間は目安となっております。録画時間を保障するものではないのでご注意ください。

HDD の録画モードとおよその録画時間(目安)

録画モード		HDD(500 GB)	録画できる放送／映像	記録される画質	備考
DR	地上デジタル(HD 放送)	約 63 時間	デジタル放送(字幕、マルチ音声を含む)	放送そのままの画質(ハイビジョン画質)	
	BS デジタル(HD 放送)	約 45 時間			
	BS デジタル(SD 放送)	約 90 時間			
AF		約 80 時間	デジタル放送	放送の映像を圧縮変換したハイビジョン画質	画質優先
AN		約 127 時間			↕
AL		約 190 時間			
AE		約 254 時間			時間優先
XP		約 110 時間	デジタル放送、外部映像入力	標準画質(従来の画質)	画質優先
SP		約 221 時間			↕
LP		約 441 時間			
EP		約 886 時間			時間優先

Blu-ray Disc™ へダビングする場合のダビングモードとおよその録画時間(目安)

ダビングモード		1 層(25GB)	2 層(50GB)	ダビング元の HDD 録画	記録される画質	備考
高速(元が DR)	地上デジタル(HD 放送)	約 3 時間	約 6 時間	デジタル放送(字幕、マルチ音声を含む)	放送そのままの画質(ハイビジョン画質)	
	BS デジタル(HD 放送)	約 2 時間 10 分	約 4 時間 20 分			
	BS デジタル(SD 放送)	約 4 時間 20 分	約 8 時間 40 分			
AF		約 4 時間	約 8 時間	デジタル放送、取り込んだハイビジョン撮影動画	元の映像を圧縮変換したハイビジョン画質	画質優先
AN		約 6 時間	約 12 時間			↕
AL		約 9 時間	約 18 時間			
AE		約 12 時間	約 24 時間			時間優先
XP		約 5 時間 15 分	約 10 時間 30 分	デジタル放送、外部映像入力、取り込んだ撮影動画	標準画質(従来の画質)	画質優先
SP		約 10 時間 30 分	約 21 時間			↕
LP		約 21 時間	約 42 時間			
EP		約 42 時間	約 84 時間			時間優先

DVD へダビングする場合のダビングモードとおよその録画時間(目安)

ダビングモード	1 層(4.7GB)	2 層(8.5GB)	ダビング元の HDD 録画	記録される画質	備考
AF	約 42 分	約 1 時間 24 分	デジタル放送、取り込んだハイビジョン撮影動画	元の映像を圧縮変換したハイビジョン画質	画質優先 ↕ 時間優先
AN	約 1 時間 5 分	約 2 時間 10 分			
AL	約 1 時間 40 分	約 3 時間 20 分			
AE	約 2 時間 10 分	約 4 時間 20 分			
XP	約 1 時間	約 2 時間	デジタル放送、外部映像入力、取り込んだ撮影動画	標準画質(従来の画質)	画質優先 ↕ 時間優先
SP	約 2 時間	約 4 時間			
LP	約 4 時間	約 8 時間			
EP	約 8 時間	約 16 時間			

HDD の録音モードとおよその録音時間(目安)

録音モード	HDD(500 GB)	録音できる放送	記録される音質	備考
LPCM	約 751 時間	ラジオ放送、CD 取り込み、外部音声入力、MELINK サイマル配信(コピー制限による)	音声を圧縮しない最高音質	非圧縮
MP3 XP	約 3,313 時間		音声を MP3 圧縮に変換した高音質(320kbps)	音質優先
MP3 SP	約 8,283 時間		音声を MP3 圧縮に変換した標準音質(128kbps)	時間優先

デジタル放送での多重音声について

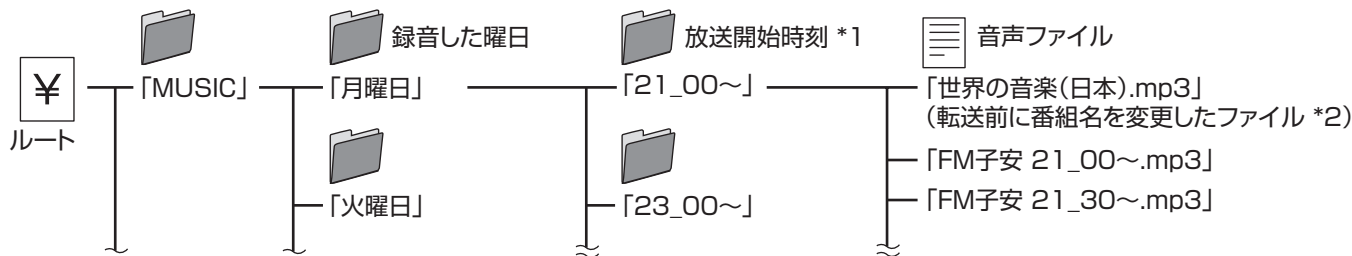
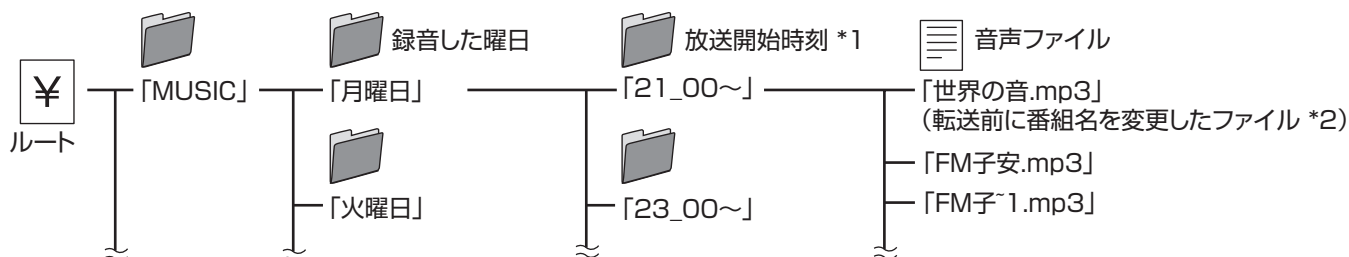
録画モードの設定によって、録音できるデジタル放送の多重音声が異なります。

音声種別	番組名でのマーク	番組内容の表示	録音される音声			再生時の音声		
			DR	DR 以外	XP(LPCM)	DR	DR 以外	XP(LPCM)
二ヶ国語多重(日本語/英語)	二	主+副	モノラルで主音声/副音声をそれぞれ録音		モノラルで主音声のみ録音	主音声モノラル/副音声モノラル/主音声(L)+副音声(R)の切換え可能		主音声モノラルで再生
解説デュアルモノラル放送(日本語/日本語(解説))	解							
二ヶ国語ステレオ(日本語/英語)	二	信号 ステレオ	ステレオでそれぞれを録音(音声1/2)	ステレオで片方のみを録音(視聴で設定している側)		音声 1(ステレオ)/音声 2(ステレオ)の切換え可能	記録されたステレオ音声を再生(切換え不可)	
解説ステレオ放送(日本語/日本語(解説))	解							

転送先でのフォルダ名/ファイル名について

録音したラジオ番組や取り込んだ音楽を SD カードや USB 機器に転送すると、以下のようなフォルダ構成で記録されます。

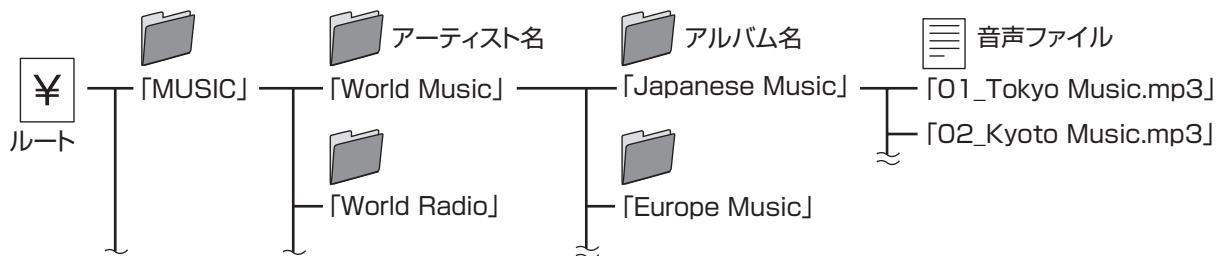
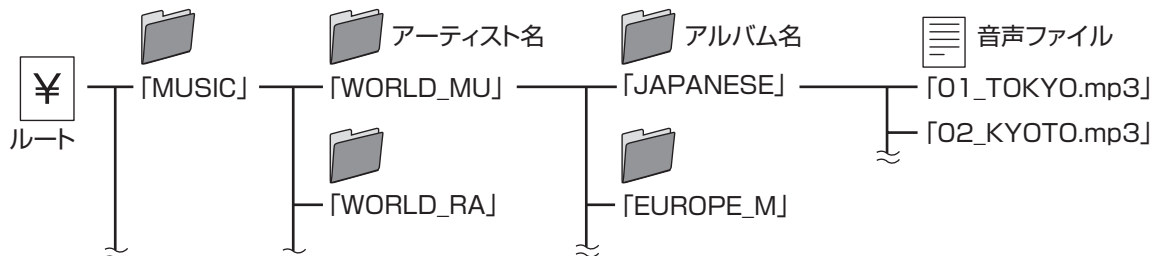
ラジオ録音の書き出しの場合

■ SD カードへの書き出し

■ USB 機器への書き出し

※1 放送開始時刻のフォルダは、1 時間毎にまとめられます。例えば、同じ曜日の 10:00 開始と 10:30 開始の番組は、すべて「10_00～」というフォルダにまとめられます。

※2 転送前にあらかじめ番組名を変更しておくと、書き出した先のプレーヤーでも番組を探しやすくなります。(P.75)

音楽の書き出しの場合

■ SD カードへの書き出し

■ USB 機器への書き出し

USB 機器への書き出し時の制限

USB 機器への書き出しの場合、フォルダ名やファイル名に以下の制限があります。

- アルファベットは、すべて大文字に変換されます。
- スペースは、アンダースコア(_)に変換されます。
- 文字数は、半角で 8 文字(全角で 4 文字)までに制限されます。
  文字数が 9 文字以上の場合、9 文字目以降の文字は切り捨てられます。
- 文字数が、8 文字までに制限されたときに同じアーティスト名やアルバム名になってしまう場合は、データが 1 つのフォルダに統合されます。
- 文字数が、8 文字までに制限されたときに同一フォルダ内で同じファイル名になってしまう場合は、ファイル名の後ろに数字を追加(ファイル名の 6 文字+˜+数字(1、2、3･･･))します。

ディスク/カードの初期化（フォーマット）

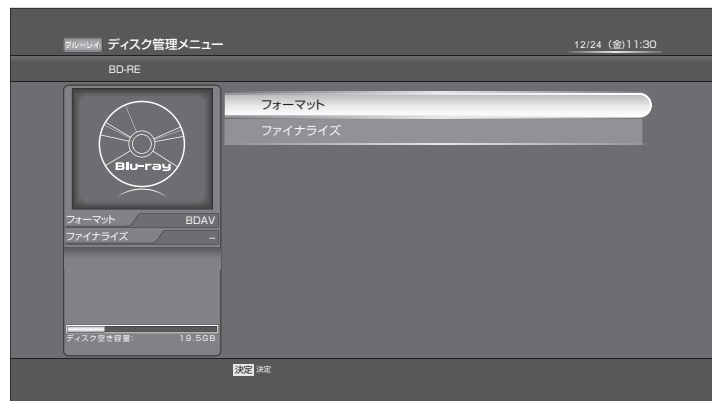
フォーマット（初期化）すると記録された内容がすべて消去されます。消去すると元に戻すことができません。

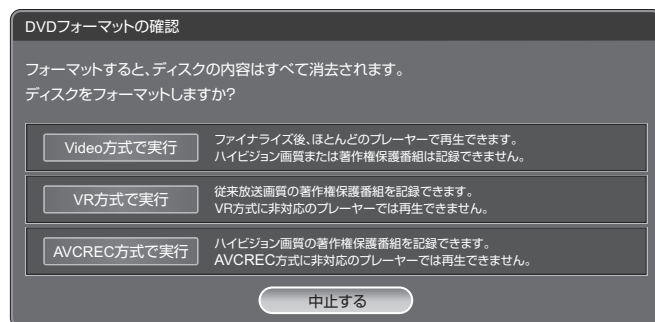
ディスクを初期化する

1 フォーマットしたいディスクを挿入する

- メディア検出画面が表示されます。

2 "ディスク管理"を選び、決定 を押す

- ディスク管理画面が表示されます。

3 "フォーマット"を選び、決定 を押す

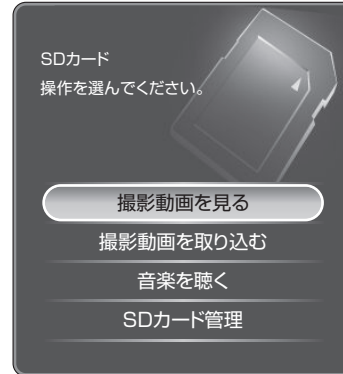
- フォーマットの確認画面が表示されます。
- Blu-ray Disc™ の場合は、"実行する"を選んで 決定 を押します。
- DVD の場合は、フォーマット方式を選び、決定 を押します。

- ディスクがフォーマットされます。

- 録画／録音中はフォーマットができません。
- ディスクのフォーマットと予約が重複する場合は、重複確認画面が表示され、フォーマットを実行するか確認する画面が表示されます。
- フォーマット中に本機の電源コードを抜かないでください。ディスクが破損したり、本機が壊れたりすることがあります。
- 他の機器でプロテクトされたディスクをフォーマットすると、ディスクの内容が消去されます。

- V スタートメニューから下部にあるディスクアイコンを選ぶと、メディア検出画面を表示できます。

カードを初期化する

1 フォーマットしたいSDカードを挿入する

- メディア検出画面が表示されます。

2 "SDカード管理"を選び、決定を押す

- SDカード管理画面が表示されます。

3 "フォーマット"を選び、決定を押す

- フォーマットの確認画面が表示されます。

4 "実行する"を選び、決定を押す

- SDカードがフォーマットされます。

- 本機ではUSBメモリーのフォーマットはできません。
- 録画／録音中はフォーマットができません。
- SDカードのフォーマットと予約が重複する場合は、フォーマットができません。
- フォーマット中に本機の電源コードを抜かないでください。SDカードが破損したり、本機が壊れたりすることがあります。

- AまたはVスタートメニューから下部にあるSDカードアイコンを選ぶと、メディア検出画面を表示できます。

他の DVD プレーヤーなどで再生できるようにする（ファイナライズ）

本機でダビングした DVD をファイナライズすると、他の DVD プレーヤーなどで再生することができます。

1 ファイナライズしたい DVD をセットする

- メディア検出画面が表示されます。

2 "ディスク管理"を選び、決定を押す

- ディスク管理画面が表示されます。

3 "ファイナライズ"を選び、決定を押す

- ファイナライズ実行の確認画面が表示されます。

4 "する"を選び、決定を押す

- ディスクがファイナライズされます。

ファイナライズしたディスクで、再び録画やダビングできるようにするには（ファイナライズ解除）

ファイナライズを解除すると再び録画やダビングができます。ファイナライズ解除できるのは本機でダビングした DVD-RW（VR 方式）のみです。

1 ファイナライズを解除したい DVD-RW をセットする

- メディア検出画面が表示されます。

2 "ディスク管理"を選び、決定を押す

- ディスク管理画面が表示されます。

3 "ファイナライズ解除"を選び、決定を押す

- ファイナライズ解除の確認画面が表示されます。

4 "解除する"を選び、決定を押す

- ディスクのファイナライズが解除されます。

- ファイナライズ中に予約時刻になる場合は、重複の確認画面が表示されます。"予約を実行せず処理を行う"を選び決定すると、ファイナライズを実行します。ファイナライズが完了したあとで、終了時間までの予約が実行されます。
- DVD-R にダビングした場合は、ファイナライズを解除できないのでご注意ください。
- ファイナライズしたディスクは、そのディスクの規格に非対応の再生機では再生できません。

- DVD-RW（VR 方式以外）の場合は、ファイナライズの解除ができません。フォーマットすることで再利用できます。"ディスク/カードの初期化（フォーマット）" (P.180)
- BD-R の場合も追記・削除などの防止のため、DVD と同様にファイナライズ（BD 規格上の名称は"クローズ"）操作ができます。

同時に操作できる機能について

録画中にできること

- 2 番組同時録画（ただし、片方は録画モード DR で録画している場合のみ可能）
- 録音（ただし、録画モード DR で 1 番組だけ録画している場合のみ可能）
- 録画モード変換（ただし、録画モード DR で 1 番組だけ録画している場合のみ可能）
- テレビ放送の視聴（ただし、2 番組同時録画している場合は、録画中のチャンネルのみ可能）
- ラジオ放送の視聴（ただし、外部入力からの録画中は、視聴できません）
- MELINK の視聴（ただし、外部入力からの録画中は、視聴できません）
- 番組表の表示/予約の設定/予約の変更
- 動画の再生（*1）
- 音声の再生（ただし、同時録音している場合は、音声の追っかけ再生ができません）
- 各種編集（*2）
- システムデータのダウンロード

*1 ： SD カードに記録されている SD-Video 形式の動画は再生できません。
　　また以下の場合は、録画モード DR で録画しているときのみ再生が可能です。
　　･BDMV および AVCHD ディスクの動画再生
　　･SD カードの AVCHD 動画再生

*2 ： 番組/音楽の削除、番組の保護/保護の解除、音楽情報の修正は制限（まとめや複数選択不可）があります。2 番組同時録画、テレビとラジオまたは外部入力の同時録画/録音中は、編集ができません。

録画中にできないこと

- 同時操作が一切できない機能
  詳しくは、"同時操作が一切できない機能について" (P.185)をご覧ください。

録音中にできること

- 録画（ただし、録画モード DR で 1 番組だけ録画が可能）
- テレビ放送の視聴
- ラジオ放送の視聴（ただし、ラジオで録音中のチャンネルのみが視聴可能）
- MELINK の視聴（ただし、MELINK で録音中のチャンネルのみが視聴可能）
- 番組表の表示/予約の設定/予約の変更
- 動画の再生（*1）
- 各種編集（*2）
- システムデータのダウンロード

*1 ： 以下の場合は、再生できません。
　　･SD カードに記録されている SD-Video 形式の動画再生、AVCHD 動画再生
　　･BDMV および AVCHD ディスクの動画再生
　　･SD カード、USB 接続の音楽再生
　　･同時録画している場合の、動画の追っかけ再生

*2 ： 番組/音楽の削除、番組の保護/保護の解除、音楽情報の修正は制限（まとめや複数選択不可）があります。テレビとラジオまたは外部入力の同時録画/録音中は、編集ができません。

録音中にできないこと

- 2 番組同時録画
- 2 番組同時録音
- 録画モード変換
- BDMV および AVCHD ディスクの動画再生
- SD カードの AVCHD 動画再生
- 同時操作が一切できない機能
  詳しくは、"同時操作が一切できない機能について" (P.185)をご覧ください。

同時に操作できる機能について

地上デジタル放送を視聴中にできること

- 同時録画
- 同時録音

ラジオ放送/MELINK を視聴中にできること

- 同時録画(ただし、外部入力からの録画はできません)
- 同時録音(ただし、視聴中のチャンネルのみ録音できます)

地上デジタル放送/ラジオ放送/MELINK の視聴中にできないこと

- 録画モード変換
- 2 番組同時視聴
- 番組表の表示/予約の設定/予約の変更
- 動画の再生
- 音声の再生
- 各種編集(*1)
- 同時操作が一切できない機能
  詳しくは、"同時操作が一切できない機能について" (P.185)をご覧ください。

*1 ： 番組の分割、番組の削除、番組の部分削除、番組のチャプター編集、プレイリストの作成、番組の保護、番組名の変更、音楽情報の変更

番組表の表示/予約の設定/予約の変更中にできること

- 同時録画
- 同時録音

番組表の表示/予約の設定/予約の変更中にできないこと

- 録画モード変換
- 2 番組同時視聴
- 地上デジタル放送/BS･CS 放送/ラジオ放送/MELINK の視聴
- 動画の再生
- 音声の再生
- 各種編集(*1)
- 同時操作が一切できない機能
  詳しくは、"同時操作が一切できない機能について" (P.185)をご覧ください。

*1 ： 番組の分割、番組の削除、番組の部分削除、番組のチャプター編集、プレイリストの作成、番組の保護、番組名の変更、音楽情報の変更

動画再生中にできること (SD カードの SD-Video 再生はのぞく)

- 同時録画(*1)
- 同時録音(動画の追っかけ再生中は、録音することができません)

*1 ： 以下の動画再生の場合は、録画モード DR でのみ録画が可能です。
･BDMV および AVCHD ディスクの動画再生
･SD カードの AVCHD 動画再生

音声再生中にできること

- 同時録画(音声の追っかけ再生中は、録画することができません)
- 同時録音

動画再生中/音声再生中にできないこと

- 録画モード変換
- 動画/音声の複数同時視聴
- 地上デジタル放送/BS･CS 放送/ラジオ放送/MELINK の視聴
- 番組表の表示/予約の設定/予約の変更
- 各種編集(*1)
- 同時操作が一切できない機能
  詳しくは、"同時操作が一切できない機能について" (P.185)をご覧ください。

*1 : 番組の分割、番組の削除、番組の部分削除、番組のチャプター編集、プレイリストの作成、番組の保護、番組名の変更、音楽情報の変更

各種編集(*)中にできること

* : 番組の分割、番組の削除、番組の部分削除、番組のチャプター編集、プレイリストの作成、番組の保護、番組名の変更、音楽情報の変更

- 同時録画
- 同時録音

各種編集中にできないこと

- 録画モード変換
- 地上デジタル放送/BS･CS 放送/ラジオ放送/MELINK の視聴
- 番組表の表示/予約の設定/予約の変更
- 動画の再生(*1)
- 音声の再生(*1)
- 各種編集の複数同時作業
- 同時操作が一切できない機能
  詳しくは、"同時操作が一切できない機能について" (P.185)をご覧ください。

*1 : 編集作業で再生操作が必要な場合は、HDD の動画/音声が再生されます。

同時操作が一切できない機能について

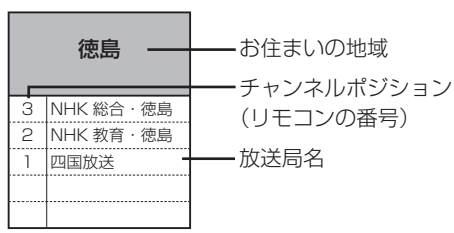
以下の操作が行われているときは、他の操作ができません。また、他の操作をしているときに、以下の操作はできません。

- USB 接続/SD カードからのビデオカメラ映像の取り込み
- 音楽の取り込み/音楽の転送/CD の再生
- Blu-ray Disc™ へのダビング(*1)
- DVD へのダビング(*2)
- ラジオ番組/音楽のメディア転送
- アクトビラの視聴
- ディスク/SD カードのフォーマット
- ディスクのファイナライズ
- SD カードの BD-Live データの削除
- 本機システムデータの更新

*1 : ダビングする番組のすべてを高速ダビングする場合は、1 番組だけ同時録画することができます。
*2 : ダビングする番組のすべてを高速ダビングし、ダビング終了後にファイナライズしない場合は、1 番組だけ同時録画することができます。

地上デジタル放送のチャンネル設定一覧

かんたん設置設定(P.40)で選択された地域の放送局とチャンネルポジション(リモコンの番号)の組み合わせは、下表のようになります。
(2011 年 1 月現在)
他の地域の放送を受信されたときは、下表のようにならない場合があります。

- 割り当てられた放送が実際に開始される時期は、地域によって異なります。また、放送の開始時は、地上アナログ放送との混信を避けるために、非常に小さな出力で放送されるので、受信エリアが限定されます。

お住まいの地域	北海道（札幌）		北海道（函館）		北海道（旭川）		北海道（帯広）		北海道（釧路）		北海道（北見）		北海道（室蘭）	
放送局名	3	NHK 総合・札幌	3	NHK 総合・函館	3	NHK 総合・旭川	3	NHK 総合・帯広	3	NHK 総合・釧路	3	NHK 総合・北見	3	NHK 総合・室蘭
	2	NHK 教育・札幌	2	NHK 教育・函館	2	NHK 教育・旭川	2	NHK 教育・帯広	2	NHK 教育・釧路	2	NHK 教育・北見	2	NHK 教育・室蘭
	1	HBC 札幌	1	HBC 函館	1	HBC 旭川	1	HBC 帯広	1	HBC 釧路	1	HBC 北見	1	HBC 室蘭
	5	STV 札幌	5	STV 函館	5	STV 旭川	5	STV 帯広	5	STV 釧路	5	STV 北見	5	STV 室蘭
	6	HTB 札幌	6	HTB 函館	6	HTB 旭川	6	HTB 帯広	6	HTB 釧路	6	HTB 北見	6	HTB 室蘭
	8	UHB 札幌	8	UHB 函館	8	UHB 旭川	8	UHB 帯広	8	UHB 釧路	8	UHB 北見	8	UHB 室蘭
	7	TVH 札幌	7	TVH 函館	7	TVH 旭川	7	TVH 帯広	7	TVH 釧路	7	TVH 北見	7	TVH 室蘭

お住まいの地域	宮城		秋田		山形		岩手		福島		青森		東京	
放送局名	3	NHK 総合・仙台	1	NHK 総合・秋田	1	NHK 総合・山形	1	NHK 総合・盛岡	1	NHK 総合・福島	3	NHK 総合・青森	1	NHK 総合・東京
	2	NHK 教育・仙台	2	NHK 教育・秋田	2	NHK 教育・山形	2	NHK 教育・盛岡	2	NHK 教育・福島	2	NHK 教育・青森	2	NHK 教育・東京
	1	TBC テレビ	4	ABS 秋田放送	4	YBC 山形放送	6	IBC テレビ	8	福島テレビ	1	RAB 青森放送	4	日本テレビ
	8	仙台放送	8	AKT 秋田テレビ	5	YTS 山形テレビ	4	テレビ岩手	4	福島中央テレビ	6	ATV 青森テレビ	6	TBS
	4	ミヤギテレビ	5	AAB 秋田朝日放送	6	テレビユー山形	8	めんこいテレビ	5	KFB 福島放送	5	青森朝日放送	8	フジテレビジョン
	5	KHB 東日本放送			8	さくらんぼテレビ	5	岩手朝日テレビ	6	テレビユー福島			5	テレビ朝日
													7	テレビ東京
													9	TOKYO MX
													12	放送大学

お住まいの地域	神奈川		群馬		茨城		千葉		栃木		埼玉		長野	
放送局名	1	NHK 総合・東京	1	NHK 総合・東京	1	NHK 総合・水戸	1	NHK 総合・東京	1	NHK 総合・東京	1	NHK 総合・東京	1	NHK 総合・長野
	2	NHK 教育・東京	2	NHK 教育・東京	2	NHK 教育・東京	2	NHK 教育・東京	2	NHK 教育・東京	2	NHK 教育・東京	2	NHK 教育・長野
	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	テレビ信州
	6	TBS	6	TBS	6	TBS	6	TBS	6	TBS	6	TBS	5	abn
	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	6	SBC 信越放送
	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	8	NBS 長野放送
	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京		
	3	tvk	3	群馬テレビ	12	放送大学	3	チバテレビ	3	とちぎテレビ	3	テレ玉		
	12	放送大学	12	放送大学			12	放送大学	12	放送大学	12	放送大学		

お住まいの地域	新潟		山梨		大阪		京都		兵庫		和歌山		奈良	
放送局名	1	NHK 総合・新潟	1	NHK 総合・甲府	1	NHK 総合・大阪	1	NHK 総合・京都	1	NHK 総合・神戸	1	NHK 総合・和歌山	1	NHK 総合・奈良
	2	NHK 教育・新潟	2	NHK 教育・甲府	2	NHK 教育・大阪	2	NHK 教育・大阪	2	NHK 教育・大阪	2	NHK 教育・大阪	2	NHK 教育・大阪
	6	BSN	4	YBS 山梨放送	4	MBS 毎日放送	4	MBS 毎日放送	4	MBS 毎日放送	4	MBS 毎日放送	4	MBS 毎日放送
	8	NST	6	UTY	6	ABC テレビ	6	ABC テレビ	6	ABC テレビ	6	ABC テレビ	6	ABC テレビ
	4	TeNY テレビ新潟			8	関西テレビ	8	関西テレビ	8	関西テレビ	8	関西テレビ	8	関西テレビ
	5	新潟テレビ 21			10	読売テレビ	10	読売テレビ	10	読売テレビ	10	読売テレビ	10	読売テレビ
					7	テレビ大阪	5	KBS 京都	3	サンテレビ	5	テレビ和歌山	9	奈良テレビ

お住まいの地域	滋賀		広島		岡山		香川		島根		鳥取		山口	
放送局名	1	NHK 総合・大津	1	NHK 総合・広島	1	NHK 総合・岡山	1	NHK 総合・高松	3	NHK 総合・松江	3	NHK 総合・鳥取	1	NHK 総合・山口
	2	NHK 教育・大阪	2	NHK 教育・広島	2	NHK 教育・岡山	2	NHK 教育・高松	2	NHK 教育・松江	2	NHK 教育・鳥取	2	NHK 教育・山口
	4	MBS 毎日放送	3	RCC テレビ	4	RNC 西日本テレビ	4	RNC 西日本テレビ	8	山陰中央テレビ	8	山陰中央テレビ	4	KRY 山口放送
	6	ABC テレビ	4	広島テレビ	5	KSB 瀬戸内海放送	5	KSB 瀬戸内海放送	6	BSS テレビ	6	BSS テレビ	3	TYS テレビ山口
	8	関西テレビ	5	広島ホームテレビ	6	RSK テレビ	6	RSK テレビ	1	日本海テレビ	1	日本海テレビ	5	YAB 山口朝日
	10	読売テレビ	8	TSS	7	テレビせとうち	7	テレビせとうち						
	3	BBC びわ湖放送			8	OHK テレビ	8	OHK テレビ						

地上デジタルテレビ放送の受信に関する相談・お問い合わせは総務省まで

総務省 地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター

TEL 0570（07）0101

お住まいの地域	愛知		三重		岐阜		石川		静岡		福井		富山	
放送局名	3	NHK総合・名古屋	3	NHK総合・津	3	NHK総合・岐阜	1	NHK総合・金沢	1	NHK総合・静岡	1	NHK総合・福井	3	NHK総合・富山
	2	NHK教育・名古屋	2	NHK教育・名古屋	2	NHK教育・名古屋	2	NHK教育・金沢	2	NHK教育・静岡	2	NHK教育・福井	2	NHK教育・富山
	1	東海テレビ	1	東海テレビ	1	東海テレビ	4	テレビ金沢	6	SBS	7	FBCテレビ	1	KNB北日本放送
	5	CBC	5	CBC	5	CBC	5	北陸朝日放送	8	テレビ静岡	8	福井テレビ	8	BBT富山テレビ
	6	メ~テレ	6	メ~テレ	6	メ~テレ	6	MRO	4	静岡第一テレビ			6	チューリップテレビ
	4	中京テレビ	4	中京テレビ	4	中京テレビ	8	石川テレビ	5	静岡朝日テレビ				
	10	テレビ愛知	7	三重テレビ	8	岐阜テレビ								

お住まいの地域	愛媛		徳島		高知		福岡		熊本		長崎		鹿児島	
放送局名	1	NHK総合・松山	3	NHK総合・徳島	1	NHK総合・高知	3	NHK総合・福岡	1	NHK総合・熊本	1	NHK総合・長崎	3	NHK総合・鹿児島
	2	NHK教育・松山	2	NHK教育・徳島	2	NHK教育・高知	3	NHK総合・北九州	2	NHK教育・熊本	2	NHK教育・長崎	2	NHK教育・鹿児島
	4	南海放送	1	四国放送	4	高知放送	2	NHK教育・福岡	3	RKK熊本放送	3	NBC長崎放送	1	MBC南日本放送
	5	愛媛朝日			6	テレビ高知	2	NHK教育・北九州	8	TKUテレビ熊本	8	KTNテレビ長崎	8	KTS鹿児島テレビ
	6	あいテレビ			8	さんさんテレビ	1	KBC九州朝日放送	4	KKTくまもと県民	5	NCC長崎文化放送	5	KKB鹿児島放送
	8	テレビ愛媛					4	RKB毎日放送	5	KAB熊本朝日放送	4	NIB長崎国際テレビ	4	KYT鹿児島読売TV
							5	FBS福岡放送						
							7	TVQ九州放送						
							8	TNCテレビ西日本						

お住まいの地域	宮崎		大分		佐賀		沖縄	
放送局名	1	NHK総合・宮崎	1	NHK総合・大分	1	NHK総合・佐賀	1	NHK総合・那覇
	2	NHK教育・宮崎	2	NHK教育・大分	2	NHK教育・佐賀	2	NHK教育・那覇
	6	MRT宮崎放送	3	OBS大分放送	3	STSサガテレビ	3	RBCテレビ
	3	UMKテレビ宮崎	4	TOSテレビ大分			5	QAB琉球朝日放送
			5	OAB大分朝日放送			8	沖縄テレビ（OTV）

言語コード一覧表

字幕や音声は、言語コードで表示されることがあります。表示された言語コードから言語名を知ることができます。
以下に言語コードと言語名の対応表を示します。

言語名	コード
アイスランド語	IS
アイマラ語	AY
アイルランド語	GA
アゼルバイジャン語	AZ
アッサム語	AS
アファル語	AA
アブハジア語	AB
アフリカーンス語	AF
アムハラ語	AM
アラビア語	AR
アルバニア語	SQ
アルメニア語	HY
イタリア語	IT
イヌピア語	IK
インターリング	IE
インターリングア (International Auxiliary language Association)	IA
インディッシュ語	JI
インドネシア語	IN
ウェールズ語	CY
ヴォラピュク語	VO
ウォロフ語	WO
ウクライナ語	UK
ウズベク語	UZ
ウルドゥー語	UR
英語	EN
エストニア語	ET
エスペラント語	EO
オック語	OC
オランダ語	NL
オリヤー語	OR
オロモ語	OM
カザフ語	KK
カシミール語	KS
カタラン語	CA
ガリシア語	GL
韓国語	KO
カンナダ語	KN
カンボジア語	KM
ギリシャ語	EL
キルギス語	KY
キルンディ語	RN
キヤールワンダ語	RW
グアラニー語	GN
グジャラート語	GU
グリーンランド語	KL
グルジア語	KA
クルド語	KU
クロアチア語	HR
ケチュア語	QU
コサ語	XH
コルシカ語	CO
サモア語	SM
サングロ語	SG
サンスクリット語	SA
シスワティ語	SS
ジャワ語	JW
ショナ語	SN
シンド語	SD
シンハラ語	SI
スウェーデン語	SV
スーダン語	SU
ズールー語	ZU
スコットランド･ゲール語	GD
スペイン語	ES
スロバキア語	SK
スロベニア語	SL
スワヒリ語	SW
セツワナ語	TN
セルビア語	SR
セルボクロアチア語	SH
ソト語	ST
ソマリ語	SO
タイ語	TH
タガログ語	TL
タジク語	TG
タタール語	TT
タミル語	TA
チェコ語	CS
チベット語	BO
中国語	ZH
ツォンガ語	TS
ティグリニャ語	TI
テルグ語	TE
デンマーク語	DA
ドイツ語	DE
トウィ語	TW
トルクメン語	TK
トルコ語	TR
トンガ語	TO
ナウル語	NA
日本語	JA
ネパール語	NE
ノルウェー語	NO
ハウサ語	HA
バシキール語	BA
パシュトー語	PS
バスク語	EU
ハンガリー語	HU
パンジャブ語	PA
ビスラマ語	BI
ビハール語	BH
ビルマ語	MY
ヒンディー語	HI
フィジー語	FJ
フィンランド語	FI
ブータン語	DZ
フェロー語	FO
フランス語	FR
フリジア語	FY
ブルガリア語	BG
ブルターニュ語	BR
ベトナム語	VI
ヘブライ語	IW
ベラルーシ語(白ロシア語)	BE
ペルシャ語	FA
ベンガル語	BN
ポーランド語	PL
ポルトガル語	PT
マオリ語	MI
マケドニア語	MK
マダガスカル語	MG
マラーティー語	MR
マラヤーラム語	ML
マルタ語	MT
マレー語	MS
モルダビア語	MO
モンゴル語	MN
ヨルバ語	YO
ラオス語	LO
ラテン語	LA
ラトビア語	LV
リトアニア語	LT
リンガラ語	LN
ルーマニア語	RO
レト･ロマン語	RM
ロシア語	RU

パネル（LCD）表示について

機器の動作や、チャンネルやラジオの周波数などが LCD パネルに表示されます。テレビを使わないで動作を確認したいときに、ご覧ください。

電源

状態	LCD 表示
電源オン時	HELLO
電源オフ時	BYE

視聴時

■ ラジオ放送視聴時

状態	LCD 表示
FM 放送受信時	FM　82.5
FM で 番号入力 を押したとき	FM−NO.−− （※最後の2桁は、入力するプリセット番号が表示されます）
AM 放送受信時	AM　1242
AM で 番号入力 を押したとき	AM−NO.−− （※最後の2桁は、入力するプリセット番号が表示されます）
MELINK 受信時	FM　82.5 （※MELINKランプが点灯します）

■ テレビ放送視聴中

状態	LCD 表示
地デジ放送受信時	D　041
BS 放送受信時	BS　103
CS1 放送受信時	CS1　801
CS2 放送受信時	CS2　194

■ 外部入力視聴時

状態	LCD 表示
Video 入力時	VIDEO:IN
S 端子入力時	S−VID:IN
Audio 入力時	AUDIO:IN

録音／録画時

状態	LCD 表示
通常時／予約時	0:49:24 （※録音/録画時間がカウンタ表示されます）
ワンタッチタイマー時(*)	R□>10：00

* ： 詳しくは、"録音の終了時刻を指定するには(ワンタッチタイマー録音)" (P.57)または"録画の終了時刻を指定するには(ワンタッチタイマー録画)" (P.100)をご覧ください。

再生時

■ CD 再生時

状態	LCD 表示
トラック再生中／一時停止中	06　03:17 （※一時停止中はカウンタの進行が止まります）
再生中に 番号入力 を押したとき	−−　03:17 （※最初の2桁は、入力したトラック番号が表示されます）

パネル（LCD）表示について

各種メニュー画面時

状態	LCD 表示
A スタートメニュー表示中	A－MENU
V スタートメニュー表示中	V－MENU
番組表表示中	現在受信のチャンネルが表示されます。(*)
MELINK ポータル表示中	MELINK
アクトビラ表示中	ACTVILA
設定画面表示中	SETTING
予約一覧画面表示中／予約スケジュール画面表示中	PROGRAM
HDD ラジオ録音一覧画面表示中	RADIO
HDD 動画一覧画面表示中／HDD 動画編集画面表示中／BD/DVD 動画一覧画面表示中／SD カード動画一覧画面表示中	VIDEO
HDD 音楽一覧画面表示中／SD カード音楽一覧画面表示中／USB 音楽一覧画面表示中	MUSIC
CD 曲リスト画面表示中	CD:LIST
SD カード撮影動画取込画面表示中／SD カード管理画面表示中	SD

* ： 詳しくは、"テレビ放送視聴中" (P.189)をご覧ください。

ダビング時

状態	LCD 表示
ダビング中	DUB.　50%
ダビング終了時(成功)	DUB.　END
ダビング終了時(失敗)	ERROR
ダビング中断時	DUB.STOP

取り込み時

状態	LCD 表示
USB 取り込み中	USB　＞50%
USB 取り込み終了時(成功)	USB　＞END
SD カード取り込み中	SD　＞50%
SD カード取り込み終了時(成功)	SD　＞END
Blu-ray Disc™ 取り込み中	BD　＞50%
Blu-ray Disc™ 取り込み終了時(成功)	BD　＞END
DVD 取り込み中	DVD　＞50%
DVD 取り込み終了時(成功)	DVD　＞END
CD リッピング中	CD　＞50%
CD リッピング終了時(成功)	CD　＞END
取り込み失敗時	ERROR
取り込み中断時	*** ＞STP

転送時

状態	LCD 表示
USB/SD カードへ転送中	DUB.　50%
USB/SD カードへ転送終了時(成功)	DUB.　END
転送失敗時	ERROR
転送中断時	DUB.STOP

モード設定

■ 録画／録音モード

状態	LCD 表示
録画モード切り換え時	ＤＲ ＡＦ ＡＮ ＡＬ ＡＥ ＸＰ ＸＰ　ＬＰＣＭ ＳＰ ＬＰ ＥＰ
録音モード切り換え時	ＬＰＣＭ ＭＰ３－ＸＰ ＭＰ３－ＳＰ

■ Ａｕｄｉｏ関連の操作時

状態	LCD 表示
音量調整時	ＶＯＬ．　２９
音声ミュート時	ＭＵＴＥ　２９
イコライザー切り換え時（音声用）	ＤＩＲＥＣ：ＥＱ ＰＯＰ：ＥＱ ＲＯＣＫ：ＥＱ ＪＡＺＺ：ＥＱ ＣＬＳＩＣ：ＥＱ ＲＡＤＩＯ：ＥＱ
イコライザー切り換え時（映像用）	ＤＩＲＥＣ：ＥＱ ＣＩＮＥ：ＥＱ ＭＵＳＩＣ：ＥＱ ＳＰＯＲＴ：ＥＱ ＤＲＡＭＡ：ＥＱ ＮＥＷＳ：ＥＱ
HRS+切り換え時	ＨＲＳ．　ＯＦＦ ＨＲＳ．　ＯＮ
バーチャルサラウンド切り換え時（３Ｄフォニック）	ＳＵＲ．　ＯＦＦ ＤＯＬＢＹＰＬ ＳＵＲ．　ＯＮ

■ スリープタイマー

状態	LCD 表示
スリープ を押したとき	ＳＬＥＥＰ （一瞬だけ表示されます）
スリープタイマー設定前（未設定）時	ＯＦＦ　－：－－
スリープタイマー設定時	ＯＦＦ　０:３０

その他

状態	LCD 表示
低温検出時（－20℃以下）	ＬＯ　ＴＥＭＰ
高温検出時	ＨＩ　ＴＥＭＰ
ＦＡＮの回転停止を検出したとき	ＦＡＮＬＯＣＫ
リモコンコードエラー時	ＲＣＵ：３<>４ （※リモコン側が３で、本体側が４の場合）
トレイロックオン時	ＬＯＣＫ
トレイロックオフ時	ＵＮＬＯＣＫ
テストモード	全消灯
全点灯	全点灯
サービスモード中	ＳＥＲＶＩＣＥ
ファームウェアアップデート中	ＵＰＤＡＴＥ
エラー表示	ＥＲＲ：　＊＊＊
リセット	ＲＥＳＥＴ

使用上のご注意

露付き(結露)について

本機の内部に水滴がつくことを露付きといいます。
露付き状態で本機を使用すると、HDD やディスク、SD カードの情報が読みとれないなど、本機が正常に動作しなかったり、故障の原因となることがあります。

- 露付きは、次のように温度が急に変わる場合に起こります。
  - 部屋を急激に暖房したとき
  - エアコンなどの冷風を直接当てたとき
  - 本機を寒いところから暖かいところに移動させたとき
- 露付きが起こりそうなときは、電源を入れずに 2 時間以上放置し、充分に乾燥させてからご使用ください。
  ディスクや SD カードが入っているときは、必ず取り出しておいてください。
- ディスクが結露しているときは、ディスクの表面の水滴をよくふき取ってからお使いください。

置き場所

- 使用時は、水平で安定した場所に置いてください。不安定な場所に置くと、ディスクがはずれるなどの原因となります。
- 他の機器に近づけすぎると、お互いの機器が悪影響を与え合って、映像や音声が乱れることがあります。
- 本機とテレビを上下に重ねて置くと、映像が乱れたり、ディスクが出ないなどの原因となります。
- ワックスのかかった床などに直接置くと、本機底面のすべり止め用ゴムが床材に張り付き、床材のはがれや着色の原因となることがあります。

引っ越しのときは

- 製品が入っていた段ボール箱か同等品で梱包してください。ない場合は、本機に衝撃が加わらないように毛布などで包んでください。また、ディスクや SD カードは取り出しておいてください。

取扱い

- 本機は、振動や衝撃・温度などの周囲の環境の変化に影響されやすい HDD などの部品を使用した精密な機器です。取扱いは慎重に行ってください。
- 殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- リモコンを水などでぬらさないでください。リモコン内部に水などが入ると、故障の原因となります。
- 本機の仕様を越えた電力を使用する USB 機器を本機に接続すると、故障の原因になりますので、接続しないでください。

本機を使わないときは

- ふだん使わないときは、ディスクや SD カードを取り出し、電源を切っておいてください。
- 長期間使わないときは、液もれを防ぐために、リモコンの乾電池を取り出しておいてください。

ステレオを聞くときのエチケット

ヘッドホンをご使用になるときには、耳を刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。
ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。
特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓を閉めたりヘッドホンをご使用になるなどお互いに気を配り、快い生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

HDD について

- 本機の電源が入っている状態で、電源コードを抜かないでください。
- 本機の電源が入っている状態や電源を切った直後は、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。(電源を切ったあと、2分以上経過してから行ってください。)
- 本機が結露した状態で使わないでください。
- HDD は、振動や衝撃、温度などの周囲の環境の変化に影響されやすい精密な機器です。場合によっては、録画(録音)内容が失われたり、正常に動作しなくなる恐れがあります。
- HDD は、録画(録音)内容の恒久的な保管場所とせず。一時的な保管場所としてお使いください。
- 大切な録画(録音)内容は、ディスクに保存しておくことをおすすめします。
- 部分的または全体的に次のような症状が頻繁に発生するようになった場合、修理をご依頼ください。
    - 再生できない、再生一時停止を繰り返す
    - ブロックノイズ(モザイク状のノイズ)が発生する
    - 映像が乱れる

HDD に異常が発生した場合、HDD の録画(録音)内容は失われます。

ディスクについて

Blu-ray Disc™/DVD/CD 全般

- 次のような場合は、正常に再生ができない場合があります。
    - 記録状態が悪い、ディスク特性、傷、汚れ、本機の録画/再生用レンズの汚れ、結露などがあるとき。
    - 本機でダビングしたディスクを、パソコン、カーナビゲーション、カーオーディオ、ゲーム機などで再生するとき。
    - パソコンなどで作成されたディスクを本機で再生するとき。このようなディスクを本機に入れて、ディスクが取り出せなくなった場合は、"こんなときは" (P.165)をご覧になり、対処してください。
    - PAL 方式など、NTSC 方式以外で記録された DVD ディスク。
    - 無許諾(海賊版など)のディスク
    - クローズド・キャプション(Closed Caption)のダビング・再生。
- 次のようなディスクは使わないでください。ディスク自体の破損や本体の故障の原因となります。
    - 傷が付いているディスク。
    - ラベルやシールが貼られているディスク。
    - ラベルがはがれているディスク。
    - のりがはみ出しているディスク。
    - ひび割れ、変形、接着剤などで補修したディスク。
    - ハート形、六角形など、特殊な形状のディスク。
- 8cm 盤のディスクを本機で使用するときは、再生だけできます。ダビングはできません。
- 8cm 盤のディスクは、8cm アダプターなしで本機で使用できます。

BD-RE/BD-R

- BD-RE/-R は、お買い上げ時には初期化(フォーマット)されていません。使用する前に初期化してください。(P.180)
- BD-RE Ver1.0(カートリッジタイプ)は、本機では使用できません。

使用上のご注意

本体やリモコンのお手入れ

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよくしぼってから汚れをふき取り、乾いた布で仕上げぶきしてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの溶剤は使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。

録画/ 再生用レンズ(レーザーピックアップ)について

- 録画/ 再生用レンズにごみ･ほこり･たばこのヤニなどがつくと、映像の乱れや音飛びなどが発生し、正常に録画や再生ができなくなります。
  点検、清掃については「お客様ご相談センター」にご相談ください。正常にお使いいただくためには、定期的な点検をおすすめします。
- 市販のレンズクリーニングディスクを使用する場合は、次のディスクの使用をおすすめします。(2011 年 1 月現在)
  ビクターアドバンストメディア　CL-BDWA[湿式]、CL-BDDA[乾式]

アンテナの点検、交換

- アンテナは風雨にさらされ、向きがずれたり傷んだりします。映りが悪くなったときには、お買上げの販売店に点検、交換をご相談ください。

大切な録画/録音の場合は

- HDD はディスクにダビングするまでの、一時的な保管場所としてお使いください。
- 大切な録画/録音内容は、ディスクに保存しておくことをおすすめします。
- 事前に録画/録音をして、正常に録画/録音されていることを確認しておくことをおすすめします。
- 本機に故障や異常が発生すると、HDD に録画/録音された内容が失われることがあります。

録画(録音)内容の補償について

- 万一、何らかの不具合や停電･結露などによって、録画/録音や編集が正常に行われなかった場合の内容の補償、データの損失、およびこれらに関するその他の直接･間接の損害については、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
  (例)
  - 本機で録画したディスクを、他社の BD/DVD レコーダーやパソコンの BD/DVD ドライブで動作させる
  - 上記の動作を行ったディスクを、再び本機で動作させる
  - 他社の BD/DVD レコーダーやパソコンの BD/DVD ドライブで録画したディスクを、本機で動作させる
  - HDD の故障または異常による録画/録音内容の損失
- 本機を修理した場合(HDD 以外の修理を行った場合でも)、HDD の録画(録音)内容が失われることがあります。その場合の内容の補償、データの損失、およびこれらに関するその他の直接･間接の損害については、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

製造番号と製造時期について

- 製造番号は、品質管理上重要なものです。お買上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。
- この製品の製造時期は本体の背面に表示されています。

著作権について

- ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル(有償、無償を問わず)することは、法律により禁止されています。
- 本機は、ロヴィ·コーポレーションおよびその他の権利者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはロヴィ·コーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭およびそれに類似する限定した場所での視聴用に制限されています。解析や改造することも禁止されています。
- 本機は、コピーガード(複製防止)機能を搭載しており、著作権者などによって複製を制限するコピー制御信号が記録されているソフトや放送番組を録画することはできません。
- G ガイドは、米国 Rovi Corporation および/またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。米国 Rovi Corporation およびその関連会社は、G ガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、G ガイドに関連する情報·機器·サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio Licence および VC-1Patent Portfolio Licence に基づきライセンスされており、お客さまが個人的かつ非営利目的においていかに記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
    - AVC 規格に準拠する動画を記録する場合
    - 個人的かつ非営利活動に従事する消費者によって記録された AVC 規格に準拠する動画および VC-1 規格に準拠する動画を再生する場合
    - ライセンスを受けた提供者から入手された AVC 規格に準拠する動画および VC-1 規格に準拠する動画を再生する場合

詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (http://www.mpegla.com)をご参照ください。

登録商標と商標について

- ロヴィ、Rovi、G ガイド、G-GUIDE、および G ガイドロゴは、米国 Rovi Corporation および/またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- 本機は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、ドルビー、Pro Logic およびダブル D 記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- 米国特許番号:5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,226,616; 6,487,535; 7,392,195; 7,272,567; 7,333,929; 7,212,872 及び、その他米国や世界各国に出願し権利を有する特許に基づき製造されています。DTS とそのシンボルマークは、DTS, Inc. の登録商標です。
  DTS と DTS-HD Master Audio ¦ Essential 及び DTS のロゴは DTS, Inc.の登録商標です。
  「製品」にはソフトウェアも含みます。© DTS, Inc.　不許複製。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- Blu-ray Disc および Blu-ray Disc ロゴは商標です。
- “x.v.Color”および“x.v.Color”ロゴはソニー株式会社の商標です。
- “AVCHD”と“AVCHD”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- SDHC ロゴは、商標です。
- Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。
- その他に記載されている会社名、ブランド名、ロゴ、製品名、機能名などは、それぞれの会社の商標または登録商標です。
- 本文中では、™ マークと®マークを明記していません。

ソフトウェアライセンス

Important Notice Concerning the Software

Software License Attached to the Product

The Software embedded in the Product is composed of several independent software components, and in each of such individual components, a copyright of either JVC or a third party subsists.
The Product uses the software component designated in the End-User License Agreement that was executed between JVC and a third party (hereinafter "EULA").
"EULA" covers those corresponding to free software, and, as a condition of distribution of the software component in executable format which is based on the license granted under the GNU General Public License or Lesser General Public License (hereinafter "GPL/LGPL"), it requires an availability of the source code for the relevant component. For details of the software component covered by "GPL/LGPL", please visit the following website:

URL : http://www.jvc.co.jp/english/download/gpl/index.html

Please note that we are unable to answer any inquiry relating to the contents, etc. of the source code.
Please note that any software component licensed under "EULA" which is not subject to "GPL/LGPL", and those developed or created independently by JVC shall not be subject to the requirement for provision of the source code.
The software component distributed under "GPL/LGPL" shall be licensed to users without charge, and, therefore, no warranty is given for such software component, either express or implied, within the scope of the applicable laws and regulations. Unless otherwise permitted by applicable laws and regulations or agreed in written form, none of the owners of the copyright or persons entitled to alter or redistribute the software component under the said license shall
have any liability for any type of damage or loss resulting from the use of or inability to use such software component.
For further details of the conditions of use of such software component or matters required to be complied with, please refer to the relevant "GPL/LGPL".
Users are urged to read the details for the relevant license carefully before using the software component covered by "GPL/LGPL" and embedded in the Product. Since the terms and conditions of individual licenses are provided by parties other than JVC, the original English version will be included.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

本製品のソフトウェアライセンスについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに日本ビクターまたは第三者の著作権が存在します。
本製品は、日本ビクター及び第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメント（以下、「EULA」といいます）に基づくソフトウェアコンポーネントを使用しております。
「EULA」の中には、フリーソフトウェアに該当するものがあり、GNU General Public LicenseまたはLesser General Public License（以下、「GPL/LGPL」といいます）のライセンスに基づき実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするように求めています。当該「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、以下のホームページをご覧頂くようお願い致します。

ホームページアドレス　http://www.jvc-victor.co.jp/download/gpl/index.html

なお、ソースコードの内容等についてのご質問はお答えしかねますので、予め御了承ください。
「GPL/LGPL」の適用を受けない「EULA」に基づくソフトウェアコンポーネント及び日本ビクター自身が開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。
「GPL/LGPL」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は、明示かつ黙示であるかを問わず一切ありません。
適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「GPL/LGPL」をお読みください。
本製品に組み込まれた「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用頂く場合は、対応するライセンスをよく読んでから、ご利用くださるようお願い致します。なお各ライセンスは日本ビクター以外の第三者による規定のため、原文（英文）を記載します。

Important Notice Concerning the Software (continued)

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.,51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.)
You can apply it to your programs, too.
When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.
To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights.
These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.
For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have.
You must make sure that they, too, receive or can get the source code.
And you must show them these terms so they know their rights.
We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.
Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.
Finally, any free program is threatened constantly by software patents.
We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.
The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".
Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.
You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)
These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.
Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.
In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:
a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)
The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.
If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.
If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.
It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.
This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.
Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Important Notice Concerning the Software (continued)

END OF TERMS AND CONDITIONS
How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.
To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>
This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.
This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.
You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.
If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author
Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'.
This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.
You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary.
Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.
<signature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.,51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.
[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.
This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.
When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.
To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.
For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.
We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.
To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.
Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.
Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.
When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.
We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs.
These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.
For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software.
For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.
Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.
The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".
A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.
The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)
"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.
Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.
You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
a) The modified work must itself be a software library.
b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful. (For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)
These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.
Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.
In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.
Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.
This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.
If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

Important Notice Concerning the Software (continued)

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.
However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.
When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.
If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)
Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.
You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:
a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.
For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.
It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:
a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.
11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.
If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.
It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.
This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.
Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS
How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).
To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.
<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>
This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.
This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABIL-ITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.
You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.
You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary.
Here is a sample; alter the names:
Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.
<signature of Ty Coon>, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice
That's all there is to it!

Important Notice Concerning the Software (continued)

GNU LIBRARY GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 2, June 1991

[This is the first released version of the library GPL. It is numbered 2 because it goes with version 2 of the ordinary GPL.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software to make sure the software is free for all its users.
This license, the Library General Public License, applies to some specially designated Free Software Foundation software, and to any other libraries whose authors decide to use it. You can use it for your libraries, too.
When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.
To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library, or if you modify it.
For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link a program with the library, you must provide complete object files to the recipients so that they can relink them with the library, after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.
Our method of protecting your rights has two steps: (1) copyright the library, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.
Also, for each distributor's protection, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free library. If the library is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original version, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.
Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that companies distributing free software will individually obtain patent licenses, thus in effect transforming the program into proprietary software. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.
Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License, which was designed for utility programs. This license, the GNU Library General Public License, applies to certain designated libraries. This license is quite different from the ordinary one; be sure to read it in full, and don't assume that anything in it is the same as in the ordinary license.
The reason we have a separate public license for some libraries is that they blur the distinction we usually make between modifying or adding to a program and simply using it. Linking a program with a library, without changing the library, is in some sense simply using the library, and is analogous to running a utility program or application program. However, in a textual and legal sense, the linked executable is a combined work, a derivative of the original library, and the ordinary General Public License treats it as such.
Because of this blurred distinction, using the ordinary General Public License for libraries did not effectively promote software sharing, because most developers did not use the libraries. We concluded that weaker conditions might promote sharing better.
However, unrestricted linking of non-free programs would deprive the users of those programs of all benefit from the free status of the libraries themselves. This Library General Public License is intended to permit developers of non-free programs to use free libraries, while preserving your freedom as a user of such programs to change the free libraries that are incorporated in them. (We have not seen how to achieve this as regards changes in header files, but we have achieved it as regards changes in the actual functions of the Library.) The hope is that this will lead to faster development of free libraries.
The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, while the latter only works together with the library.
Note that it is possible for a library to be covered by the ordinary General Public License rather than by this special one.

GNU LIBRARY GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Library General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".
A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)
"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.
Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you onspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.
You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
a) The modified work must itself be a software library.
b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.
(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)
These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.
Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.
In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.
Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.
This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.
If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source ode, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.
However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.
When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.
If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)
Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also compile or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications. You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License.
You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:
a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
b) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
c) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
d) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.
For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.
It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the ibrary together in an executable that you distribute.

Important Notice Concerning the Software (continued)

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:
   a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
   b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sub-license, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sub-license, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.
If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.
It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.
This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Library General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.
Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the ree Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS
How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone an redistribute and change. You can do so by permitting redistribution nder these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).
To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.
   <one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>
   Copyright (C) <year> <name of author>
   This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Library General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.
   This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Library General Public License for more details.
   You should have received a copy of the GNU Library General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place - Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA.
Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.
You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary.
Here is a sample; alter the names:
Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.
<signature of Ty Coon>, 1 April 1990 Ty Coon, President of Vice
That's all there is to it!

Important Notice Concerning the Software (continued)

本機には以下のフリーオープンソースソフトウェアが組み込まれています。

・GPL/LGPLが適用されるソフトウェア
- linux-kernel
- Glibc
- busybox
- ntpclient
- e2fsprogs
- alsa-lib
- gnutls
- libgcrypt
- libgpg-error
- sysfsutils
- DirectFB
- atk
- glib
- gtk+
- cairo
- pixman
- pango
- module-init-tools
- nettools
- sash
- autofs
- dhcpcd
- wireless_tools
- shine_mp3_encoder
- RT3370_LinuxSTAV2.3.0.0
- freetype
- fontconfig

・GPL/LGPL以外のソフトウェア
- WebKit
- ffmpeg
- libiconv
- libxml2
- libxslt
- curl
- ICU4C
- CLX C++ Libraries
- LibJPEG
- libPNG
- OpenSSL
- Zlib
- VeraFonts
- openssl-0.9.8e
- aes
- blowfish
- boost
- tinyxml

WebKitに適用される利用許諾条件

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of Apple Computer, Inc. ("Apple") nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY APPLE AND ITS CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL APPLE OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

FreeTypeに適用される利用許諾条件

The FreeType Project LICENSE

2006-Jan-27

Copyright 1996-2002, 2006 by
David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg Introduction

The FreeType Project is distributed in several archive packages; some of them may contain, in addition to the FreeType font engine, various tools and contributions which rely on, or relate to, the FreeType Project.

This license applies to all files found in such packages, and which do not fall under their own explicit license. The license affects thus the FreeType font engine, the test programs, documentation and makefiles, at the very least.

This license was inspired by the BSD, Artistic, and IJG (Independent JPEG Group) licenses, which all encourage inclusion and use of free software in commercial and freeware products alike. As a consequence, its main points are that:

- We don't promise that this software works. However, we will be interested in any kind of bug reports. (`as is' distribution)
- You can use this software for whatever you want, in parts or full form, without having to pay us. (`royalty-free' usage)
- You may not pretend that you wrote this software. If you use it, or only parts of it, in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you have used the FreeType code.(`credits')

We specifically permit and encourage the inclusion of this software, with or without modifications, in commercial products. We disclaim all warranties covering he FreeType Project and assume no liability related to The FreeType Project.

Finally, many people asked us for a preferred form for a credit/disclaimer to use in compliance with this license. We thus encourage you to use the following text:

Portions of this software are copyright Copyright (C) <year> The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.

Please replace <year> with the value from the FreeType version you actually use.

Legal Terms
===========
0. Definitions

Throughout this license, the terms `package', `FreeType Project', and `FreeType archive' refer to the set of files originally distributed by the authors (David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg) as the `FreeType Project', be they named as alpha, beta or final release.

`You' refers to the licensee, or person using the project, where `using' is a generic term including compiling the project's source code as well as linking it to form a `program' or `executable'. This program is referred to as `a program using the FreeType engine'.

This license applies to all files distributed in the original FreeType Project, including all source code, binaries and documentation, unless otherwise stated in the file in its original, unmodified form as distributed in the original archive. If you are unsure whether or not a particular file is covered by this license, you must contact us to verify this.

The FreeType Project is copyright (C) 1996-2000 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg. All rights reserved except as specified below.

1. No Warranty

THE FREETYPE PROJECT IS PROVIDED `AS IS' WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. IN NO EVENT WILL ANY OF THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY DAMAGES CAUSED BY THE USE OR THE INABILITY TO USE, OF THE FREETYPE PROJECT.

2. Redistribution

This license grants a worldwide, royalty-free, perpetual and irrevocable right and license to use, execute, perform, compile, display, copy, create derivative works of, distribute and sub-license the FreeType Project (in oth source and object code forms) and derivative works thereof for any purpose; and to authorize others to exercise some or all of the rights granted herein, subject to the following conditions:

- Redistribution of source code must retain this license file (`FTL.TXT') unaltered; any additions, deletions or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation. The copyright notices of the unaltered, original files must be preserved in all copies of source files.
- Redistribution in binary form must provide a disclaimer that states that the software is based in part of the work of the FreeType Team, in the distribution documentation. We also encourage you to put an URL to the FreeType web page in your documentation, though this isn't mandatory.

These conditions apply to any software derived from or based on the FreeType Project, not just the unmodified files. If you use our work, you must acknowledge us. However, no fee need be paid to us.

3. Advertising

Neither the FreeType authors and contributors nor you shall use the name of the other for commercial, advertising, or promotional purposes without specific prior written permission.

We suggest, but do not require, that you use one or more of the following phrases to refer to this software in your documentation or advertising materials: `FreeType Project', `FreeType Engine', `FreeType library', or `FreeType Distribution'.

As you have not signed this license, you are not required to accept it. However, as the FreeType Project is copyrighted material, only this license, or another one contracted with the authors, grants you the right to use, distribute, and modify it. Therefore, by using, distributing, or modifying the FreeType Project, you indicate that you understand and accept all the terms of this license.

4. Contacts

There are two mailing lists related to FreeType:

- freetype@nongnu.org
  Discusses general use and applications of FreeType, as well as future and
  wanted additions to the library and distribution. If you are looking for support, start in this list if you haven't found anything to help you in the documentation.

- freetype-devel@nongnu.org

  Discusses bugs, as well as engine internals, design issues, specific licenses, porting, etc.

Our home page can be found at

http://www.freetype.org

Important Notice Concerning the Software (continued)

fontconfigに適用される利用許諾条件

fontconfig/COPYING

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of Keith Packard not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. Keith Packard makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

THE AUTHOR(S) DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR(S) BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

libxml2に適用される利用許諾条件

libxml2

Except where otherwise noted in the source code (e.g. the files hash.c, list.c and the trio files, which are covered by a similar licence but with different Copyright notices) all the files are:
v

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is fur-nished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FIT-NESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE DANIEL VEILLARD BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CON-NECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of Daniel Veillard shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other deal-ings in this Software without prior written authorization from him.

libxltに適用される利用許諾条件

Licence for libxslt except libexslt

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is fur-nished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FIT-NESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE DANIEL VEILLARD BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CON-NECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of Daniel Veillard shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other deal-ings in this Software without prior written authorization from him.

Licence for libexslt

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is fur-nished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FIT-NESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CON-NECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of the authors shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other deal-ings in this Software without prior written authorization from him.
----

curlに適用される利用許諾条件

curl

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization of the copyright holder.

ICUに適用される利用許諾条件

ICU License - ICU 1.8.1 and later

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, provided that the above copyright notice(s) and this permission notice appear in all copies of the Software and that both the above copyright notice(s) and this permission notice appear in supporting documentation.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR HOLDERS INCLUDED IN THIS NOTICE BE LIABLE FOR ANY CLAIM, OR ANY SPECIAL INDIRECT OR CONSEQUENTIAL AMAGES, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization of the copyright holder.

CLX C++ Librariesに適用される利用許諾条件

CLX C++ Libraries

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- No names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS AS IS AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

All trademarks and registered trademarks mentioned herein are the property of their respective owners.

LibJPEGに適用される利用許諾条件

The Independent JPEG Group's JPEG software
==

README for release 6b of 27-Mar-1998
====================================
This distribution contains the sixth public release of the Independent JPEG Group's free JPEG software. You are welcome to redistribute this software and to use it for any purpose, subject to the conditions under LEGAL ISSUES, below.

Serious users of this software (particularly those incorporating it into larger programs) should contact IJG at jpeg-info@uunet.uu.net to be added to our electronic mailing list. Mailing list members are notified of updates and have a chance to participate in technical discussions, etc.

This software is the work of Tom Lane, Philip Gladstone, Jim Boucher, Lee Crocker, Julian Minguillon, Luis Ortiz, George Phillips, Davide Rossi, Guido Vollbeding, Ge' Weijers, and other members of the Independent JPEG Group.

IJG is not affiliated with the official ISO JPEG standards committee.

DOCUMENTATION ROADMAP
=====================
This file contains the following sections:

OVERVIEW	General description of JPEG and the IJG software.
LEGAL ISSUES	Copyright, lack of warranty, terms of distribution.
REFERENCES	Where to learn more about JPEG.
ARCHIVE LOCATIONS	Where to find newer versions of this software.
RELATED SOFTWARE	Other stuff you should get.
FILE FORMAT WARS	Software *not* to get.
TO DO	Plans for future IJG releases.

Other documentation files in the distribution are:

User documentation:

install.doc	How to configure and install the IJG software.
usage.doc	Usage instructions for cjpeg, djpeg, jpegtran, rdjpgcom, and wrjpgcom.
*.1	Unix-style man pages for programs (same info as usage.doc).
wizard.doc	Advanced usage instructions for JPEG wizards only.
change.log	Version-to-version change highlights.

Programmer and internal documentation:

libjpeg.doc	How to use the JPEG library in your own programs.
example.c	Sample code for calling the JPEG library.
structure.doc	Overview of the JPEG library's internal structure.
filelist.doc	Road map of IJG files.
coderules.doc	Coding style rules --- please read if you contribute code.

Important Notice Concerning the Software (continued)

Please read at least the files install.doc and usage.doc. Useful information can also be found in the JPEG FAQ (Frequently Asked Questions) article. See ARCHIVE LOCATIONS below to find out where to obtain the FAQ article.

If you want to understand how the JPEG code works, we suggest reading one or more of the REFERENCES, then looking at the documentation files (in roughly the order listed) before diving into the code.

OVERVIEW
========
This package contains C software to implement JPEG image compression and decompression. JPEG (pronounced "jay-peg") is a standardized compression method for full-color and gray-scale images. JPEG is intended for compressing real-world scenes; line drawings, cartoons and other non-realistic images are not its strong suit. JPEG is lossy, meaning that the output image is not exactly identical to the input image. Hence you must not use JPEG if you have to have identical output bits. However, on typical photographic images, very good compression levels can be obtained with no visible change, and remarkably high compression levels are possible if you can tolerate a low-quality image. For more details, see the references, or just experiment with various compression settings.

This software implements JPEG baseline, extended-sequential, and progressive compression processes. Provision is made for supporting all variants of these processes, although some uncommon parameter settings aren't implemented yet.
For legal reasons, we are not distributing code for the arithmetic-coding variants of JPEG; see LEGAL ISSUES. We have made no provision for supporting the hierarchical or lossless processes defined in the standard.

We provide a set of library routines for reading and writing JPEG image files, plus two sample applications "cjpeg" and "djpeg", which use the library to perform conversion between JPEG and some other popular image file formats.
The library is intended to be reused in other applications.

In order to support file conversion and viewing software, we have included considerable functionality beyond the bare JPEG coding/decoding capability; for example, the color quantization modules are not strictly part of JPEG decoding, but they are essential for output to colormapped file formats or colormapped displays. These extra functions can be compiled out of the library if not required for a particular application. We have also included jpegtran, a utility for lossless transcoding between different JPEG processes, and "rdjpgcom" and "wrjpgcom", two simple applications for inserting and extracting textual comments in JFIF files.

The emphasis in designing this software has been on achieving portability and flexibility, while also making it fast enough to be useful. In particular, the software is not intended to be read as a tutorial on JPEG. (See the REFERENCES section for introductory material.) Rather, it is intended to be reliable, portable, industrial-strength code. We do not claim to have achieved that goal in every aspect of the software, but we strive for it.

We welcome the use of this software as a component of commercial products. No royalty is required, but we do ask for an acknowledgement in product documentation, as described under LEGAL ISSUES.

LEGAL ISSUES
============
In plain English:
1. We don't promise that this software works. (But if you find any bugs, please let us know!)
2. You can use this software for whatever you want. You don't have to pay us.
3. You may not pretend that you wrote this software. If you use it in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you've used the IJG code.

In legalese:
The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided "AS IS", and you, its user, assume the entire risk as to its quality and accuracy.

This software is copyright (C) 1991-1998, Thomas G. Lane. All Rights Reserved except as specified below.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software (or portions thereof) for any purpose, without fee, subject to these conditions:
(1) If any part of the source code for this software is distributed, then this README file must be included, with this copyright and no-warranty notice unaltered; and any additions, deletions, or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation.
(2) If only executable code is distributed, then the accompanying documentation must state that "this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group".
(3) Permission for use of this software is granted only if the user accepts full responsibility for any undesirable consequences; the authors accept NO LIABILITY for damages of any kind.

These conditions apply to any software derived from or based on the IJG code, not just to the unmodified library. If you use our work, you ought to acknowledge us.

Permission is NOT granted for the use of any IJG author's name or company name in advertising or publicity relating to this software or products derived from it. This software may be referred to only as "the Independent JPEG Group's software".

We specifically permit and encourage the use of this software as the basis of commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor.

ansi2knr.c is included in this distribution by permission of L. Peter Deutsch, sole proprietor of its copyright holder, Aladdin Enterprises of Menlo Park, CA. ansi2knr.c is NOT covered by the above copyright and conditions, but instead by the usual distribution terms of the Free Software Foundation; principally, that you must include source code if you redistribute it. (See the file ansi2knr.c for full details.) However, since ansi2knr.c is not needed as part of any program generated from the IJG code, this does not limit you more than the foregoing paragraphs do.

The Unix configuration script "configure" was produced with GNU Autoconf. It is copyright by the Free Software Foundation but is freely distributable. The same holds for its supporting scripts (config.guess, config.sub, ltconfig, ltmain.sh). Another support script, install-sh, is copyright by M.I.T. but is also freely distributable.

It appears that the arithmetic coding option of the JPEG spec is covered by patents owned by IBM, AT&T, and Mitsubishi. Hence arithmetic coding cannot legally be used without obtaining one or more licenses. For this reason, support for arithmetic coding has been removed from the free JPEG software. (Since arithmetic coding provides only a marginal gain over the unpatented Huffman mode, it is unlikely that very many implementations will support it.) So far as we are aware, there are no patent restrictions on the remaining code.

The IJG distribution formerly included code to read and write GIF files. To avoid entanglement with the Unisys LZW patent, GIF reading support has been removed altogether, and the GIF writer has been simplified to produce uncompressed GIFs. This technique does not use the LZW algorithm; the resulting GIF files are larger than usual, but are readable by all standard GIF decoders.

We are required to state that
"The Graphics Interchange Format(c) is the Copyright property of CompuServe Incorporated. GIF(sm) is a Service Mark property of CompuServe Incorporated."

REFERENCES
==========
We highly recommend reading one or more of these references before trying to understand the innards of the JPEG software.

The best short technical introduction to the JPEG compression algorithm is
Wallace, Gregory K. "The JPEG Still Picture Compression Standard", Communications of the ACM, April 1991 (vol. 34 no. 4), pp. 30-44.
(Adjacent articles in that issue discuss MPEG motion picture compression, applications of JPEG, and related topics.) If you don't have the CACM issue handy, a PostScript file containing a revised version of Wallace's article is available at ftp://ftp.uu.net/graphics/jpeg/wallace.ps.gz. The file (actually a preprint for an article that appeared in IEEE Trans. Consumer Electronics) omits the sample images that appeared in CACM, but it includes corrections and some added material. Note: the Wallace article is copyright ACM and IEEE, and it may not be used for commercial purposes.

A somewhat less technical, more leisurely introduction to JPEG can be found in The Data Compression Book by Mark Nelson and Jean-loup Gailly, published by M&T Books (New York), 2nd ed. 1996, ISBN 1-55851-434-1. This book provides good explanations and example C code for a multitude of compression methods including JPEG. It is an excellent source if you are comfortable reading C code but don't know much about data compression in general. The book's JPEG sample code is far from industrial-strength, but when you are ready to look at a full implementation, you've got one here...

The best full description of JPEG is the textbook "JPEG Still Image Data Compression Standard" by William B. Pennebaker and Joan L. Mitchell, published by Van Nostrand Reinhold, 1993, ISBN 0-442-01272-1. Price US$59.95, 638 pp. The book includes the complete text of the ISO JPEG standards (DIS 10918-1 and draft DIS 10918-2). This is by far the most complete exposition of JPEG in existence, and we highly recommend it.

The JPEG standard itself is not available electronically; you must order a paper copy through ISO or ITU. (Unless you feel a need to own a certified official copy, we recommend buying the Pennebaker and Mitchell book instead; it's much cheaper and includes a great deal of useful explanatory material.) In the USA, copies of the standard may be ordered from ANSI Sales at (212) 642-4900, or from Global Engineering Documents at (800) 854-7179. (ANSI doesn't take credit card orders, but Global does.) It's not cheap: as of 1992, ANSI was charging $95 for Part 1 and $47 for Part 2, plus 7% shipping/handling. The standard is divided into two parts, Part 1 being the actual specification, while Part 2 covers compliance testing methods.

Part 1 is titled "Digital Compression and Coding of Continuous-tone Still Images, Part 1: Requirements and guidelines" and has document numbers ISO/IEC IS 10918-1, ITU-T T.81. Part 2 is titled "Digital Compression and Coding of Continuous-tone Still Images, Part 2: Compliance testing" and has document numbers ISO/IEC IS 10918-2, ITU-T T.83.

Some extensions to the original JPEG standard are defined in JPEG Part 3, a newer ISO standard numbered ISO/IEC IS 10918-3 and ITU-T T.84. IJG currently does not support any Part 3 extensions.

The JPEG standard does not specify all details of an interchangeable file format. For the omitted details we follow the "JFIF" conventions, revision 1.02. A copy of the JFIF spec is available from:
Literature Department
C-Cube Microsystems, Inc.
1778 McCarthy Blvd.
Milpitas, CA 95035
phone (408) 944-6300, fax (408) 944-6314
A PostScript version of this document is available by FTP at ftp://ftp.uu.net/graphics/jpeg/jfif.ps.gz. There is also a plain text version at ftp://ftp.uu.net/graphics/jpeg/jfif.txt.gz, but it is missing the figures.

The TIFF 6.0 file format specification can be obtained by FTP from ftp://ftp.sgi.com/graphics/tiff/TIFF6.ps.gz. The JPEG incorporation scheme found in the TIFF 6.0 spec of 3-June-92 has a number of serious problems. IJG does not recommend use of the TIFF 6.0 design (TIFF Compression tag 6). Instead, we recommend the JPEG design proposed by TIFF Technical Note #2 (Compression tag 7). Copies of this Note can be obtained from ftp.sgi.com or from ftp://ftp.uu.net/graphics/jpeg/. It is expected that the next revision of the TIFF spec will replace the 6.0 JPEG design with the Note's design.
Although IJG's own code does not support TIFF/JPEG, the free libtiff library uses our library to implement TIFF/JPEG per the Note. libtiff is available from ftp://ftp.sgi.com/graphics/tiff/.

ARCHIVE LOCATIONS
=================
The "official" archive site for this software is ftp.uu.net (Internet address 192.48.96.9). The most recent released version can always be found there in directory graphics/jpeg. This particular version will be archived as ftp://ftp.uu.net/graphics/jpeg/jpegsrc.v6b.tar.gz. If you don't have direct Internet access, UUNET's archives are also available via UUCP; contact help@uunet.uu.net for information on retrieving files that way.

Numerous Internet sites maintain copies of the UUNET files. However, only ftp.uu.net is guaranteed to have the latest official version.

You can also obtain this software in DOS-compatible "zip" archive format from the SimTel archives
(ftp://ftp.simtel.net/pub/simtelnet/msdos/graphics/), or on CompuServe in the Graphics Support forum (GO CIS:GRAPHSUP), library 12 JPEG Tools. Again, these versions may sometimes lag behind the ftp.uu.net release.

The JPEG FAQ (Frequently Asked Questions) article is a useful source of general information about JPEG. It is updated constantly and therefore is not included in this distribution. The FAQ is posted every two weeks to Usenet newsgroups comp.graphics.misc, news.answers, and other groups. It is available on the World Wide Web at http://www.faqs.org/faqs/jpeg-faq/ and other news.answers archive sites, including the official news.answers archive at rtfm.mit.edu:
ftp://rtfm.mit.edu/pub/usenet/news.answers/jpeg-faq/.
If you don't have Web or FTP access, send e-mail to mail-server@rtfm.mit.edu with body
send usenet/news.answers/jpeg-faq/part1
send usenet/news.answers/jpeg-faq/part2

RELATED SOFTWARE
================
Numerous viewing and image manipulation programs now support JPEG. (Quite a few of them use this library to do so.) The JPEG FAQ described above lists some of the more popular free and shareware viewers, and tells where to obtain them on Internet.

If you are on a Unix machine, we highly recommend Jef Poskanzer's free PBMPLUS software, which provides many useful operations on PPM-format image files. In particular, it can convert PPM images to and from a wide range of other formats, thus making cjpeg/djpeg considerably more useful. The latest version is distributed by the NetPBM group, and is available from numerous sites, notably ftp://wuarchive.wustl.edu/graphics/graphics/packages/NetPBM/. Unfortunately PBMPLUS/NETPBM is not nearly as portable as the IJG software is; you are likely to have difficulty making it work on any non-Unix machine.

A different free JPEG implementation, written by the PVRG group at Stanford, is available from ftp://havefun.stanford.edu/pub/jpeg/. This program is designed for research and experimentation rather than production use; it is slower, harder to use, and less portable than the IJG code, but it is easier to read and modify. Also, the PVRG code supports lossless JPEG, which we do not. (On the other hand, it doesn't do progressive JPEG.)

Important Notice Concerning the Software (continued)

FILE FORMAT WARS
================
Some JPEG programs produce files that are not compatible with our library.
The root of the problem is that the ISO JPEG committee failed to specify a concrete file format. Some vendors "filled in the blanks" on their own, creating proprietary formats that no one else could read. (For example, none of the early commercial JPEG implementations for the Macintosh were able to exchange compressed files.)

The file format we have adopted is called JFIF (see REFERENCES). This format has been agreed to by a number of major commercial JPEG vendors, and it has become the de facto standard. JFIF is a minimal or "low end" representation.
We recommend the use of TIFF/JPEG (TIFF revision 6.0 as modified by TIFF Technical Note #2) for "high end" applications that need to record a lot of additional data about an image. TIFF/JPEG is fairly new and not yet widely supported, unfortunately.

The upcoming JPEG Part 3 standard defines a file format called SPIFF. SPIFF is interoperable with JFIF, in the sense that most JFIF decoders should be able to read the most common variant of SPIFF. SPIFF has some technical advantages over JFIF, but its major claim to fame is simply that it is an official standard rather than an informal one. At this point it is unclear whether SPIFF will supersede JFIF or whether JFIF will remain the de-facto standard. IJG intends to support SPIFF once the standard is frozen, but we have not decided whether it should become our default output format or not. (In any case, our decoder will remain capable of reading JFIF indefinitely.)

Various proprietary file formats incorporating JPEG compression also exist. We have little or no sympathy for the existence of these formats. Indeed, one of the original reasons for developing this free software was to help force convergence on common, open format standards for JPEG files. Don't use a proprietary file format!

TO DO
=====
The major thrust for v7 will probably be improvement of visual quality. The current method for scaling the quantization tables is known not to be very good at low Q values. We also intend to investigate block boundary smoothing, "poor man's variable quantization", and other means of improving quality-vs-file-size performance without sacrificing compatibility.

In future versions, we are considering supporting some of the upcoming JPEG Part 3 extensions --- principally, variable quantization and the SPIFF file format.

As always, speeding things up is of great interest.

Please send bug reports, offers of help, etc. to jpeg-info@uunet.uu.net.

LibPNGに適用される利用許諾条件

COPYRIGHT NOTICE, DISCLAIMER, and LICENSE:

If you modify libpng you may insert additional notices immediately following this sentence.

libpng versions 1.0.7, July 1, 2000, through 1.2.1, December 12, 2001, are Copyright (c) 2000 Glenn Randers-Pehrson and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.0.6 with the following individuals added to the list of Contributing Authors

Simon-Pierre Cadieux
Eric S. Raymond
Gilles Vollant

and with the following additions to the disclaimer:

There is no warranty against interference with your enjoyment of the library or against infringement. There is no warranty that our efforts or the library will fulfill any of your particular purposes or needs. This library is provided with all faults, and the entire risk of satisfactory quality, performance, accuracy, and effort is with the user.

libpng versions 0.97, January 1998, through 1.0.6, March 20, 2000, are Copyright (c) 1998, 1999 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.96, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

Tom Lane
Glenn Randers-Pehrson
Willem van Schaik

libpng versions 0.89, June 1996, through 0.96, May 1997, are Copyright (c) 1996, 1997 Andreas Dilger
Distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.88, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

John Bowler
Kevin Bracey
Sam Bushell
Magnus Holmgren
Greg Roelofs
Tom Tanner

libpng versions 0.5, May 1995, through 0.88, January 1996, are Copyright (c) 1995, 1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

For the purposes of this copyright and license, "Contributing Authors" is defined as the following set of individuals:

Andreas Dilger
Dave Martindale
Guy Eric Schalnat
Paul Schmidt
Tim Wegner

The PNG Reference Library is supplied "AS IS". The Contributing Authors and Group 42, Inc. disclaim all warranties, expressed or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability and of fitness for any purpose. The Contributing Authors and Group 42, Inc. assume no liability for direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, which may result from the use of the PNG Reference Library, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this source code, or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

1. The origin of this source code must not be misrepresented.

2. Altered versions must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source.

3. This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

The Contributing Authors and Group 42, Inc. specifically permit, without fee, and encourage the use of this source code as a component to supporting the PNG file format in commercial products. If you use this source code in a product, acknowledgment is not required but would be appreciated.

A "png_get_copyright" function is available, for convenient use in "about" boxes and the like:

printf("%s",png_get_copyright(NULL));

Also, the PNG logo (in PNG format, of course) is supplied in the files "pngbar.png" and "pngbar.jpg (88x31) and "pngnow.png" (98x31).

Libpng is OSI Certified Open Source Software. OSI Certified Open Source is a certification mark of the Open Source Initiative.

Glenn Randers-Pehrson
randeg@alum.rpi.edu
12-Dec-01

Open SSLに適用される利用許諾条件

LICENSE ISSUES
==============
The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit. See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

```
/* ====================================================================
 * Copyright (c) 1998-2001 The OpenSSL Project.  All rights reserved.
 *
 * Redistribution and use in source and binary forms, with or without
 * modification, are permitted provided that the following conditions
 * are met:
 *
 * 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
 *    notice, this list of conditions and the following disclaimer.
 *
 * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
 *    notice, this list of conditions and the following disclaimer in
 *    the documentation and/or other materials provided with the
 *    distribution.
 *
 * 3. All advertising materials mentioning features or use of this
 *    software must display the following acknowledgment:
 *    "This product includes software developed by the OpenSSL Project
 *    for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
 *
 * 4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be
 *    used to endorse or promote products derived from this software
 *    without prior written permission. For written permission, please
 *    contact openssl-core@openssl.org.
 *
 * 5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL"
 *    nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written
 *    permission of the OpenSSL Project.
 *
 * 6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following
 *    acknowledgment:
 *    "This product includes software developed by the OpenSSL Project
 *    for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"
 *
 * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND
 * ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT
 * LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND
 * FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.  IN NO EVENT
 * SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR
 * ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR
 * CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,
 * PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE,
 * DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
 * HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN
 * CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR
 * OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE,
 * EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
 * ====================================================================
 *
 * This product includes cryptographic software written by Eric Young
 * (eay@cryptsoft.com).  This product includes software written by Tim
 * Hudson (tjh@cryptsoft.com).
 *
 */
```

Important Notice Concerning the Software (continued)

Original SSLeay License

/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
* All rights reserved.
*
* This package is an SSL implementation written
* by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
* The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.
*
* This library is free for commercial and non-commercial use as long as
* the following conditions are aheared to. The following conditions
* apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA,
* lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation
* included with this distribution is covered by the same copyright terms
* except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).
*
* Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in
* the code are not to be removed.
* If this package is used in a product, Eric Young should be given
* attribution as the author of the parts of the library used.
* This can be in the form of a textual message at program startup or
* in documentation (online or textual) provided with the package.
*
* Redistribution and use in source and binary forms, with or without
* modification, are permitted provided that the following conditions
* are met:
* 1. Redistributions of source code must retain the copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
* documentation and/or other materials provided with the distribution.
* 3. All advertising materials mentioning features or use of this software
* must display the following acknowledgement:
* "This product includes cryptographic software written by
* Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
* The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library
* being used are not cryptographic related :-).
* 4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof)
* from the apps directory (application code) you must include an
* acknowledgement:
* "This product includes software written by Tim Hudson
* (tjh@cryptsoft.com)"
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND
* ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED
* TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR
* A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE
* AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT,
* INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES
* (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE
* GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS
* INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY,
* WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING
* NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF
* THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH
* DAMAGE.
*
* The licence and distribution terms for any publically available version or
* derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply
* be copied and put under another distribution licence
* [including the GNU Public Licence.]
*/

Zlibに適用される利用許諾条件

/* zlib.h -- interface of the 'zlib' general purpose compression library
version 1.1.3, July 9th, 1998

Copyright (C) 1995-1998 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied
warranty. In no event will the authors be held liable for any damages
arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose,
including commercial applications, and to alter it and redistribute it
freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not
claim that you wrote the original software. If you use this software
in a product, an acknowledgment in the product documentation would
be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not
be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source
distribution.

Jean-loup Gailly Mark Adler
jloup@gzip.org madler@alumni.caltech.edu

The data format used by the zlib library is described by RFCs (Request for
Comments) 1950 to 1952 in the files ftp://ds.internic.net/rfc/rfc1950.txt
(zlib format), rfc1951.txt (deflate format) and rfc1952.txt (gzip format).
*/

Vera Fontsに適用される利用許諾条件

Bitstream Vera Fonts Copyright

The fonts have a generous copyright, allowing derivative works (as long as "Bitstream" or "Vera" are not in the names), and full redistribution (so long as they are not *sold* by themselves). They can be be bundled, redistributed and sold with any software.

The fonts are distributed under the following copyright:

Copyright
Copyright (c) 2003 by Bitstream, Inc. All Rights Reserved. Bitstream Vera is a trademark of Bitstream, Inc.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the fonts accompanying this license ("Fonts") and associated documentation files (the "Font Software"), to reproduce and distribute the Font Software, including without limitation the rights to use, copy, merge, publish, distribute, and/or sell copies of the Font Software, and to permit persons to whom the Font Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright and trademark notices and this permission notice shall be included in all copies of one or more of the Font Software typefaces.

The Font Software may be modified, altered, or added to, and in particular the designs of glyphs or characters in the Fonts may be modified and additional glyphs or characters may be added to the Fonts, only if the fonts are renamed to names not containing either the words "Bitstream" or the word "Vera".

This License becomes null and void to the extent applicable to Fonts or Font Software that has been modified and is distributed under the "Bitstream Vera" names.

The Font Software may be sold as part of a larger software package but no copy of one or more of the Font Software typefaces may be sold by itself.

THE FONT SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF COPYRIGHT, PATENT, TRADEMARK, OR OTHER RIGHT. IN NO EVENT SHALL BITSTREAM OR THE GNOME FOUNDATION BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INDIRECT, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, WHETHER IN AN ACTIONOF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE FONT SOFTWARE OR FROM OTHER DEALINGS IN THE FONT SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the names of Gnome, the Gnome Foundation, and Bitstream Inc., shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Font Software without prior written authorization from the Gnome Foundation or Bitstream Inc., respectively.
For further information, contact: fonts at gnome dot org.

Copyright FAQ
I don't understand the resale restriction... What gives?
Bitstream is giving away these fonts, but wishes to ensure its competitors can't just drop the fonts as is into a font sale system and sell them as is. It seems fair that if Bitstream can't make money from the Bitstream Vera fonts, their competitors should not be able to do so either. You can sell the fonts as part of any software package, however.
I want to package these fonts separately for distribution and sale as part of a larger software package or system. Can I do so?
Yes. A RPM or Debian package is a "larger software package" to begin with, and you aren't selling them independently by themselves. See 1. above.
Are derivative works allowed?
Yes!
Can I change or add to the font(s)?
Yes, but you must change the name(s) of the font(s).

Under what terms are derivative works allowed?
You must change the name(s) of the fonts. This is to ensure the quality of the fonts, both to protect Bitstream and Gnome. We want to ensure that if an application has opened a font specifically of these names, it gets what it expects (though of course, using fontconfig, substitutions could still could have occurred during font opening). You must include the Bitstream copyright. Additional copyrights can be added, as per copyright law. Happy Font Hacking!

If I have improvements for Bitstream Vera, is it possible they might get adopted in future versions?
Yes. The contract between the Gnome Foundation and Bitstream has provisions for working with Bitstream to ensure quality additions to the Bitstream Vera font family. Please contact us if you have such additions. Note, that in general, we will want such additions for the entire family, not just a single font, and that you'll have to keep both Gnome and Jim Lyles, Vera's designer, happy! To make sense to add glyphs to the font, they must be stylistically in keeping with Vera's design. Vera cannot become a "ransom note" font. Jim Lyles will be providing a document describing the design elements used in Vera, as a guide and aid for people interested in contributing to Vera, when he gets back from a well-deserved vacation.
I want to sell a software package that uses these fonts: Can I do so?
Sure. Bundle the fonts with your software and sell your software with the fonts.
That is the intent of the copyright.
If applications have built the names "Bitstream Vera" into them, can I override this somehow to use fonts of my choosing?
This depends on exact details of the software. Most open source systems and software (e.g., Gnome, KDE, etc.) are now converting to use fontconfig (see www.fontconfig.org) to handle font configuration, selection and substitution;
it has provisions for overriding font names and subsituting alternatives. An example is provided by the supplied local.conf file, which chooses the family Bitstream Vera for "sans", "serif" and "monospace". Other software (e.g., the XFree86 core server) has other mechanisms for font substitution.

aesに適用される利用許諾条件

/*

Copyright (c) 1998-2008, Brian Gladman, Worcester, UK. All rights reserved.

LICENSE TERMS

The redistribution and use of this software (with or without changes) is allowed without the payment of fees or royalties provided that:

1. source code distributions include the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer;

2. binary distributions include the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in their documentation;

3. the name of the copyright holder is not used to endorse products built using this software without specific written permission.

DISCLAIMER

This software is provided 'as is' with no explicit or implied warranties in respect of its properties, including, but not limited to, correctness and/or fitness for purpose.

Issue Date: 20/12/2007

These subroutines implement multiple block AES modes for ECB, CBC, CFB, OFB and CTR encryption, The code provides support for the VIA Advanced Cryptography Engine (ACE).

NOTE: In the following subroutines, the AES contexts (ctx) must be 16 byte aligned if VIA ACE is being used
*/

Important Notice Concerning the Software (continued)

blowfishに適用される利用許諾条件

/* crypto/bf/blowfish.h */
/* Copyright (C) 1995-1997 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
 * All rights reserved.
 *
 * This package is an SSL implementation written
 * by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
 * The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.
 *
 * This library is free for commercial and non-commercial use as long as
 * the following conditions are aheared to. The following conditions
 * apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA,
 * lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation
 * included with this distribution is covered by the same copyright terms
 * except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).
 *
 * Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in
 * the code are not to be removed.
 * If this package is used in a product, Eric Young should be given
 * attribution as the author of the parts of the library used.
 * This can be in the form of a textual message at program startup or
 * in documentation (online or textual) provided with the package.
 *
 * Redistribution and use in source and binary forms, with or without
 * modification, are permitted provided that the following conditions
 * are met:
 * 1. Redistributions of source code must retain the copyright
 *   notice, this list of conditions and the following disclaimer.
 * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
 *   notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
 *   documentation and/or other materials provided with the distribution.
 * 3. All advertising materials mentioning features or use of this software
 *   must display the following acknowledgement:
 *   "This product includes cryptographic software written by
 *   Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
 *   The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library
 *   being used are not cryptographic related :-).
 * 4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from
 *   the apps directory (application code) you must include an
 *   acknowledgement:
 *   "This product includes software written by Tim Hudson
 *   (tjh@cryptsoft.com)"
 *
 * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND
 * ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED
 * TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR
 * A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE
 * AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT,
 * INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES
 * (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE
 * GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS
 * INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY,
 * WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING
 * NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF
 * THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH
 * DAMAGE.
 *
 * The licence and distribution terms for any publically available version or
 * derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply
 * be copied and put under another distribution licence
 * [including the GNU Public Licence.]
 */

boostに適用される利用許諾条件

Boost Software License - Version 1.0 - August 17th, 2003

Permission is hereby granted, free of charge, to any person or organization obtaining a copy of the software and accompanying documentation covered by this license (the "Software") to use, reproduce, display, distribute, execute, and transmit the Software, and to prepare derivative works of the Software, and to permit third-parties to whom the Software is furnished to do so, all subject to the following:

The copyright notices in the Software and this entire statement, including the above license grant, this restriction and the following disclaimer, must be included in all copies of the Software, in whole or in part, and all derivative works of the Software, unless such copies or derivative works are solely in the form of machine-executable object code generated by a source language processor.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, TITLE AND NON-INFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR ANYONE DISTRIBUTING THE SOFTWARE BE LIABLE FOR ANY DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

tinyxmlに適用される利用許諾条件

/*
www.sourceforge.net/projects/tinyxml
Original code (2.0 and earlier)copyright (c) 2000-2006 Lee Thomason (www.grinninglizard.com)

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.

2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.

3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.
*/

ロヴィ社のフロー・ダウン・ライセンス規約(利用規約)

本アプリケーションには、ロヴィ・コーポレーション(以下「ロヴィ」という)のソフトウェア及び技術が組み込まれています。エンドユーザーは、ロヴィのソフトウェア及び技術(以下「ロヴィ技術」という)を利用し、同社の保有するデータベース(以下「ロヴィ・データベース」という)内の音楽関連データ(以下「ロヴィ・データ」という)にアクセスし、その他の機能(ロヴィ技術、ロヴィ・データ及びロヴィ・データベース、以下総称して「ロヴィ・サービス」という)を利用することができます。

ロヴィは、貴殿に対し、予め意図され承認された本アプリケーション・ソフトウェアのエンドユーザー機能によってのみ、ロヴィ・サービスにアクセスし、使用するための、制限付きの、非独占的で、譲渡及びサブライセンス不可の権利及びライセンスを許諾します。

貴殿は、貴殿自身の個人的かつ非営利的な使用のためにのみ、ロヴィ・サービスを利用することに同意します。貴殿は、(i) ロヴィ・サービスをいかなる第三者に対しても、譲渡、複製、移転又は配信しないこと;(ii) 本規約において明示的に許可された場合を除き、ロヴィ・サービスを利用又は悪用しないこと;(iii) ロヴィ・サービス又はそこに含まれるいかなる部分についても、逆コンパイル、逆アセンブル又はリバース・エンジニアしないこと;(iv) ロヴィ・サービス中のいかなる著作権、商標、商号、ロゴ又はその他の知的財産に係る表示も取り除かないこと;また、(v) 本利用規約に明示的に規定されている場合を除き、ロヴィ・サービス又はそのいかなる部分についても、販売、頒布、配給、公開、公開リース、ライセンスの譲渡又はその他の利用を行なわないこと、に同意します。

貴殿は、貴殿が上記の禁止事項に違反した場合は、ここに許諾するロヴィ・サービス利用のためのライセンスが失効することに同意します。また、ロヴィは、いつでも、自己の裁量で、本ライセンスを取り消し又は解除することができます。貴殿のライセンスが失効した場合、貴殿は、ロヴィ・サービスの一切の使用を中止することに同意します。貴殿は、ロヴィ及びその関連会社を、貴殿の本利用規約違反に起因する一切の義務、請求及び、弁護士報酬を含む出費から、保護し、補償し、損害を与えないようにすることに同意します。

ロヴィは、ロヴィ・サービスに係る一切の所有権を含む、すべての権利を留保します。貴殿は、貴殿とロヴィの間においては、ロヴィ・サービス及びその構成部分に係る一切の権利、権原及び所有権は、ロヴィの独占的財産にとどまるものであり、本利用規約のいかなる記載も、ロヴィ・サービスに係る何らかの所有権が、貴殿に取得されたとみなされるものではないこと、を承認します。

ロヴィは、ロヴィが十分と考える理由がある場合には、ロヴィ・データベースからデータを削除し、又は、データの種類を変更する権利を留保します。ロヴィ・サービスはエラー・フリーであること、又は、ロヴィ・サービスの機能は中断されないことが保証されるものではありません。ロヴィは、ロヴィが将来的に提供する選択をする可能性のある、新しい、改良され、又は追加されたタイプ又は種類のデータを、貴殿に提供する義務を負うものではなく、オンライン・サービスをいつでも自由に中止することについて、貴殿に何らかの責任を負うものではありません。

エンドユーザーである貴殿が、ロヴィ・データベースに、その作者として加えられるべき何らかの情報又は創作物を加えた場合、貴殿は、貴殿が当該創作物の唯一の作者であることを表明し、保証するものとし、更に、ロヴィ・データベースの一部として当該創作物の著作権を登録する権利を含む、当該創作物に係る知的所有権及び財産権の一切を、ロヴィに譲渡するものとします。

ロヴィ・サービス及びその構成部分は、「現状有姿」の状態で貴殿に提供されるものとします。ロヴィは、ロヴィ・サービスの的確性に関し、商品性、特定用途への適合性、権原及び非侵害性の黙示の保証も含め、明示的であるか黙示的であるかを問わず、一切の表明又は保証を行ないません。ロヴィは、正確性、的確性、信頼性、最新性、又は、貴殿がロヴィ・サービスを利用して得られる結果に関し、一切の保証又は表明も行ないません。

いかなる場合においても、ロヴィ又はその関連会社は、貴殿又はいかなる第三者に対しても、ロヴィ・サービスを利用したことに起因し、又は関連する、契約、不法行為、過失、損害補償、厳格責任、製造物責任等を含む、その他のいかなる法的根拠の下でも、逸失利益、収入の減少、又は、営業妨害を含め、間接的、派生的、付随的、典型的、懲罰的又はその他の損害について、一切責任を負うものではありません。いかなる場合においても、ロヴィ・サービスに関する損害に対するロヴィの責任は、請求の態様に関わらず、10 米ドルを超えないものとします。適用される法律が、付随的或いは派生的損害について免責を認めていない場合は、貴殿について、上記の免責事項が該当しない場合もあります。

用語解説

◆やりたいことから探したい場合　⇒　(P.8)
◆言葉から探したい場合　⇒　索引(P.212)

分からない用語や略称については、下記をご覧ください。

■ AAC
AAC(Advanced Audio Coding)とは、衛星デジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式です。CD 並みの音質データを約 1/12 まで圧縮できます。また、5.1ch のサラウンド音声や多重放送を行うこともできます。

■ AVCHD
ハイビジョン画質の映像を、ハイビジョン対応デジタルビデオカメラでディスクや SD カードなどに撮影できるように開発された規格です。

■ AVCREC
ハイビジョン画質の映像を、DVD に MPEG-4 AVC/H.264 方式で圧縮し、記録するための規格です。

■ B-CAS
B-CAS カードは、株式会社ビーエス･コンディショナルアクセスシステムズが発行している、地上デジタル放送や、ＢＳデジタル、110 度ＣＳデジタル放送を視聴するために必要なカードです。添付の B-CAS カードを本機に挿入してください。

■ BD-Live
BD ビデオの新しい再生機能で、インターネットに接続してインタラクティブな機能が楽しめます。

■ BDMV
市販されている Blu-ray Disc™ の録画方式です。

■ Bitstream
圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。
AV アンプなどに搭載されたデコーダーによって、5．１ｃｈなどのサラウンド音声信号に戻されます。

■ D 映像端子
コンポーネントビデオ信号と制御信号を 1 つにまとめた端子です。色信号の干渉を避けるために、映像信号を輝度、赤系、青系の３つの信号に分け、それぞれの専用回路で信号処理し、画面に映すときに合成しますので、より自然に近い映像がお楽しみいただけます。

■ DTS
DTS(Digital Theater Systems)とは、映画館で多く採用されているサラウンド方式で、音声圧縮率を低くしたフォーマットであるため、リアルな音響効果が得られます。

■ DTS-HD
DTS をさらに高音質･高機能化したサラウンドシステムで、下位互換性により従来の AV アンプでも DTS として再生できます。BD 規格では最大 7.1 ｃｈまで対応しています。

■ G ガイド
G ガイドとは、デジタル放送向けの電子番組ガイド(EPG)サービスの名称です。番組表を受信してテレビ画面に表示し、チャンネルの選択や録画予約などが簡単にできます。

■ HDCP
HDCP(High-bandwidth Digital Content Protection system)とはデジタル著作権管理技術の一種で、デジタル方式の画像や映像を暗号化し不正コピーを防止する機能です。

■ HDMI
HDMI(High Definition Multimedia Interface)とは、DVD レコーダーなどのデジタル機器と接続できるデジタル AV インターフェースです。映像信号と音声信号を 1 本のケーブルで接続できます。

■ LPCM(リニア PCM)
音楽 CD などで使われている、圧縮しないでデジタル信号に置き換えられた音声信号です。

■ MP3
MP3(MPEG-1 Audio Layer-3)とは、音声情報圧縮の国際規格の 1 つです。元の音質を殆ど損なうことなく約 1/10 に圧縮することが可能です。

■ アンテナレベル
アンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信している電波の強さではなく、信号と雑音の比率を表しています。受信している地域、接続したケーブルの長さ、天候、季節、時間帯などによって影響を受けます。

■ インターレース(i)/プログレッシブ(p)
インターレース(飛び越し走査)は、映像の表示を奇数段と偶数段の２回に分けて行う従来の映像信号です。
プログレッシブ(順次走査)は、映像の表示を 1 回で行いますので、インターレースに比べてちらつきを抑えた高精細の映像を得られます。

■ サンプリング周波数
サンプリングとは、アナログ信号を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さをデジタル信号化することです。
１秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、数値が大きいほど原音に近い音で再現されます。

■ 字幕放送
テレビ番組の放送を文字で表示する放送です。

■ パン&スキャン
標準テレビ(4:3)にワイド映像を映す方法の 1 つで、映像の上下方向が画面いっぱいに表示され、左右方向が一部カットされます。

■ ビットレート
1 秒間に送受信できるデータ量(ビット数)を表します。

■ **フォーマット(初期化)**

録画用ディスクや SD カードを本機で記録できるように処理したり、録画方式を変更したりするときに行います。フォーマット(初期化)を行うと、それまで記録されていた内容はすべて消去されます。

■ **プレイリスト**

本機に録音した音楽を、再生するときの順番をリスト化したものです。

■ **リージョンコード**

BD ソフトや DVD ソフトは、国によって再生できる記号や番号(これをリージョンコードといいます)が分けられています。日本の場合、BD ソフトは「A」、DVD ソフトは「2」になっており、本機ではその記号または番号を含んだソフトだけ再生することができます。

■ **リジューム(つづき再生)**

再生中に停止すると停止位置が記憶され、記憶している停止位置から再生を始めることができます。

■ **レターボックス**

標準テレビ(4:3)にワイド映像を映す方法の一つで、画面の上下に黒い帯を入れて、4:3 の画面で 16:9 の映像を映し出します。

ダビング関係

■ **CPRM**

Content Protection for Recordable Media の略で、デジタル放送のコピー制御信号が加えられた番組に対する著作権保護技術です。デジタル放送の「1 回だけ録画可能」番組や「ダビング 10(コピー９回＋ムーブ 1 回)」番組を DVD に記録するときは、CPRM 対応のディスクを使います。

■ **ダウンコンバート**

ハイビジョンを標準画質に変換して記録する方法です。

■ **ダビング１０**

デジタル放送のほとんどの番組にかけられていた「１回だけ録画可能」のコピー制限を緩和するもので、本機は「ダビング１０」に対応しています。
HDD に録画した番組は、ディスクに１０回までダビング(コピー９回＋移動１回)でき、１０回目は消去(移動)されます。(ディスクに録画した場合は、「１回だけ録画可能」となり従来どおりダビングできません。)

■ **ファイナライズ**

本機で録画した DVD-RW/-R を、他の DVD プレーヤーなどで再生できるようにする機能です。
ファイナライズすると記録や編集はできなくなります。

■ **ムーブ(移動)**

番組をダビングするときに、録画と同時に HDD からその番組を消去することをいいます。

無線 LAN 関係

■ **DHCP**

DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)とは、サーバーやブロードバンドルーターが、IP アドレスなど必要な情報を本機に自動的に割り当てる仕組みのことです。

■ **TKIP**

TKIP(Temporal Key Integrity Protocol)とは、WiFi などの無線 LAN で利用されている暗号化方式の一種です。標準的な WEP よりも暗号を解読されにくくなっています。

■ **SSID**

SSID(Service Set ID)とは、無線 LAN アクセスポイントの識別子です。SSID を指定することで特定の無線 LAN アクセスポイントに接続し、混信するのを防ぎます。

■ **WEP**

WEP(Wired Equivalent Privacy)とは WEP キーと呼ばれる共通の暗号キーで、無線 LAN アクセスポイントと無線 LAN 対応機器で通信するデータを暗号化する機能です。

■ **WiFi**

WiFi(Wireless Fidelity)とは、Wi-Fi Alliance(米国に本拠を置く業界団体)によって無線 LAN 機器間の相互接続性を認証されたことを示す名称です。

■ **WPS**

WPS(Wi-Fi Protected Setup)とは, 無線 LAN 機器の接続とセキュリティの設定を簡単に実行するための規格です。

■ **ゲートウェイアドレス**

インターネットのアクセスで経由すべき機器の IP アドレスです。通常はブロードバンドルーターの IP アドレスのことをいいます。

■ **サブネットマスク**

ネットワークを効率的に使うために、ブロードバンドルーターにつなぐ機器のＩＰアドレスを絞り込むための数字です。

■ **ブロードバンド**

ご家庭でいつでもインターネットを楽しめる ADSL などのインターネット接続環境です。電話モデムを使用するのに比べて、高速のアクセスが可能です。

■ **プロバイダー**

ケーブルや電話回線に接続した機器を、インターネットに接続するサービスをしている会社の総称です。

■ **無線 LAN アクセスポイント**

無線 LAN で端末どうしを接続する中継機です。無線 LAN でネットワークにアクセスするときに中継点として、無線 LAN アクセスポイントに接続します。

仕様

本体部

電源	： AC 100 V、50/60 Hz
定格消費電力 （電気用品安全法に基づく表示）	： 85 W
待機時消費電力	： 1 W 以下 （待機時省電力モード：オン、HDMI 機器制御（リンク）：オフ、 地上デジタルアッテネーター：オフ、衛星アンテナ電源：オフ、 衛星アンテナ出力：オフのとき）
許容動作温度	： 5 ℃ ～ 40 ℃
許容湿度	： 80 %最大
外形寸法	： 440（幅） × 85（高さ） × 222.2（奥行） mm （突起物含まず） 440（幅） × 85（高さ） × 235.4（奥行） mm （突起物含む）
質量	： 約 5.3 kg

TV チューナー部

■ 受信チャンネル

地上デジタル	： 000 ～ 999 チャンネル
BS デジタル	： 000 ～ 999 チャンネル
110 度 CS デジタル	： 000 ～ 999 チャンネル

ラジオチューナー部

FM 周波数	： 76.0 MHz ～ 90.0 MHz
AM 周波数	： 531 kHz ～ 1629 kHz

アンプ部

実用最大出力（JEITA）	： 30 W ＋ 30 W （4Ω）
適用スピーカーインピーダンス	： 4Ω～16Ω

無線部（モジュール内蔵）

規格	： IEEE802.11b/g/n
周波数範囲/チャンネル	： 2.412 GHz～2.472 GHz（中心周波数）/1～13ch

USB 部

USB 出力電源	： DC5 V ⎓ 500 mA

準拠規格 / 最大録画可能数 / 登録数

■ HDD

HDD 容量	： 500 GB
録画圧縮方式	： （映像）MPEG2、MPEG4 AVC/H.264 （音声）MPEG2 AAC、ドルビーデジタル（2ch）
録音圧縮方式	： LPCM、MPEG1Layer3
番組数(ラジオ/動画を合わせて)	： 498
音楽数	： 30000
1 番組あたりのチャプター数	： 99

■ BD-RE/BD-R（BDAV 規格準拠）、DVD-RW/DVD-R（AVCREC 規格準拠）

番組数	： 200
1 番組あたりのチャプター数	： 100
ディスク全体のチャプター数	： 999

■ DVD-RW/DVD-R（DVD-VR 規格、DVD- Video 規格準拠）

番組数	： 99
ディスク全体のチャプター数	： 999

■ SD/USB メモリー

音楽数	： 999

- 仕様および外観は、改良のため予告無く変更することがあります。

索引

◆やりたいことから探したい場合　⇒　(P.8)
◆専門用語の意味を知りたい場合　⇒　用語解説(P.209)

あ

アナログテレビ出力設定 160
暗証番号登録 98, 157
アンテナレベル 56, 98
インターネット接続テスト 48
枝番選局 98
オーディオディレイ 56, 99
オプションメニュー 55, 143, 97, 132
音質設定 146
音声言語 153
音声出力設定 56, 99
音声のみ再生時の連動 161

か

外部入力 37, 159
外部入力音声レベル 159
画面上の基本操作 14
かんたん設置設定 39
簡単予約 136
機能設定の初期化 158
機器メール受信確認 162
クロスオーバー周波数 161
ケーブルテレビ 26
個人情報リセット 157
本体表示の明るさ 158

さ

再生時の音声 154
再生設定 153
再生専用ディスク設定 153
再生リスト 64, 65, 104
サウンド設定 146
サブウーファー 33, 161
サブメニュー 95
サプリーム 154
シームレス 127, 155
シームレス再生 155
本体設定:時刻合わせ 158
視聴制限一時解除 98
自動オンスクリーン表示 158
自動設定(WPS) 49
自動チャプター 156
字幕 99, 108, 153
字幕言語 153
字幕の設定 157
受信対象設定 157
初期化 84, 158, 180
信号切換 98
スクリーンセーバー 111, 158
スチルモード 155
スピーカー 32, 56, 161
スピーカー設定 161
スリープタイマー 150
制限項目設定 157
接続スピーカー 32, 161
接続速度自動設定 48
接続テレビとのリンク確認 161
設置設定 157
設定項目リセット 157
放送受信設定:選局対象 157
放送受信設定:ソフトウェア更新設定 157

た

待機時省電力モード 158
ダウンミックス 154
多重音声 178
ダビング 124
ダビングリスト 125
地域設定 40, 157
チャプター 121, 122
チャプタースキップ 122
チャプター分割 121
チャンネル設定 41, 46, 157
重複予約 141
つづき再生 70, 111
データ放送表示オフ 98
デジタル出力 154
デジタル放送･再生 157
デジタル放送メニュー 98
デュアルモードイコライザー 146
テレビ画面の焼き付き低減機能 111, 158
テレビタイプ 160
テレビ番組表 93, 94, 135, 157

な

ナイトモード 146
二重音声出力 97
入出力設定 159
ネットワーク(無線) 36, 49
ネットワーク(有線) 35, 48
ネットワーク設定 47

は

ハードディスクの初期化 158
番組表設定 157
番組表 93, 94, 135, 157
表示設定 158

ファイナライズ 182
フォーカス 14
フォーマット 180
プレイリスト 80, 82
プロキシサーバー設定 48
フロントスピーカー 161
分割 79, 123
放送受信設定 157
放送受信設定リセット 157
放送メール受信確認 162
ボード 162
保護 116
本機からテレビへの連動オン 160
本体設定 158

ま

メール/情報 162
メニュー言語 153
文字入力 16

や

容量不足警告日数 156
予約候補検索 137
予約スケジュール 130, 131, 133, 132

ら

リジューム 70, 111
リセット 157
リモコンコード 158
録画/録音時間 177
録画設定 156
録画/録音モード 57, 134, 100, 117, 177
録画モード変換 117

わ

ワンタッチタイマー 57, 100

英数字

16:9 映像のテレビ表示 160
24p 出力 159
3D フォニック 146
4:3 映像のテレビ表示 159, 160
AM 54
A スタートメニュー 52
B-CAS カード 27, 162
B-CAS カードテスト 157
BD-Live 107
BD-Live インターネット接続 153
BD-Video の視聴制限 153
BD-Video 副音声・操作音 154
Blu-ray Disc 105, 124, 177, 180
CD 59, 66
D-BASS 146
入出力設定:Deep Color 主力 159
DNS-IP 自動取得 48
DVD 105, 124, 178, 180, 182
D 端子出力解像度 160
D レンジコントロール 154
FM 54
音声を切り換える 56
G ガイド 93, 94, 135, 157
HDMI 30
HDMI RGB 出力レンジ 159
HDMI 映像優先モード 159
HDMI 機器制御(リンク) 148, 160
HDMI 出力解像度 159
HDMI 制御(リンク)設定 148, 160
HDMI テレビ出力 159
HRS+ 146
IP アドレス/DNS 設定 48
IP アドレスの自動取得 48
LCD 表示 189
PCM ダウンサンプリング 154
SD 20, 61, 68, 85, 87, 102, 110, 181
S 端子ワイドモード 160
USB 61, 68, 85, 87, 102
V スタートメニュー 90
WiFi 設定 49
x.v.Color 160

保証とアフターサービス

出張修理

品　名		Hi-Fi COMPONENT HDD/ BLU-RAY DISC RECORDER
型　名		RY-MA1
製造番号		
お客様	お名前	様
	ご住所	□□□－□□□□
	電　話	(　　)　　－
お買い上げ日		年　　月　　日
お買い上げ店		住所・店名・電話番号
保証期間		お買い上げ日から 本体　　　1年間

お客様へのお願い

1. 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名が記載されているかお確かめください。万一記入がない場合は直ちにお買い上げ販売店にお申し出ください。購入日の確認できる書類（シールやレシートなど）の添付でもかまいませんので、大切に保管してください。
2. 製造番号の記載がない場合は、お手数ですが、お買い上げ商品の製品番号をお確かめのうえ、記入をお願い致します。
3. ご贈答品などで、本書記載のお買い上げ販売店に修理がご依頼になれない場合は、最寄りのサービス窓口にご相談ください。
4. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
5. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

お客様にご記入いただいた保証書は、保証期間中、およびその後の点検･サービス活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。

1. 保証期間中、取扱説明書および本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無償修理をさせていただきます。その際、当社の判断で再生部品を用いる場合があります。商品と本書をお買い上げの販売店にご持参ご提示のうえ、修理をご依頼ください。
2. 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または最寄りのサービス窓口にご相談ください。
3. 次のような場合は保証期間内でも有料修理にさせていただきます。
   (1) 本書のご提示がない場合。
   (2) 本書に型名、製造番号、お買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名の記載がない場合。
   (3) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
   (4) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
   (5) 火災、地震、風水害、雷その他の天災地変、虫害、塩害、公害ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定以外の使用電源（電圧･周波数）による故障および損傷。
   (6) 不具合の原因が本製品以外（外部要因）による場合。
   (7) 一般家庭用以外（例えば業務用などへの長時間使用および車輌、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
   (8) 消耗品（電池など）の消耗。
   (9) （持込修理対象商品の場合）
   持込修理の対象商品を直接メーカーへ送付した場合の送料はお客様負担とさせていただきます。また、出張修理を行なった場合には、出張料はお客様負担とさせていただきます。
   (10)（出張修理対象商品の場合）
   離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
   (11) 不注意、許可なしに行なった修正/改造、あるいは事前承諾を得ずに付加した部品またはインストールしたソフトウエア、ファームウエアが原因となって損傷が発生した場合。
4. この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって日本ビクター（株）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または別紙のビクターサービス窓口にお問い合わせください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is vaild only in Japan.

Victor・JVC

ビクターサービス窓口案内

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご用命ください

ご贈答品等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、機種名をご確認の上、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

【出張修理専門】のご相談窓口	
出張修理 受付センター	(0800)800-9928（フリーアクセス・ひかりワイド）※携帯電話・PHSなどからのご利用は(045)453-2960 神奈川県横浜市神奈川区守屋町三丁目12

都府県名	窓口名	TEL	所在地
北海道			
北海道	札幌S.C.	(011)898-1180	札幌市厚別区厚別東五条一丁目2-29
	帯広S.T. 旭川S.T. 北見S.T. 釧路S.T. 函館S.T.	お問い合わせは札幌S.C.にて承ります。	
東北			
青森	青森S.S.	(017)723-2261	青森市緑一丁目5-1
	八戸S.T.	お問合せは青森S.S.にて承ります。	
岩手	水沢S.T.	お問合せは仙台S.C.にて承ります。	
秋田	秋田S.S.	(018)824-3189	秋田市八橋本町三丁目6-23 TMビル1F
	大館S.T. 横手S.T.	お問合せは秋田S.S.にて承ります。	
宮城	仙台S.C.	(022)287-0151	仙台市若林区六丁の目西町7-13
山形	山形S.T. 酒田S.T.	お問合せは仙台S.C.にて承ります。	
福島	郡山S.S.	(024)952-6331	郡山市堤一丁目3
関東・甲信越			
新潟	新潟S.C.	(025)242-3431	新潟市中央区鐙一丁目5-23
長野	長野S.S.	(026)221-6583	長野市大字川合新田962-1
	松本S.T.	お問合せは長野S.S.にて承ります。	
群馬	前橋S.S.	(027)255-5921	前橋市大渡町一丁目10-1 日本ビクター(株)前橋工場第2棟1F
栃木	宇都宮S.S.	(028)638-1639	宇都宮市東宿郷三丁目5-22
埼玉	大宮S.C.	(048)654-5241	さいたま市北区宮原町一丁目202
千葉	千葉S.C.	(043)202-0263	千葉市中央区中央三丁目9-16 三井生命千葉中央ビル1F
	柏S.C.	(04)7175-4322	柏市豊四季512-10-67
	木更津S.T.	お問合せは千葉S.C.にて承ります。	
茨城	水戸S.T.	お問合せは柏S.C.にて承ります。	
神奈川	横浜S.C.	(045)937-7185	横浜市緑区白山一丁目16-2 ケンウッドビル1F
	平塚S.T.	お問合せは横浜S.C.にて承ります。	
【業務用機器専門】のご相談窓口：J＆Kビジネスソリューション株式会社			
お客様サポートセンター		(045)939-7320	横浜市緑区白山一丁目16-2 ケンウッドビル3F
山梨	甲府S.T.	お問合せは八王子S.C.にて承ります。	
東京	東東京S.C.	(03)6381-8400	江東区平野3-2-6 木場パークビル1F
	大田S.C.	(03)5748-3701	大田区池上二丁目8-10 プラムビル1F
	八王子S.C.	(042)646-6914	八王子市石川町2967-3 (株)ケンウッド八王子事業所A棟1階
東海・北陸			
岐阜	岐阜S.T.	お問合せは名古屋S.C.および金沢S.S.にて承ります。	
静岡	静岡S.S.	(054)262-8941	静岡市葵区沓谷五丁目61-1
	沼津S.T. 浜松S.T.	お問合せは静岡S.S.にて承ります。	

都府県名	窓口名	TEL	所在地
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	北名古屋市九之坪鴨田121-1
	三河S.S.	(0564)25-0321	岡崎市葵町2-23宝ビル101号室
	豊橋S.T.	お問合せは名古屋S.C.にて承ります。	
三重	三重S.T.	お問合せは名古屋S.C.にて承ります。	
石川	金沢S.S.	(076)269-4821	金沢市新保本四丁目65-17
富山 福井	富山S.T. 福井S.T.	お問合せは金沢S.S.にて承ります。	
近畿			
京都 滋賀	京都S.C.	(075)644-0247	京都市伏見区深草下川原町31-1
大阪	大阪S.C.	(06)6304-5735	大阪市淀川区田川二丁目4-28
	堺S.T.	お問合せは大阪SCにて承ります。	
【業務用機器専門】のご相談窓口：J＆Kビジネスソリューション株式会社			
近畿エンジニアリングセンター		(06)6304-6715	大阪市淀川区田川二丁目4-28
和歌山	和歌山S.T. 田辺S.T.	お問合せは大阪S.C.にて承ります。	
奈良	奈良S.T.	お問合せは大阪S.C.にて承ります。	
兵庫	神戸S.T. 姫路S.T. 福知山S.T.	お問合せは大阪S.C.にて承ります。	
中国・四国			
岡山	岡山S.S.	(086)243-1566	岡山市北区野田五丁目17-19
広島	広島S.C.	(082)243-9839	広島市中区光南三丁目9-17
	福山S.T.	お問合せは広島S.C.にて承ります。	
山口 島根 鳥取	松江S.T.	お問合せは広島S.C.にて承ります。	
香川 高知	高松S.S.	(087)866-1200	高松市田村町205-1
愛媛	松山S.T. 宇和島S.T.	お問合せは広島S.C.にて承ります。	
徳島	徳島S.T.	お問合せは高松S.S.にて承ります。	
九州・沖縄			
福岡 佐賀	福岡S.C.	(092)707-0500	福岡市博多区沖浜町11-10 サンイースト福岡1F
	北九州S.S.	(093)921-3981	北九州市小倉北区片野二丁目15-12
	久留米S.T.	お問合せは福岡S.C.にて承ります。	
長崎 大分	長崎S.T. 大分S.T.	お問合せは福岡S.C.にて承ります。	
熊本	熊本S.S.	(096)383-7750	熊本市水前寺六丁目46-21 星光交易ビル1F
宮崎	宮崎S.T.	お問合せは福岡S.C.にて承ります。	
鹿児島	鹿児島S.S.	(099)268-0030	鹿児島市小松原1-5-17
沖縄	沖縄S.C.	(098)898-3631	宜野湾市真志喜一丁目11-12 コモンズビル1F

(1110)

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。
※略号について　S.C.はサービスセンター、S.S.はサービスステーション、S.T.はサテライト（出張修理拠点）の略称です。

●ビクター製品についてのご相談窓口

お買物相談、お取扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は、下記にご相談ください。

JVCケンウッド カスタマーサポートセンター	(0120)2727-87（フリーダイヤル）	携帯電話・PHS・一部のIP電話などからのご利用は下記の番号へおかけ願います。 (045)450-8950 ｜ 〒221-8528 ｜ 横浜市神奈川区守屋町3丁目12

製品についてのご相談や修理のご依頼は

お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は

下記のご相談窓口にご相談ください。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

修理に関するご相談	お買い物情報や全般的なご相談
ビクターサービスエンジニアリング株式会社 215ページをご覧ください。	JVCケンウッドカスタマーサポートセンター フリーダイヤル 0120−2727−87 携帯電話・PHS・一部のIP電話・FAXなどからのご利用は 電話 (045) 450−8950 FAX (045) 450−2308 〒221-8528 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ビクターホームページ http://www.victor.co.jp/

製造販売元　日本ビクター株式会社

JVC・ケンウッド・ホールディングス株式会社

日本ビクター㈱はJVC・ケンウッド・ホールディングスのグループ企業です。

1110KMMSANQSS